

シニア海外ボランティア

平成25年度春 分野別要請集

独立行政法人国際協力機構



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 13 日

要請番号(SL 239 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ホンジュラス	行政サービス			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
1) 受入省庁名 (日本語) 治安省 2) 配属先名 (日本語) 国家警察総局 (より安全なコミュニティ課) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フランシスコ・モラサン県テグシガルパ市 JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先である「より安全なコミュニティ課」は、公共安全を所管する治安省のもとにおかれる国家警察総局の中にあり、市民生活の向上のための防犯等を所掌している。課の年間予算は25万ドル。職員数は、国家警察全体で13000人、課全体で200人である。JICAは、2009年から「地域警察活動支援プロジェクト」を実施し、首都と第2の都市において日本の交番制度の経験を参考にした地域警察のモデル化(派出所設置、地域警察マニュアル作成、研修、OJT)を進めており、当プロジェクトとの連携のもと、未整備となっている統計情報収集システムの確立にも取り組む予定である。配属先はプロジェクトの実施機関でもある。						
1) 要請理由・背景 ホンジュラスでは、治安状況の改善には市民参加による防犯体制の強化が不可欠と考えられ、地域警察の重要性が認識されてきており、これまでにJICAではブラジル・サンパウロ軍警とともに地域警察活動支援プロジェクトを実施してきている。同プロジェクトでは、地域警察活動を強化するために、警察官に対する研修の拡充と地域警察のモデル作りを行っている。しかし、当プロジェクトはこれまで日本からの協力を受けたブラジル人専門家からの指導のもと展開されている。今般、地域警察モデル更なる拡大を図る上で、地域警察活動について日本の経験を踏まえた助言を行うとともに、犯罪統計の収集・分析を踏まえた防犯施策の立案について指導できる人材の必要性から、SVの要請が出された。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 地域警察活動に関する警察官への日常的な助言。 2. 犯罪被害に関する届出・報告等の収集・分析の仕組みづくりとそれを活用した防犯施策の立案。						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、コンピュータなど						
4) 配属先同僚及び活動対象者 捜査官、女性、30代半ば 捜査官、女性、30代前半、人事担当 捜査官、男性、20代半ば、営繕担当 秘書、女性、40代半ば				5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚警察官に指導するため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚警察官に指導するため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況		気候(亜熱帯) 気温(18~33 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 503 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード A201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ボツワナ	行政サービス				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 公務員庁 2) 配属先名 (日本語) ボツワナ公務員短期大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ハボロネ JICA事務所の所在地(ハボロネ市)から 東 方向 1 Km 主要都市(ハボロネ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 公務員庁傘下のボツワナ公務員短期大学(BPSC)は政府の改革政策を効果的に実施するために、全ての公務員に対し公務員としての基礎から全般にわたる知識、スキルおよび能力向上のために学ぶ場を提供している他、公務員行政の研究所として存在している。BPSCは幹部養成、公務員業務の基礎、公務員行政研究開発を目的とした3つのセンターで構成されている。予算はおよそ7千万円。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ボツワナ公務員短期大学(BPSC)は1962年に設立された政府商業学校を前身とし、その後1980年に行政・商業校となり2008年から現在のBPSCとなった。現在の形となって歴史は浅く、教師の層は厚いとは言えず、講師となる人材が必要となっている。同校は、政府の改革政策を推し進める「改善」の最新の知識を持った日本人のボランティアを講師として招聘し、教材の開発やトレーナーへのトレーニング(TOT)に当たってもらいたいと考えている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボツワナ公務員短期大学(BPSC)において、「改善」のシニアレクチャー(Senior Lecturer-Kaizen)として、主に以下の業務を行うことを期待されている。 1. 改善にかかる教材の開発とトレーナー育成支援 2. 各省庁局のトレーニングファシリテータースタッフに対する支援 3. 改善手法及び他の手法による実習の実施(理論と実習のセミナー開催) 4. BPSCが改善手法の正式な学習機関として認定されることの推進 5. 公務員庁及び地方自治省派遣のJICAボランティアとの連携 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ラップトップコンピュータ、プリンター、プロジェクター、教材および必要とされる機材を準備予定。 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長1名、センター長3名、副センター長3名、他20名の講師。学校スタッフ全員では144名。ほとんどの講師が修士を修了。						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 専門分野の基礎が必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 実践的知識と技術が必要 ・ 修士卒の場合は実務経験(5年以上) 理由: 実践的知識と技術が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(サバンナ) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 503 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード A201)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
ボツワナ	行政サービス			● 2 年	1	25 / 3	年 月 から
				○ 1 年	2	25 / 4	
		○ ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 2) 配属先名 (日本語) 戦略管理室 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ハボロネ JICA事務所の所在地(ハボロネ市)から 東 方向 1 Km 主要都市(ハボロネ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 地方自治省が管轄する地方自治区での政策や人事は公務員庁の管理下であり、両者は密接な関連性を持っている。地方の公務員は地方自治省に属しており、政策を実際に実行するには両者の連携が重要となる。地方自治省は地方の県や村落などの公共サービス改革、制度化の調整の監督官庁にあたる他、改革イニシアチブ実行のモニタリング評価、地方改革のサポートを行っている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 地方自治省は公務員庁との連携の下、公務員庁の公共サービス改革局(PSR)が行う、シンガポールで実践された改善モデルをベースとした業務改善チーム(Work Improvement Teams :WITs)による改善を実施してきた。いくつかの省庁局では特筆すべき改善が見られたが、全体的には十分ではないことから、地方自治における改善促進のために日本の改善手法を取り入れたいとしている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 地方自治省戦略管理室(Stragegy Management Unit)において業務改善チーム長(Work Improvement Team Manager)として、以下の業務を行うことが期待されている。 1. 改善手法のユニット内での共有及び、ボツワナ国内すべての、地方議会WITs、行政区、伝統行政(部族統治システムに近いが、政府の末端組織でもある)での実施促進支援 2. 16の地方議会、12の行政区、18の伝統行政区におけるWITsの活動評価支援 3. 各地方への改善手法啓蒙支援 4. 各地方でのパイロットプロジェクト立上げへの協力 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ラップトップコンピュータ、プリンター、プロジェクター、教材および必要とされる機材を準備予定。 4) 配属先同僚及び活動対象者 業務改善コーディネーター2名、管理分析官2名(以上修士修了) 各地方のプロジェクト改善コーディネーター(約50名)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 専門分野の基礎が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 実践的知識と技術が必要 ・ 修士卒の場合は実務経験(5年以上) 理由: 実践的知識と技術が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(サバンナ) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 14)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード A203)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ネパール	交通安全				1	25 / 3	日系/短期 年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 2) 配属先名 (日本語) ネパール警察首都圏交通警察局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ市 JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、カトマンズ盆地内を所管する交通警察。2006年より、学校での交通教育のほか、学校組織及びドライバー組織と連携して路上での啓発活動等を行っている。配属先全体の年間予算は人件費も含め約9千万円だが、同プログラムへの事業予算は限られている。2004年から、SV(都市交通管理・交通教育)が活動していた。外国からの援助は特にない。						
要請概要	1) 要請理由・背景 カトマンズでは交通量が急速に増加し続けておりすでに飽和状態となっている。また、歩行者、ドライバーともに交通ルールへの順法精神がなく、道路交通状況は劣悪である。かつてSVが中央分離ブロック設置や交通警察官へ交通整理等の普及改善を行い相応の成果をあげていたが、割り込み、無謀運転等多数あり、いまだ十分ではない。この状況を改善するため配属先所轄にある学校、路上等での啓発活動を行っているが、より適切な啓発教材の使用や内容の改良が必要であるため、これらの啓発支援を行うボランティアを要請する。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先に対して都市交通安全教育に関する助言を行うと共に、以下について支援を行う。 1.交通啓発プログラムの質の向上 2.啓発プログラム関係者の人材育成・教材開発 3.公共交通関連団体などへの啓発活動 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プレゼンテーション用PC、プロジェクター その他 カトマンズ中央交通警察署内の機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 チーフ(50代男性)1名 プログラム担当(20~40代男性)計7名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 交通管理関連の助言が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ネパール	防災・災害対策			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 連邦制・地方開発省 2) 配属先名 (日本語) カトマンズ市役所都市開発課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北東 方向 2 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同市では約200万人の人口から成り、年々雇用を求めて人口は急速に増加傾向である。同時に都市部に見られる構造物の増加、環境問題やスラム街等の問題が深刻化しており、火災被害も増加中である。今後は消防関係者や住民に対する啓発活動への取り組みが急務となっている。 同市は横浜市を含めた海外からの支援も多々ある。また、環境教育隊員が環境課で活動しており、学校やコミュニティを中心とした環境への啓発活動に取り組んでいる。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ネパールは周期的な地震発生地とされており、地震等の防災対策が急務となっている。カトマンズ盆地内にはレンガ造りの建物が密集しており、地震発生による火災等の大規模被害が予想され、市内に1か所しか消防署が無い状況であるが、消防関係者への技術向上、住民への啓発、地方行政組織の防災プランの策定や緊急体制の確立など防災対策が急務といえる。 本要請は、消火活動能力向上に焦点を置きつつ、日本の防災に関する技術や知識の紹介、防災面における他機関との協働体制作りに取り組む。配属先は、都市計画や防災に関する全般を管轄しているが、スタッフも少なく能力不足であるのが実情であり、ボランティアの支援を受け、防災啓発や災害救助にかかる能力向上をめざしており、行政・警察等の関係機関の役割や連携の在り方等の支援を求めている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 消火活動を中心とした災害時初期対応、緊急避難、救助訓練の指導 2. 緊急時の行政組織の対応の支援。関連機関等の連携や救助などのスキルの提供 3. 災害対応について消防関係者や住民組織リーダーへのトレーニングの実施 4. 地方行政組織や住民組織での災害対応啓発の実施 5. 配属先では防災先進国としての日本の実践的な知識、技術の提供を期待している。他配属先で活動している同分野ボランティアとの連携も期待される。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務用具 4) 配属先同僚及び活動対象者 シニアプランナー(課長)50代 同課職員 30-40代 消防署員30名 20-40代 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 専門的な助言や指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 12)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
ネパール	防災・災害対策			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
				年 月	から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 連邦制・地方開発省
	2) 配属先名 (日本語) ネパール地震防災協会 <input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1993年に設立された地震防災を専門とするNGOで、主な事業として学校や地域団体への防災教育、建設業者や政府、地方行政担当者への防災教育などを実施。また、日本の大学、研究機関、NGOとも連携し防災技術と情報を蓄積しており、南アジア地域で指導的な役割を發揮し、地震防災のコンサルタントとして外国援助機関や国際機関から業務受託を受けスタッフを南アジア諸国に送り出している。年間実施予算は3,600万円程度。 過去に、日本の防災への取り組みを紹介し、地方行政組織等へ防災管理体制を促進するSV、現在は都市部における火災に対する防災促進を行うSVを派遣している。

要請概要	1) 要請理由・背景 ネパールで周期的な地震発生地とされており、地震防災対策の徹底が急務となっている。カトマンズ盆地内には脆弱なレンガ造りの建物が密集しており、地震発生による大規模被害が予想される。耐震建築、耐震補強の普及や住民の啓発、地方行政組織の防災プランの策定や緊急体制の確立、など防災対策が急務といえる。前任者は日本の防災に関する技術や知識の紹介、地方行政組織等へ防災管理体制づくりなどに取り組んだ。配属先では、ボランティアの支援を受け、地方行政組織や地域団体と協力し、耐震建築の普及や耐震補強の普及、学校での防災教育の取り組みなどを進めてきた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SVの具体的な専門性にに応じて、協議を行いつつ業務を実施する。 1.地方行政組織、地域団体(学校など含む)の防災管理体制づくりの促進(防災プラン、緊急対応システム、地区防災委員会の設置、住民への啓発活動) 2.NSET職員に対するコミュニティー防災に関する資料及び情報の提供 3.防災に関する地域住民や学校関係者に対するセミナーの企画、開催 配属先では防災先進国としての日本の実践的な知識、技術の伝達を期待しており、特に1の防災管理体制づくりを促進したい意向がある。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚は35～50代。大学学士及び修士課程修了者となる。 活動対象者は、関係省庁担当官、地方自治体、学校教員や生徒など対象は広い。

資格条件等	5) 活動使用言語 (英語)
	6) 生活使用言語 (ネパール語)
	7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)
	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	現職教員特別参加制度
	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 6 月 13 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ジャマイカ	防災・災害対策			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 総理府 2) 配属先名 (日本語) 国家防災庁 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は1980年に創設された政府機関で国内の災害リスク管理の責務を負っている。現在、職員は70名、そのうち約15名が技術職である。同国はハリケーン、大雨、地震、津波などの自然災害により洪水、土砂崩れなどのリスクに曝されている。脆弱なインフラ、不十分なコミュニティの組織化、国民の防災意識の低さなどが災害の被害を増長し、包括的な災害管理体制の障碍になっている。政策策定、プログラム立案をはじめコミュニティでの防災教育、コミュニティベースの災害被害軽減プロジェクト、早期警戒体制の確立、災害救援などの業務を行っている。H25年度から特定地域の災害対策にJICA個別専門家の派遣が要請されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は2012年-2015年の計画で優先的に実施する以下の4事業を上げている。 1.災害に対応できるコミュニティの能力を向上する。 2.中央から地方行政と主要セクターを結びつける災害リスク管理システムを確立する。 3.災害リスク管理情報を利用して社会すべてのレベルで防災文化を構築する。 4.災害への備え、被害の軽減、緊急対応及び復旧事業までの一連の体制を強化する。 これらの成果を達成するため、リスク評価、緊急対応体制の整備にボランティアの派遣が要請された。コミュニティとの対話ができ、災害緊急対応の経験者が求められている。JICA個別専門家と一部共同で活動する可能性もある。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは以下の活動が求められている。 1.災害リスク管理戦略の開発支援を行う。 2.現行体制を見直し、評価報告書を作成する。 3.災害リスク管理すべての局面に必要な助言、提案をする。 4.主要プロジェクトの監督、関係者との交渉を行う。 5.配属先職員への教育を実施する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC, GISデータおよび配属先が開発したアプリケーション 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 男性 都市工学、都市計画、災害リスク管理 同僚 女性 労働安全、災害リスク管理 同僚 女性 災害リスク管理、広報 同僚 女性 経営企画 活動対象者は地方の行政担当者、コミュニティ組織の代表者など 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 高度で理論的な知識が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 763 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A211)			JOCV/SV	日系/短期	
ウズベ キスタン	金融	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 /	
					3 /	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省
	2) 配属先名 (日本語) 国立東洋学大学 ○ NGO
	3) 任地 タシケント州タシケント JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 創立は1918年。東洋の言語・歴史・宗教・文化を総合的に研究する目的で、1991年に再編された国立東洋学大学は、言語学部のほかに、国際政治・歴史、東洋哲学、経済の4つの学部から成る。経済学部の東アジア地域学科において、中国、韓国に加え、日本経済を研究しており、各国の大学や機関と協力関係にある。2校ある大学の付属高校にて、2010年までJICAボランティア(日本語教育)が活動していた。現在、初代SVが、2~4年生を対象に近代日本金融史、マネーマーケット、経済用語について授業を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ウズベキスタン経済の安定と持続的発展のためには、市場経済化への移行が重要な課題であり、世界金融・貿易・財政を運用できる人材の育成が望まれている。東洋学大学・日本経済学科ではこの課題に対処するにあたり、近年の世界経済・金融危機と多様化する勢力変化を理解し、学生が自ら考える力をつけさせようとしているが、日本の経済・金融史論までしか講義できる実力がない。そこで、特に2000年以降の日本と世界各国の経済の特徴、国際金融論をトピックとして、現実起こっている事象分析を論じることで、次代を担う人材を育成することを目的に、JICAボランティアによる支援が引き続き期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 日本経済学科生1~4年生に対し、現実の事象分析を元に国際金融論について講義を行う。当国では金融商品や預貯金一般普及していないため、分かりやすいプレゼンに工夫を加えた英語及び日本語の講義が必要。具体例として、下記内容のような講義が望まれているが、詳細は配属先と協議して決定することになる。 ・国際金融論(外国通貨、外国為替、金利、金本位制度、デリバティブ、国際収支、国際決済等) ・貿易論(ミクロ経済、二国間貿易等) ・マクロ経済(固定相場制、変動相場制、金融政策、財政政策等)
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 講義室、執務室
	4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長(男性、50代) 学科長(女性、50代) 同僚講師2名(女性、50代) 国際関係部長(男性、30代) 日本経済学科の学生1~4年生約50名

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:対象者が大学生のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:経験に基づく講義が必要な為 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 °C位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 31 日

要請番号(SL 763 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A211)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ウズベキスタン	金融			1	25 / 3	年 月 から
				2	/	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省 2) 配属先名 (日本語) タシケント国立経済大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 タシケント州タシケント JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 首都タシケントにある国立大学で、国際経済関係学部、ビジネス学部、経済統計学部、商学部、会計学部、国際観光学部、情報管理経済学部等の学部を有する。中央アジアでは最大規模の経済大学であり、また日本経済への関心は非常に高い。学生数は学部生、大学院生を合わせて約11,000名。教師数は約750名。SV、JSM(日本シルバボランティアズ)の日本語教師の派遣実績あり。現在SVがビジネス学部にて活動中。韓国国際協力団(KOICA)の韓国語教師も活動している。配属先予算、年間970万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 1991年に旧ソ連圏から独立した同国の安定と持続的経済発展のためには、市場経済化への移行が重要課題である。市場経済体制下における企業の戦略的経営、マーケティング、生産管理等の知識・経験を紹介することにより、政府機関や国際ビジネスの舞台で活躍できる専門性を備えた人材の育成が必要とされている。また将来的には、世界進出を視野に入れた起業家育成の構想もあり、国際経営などグローバルな視点に立った講義が必要とされているが、同国内にはこのような講義を行える人材が少なく、国際的な知識や経験をケーススタディ等を通して実践的な教育が行える講師が必要とされている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ビジネス学部内の小企業・起業家育成学科を主体とし、マーケティング学科において、以下の活動を行う。 1. 学士、修士の学生に対する授業(基礎ビジネス、ビジネス戦略、小企業・起業家育成、市場調査、国際経営) 2. セミナーや大学の催す国際会議において、日本の経営戦略、マーケティング、中小企業促進の課題等の紹介 なお、学生の英語能力には差があるため、平易な英語を用いてわかりやすく工夫した講義をすることが必要である。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 講義室、執務室 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長 男性、教授、40代 教授 7名 指導対象者 学部生約60名、院生約40名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ウズベク語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 対象者が大学生のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づく講義が必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 215 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A221)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
コスタリカ	環境行政			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			2年	1	年 月 から	
			1年	2		
			ヶ月	3	/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国立職業訓練センター 2) 配属先名 (日本語) 品質管理部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンホセ県サンホセ市ウルカ地区 JICA事務所の所在地(サンホセ県サンホセ市)から 西 方向 3 Km 主要都市(サンホセ県サンホセ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 国立職業訓練センターは、産業の発展を支える優秀な労働人材を育成することを目的に1965年に設立された。ボランティアの配属先は、本部及び全国50か所以上に点在する国立職業訓練センターに対し、環境分野取組みへの助言や指導を図るための部署である。全国18か所の国立職業訓練センターの品質管理委員会と連携をとり、各支部センター内における環境分野の調査・改善等への助言や指導を実施している。配属先職員数は3名。国立職業訓練センター総職員数は約3千人で、総予算は10億円。品質管理部には2012年10月までSV(渉外促進)が活動を実施していた。					
要請概要	1) 要請理由・背景 環境立国を政策の柱とするコスタリカは、2021年までにカーボンニュートラルを宣言しており、政府機関及び民間企業両者による環境に対する取り組みが急務となっている。したがって、同国政府は、国際標準規格の環境マネジメントシステム(EMS)の導入を推進しており、EMS規格として最も重要なISO14001の取得を官民に対して推進している。このような背景の下、国立職業訓練センターは、認証取得済みのISO9001に続きISO14001の認証取得を目指しているが、その担当部署である配属先に十分な知識及び経験を有する職員がいないため、取得に必要な指導・助言を行う人物を求めている。また同配属先は、全国の支部及び一般企業に対してISO14001認証取得を支援する役割も期待されていることから、認証取得の過程を通じて配属先職員の人材育成ができる人物も必要とされており、今回のボランティア要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①国立職業訓練センターにおいて、ISO14001の取得に必要な計画書の作成や、内部点検等の実施。 ②配属先職員及び国立職業訓練センター他部署の職員を対象に、ISO14001取得に関する講習会の実施。 ③地方の国立職業訓練センターにおいて、同センター職員を対象に、ISO14001取得に必要な助言・指導等の普及活動の実施。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、机、椅子、コンピュータ、インターネット 4) 配属先同僚及び活動対象者 品質管理部長 50代 女性 環境業務 40代 男性、30代 男性					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準とあわせる ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(熱帯高原性) 気温(18~28 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 11 日

要請番号(SL 609 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A231)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ガボン	統計			1	25 / 3	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 2) 配属先名 (日本語) 水産養殖総局 統計室 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 エスチュエール州 リーブルビル市 JICA事務所の所在地(リーブルビル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リーブルビル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 水産養殖総局は水産漁業及び養殖業の発展と振興を目的とした総局である。これまで、水産養殖総局内にJICA専門家が3名派遣され、水産漁業及び養殖業に関する支援を行ってきている。統計室は、企業型漁業と零細漁業のデータ管理とその分析を行い、分析結果を図表化し、各部局への統計資料の提供を日常の職務としている。2010年まではFAO(国際連合食糧農業機関)が作成したツールを活用していたが、現在はEXCELとACCESSを利用している。現在、統計室にJVが1名派遣されており、主に企業型漁業の漁獲量と稼働量に関するデータ入力、分析、図表化、報告書の作成と各種の業務改善を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当国の漁業データは、企業型漁業と零細漁業との2つに区別することができる。企業型漁業の漁獲量と稼働量は、当国の経済的排他水域において漁業を行う船籍(日本やヨーロッパ船籍を含む)毎に水産養殖総局に申告されている。零細漁業の漁獲量と稼働量は、全国各地の主要拠点に配置されたアンケータ(データ収集員)が日々、記録し、統計室に月毎に届けられている。統計室は、これらのデータをもとに各種の統計業務を行い、年に一度、水産統計年報とその分析報告書の作成を行ってきた。しかしながら、データ収集にかかわる安定した体制が確立しておらず、データの信頼性向上のために、データ収集体制の見直しが進められている。そのためSVには、①収集されたデータの入力・分析・データ提供・報告を行うと同時に、②企業型漁業と零細漁業のそれぞれに対して、データ収集方法に関する改善案の提示が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・企業型漁業及び零細漁業の漁獲量・稼働量データの入力、分析、報告、資料の提供。 ・特にEXCELとACCESSによるデータベースの構築に関する改善案の提示。 ・漁獲量・稼働量、また漁業者の社会経済面に関する統計調査への参加。 ・データ精度向上を目的としたデータ収集体制に関する改善案の提示。 ・水産統計年報と分析報告書の作成(補助)。 ・統計室内の庶務(電話対応、コピー、来客対応など)。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 WORD、EXCEL、ACCESS、POWER POINT、Publisher、コピー機 4) 配属先同僚及び活動対象者 室長(40代前半 男性) 職員(男性3名、女性2名)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的な知識と技術が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(28~32 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 12 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード A241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
ネパール	コンピュータ技術			2年	1	25 / 3	年 月 から
				1年	2	25 / 4	
		ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術・環境省 2) 配属先名 (日本語) ネパールコンピュータ協会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 東 方向 2 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、1992年に設立されたコンピュータ関連企業の業界団体である。現在ネパールのITセクターには約2000社のIT企業が存在するが、そのうち約1600社が同協会に登録しており、国内56郡に支部を持つ。年間予算は、約24万USD。IT産業発展のための支援として、IT産業に特化した展示会の開催や政府系外部機関(National Information Technology Council)に委員を輩出し、政策提言も行っている。またソフトウェア委員会を立ち上げ、各社共通の技術レベル等級の導入や登録企業の情報を掲載したパンフレットを作成するなど、ソフトウェア輸出産業への支援強化も試みている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ソフトウェア産業は1)道路未整備などのインフラの影響を受けにくい2)初期投資のコストが低い3)英語を基本言語とすることなど、ネパールの現状に合致していることもあり、政府及びIT関係者の多くがソフトウェア産業の持つ可能性を認識している。一方ソフトウェア業界はマネジメントや品質管理面でも人材が不足しているほか、産業自体の国際認知度向上の面でも問題を抱えている。配属先はIT産業の業界団体として、ソフトウェア輸出産業の支援強化を計画している。産業界の実態把握に基づいた効果的な産業支援施策の立案と推進、企業経営や開発管理に関するコンサルティングサービスを提供できる団体として、能力向上の必要があるとの認識から、ソフトウェア事業全般に関する支援ができるボランティアの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 先行して派遣予定の短期SVが実施する実態調査の結果及びソフトウェア輸出産業強化策への提言をもとに、 1.ネパールにおけるソフトウェア産業の実態調査の分析。 2.配属先におけるソフトウェア輸出産業強化計画策定のための支援と実施支援。 3.登録企業に対する企業経営、開発管理や品質管理に関するコンサルティングサービスや研修の実施支援。 *状況により実態調査など実施することもある。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンター等 4) 配属先同僚及び活動対象者 理事会役員 マネージャー 20代後半男性(コンピュータ講師及びソフトウェア開発経験あり) 職員 3名 20~30代男性2名、女性1名 会計担当 30代男性 庶務 20代男性 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 専門的な助言や指導が必要 ・ソフトウェア開発/システム開発管理経験 理由: 経験に基づいた指導が必要		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 124 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	1	JOCV/SV	
パプア ニューギ ニア	コンピュータ技術			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省						
2) 配属先名 (日本語) ゴロカ大学 ICT(情報通信技術) 管理部		<input type="radio"/> NGO				
3) 任地 ゴロカ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北西 方向 420 Km 主要都市(ゴロカ中心部)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 ゴロカ大学は、教育学部・人文学部・自然科学学部からなる総合教育大学。学生数は約1800人、年間予算は約1660万キナ(約6億6400万円)と、同国6大学のうち3番目の規模を持つ。2013年2月現在、2人のSV(日本語教育、コンピュータ技術)が活動中。ICT管理部は、学内のコンピューター約600台やネットワークを保守管理している。						
1) 要請理由・背景 ICT管理部では、大学内のコンピューター約600台の管理、学内ローカルネットワークの運用管理を行っている。端末のPCはWindows7で、サーバーはフリーの基本ソフト(OS)Linuxを使用し、学生用PCの管理にはWindowsを使用している。これまで2代に渡りSVが派遣され、サーバーの管理を主に活動を行ってきた。現在、学内にICTセンターの建設を予定しているため、今後ネットワークの新規構築が必要となり、ネットワーク構築に精通した人材が必要となる。スタッフのうち1名はLinuxのサーバー管理が可能な能力を身に付けているものの、他の職員はそこまでの技術はなく、引き続き技術支援を受ける必要があるため、今回の要請となった。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ICT管理部のマネージャーを補佐しながら、次のような業務を行う。 ①ネットワーク構築と管理 ②Linuxサーバーの運用の支援(①を優先し、更に②が出来ると望ましい) ③その他、ICT管理部が管理するシステム運用の支援と助言						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Network Equipment、Linux Server、Windows Server						
4) 配属先同僚及び活動対象者 ICTマネージャー(日本人 男性 40代) 同僚技術者(男性5名、20~30代)		5) 活動使用言語 (英語)		6) 生活使用言語 (その他)		
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)				
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 安全対策上 ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 中規模ネットワーク構築の為 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要				
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況 気候(熱帯雨林) 気温(10~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項 治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 136 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV 25 / 3	
バヌアツ	コンピュータ技術			2	25 / 4	年 月 から
				3	/	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) バヌアツ家族保健協会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 ポートビラ JICA事務所の所在地(ポートビラ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ポートビラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同協会はリプロダクティブヘルスの普及と啓発を行うNGOで、クリニックを併設している。年間予算規模は、17万USD程度で、IPPF(International Planned Parenthood Federation)からの資金援助を受けている。主な活動は、以下の通り。 1、家族計画の推進。望まない妊娠や中絶、差別、暴力を防ぐためのキャンペーンの実施や啓発活動。 2、性感染症やHIV/エイズ予防のための若年層への啓発活動など。 3、併設するクリニックでの診療。 4、農村部への出張診療サービスと啓発活動。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同配属先では、併設のクリニックにおける患者情報をはじめ、組織内の資料、報告書、会計書類等についての総合的な情報管理システムをデータベース(以下DB)システムを利用して構築することを検討中である。しかし、同配属先のシステム担当者は、DBシステム構築・運用の為に必要な知識に乏しく未だ実現に至っていない。現在、任期10ヵ月(2012年6月～2013年4月)の短期SVが活動中で、総合情報管理システムの構成モジュールとなるクリニックの患者情報管理DB(サブDBモジュール)をAccess2007を使って構築中である。 このサブDBモジュールの構築後、総合的なDBシステムの本格始動に向けて、配属先のシステム担当への残りのサブDBモジュール開発技術力アップと、看護師やスタッフ等への運用・活用指導を行える人材が要望されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・前任者がAccess2007にて構築した患者情報管理DBへのデータ蓄積状態の確認、必要であれば改良。 ・実際のDB運用とDBシステム開発のための配属先システム担当者への指導。データ運用者へ使い方に関する指導。 ・患者情報管理DBの運用が軌道に乗った後は、配属先の文書管理、啓蒙活動支援資料管理などをサポートするサブDBモジュールの構築。 ・余力があれば、同協会のWebSiteの構築、情報更新とメンテナンスを担う担当者への指導。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室。開発用デスクトップPC1台(Acer, Windows7Pro/Microsoft Office 2007)。なお、NAS及びUPS、バックアップ用HDDは2013年に購入予定。 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長1名(50代)、スタッフ10名(プログラムオフィサー、看護師、経理、etc.)。カウンターパートは、情報システム担当(27歳 ネットワーク管理者資格、コミュニケーション業務兼務) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: データベース構築に必要 Accessによる開発経験 理由: アクセスのシステムを指導			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 28 日

要請番号(SL 251 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
パナマ	コンピュータ技術			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 公共治安省 2) 配属先名 (日本語) 国家警察通信局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 パナマ県パナマ市 JICA事務所の所在地(パナマ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 公共治安省は、国民の安全と秩序維持のため、交通部門や国境警備も含め、直接的な活動を実施している(2012年予算は約3.2億ドル)。通信局では、警察無線の管理保守、中継局の設置整備運営、コールセンター、監視ビデオシステム運営管理や、警察内ネットワーク・データベース管理等全般の運営を実施している(2012年予算は約1千万ドル)。現在同局では、電気通信分野のSV(4代目)が活動中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、分散しているネットワーク・システムを統合するプロジェクトを今後実施予定だが、将来的には地方のネットワークも取り込んでいく計画である。現在、外部業者により行われている同システムのメンテナンスや拡張等の管理について、警察独自で不具合の診断、適切な運用やシステム拡張に向けての計画策定・実施、通信業者との折衝調整ができるよう、専門の技術者の育成が急務である。また、この統合に合わせて局内の組織体系の最適化も必要とされ、各パートの人材育成が求められている。かかる状況において、システム運営、組織、技術者育成等全般に支援の助言や指導ができるアドバイザーの派遣が要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ネットワーク・アドミニストレータ、またコンピュータ・ネットワーク・エンジニアとして、技術面における次の助言や支援と、それに係る技術者の人材育成を支援する。 ①データ送信機器や装置及びアクセサリや付属品の調達に関する検証と助言。 ②ネットワーク管理サーバにおける警報の確認方法やモニタの訓練支援。 ③システムの設置及び統合網の増強のための設計への参画、ローカルと主要局間のシステム検証試験の支援。 ④通信確認試験の支援(通信、警報、遠隔接続、映像・データ・音声他) ⑤ネットワーク統一実施後の運営管理診断の支援、通信ネットワーク部門の各パートの人材育成の支援。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 サーバは、HP社のProliant、DELL社のPowerEdge、Optiplex等。LANスイッチ類は、主にNetel社のPassportを使用。 4) 配属先同僚及び活動対象者 電気通信技師(40代男性)、ネットワークセキュリティ責任者(50代男性)、通信エンジニア4名、電気技師2名、コンピュータネットワーク技師4名、機器修理技師5名、診断プログラミング技師15名、等。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 幅広い助言指導のため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 6 日

要請番号(SL 130 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B111)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
トンガ	上水道			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
			3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 公営企業省 2) 配属先名 (日本語) トンガ水道公社 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ヌクアロファ市内 JICA事務所の所在地(ヌクアロファ市内)から 南 方向 1 Km 主要都市(ヌクアロファ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ヌクアロファ首都地区と主要離島部における上水道の供給、及び地方の村の水道委員会が運営するコミュニティの給水施設への技術的指導と支援を担当している。職員は約110名、年間予算は約2億円。上水道施設管理SVが派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 トンガタブ島では井戸水を水源とし滅菌(次亜塩素酸ソーダの点滴注入、あるいは次亜塩素酸カルシウム錠剤の溶解)後、自然流下で配水している。しかしながら、水需要の増加およびEU援助の取水施設の老朽化と配水管の漏水で慢性的な水圧不足が続いている。取水施設の老朽化は離島も同じであり、崩壊した井戸を捨て一つの井戸から多くの水を汲み上げるため塩分混入の監視は欠かせない。エウア島は沢水を水源としており、フミン質由来の色度が除去できていない。また、配水流量計が稼働せず、水道メータの故障が多く家庭での使用量が正確につかめない事もあり、漏水率は諸データを勘案して推定している。なお、水質検査は月に一度、細菌、残留塩素、導電率を計測している。このような状況から上水道に関する総合的かつ、具体的なアドバイスが引き続き必要として後任が要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①専門を活かした水道全般に関する活動とアドバイスを行う。 ②未収水量(特に漏水率)のより客観的な算定ができるようにアドバイスをする。 ③地方の村が運営する水道施設の調査、改善に協力する。 ④水質管理についての提案を行う。 人口増加に鑑み10年後の水道の未来像を天水(雨水貯蔵)との共存を図りながら提案できると良い。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 漏水検知器(音調棒、電気式漏水探知機、相関式漏水探知機) 4) 配属先同僚及び活動対象者 40代のシニアエンジニア(個室)6人がそれぞれ計画、管網維持改善、取水場維持管理、地方の村水道への技術支援、水質、水道メータ管理を担当していて、日頃接しているテーマについての知識は深い。別に、配管工、メカニック、重機運転手等が15人程いる。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(17~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	現在SV全員が自家用車を所有し生活や通勤に利用しているが、バスなどの利用も可能。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 15 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
エクアドル	上水道			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) キト市役所 2) 配属先名 (日本語) キト市上下水道公社 営業管理局 利用者サービス課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ピチンチャ県キト市 JICA事務所の所在地(キト市)から 西 方向 1 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同社は人口250万人超のキト市全体へ上下水道サービスを提供し、市民の健康を守るとともに環境に配慮したキト市の水資源・環境衛生保全に取り組んでいる。水源量675,533m ³ /日、一日平均配水量635,169m ³ (7.4m ³ /秒)、一日平均給水能力646,919m ³ (2012年5月実績)。配水管延長6,500km。上水道普及率98.37%、下水道普及率93.97%と上水道のハード面ではほぼ全域をカバーしつつあり、現在はサービスの質と安定性の向上を課題としている。全職員2,400名、うち323名が営業管理局職員で、同局内の利用者サービス課は家庭のメーター検針や漏水・水漏れの点検を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同社はキト市民の水道へのアクセスとサービスの質の向上のため「2010-2014地域の満足度向上戦略」を立案し、インフラ設備の質量両面における向上に取り組んできている。利用者から寄せられる水道トラブルの多くは水道料金(使用容量)が高すぎるというものであるが、その原因のほとんどは家庭内の水漏れである。配属先では適切な水の消費を促進し、水の無駄使いを避けることが必要であると考えており、2010年1月より「プロメロ(水道配管技術者)・アミーゴ(友達)・プロジェクト」を立ち上げ、各家庭内の漏水の原因を検出するサービスを開始した。同プロジェクトにおいて日本の経験と知識を持ったボランティアによる技術面での協力を得ることで、多様化している漏水原因の検出技術および修理技術の向上を期待し本要請があげられた。また、コスト削減に向け、SVIには家庭の検針サービス、メーターに関するアドバイスも求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.「プロメロ・アミーゴ・プロジェクト」において、家庭内水漏れ原因検出および修理を支援する。 2.カウンターパート、技術者に対し技術指導を行う。 3.カウンターパートとともに技術者に対する技術研修を計画・実施する。 メーターに関する助言ができればなお可。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 配管工具一般 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長:50代男性 カウンターパート: 建築技師 40代男女各1名 同課同僚技術者 10名 男性 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 1 月 31 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
エクアドル	上水道			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) キト市役所 2) 配属先名 (日本語) キト市上下水道公社 環境局 危機管理ユニット <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ピチンチャ県キト市 JICA事務所の所在地(キト市)から 西 方向 1 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同公社は人口2,539,141人のキト市全体へ上下水道サービスを提供し、市民の健康を守るとともに環境に配慮しながらキト市の水資源・環境衛生保全をめざしている。水源量675,533m ³ /日、一日平均配水量635,169m ³ (7.4m ³ /秒)、一日平均給水能力646,919m ³ (2012年5月実績)。配水管延長6,500km。上水道普及率98.37%、下水道普及率93.97%と上水道のハード面ではほぼ全域をカバーしつつあり、現在はサービスの質と安定性の向上を課題としている。全職員2,400名、うち90名が環境局職員。環境局危機管理ユニットは給排水管路の危機管理のため現場視察・調査・対策を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 キト市の水道サービスは、地震、火山性活動、洪水などの自然災害、環境汚染、気候変動などさまざまな危機にさらされている。これらは市民への水の供給に大きな影響を与えるものであり、危機管理計画を整備し実施することが急務となっている。また、2010-2014年の同ユニットの戦略計画においては自然災害・事故に対する脆弱性の軽減が述べられており、「総合災害管理システム(SIGIR)」計画を策定し運用を予定している(現在プレ計画策定中、一部の活動は開始されている)。このような状況において配属先は、地震・火山活動・台風など自然災害が多く、バイタルシステムの災害対策・管理についての経験を有する日本の知見に期待を寄せ、エクアドルの実情にあわせた災害対策・管理の新しいビジョンや技術を獲得すべく、本要請があげられた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.日本の上水道事業における自然災害・事故の予防、緊急対策を紹介し、現地の状況に応じて以下②~④について助言を行う。 2.自然災害に対する脆弱性評価の方針・方法の策定とその実施における助言を行う。 3.自然災害・事故への緊急対応(現場の保安、復旧)能力向上のための助言・提案をする。 4.自然災害軽減計画策定のための助言を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・局長:50代男性 ・カウンターパート 危機管理ユニット技術者 40代男性 (JICA本邦研修(気候変動)に参加経験あり) ・同ユニット同僚 2名 男性 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 515 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ケニア	上水道			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	25 / 3	
				2	25 / 4	
				3	/	
年 月 から						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 水灌漑省 2) 配属先名 (日本語) エンブ上下水道信託会社 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 東部州エンブ県エンブ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はケニア全国に120余りある水供給会社(WSP)の一つで、同国東部州の州都エンブとその周辺地域に対する給水と下水道サービスを行っている。同会社は2002年に敢行された同国の水セクター改革を経て、2005年に民営化され、現在、独立採算制を取り入れ操業している。組織は業務執行取締役のもと経営部門と技術部門で構成されている。同会社は、わが国の無償資金協力により取水施設・浄水施設・貯水槽(小水力発電設備を含む)等が整備され、2012年より整備された施設は本格的に稼働した。同会社の2011年度の年間予算は約1億4千万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、わが国の無償資金協力「エンブ市及び周辺地域給水システム改善計画」により、取水堰の改修、導水管・送水管・配水管の敷設、浄水場・貯水池の建設と、必要な機材供与等一連の施設整備が実施され、2012年より稼働が本格化した。また、2011年7月よりJV(水質検査)が派遣され、浄水場の水質管理の指導にあたっている。当該JVが指導している、現地地で求められる適正な水質を維持するために必要な検査及び水質モニタリングは、徐々に定着しつつある。派遣されるSVは、ケニアにおいては先進的なWSPである配属先において、配属先スタッフとの現場での協働を通して、安全な水の安定給水を実現するための、継続可能な浄水プラントの運転管理手法と施設の維持管理手法の定着を目的とする活動に取り組む。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 実際のプラントオペレーション(施設の運転と維持管理・各種データの管理)を通じ、現地の事情に即した適正、かつ、安全で高効率なプラントオペレーションの実現とその定着を支援する。 ・設備管理に対する支援(施設・機器の維持、管理等) ・オペレーション管理に対する支援(生産管理、給水管理、水質管理等) ・コスト管理に対する支援(施設、生産、給水、顧客等のデータ管理とその活用等) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 浄水プラント(緩速濾過方式)、PC、プリンター、コピー機 4) 配属先同僚及び活動対象者 業務執行取締役(50代男性、専門分野で20年以上の業務経験) 技術管理責任者(40代男性、専門分野で15年以上の業務経験) 浄水場運転管理者(20代男性、専門分野で1年以上の業務経験) ラボ技師 (40代女性、専門分野で15年以上の業務経験)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚と同等の学位が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: プラント運転経験に必要 ・ 水道施設管理技士2級 理由: 本邦での業務資格に準じる		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
地域概況	気候(高原) 気温(10~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
特記事項	水道施設管理技士資格は、平成16年開始の比較的新しい資格のため、資格を有さない場合でも、十分な経験があれば条件緩和可能。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 233 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B121)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
グアテマラ	下水道				1	25 / 3	日系/短期
					2	25 / 4	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 大統領府企画庁 2) 配属先名 (日本語) パナハッチェル市役所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ソロラ県 パナハッチェル市 JICA事務所の所在地(グアテマラ市)から 西 方向 150 Km 主要都市(ソロラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 パナハッチェル市役所は人口17,000人を有する同市の行政全般を司る機関である。同市役所内に設置されている。環境課では2人の職員(行政担当)と6人の下水処理場担当技官が新設された下水処理場に関する業務を行っている。下水処理場に関してはこれまで設置されていなかったが、2012年に当国の地域振興庁が米州開発銀行からの融資を受け、同市の約50%の地域に対応する施設を建設し同市に引き渡されたため、今後はこの下水処理場の運営も同配属先の業務の一つとなる。同市役所の年間予算は230万米ドルである。						
要請概要	1) 要請理由・背景 世界一美しいと言われるアティラン湖の湖畔に位置し、人口17,000人を有する同市であるが、これまで正しい下水処理が行われてこなかったため、同湖の水質汚染を防ぐための下水処理場設置の必要性が検討されてきた。この度、地方振興庁が同市に下水処理場の建設を行い、2012年10月には同市に引き渡された。しかしながら、同下水処理場の管理・運営には、季節によって変化する排水の量や気候などによって左右される稼働に必要な電力・化学薬品などの適切な使用量の判断が不可欠であるが、同市役所ではこのような下水処理場の運営は初めてとなるため現有的人材では管理・運営が困難となる。地方振興庁による3か月(2012年12月から)の簡易の技術指導は受けるものの、年間を通して適切な電力量・化学薬品使用量が判断できる人材を育成する必要性を認識し、今般水質検査に係る知識・経験を持つボランティアの要請がなされた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 2012年10月に新設された下水処理場の管理・運営につき下記の活動を行う。 ①下水処理場に勤務する職員からの聞き取りや実地調査を通じて、処理排水の水質検査にかかるパラメーターの確認を行う。 ②下水処理場稼働に必要な電力量や化学薬品量を季節ごとに分析し、配属先に報告する。 ③担当職員等に対して、適切な稼働のための知識・技術等を指導する。						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一般(事務机、パソコン、印刷機など)、週2日の通訳(英語・西語)						
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 市長 男性 40代 環境分野担当 副市長 男性 40代 市役所職員 180人(清掃員なども含む) 環境課長(C/P) 男性 30代 その他職員(行政担当)1人と下水処理場担当技官6人		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づく助言を行う 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高山) 気温(5~25 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 13 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B121)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ジャマイカ	下水道				1	25 / 3	日系/短期
					2	25 / 4	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 水・国土・環境・気候変動省 2) 配属先名 (日本語) 国家水委員会 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、全国の主要な上下水道事業を行う公営企業である。2011年の収入は約165億円。同国の上下水道の普及率はそれぞれ人口の70%と14%。従業員2100名。140の井戸と260か所の河川取水施設及び酸化溝、活性汚泥、安定化池を含め下水処理施設は全国で約68か所ある。中央下水処理場は5か所。過去に上水道施設への円借款、技術協力プロジェクトを実施した。また、米州開発銀行からの融資も受けている。JICAの研修に参加した職員が多く、ボランティアとの協働が期待されている。2013年4月から10か月間短期ボランティアが要請されている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 下水処理場と下水道の建設計画、設計、建設、運転、維持管理などプロジェクト実施にかかる組織的な能力向上を図ることは常に必要とされている。そのため設計、建設、下水処理場運転、維持管理、及び企画部/課に対して総合的な見地から能力向上に貢献できるコンサルタント/アドバイザーが要請された。ボランティアの協力により、配属先のサービスが向上し、下水処理施設の維持管理が改善されることが期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 着任後、配属先と協議して、主に以下の業務から活動内容を決定する。 1. 下水処理場の再評価、改善計画、建設計画、処理場のデザインなどについて専門的なアドバイスを提供する 2. 設計思想、建設特性、労働安全の見地から施設の運転、維持管理について世界標準のベストプラクティスを検索し、基準となる手順を作成する。労働安全については現行の工場労務にかかる法律の研究が必要となる 3. 下水処理場運転員の能力評価と評価チェックリストの作成、運転・維持管理マニュアルの作成、更新 4. 下水処理場の運転、維持管理、検査、監視に関するセミナー、ワークショップやトレーニングを企画運営する 5. 既存の地理的評価システムや資産評価システムと関連した運転、維持管理の報告様式を作成する 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Bentley suite-sewerGEMS, Sewage Flow Meter, GIS/AMS Data base, CIS、その他機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 40から60名のスタッフと関わる。年齢は20代から55歳まで。高卒から大学院卒業まで幅広い。職位は処理場の管理者、チームリーダー、スーパーバイザー、技師、技術管理職 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 高度で専門的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 事業について深い経験が必要 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22-32 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 506 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B121)			JOCV/SV	日系/短期	
エチオピア	下水道	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 /	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) アジスアベバ市政府
	2) 配属先名 (日本語) アジスアベバ上下水道局 ○ NGO
	3) 任地 アジスアベバ JICA事務所の所在地(アジスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 首都の上下水道の運営管理を行うアジスアベバ市政府の上下水道局。近年、世界銀行等のドナーの資金支援を得ながら多数の新規事業に取り組んでいる。同局には日本でJICAの研修を受けた職員が多く、ボランティアの持つ日本での経験や技術に対する信頼と期待が大きい。2012年12月現在、SV1名とJV1名が活動を行っている。年間予算は2010年度で約7億ブル(約35億円)。2013年1月に新たに無収水対策と電気施設設計のSVが赴任予定である。

要請概要	1) 要請理由・背景 人口増加と都市部拡大が続くアジスアベバ市の下水処理率は10%に満たず、下水道を整備して環境を改善する事が急務である。2020年に下水処理率を50%まで改善する事を目標として、既存の下水処理場に加えて、新たに市の東部と南部に3か所の下水処理場建設のプロジェクトを進めている。しかし配属先には経験を有する技術者が不足しているなど多くの課題がある。現在、急速に進められている多くのプロジェクトの中では、どの下水処理方法を選択するか重要な局面を迎えているものもある。処理場建設では世界銀行から前段処理法にUASB法を採用する事で融資は承認されたものの、後段処理法の再検討を求められている。これまでSVの支援により、後段処理法としてDHS法の導入を支援していたが導入までには至っていない。今後変わりゆく状況の中で、引き続き日本で下水道施設計画の経験を有する技術者の協力が必要である為、後任の要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 下水処理場建設計画や既存の処理場の拡張計画に関する技術的な指導や助言 2. 配属先が実施している、またこれから実施するプロジェクト(施設建設・拡張、下水道整備、排泥除去サービス、排水再利用等)に対し、計画や運営等に係る指導や助言 3. 施設運営に関する指導や助言(適切な維持管理、運営方法等) 4. 配属先スタッフへ、ボランティアが有する経験の共有、ワークショップの開催等
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース
	4) 配属先同僚及び活動対象者 次長(男性40代) 同僚10名(男性20代から30代) 今後スタッフを増員し30名体制による事業実施を計画している。

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 専門技術、経験等要する為 上下水道事業体での実務経験 理由: 専門技術、経験等要する為	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(温帯気候) 気温(10~30 ℃位) 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし)
------	--

特記事項 最先端技術というよりも当国の事情に合わせた伝統的な水処理技術、またコンストラクションマネジメント能力等が求められる。

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
インドネシア	廃棄物処理			年 月 から	日系/短期
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 工業省 工業研究開発局 2) 配属先名 (日本語) バンダルランポン工業研究・標準化センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ランポン州バンダルランポン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 北西 方向 200 Km 主要都市(バンダルランポン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 当センターはバンダルランポン州内の農産物加工業振興のための研究・開発施設であり、食品・飲料の成分分析、標準化、認証、工場排水分析、研修等の業務を行っている。スタッフは51名(修士7名、学生24名、その他18名)であり、内4名が研究スタッフである。				
要請概要	1) 要請理由・背景 当州はオイルパーム、キャッサバ、砂糖の生産量が多く、零細企業による関連の農産加工業が行われている。オイルパームからの製油、肥料やキャッサバからの製粉、メタンガスなどの生産が行われているが、それらの生産活動に伴う産業排水、廃棄物、大気汚染が深刻化していることから、生産者等への啓発等対策が必要となっている。すでに初代SVが派遣中であり、周辺の農産加工業の工場を訪問調査するなどして各種助言をしているが、継続的な協力が必要なことから、後任が要請されるに至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 産業公害管理について、以下の活動を行う。 ・州内農産加工業者の調査を行い、問題を抽出する。 ・産業排水対策への助言をする。 ・加工業者への研修を実施する。 ・公害防止への検査管理体制について立案する。				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 原子吸光分析装置(UV-1800、Shimazu)、ガスクロマトグラフィー(GC2014、Shimazu)、高速液体クロマトグラフィー(CT 06859、Perkin Elmer) 4) 配属先同僚及び活動対象者 研究職4名(修士30代~40代)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 現地スタッフとのバランス ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 活動に必要な最小限の年数 理由:			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B131)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
ネパール	廃棄物処理			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 連邦制・地方開発省 2) 配属先名 (日本語) 廃棄物管理技術サポートセンター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南 方向 1 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、当初はカトマンズ盆地3郡(カトマンズ郡・ラリトプール郡・バクタプール郡)における廃棄物処理について統括していたが、地方自治法の改定により廃棄物処理は各自治体に委ねられ、現在は、地方自治体の廃棄物収集・処理技術支援、政策・計画の策定、市民協力推進のための支援、調査研究などを行っている。2004年から2005年にかけてJICAによる「カトマンズ盆地都市廃棄物管理計画調査」が実施された。						
要請概要	1) 要請理由・背景 カトマンズ盆地の急速な人口増加により各自治体から排出される廃棄物は増加の一途を辿って、その処分及び管理に対する課題が山積している。カトマンズ盆地郊外にある最終処分場もいまや飽和状態となっており、上述のJICA調査のほか、2006-2007年にかけてJICAによる技術移転セミナー、処分場の運営改善指導が行われてきた。しかしながら急速な廃棄物増加に処分場の容量が追いついていないことから、コミュニティーレベルでの更なるゴミの減量、行政レベルでの廃棄物処分場の適正な運営管理指導を行うことが出来るボランティアの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先と連携する自治体が行う以下の活動に関して支援を行う: 1.専門分野に応じて廃棄物管理全般に関する助言を行い、関連スタッフの能力強化を図る。 2.廃棄物管理における実施計画策定などに対して助言や調整を行う。 -コミュニティーレベルでの廃棄物3R(減量、再利用、再資源化)啓発活動 -関係者対象のトレーニング、ワークショップ等を通じた人材育成 また、他配属先の環境系ボランティア等と連携しながら、連携自治体に対して廃棄物処理に関する助言を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC 4) 配属先同僚及び活動対象者 チーフ(50代女性)1名 専門スタッフ(30~40代男性)3名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 現実に即した助言が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 4 日

要請番号(SL 115 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ミクロネシア	廃棄物処理			1	25 / 4	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) コスラエ州政府 2) 配属先名 (日本語) コスラエ州公共事業局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コスラエ州トフォル JICA事務所の所在地(ポンベイ州コロニア)から 南東 方向 500 Km 主要都市(コスラエ州トフォル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 コスラエ州の道路、公共建造物、上下水道等の設備の点検・修理・保守管理を実施するとともに、州都トフォルにある最終処分場の管理を行っている機関。年間予算は、28万米ドル/約2400万円。日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力で2008年11月に最終処分場(福岡方式)が完成し、運営を開始。2010年5月、再び同協力事業によって、2台のゴミ収集車が供与された。現在、長期SV(2012年3月～2014年3月)が活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 短期SV(2010年8月まで派遣)は、最終処分場でのゴミの分別方法や、供与されたゴミ収集車による分別収集などの廃棄物処理に係る助言等を中心に活動を行い、州の廃棄物対策支援の基礎を固めた。また、現在活動中の長期SVは、最終処分場の維持管理改善策を提案し、関連機器の導入を進めている。ゴミ処理システム改善の一例として、老朽化した医療廃棄物焼却炉を見直し、新たな複合型焼却設備の導入に向け、具体的な計画を進めている。一方、限られた予算と外国の資金援助を受け、これらの設備や機器の導入を進めなければならない。このため、同SVの活動期間中に、人材育成を含めた上述の計画を終了することは困難であることから、引き続き協力してほしいとの要請が出された。配属先は、ゴミ収集車をはじめ、道路や公共施設の保守・管理用にブルドーザーなどの重機を所持しており、これらをどのように廃棄物対策に活用するかを考えることになる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) コスラエ州の廃棄物処理状況を調査し、問題点を抽出。その改善に向けた必要な対策を指導・助言する。 1.最終処分場(福岡方式)で、排水処理法や、持ち込まれるゴミの分別方法等の指導を行う。 2.ゴミ収集車等による同処分場へのゴミの収集を、更に進めるため、4つの全自治体が参加出来るよう基盤整備(収集車の運営費用の捻出方法や各家庭のゴミ収集方法など)について助言を行う。 3.州立病院の医療廃棄物が、最終処分場に持ち込まれないように、処理方法の提示や啓発活動を支援する。 4.同僚や住民に対する環境教育活動(ゴミの分別・収集、4R等)を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 機、いす、電話 4) 配属先同僚及び活動対象者 同局には33名の高校・短大卒の20歳代～60歳代の職員が勤務。この中から、最終ゴミ処分場のモニタリングや不法投棄防止のための職員を配置。ゴミの分別方法などの環境教育は、一般市民向けにも行う。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:現場での経験実績が必要 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(海洋性熱帯) 気温(30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 215 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
コスタリカ	廃棄物処理			2年	1 25 / 3	年 月 から
				1年	2 25 / 4	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 厚生省 2) 配属先名 (日本語) 厚生監督局 基準課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンホセ県サンホセ市 JICA事務所の所在地(サンホセ県サンホセ市)から 西 方向 3 Km 主要都市(サンホセ県サンホセ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先である厚生監督局は、基準課と検査課に分かれている。基準課は、食品衛生管理規制、医薬品安全規制や管理を行い、また、廃棄物(普通ごみ、危険ごみ、特別ごみ)、や建設廃棄物不法投棄、生活排水再利用の規制管理を担当しており、すべての人々が快適で安全な環境で生活できるような取組み、法規制、管理をめざしている。また、厚生省は、「廃棄物処理に関する監督・評価・検査を行うと共に、廃棄物の適正な処理を推進するための規則を設ける業務」を目的として廃棄物総合委員会を設置している。厚生省職員 3,600名。基準課には18名、検査課には26名の職員がいる。厚生省予算は、US\$228千万。					
要請概要	1) 要請理由・背景 コスタリカでは「廃棄物総合的処理法」が2010年に施行されたことに伴い、「電子機器廃棄物の総合的処分にに関する規則」も発効している。同規則は、生産者または輸入業者に電子機器の適切な処分の義務を負わせるものであるが、電子機器廃棄物(パソコン、テレビ、電池、デジタルカメラ、カメラ、スキャナー、充電器、プリンター、FAX、携帯電話等)の回収がシステム化されていない現状では、生産者・輸入業者はその義務を果たしておらず、結果、電子機器廃棄物の投棄問題は同国で深刻な問題になっている。そこで、配属先は電子機器廃棄物回収のシステム化と実施を通じて、廃棄物投棄問題の解決を目指すため、同課題に関する日本の知見を有する人材を求めており、今回ボランティアの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 廃棄物総合委員会のメンバーと共に以下の活動を実施する。 ①コスタリカにおける電子機器廃棄物処理状況の診断と分析をし、この分析データ結果をシステム化するための助言を行う。 ②日本における「電子機器廃棄物」処理の法律や基準、回収システム、廃棄物処理の業者への委託制度、生産者と輸入業者の事業関係に関するセミナーの実施と、電子機器廃棄物処理回収のシステム化に関する助言・指導(委託業者・生産者・輸入業者の関係性を考慮)。 ③電子機器廃棄物処理システムの管理方法と手続きに関わる計画策定の助言と指導。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、プリンター、電話、インターネット 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚: 男性(40代後半/厚生監督局基準課配属であり、下記廃棄物総合委員会のメンバーの一人でもある) ・廃棄物総合委員会のメンバー20名(男性11名・女性9名/平均年齢50歳、同委員会は、厚生省、環境エネルギー通信省、国立大学、NGO、民間企業の代表者から構成されている) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同レベルの学歴必須 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 業務を遂行するため必須 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯高原性) 気温(18~28 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 303 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
アルゼンチン	廃棄物処理			○ 2 年	1	JOCV/SV	年 月 から
				<input checked="" type="radio"/> 1 年	2	/	
○ 3 ヶ月	3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) カンパナ市役所 2) 配属先名 (日本語) 市役所環境局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ブエノスアイレス州カンパーナ市 JICA事務所の所在地(ブエノスアイレス市)から 北 方向 150 Km 主要都市(カンパーナ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同市環境局環境教育課は、7人の職員を擁し、同市における廃棄物の分別収集や資源化促進のため、住民(一般市民、市民団体、学校、企業等)や資源物の回収・売却等を請け負っているウエスト・ピッカー(CARTONEROS)組合に対し、環境教育や分別状況のモニタリング活動を実施している。過去、JICAを通じて技術プロジェクト「固形廃棄物減量化計画」(2008-2009)を実施しており、こうした取り組みは、同協力の成果でもある。						
要請概要	1) 要請理由・背景 同市環境局では、現在、実施している廃棄物の分別収集を市内全域に拡大することを目標としており、現場での環境教育指導者(ボランティア)の育成、教材・パンフレット等の作成等、環境教育の拡充に鋭意取り組んでいる。このため、現場での環境教育指導者の質の向上、ウエスト・ピッカーの作業の効率化及び収益性の向上のための資源物(主にプラスチック)のリサイクル促進、市環境局環境教育課の指導能力の向上等が急務となっている。こうした状況から、当該分野について十分な経験と知識を有した人材から支援や助言を受けたいとして本件要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①市環境局がウエスト・ピッカー組合に対して実施する、プラスチックを中心とする資源物のリサイクル方法の基礎知識についての啓発活動に助言を行う。 ②市環境局が実施するNGO等、市民団体等に対するリサイクルの基本知識についての啓発活動に助言を行う。 ③市環境局が実施するリサイクルを推進する企業等との連携を通じ、リサイクルのプロセス改善についての指導や助言を行う。 ④市環境局が実施するリサイクルを中心とした環境教育セミナー等の開催に対し、技術的な支援や助言を行う。(講師を含む) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、プロジェクター等 4) 配属先同僚及び活動対象者 代表責任者:男性(50代)市環境局環境教育課長 カウンターパート:女性(20代)環境教育課職員:経験4年 同僚:5名(20代~30代) " :経験4年 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:業務遂行上、必要不可欠 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上、必要不可欠 ・ 地方自治体でのリサイクル業務経験者 理由:業務遂行上、必要不可欠		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(温暖) 気温(5~35 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 17)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 4 2 / 3 /
モロッコ	港湾			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 設備・運輸省				2) 配属先名 (日本語) 国家港湾庁	
3) 任地 カサブランカ JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 85 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0 時間)		4) 配属先の規模・事業内容 2006年に設立された設備運輸省管轄の港湾庁で大小合わせて33の港湾施設の管理、運営を行っている。カサブランカ港は毎日5千台のトラック、2万人が出入りしており、管理区域内の安全、保安、輸出入コンテナの積載物の内容チェックを行っている。			
1) 要請理由・背景 モロッコ最大の物流拠点の港湾施設TangirMEDおよび拡張建設中のMed-IIIは、アメリカ貿易開発庁(USTDA)の協力を得ながらタンジェ地中海特別庁(TMSA)が管轄し、国際条約に沿った運営を行っている。 一方、既存港湾施設は港湾庁(ANP)が管理しており、カサブランカ港湾施設内の実施体制について、2002年に国際海事機関で採択された国際条約(SOLAS条約)およびそれに準拠した国内法に沿った運営になっているか、現状評価および助言指導のためボランティアの要請があった。		2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ANP本部があるカサブランカの港湾施設を主な活動先として以下の支援を行う。 ・ISPSコードに沿ったリスク評価、保安指標の設定(火災、爆発、毒物、廃棄物など)および提言 ・港湾施設内の保安措置(救助、防護、予防、対応などのシステム)の改善 ・緊急対応アセスメントとマニュアル整備に対する提言 ・研修、操練、記録、改善に対する支援			
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、PCほか		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)			
4) 配属先同僚及び活動対象者 港湾局長官 保安管理局长 カサブランカ地方港湾局長 その他地方港湾局長		資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 実践的助言が必要 ・ 1級港湾保安管理士 理由: 業務内容に準拠			
活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況 気候(地中海性) 気温(5~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		特記事項			



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 11 月 29 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ブータン	航空			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 情報通信省 2) 配属先名 (日本語) 民間航空局航空無線通信・航行課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 パロ県パロ市 JICA事務所の所在地(ティンプー市)から 南西 方向 55 Km 主要都市(パロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1981年にブータン国営航空が設立され、1983年から商用便の運行を開始した。配属先となる民間航空局は8つのセクションに分かれ、国内における安全で効果的、かつ経済的な航空サービスを利用者に提供するためにインフラ整備や空港運営、航空管制等を実施している。航空航法システム課はパロ国際空港の維持管理を担当する民間航空局内に2011年に新設された。また、ICAO(国際民間航空機関)の国際基準から乖離しないよう、各種政策の見直しも実施している。配属先では2007年4月まで空港での消防活動を指導するSVが1名、2008年10月まで航空管制通信機器のSVが1名、それぞれ活動を行った。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2011年12月から国内商用便の運航が開始され、2012年10月には南部のゲレフ市に国内3番目となる空港も開港した。今年に入ってからブータン国営航空による新機材の導入もあり、国内唯一の国際空港であるパロ空港における航空機の離発着頻度が増加している。このような状況の中、航空無線設備および航空支援機器の定期的かつ予防保全的な維持管理のため、十分な技術と知識を持った技術者の確保が重要となっている。しかし、急激に拡大する国内外の航空便に比して、安全で円滑な航空交通に必要な体制を維持するために十分な知見、能力を持っている人材が限られていることから、航空無線航行システム関連機器の維持管理に関する配属先スタッフへの技術指導、および能力向上のためにSVの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と共に以下の活動を行う。 1.無線航行システムの維持管理方法の指導 2.空港-遠隔地間の無線通信接続状態の改善 3.ネットワークシステム構成要素の設定および維持管理 4.国内におけるPBNおよびADS-B構築作業の支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ドップラー超短波全方向式無線航路標識(DVOR、Maru220、韓国Mopiens社製)、距離測定装置(DME、Maru320、韓国Mopiens社製)など 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・技術者4名(無線技術者2名、通信補助員2名) なお、技術者2名が電気工学分野で本邦研修中(2013年中旬帰国予定) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (航空無線通信士) 又は (航空特殊無線技士) ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 専門的知識が必要な為 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門的知識・経験が必要な為 ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B251)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ジャマイカ	地震			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			2年	1	年 月 から	
			1年	2		
			ヶ月	3	/	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術・エネルギー・鉱業省 2) 配属先名 (日本語) 西インド諸島大学 地震研究所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ジャマイカ唯一の地震研究所。短周期地震計を備えた12か所のステーションによる地震観測網と8か所の加速度計で地震観測を行い地震情報を収集、発表している。また、発震機構解や地震波形の解析、マイクロゾーニング、25か所のGPSステーションを活用して断層の挙動の研究を行い、震災被害予測情報を関係機関に提供することで政府の防災対策にも寄与している。地震被害の評価、地震に対する脆弱性調査、津波に関する研究や古地震学の研究も実施している。予算約26百万円。アメリカ科学財団、カナダ政府、ユネスコなどから資金提供を受けて研究を行った。防災教育担当のスタッフはJICAの研修を受講した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同国では過去に2度大きな地震(EMS IV~X)が発生し甚大な被害をもたらした。さらに、現在もジャマイカとキューバの間にあるカリビアンプレートの活動等により、年間14程度の有感地震を含め200以上の地震が発生している。そのため、政府はハリケーンに加え地震防災についても国民の啓発を行っている。当配属先は政府の防災対策へ対応する必要から、研究能力の向上を目指している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 研究所スタッフへ発震機構解、地震波形及びマイクロゾーニングについて先進的な解析手法を指導する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Mark L-4地震計、Guralp40T地震計、ArcGIS、Seisan(地震解析ソフト)など 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 40代 男性 地球物理学博士 ネットワーク技師 40代男性 電子工学修士 教育担当 40代女性 災害管理 修士 地震解析 30代男性 地学 学士 IT担当 20代男性 コンピュータ技術 学士 学生 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由: 地震学の専門家が必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 地震学の専門家が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 763 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B251)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ウズベキスタン	地震				1	25 / 3	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 日から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省 2) 配属先名 (日本語) トリノ工科大学タシケント校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 タシケント州タシケント JICA事務所の所在地(タシケント)から 西 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ウズベキスタン国内の自動車工業会や民間企業及びイタリアのトリノ工科大学の支援を受け、2009年に設立された。同国の工学分野をリードする大学の一つとして位置付けられている。現在、土木工学、情報技術、エネルギー、自動車工学の4学科を有し、ボランティアの活動する地震工学研究室は土木工学科に属する。学生数は約700名、教員数は約70名。2013年度の予算額は500万米ドル。2011年度のJICAフォローアップ協力により、地震計などの機材が供与されている。過去にボランティアの派遣実績はない。						
要請概要	1) 要請理由・背景 大学構内には、中央アジアにおける地震工学の拠点を狙って建設されたテクノパークと呼ばれる地震工学及び機械工学用の実験棟がある。2013年度中には同実験棟に大型振動台を導入する予定で、すでに振動台据え付け用の基礎が敷設されている。さらに、2011年度のJICAフォローアップ協力により、振動計、地震計などの機材が供与され、これから本格的な研究に乗り出す段階にある。しかし、配属先では、最新の機材を使いこなして実験や研究を進めるための知識や経験を持った人材が不足しているため、既存の機材の活用法や新たに導入される予定の大型振動台を使った実験・研究などについて指導できるボランティアの派遣を望んでいる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚に対して、振動計や地震計を用いたデータ収集・解析等の指導を行う。 ・学習用の小型振動台の製作支援及び操作方法の指導を行う。 ・大型振動台の設置支援及び操作方法の指導を行う。 ・文化財(建築物)等の耐震測定の実験を行う。 ・可能であれば、学生を対象にした地震工学の基本的な講義を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 振動台実験設備(大型振動台は2013年度中に導入予定。振動台設置用基礎は完工)、振動計(CMG-5U、CMG-5TDE)、地震計(CMG-3TDE) 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:男性3名 ①テクノパーク所長(40代)、②地震工学研究室長(30代)、③ エンジニア(50代) カウンターパートは、JICA研修経験者でもある地震工学研究室長。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ウズベク語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (博士) () 理由: 同僚が全員博士号取得者の為 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 応用的指導が必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 021 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B301)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
カンボジア	土木				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 労働職業訓練省 2) 配属先名 (日本語) プレアコソマ総合技術専門学院(PPI) <input type="radio"/> NGO						
概要	3) 任地 プノンペン市郊外 JICA事務所の所在地(プノンペン市中心部)から 北西 方向 7 Km 主要都市(プノンペン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)						
要請	4) 配属先の規模・事業内容 1965年に職業訓練校として設立され、内戦後1981年にソ連の支援で再度開校した。その後、1992年にILOとADBの支援で職業訓練センターとなり、2001年に現在の総合技術学院となった。工業高校、工業短大、工業大学、商業短大、商業大学のコースが併設されている。学科は、電気、電子、土木、ITの4つがある。教職員数は100名、学生数は工業系1900名、商業系600名である。現在、電気、電子、土木各科に1名のSVが派遣されている。また、JICAの第三国研修やそのフォローアップで機材供与も実施されている。						
概要	1) 要請理由・背景 これまでにPPI土木科には、5名のシニアボランティアが派遣され、それぞれに専門分野(測量、地質学、橋梁、土質試験など)を指導してきた。PPIの教授陣の大半は国内でも有数の大学を卒業したエリートであるが、現場経験がない。そのため、実践的な知識を実技指導等を通じて助言できるSVが求められている。また、学生の大多数が入学後初めて英語を学ぶことになるため、SVが学生に対して英語で授業をすることが難しく、本配属先講師のクメール語による授業が基本という状況がある。よってSVが学生に直接教える際には、事前に担当教員との綿密な打ち合わせをし、対象学年や内容を決定する必要がある。						
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 土木工学科主任の助言のもと、以下の業務を実施する。 ① カリキュラムの概要や学内にある機材や教員のニーズを確認する。 ② 教員に実験(水理実験、土質試験、コンクリート試験、各種材料試験)を教員に指導する。但し、故障している実験、実習器機もあるため、教員と協力して、柔軟な対応が必要となる。③ 教員に、PCやプロジェクターを利用して、技術や理論の講義を実施する。④ 教員からの質問に対して個別に指導をする。⑤ 教授陣からの要請があれば、担当教員との連携のもと授業の一部を実施する。ただし、原則として配属先講師と同じ科目をSVが通年で担当することはない。						
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 スランプ試験機、コンクリート圧縮試験機、鉄筋引張試験機等、粘度分析器、直接せん断試験機、CBR試験機、等						
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科主任(40歳代、男性)、他土木工学科の教員12名(経験年数は4年～7年程が大半。うち、3名が修士号)。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (土木工学) 理由: 教員への指導となるため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 実技重視の指導になるため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22～38℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B301)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ジャマイカ	土木				1	25 / 4	日系/短期 年 月 から
					2	/	
		3	/				

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 運輸・公共事業・住宅省
	2) 配属先名 (日本語) 国家公共事業局 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全道路の約19%を占める総延長約5000kmの幹線道路ネットワークと排水路の建設計画、施工、維持管理、修理に責務を負っている。また、治水システムの建設計画や河川の保全や海岸の護岸工事、さらに政府所有ビルの改修や維持管理の責任を持つ。年間予算約13億円。2010年に始まった中国からの約340億円の借款による道路建設プロジェクトは全島に渡り、2015年までに主要道路の整備が進む予定である。配属先はこのプロジェクトの管理を担当している。土質工学と排水対策の2代目SVがそれぞれ活動中。

要請概要	1) 要請理由・背景 洪水の影響を軽減する目的で洪水制御の基本となる治水マスタープランがほぼ完成したが、各地の治水工事は本格的に始まっていない。そのため将来の治水工事に向けて、組織の能力向上のために水理学を専門としたボランティアが継続して要請された。また、配属先から国家水委員会の水道部門と水資源開発公社への協力として、効率的な貯水池や水路などのインフラ建設の計画やデザインについて技術的支援をすることも期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.雨水排水路、洪水制御システム建設プロジェクトチームへの支援 2.国家水委員会の水道部門への集水・給水施設建設計画の支援 3.水資源開発公社への水理学的技術支援 4.既存治水施設の評価と改善のための提案 5.プロジェクト計画作成時の地形図、地質図データの分析 6.地図、設計図、航空写真及びその他のレポートの評価 その他関連業務を含め、活動内容を選択しつつ指導する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 GIS、RiverCAD, StormNET, AutoCAD, JmaicaII(Hydrologic Excel Software)などのアプリケーション
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:水理学エンジニア 30代 男性 修士 活動対象者:土木技師 20代~30代

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由: 高度な専門知識が必要 ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 高度な専門知識が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 14 日

要請番号(SL 551 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B301)			JOCV/SV	日系/短期	
ザンビア	土木	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 運輸・公共事業・調査・通信省
	2) 配属先名 (日本語) ザンビア建設協議会 ○ NGO
	3) 任地 ルサカ州ルサカ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ルサカ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ザンビア建設産業の推進及び発展を目的に設立された政府機関。各種材料試験を請け負うとともに、建設業者及びコンサルタントの能力向上支援を目的としてConstruction School(建設関連訓練校)を運営している。同訓練校は、民間の中小企業の従業員を対象に、土木技術、施工管理、品質管理等の授業を行っている。

要請概要	1) 要請理由・背景 同協議会に併設されている建設材料試験所(Laboratory)にはノルウェー政府からの支援で試験機材が供与されているものの、それらを活用できる人材が不足しているため十分に活用されてない。ボランティアには、試験機材を適切に活用できるよう、試験所スタッフを育成することが求められる。また、同協議会は、2015年にSADCAS(The Southern African Development Community Accreditation Service)の認定によるISO17025(試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項の国際標準規格)の資格取得を目指しており、前任者はそのためのマネジメントシステムマニュアル、手順書、試験マニュアルを作成した。ボランティアにはISO17025の認定のために、各種マニュアルに沿った試験業務が出来るよう、同協議会スタッフへの指導が望まれる。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・道路・橋梁工事に関する各種試験の実施(コンクリート、アスファルト配合試験の知識が必要) ・建設材料試験所の整備及び検査機材の保守管理 ・建設資材試験所スタッフの育成 ・ISO17025マネジメントマニュアルに沿った試験技術の指導	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一軸圧縮試験機、スランプ試験機、CBR試験載荷機、ダイヤルゲージ、濾過装置、ダイナミックコーンペネトロメーター、コーンペネトロメーター、デジタルテストハンマー、カリパス、水槽、ラッフルボックス等	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性、50代、院卒) ・同僚(男性、40代、実務経験15年) ・建設材料試験所スタッフ(女性、30代)	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門知識に基づく指導必要 ・ 土木(施工管理、品質管理)の実務経験 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(サバンナ) 気温(5~35 °C位) 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし)
------	---

特記事項	
------	--

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B311)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ジャマイカ	河川・砂防			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 水・国土・環境・気候変動省 2) 配属先名 (日本語) 水資源開発公社 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は水資源を持続的に利用するために水資源の配分、利用規制、保全等について責務があり、水文学的データの収集・分析、マスタープランに沿った水資源調査・評価・開発計画、および環境モニタリングと影響評価を主な業務としている。133か所の河川水、1802の地下水観測点を定期的にモニターしており、管理しているデータベースには1950年代からの測定データが集積されている。水資源の汚濁防止目的に水質の検査も定期的実施している。また、防災の面での活動は洪水警報システムの設置と洪水マップの作成などがあり、国家防災庁へ情報を提供している。年間予算は約1.4百万米ドル。EU、UNDPなどから協力の実績がある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ジャマイカは、毎年のようにハリケーンや大雨で土砂崩れ、洪水の被害を蒙っている。そのため、複数の組織が防災やインフラ管理のために正確な水文学的情報を必要としている。同配属先は水文学的データを収集・管理・分析し、各機関へ提供する責務を負っているが、防災に必要な基礎的な知見を集積しているものの、技術者の経験不足や資金不足などから組織としての能力が伸び悩んでいる。そのため治水管理について水文学的解析、水文学的モデリングの技術強化を図るべく、経験の長いボランティアが要請された。防災については国家防災庁、国家公共事業局もかかわっており、それぞれに土木関連のSVが派遣されているので、ボランティアを通じて各機関の連携が進むことも期待される。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.河川水量、降水量データからの洪水レベルのシミュレーション手法を技術者に指導する。 2.洪水予測マップの作成を支援する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、オフィスソフト、モデリング用ソフト、Arcview など 4) 配属先同僚及び活動対象者 主任水文学者 同僚は25歳から60歳までの男性で、学士、修士の資格を持った約51名、平均経験年数は5年。 指導対象者は研修生で学士、修士を持っている。					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 同僚や対象者が男性のため ・学歴 (修士) (土木工学) 理由: 指導する対象の学歴が高い ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 高度な実務の指導が必要 ・ GISの経験 理由: マップ作成に必要			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~ 32 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 212 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B331)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ベリーズ	都市計画			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 観光文化省 2) 配属先名 (日本語) テクニカル・ユニット <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ベリーズシティ JICA事務所の所在地(ベリーズシティ)から 南 方向 1 Km 主要都市(ベルモパン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 観光文化省の2013年度予算は約160万USDドルで、職員数は14名である。うち5名のテクニカルスタッフで国全体の観光政策、開発計画の立案策定を行っている。省の監督下には政府観光局(BTB)があり、実質的な観光産業振興のための業務全般を担当している。同じく省下に文化歴史研究所(NICH)があり、文化遺産の保護研究と観光分野での活用促進を行っている。援助は米州開発銀行(IDB)が、持続可能な観光開発としてプロジェクト単位で融資を実施している。JICA関連では「持続可能な観光開発」分野に研修員の派遣実績があるほか、民間業界団体に2010年から観光業のSVの派遣がある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ベリーズはGDPの約25%が観光収入という観光立国で、近年の観光産業の発展はめざましく、ここ10年で観光客数は4倍、観光収益も大幅な伸びをみせている。2012年10月、政府は「持続的観光総合計画(以下計画)」を策定し、2030年までの開発計画の指針を提示した。計画では、①独自で多様なプロダクトの開発、②総合的な観光地の開発、③産業全体の質の向上、④関係者の能力強化、⑤資金獲得の先取の5つを戦略としている。省としては、総合的な観光地開発の一環として、各都市の都市機能の回復と観光資源としての活用を推進したい意向がある。国内西部の一自治体で計画の指針に従い、町の開発計画の準備を始めたことを受け、国内すべての自治体で同様の開発計画策定を推進するため、JICAボランティアの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) テクニカルスタッフと協力し、国内9つの地方自治体関係者と協働し、観光開発を主眼とした都市計画策定に協力する。 ・自治体への技術的アドバイス(建築物調査、保全対象物件の選定など)と保全計画の策定 ・都市計画分野から、「持続的観光総合計画」具体化のための関係者へのアドバイス ・各種プログラム実施のための適切なモニタリング方法構築へのアドバイス ・サイト開発のための地方自治体、観光地関係者との連携、調整に係るアドバイス ・歴史的建築物、保存対象建築の修繕、維持に関するアドバイス 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 公用車(必要に応じ)、コンピュータ(AUTO CAD)、スキャナー、プリンター、コピー機 4) 配属先同僚及び活動対象者 ツーリズム・オフィサー(テクニカルスタッフ) 5名(男女、20~50才代) 観光省インターン 常時2~4名(男女、20~30才代) 各自治体の都市計画部門担当者 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚の経験以上であるため ・ 建築士 理由: 歴史的建造物等の調査のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯・亜熱帯) 気温(20~35 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	ベリーズシティの治安状況が悪化傾向のため、高い安全意識が必要。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 333 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B332)			JOCV/SV	日系/短期	
ウルグアイ	造園	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) モンテビデオ県庁
	2) 配属先名 (日本語) モンテビデオ県庁公共地・建設・住宅課 緑地サービス ○ NGO
	3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 モンテビデオ県庁公共地・建設・住宅課緑地サービスは、県内の街路樹、公園の管理等を行っており、日本庭園(平成苑)を管理・運営している。同庭園は2001年9月、日ウ修好80年を記念して竣工された広さ約2500㎡、回遊式の庭園で市民から広く親しまれている。これまでに長期SV3名(職種:造園)、短期SV2名(職種:都市計画、日本庭園建築)が派遣され、庭園の改善・整備及び維持管理に協力してきた。

要請概要	1) 要請理由・背景 これまで派遣されたSVにより、同庭園全域における手作業での改良工事が引き継がれてきた。2012年9月まで派遣されていた長期SVは担当の県庁職員とともに、中高木の生育への対処、枯損木撤去後の造作等を行いながら、庭園管理全般の技術向上に向けた総合的支援を行った。また、約80mの竹垣施工、飛び石の据付、園路工事、延べ段の設置、上木・下木の植え付けなどの改修工事も行い、同庭園の一連の改修工事に完了の目処をつけた。今後は、県庁スタッフのみで同庭園の維持管理を行っていくことが喫緊の課題であり、ボランティアによる維持管理・整備技術の一層の定着が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本案件の先行案件としてH24年度第4回短期募集で短期案件(6か月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。 1.担当の県庁職員とともに、中高木の生育への対処、枯損木撤去後の造作等を行いながら、現地スタッフのみで十分な庭園管理が行えるように、庭園管理全般に必要な技術指導を行い、その定着を図る。 2.改修工事は一応の完了を見るが、さらなる改修工事の必要性等があれば、関係者に対して提案を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 梯子、庭木用鋏等、造園機材一式。個人用の腰道具(剪定鋏、のこぎり、黒シュロ縄等)程度は持参した方がよい。
	4) 配属先同僚及び活動対象者 緑地管理主任1名:農業技師、男性40代 作業員1名:男性20代

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	活動上の単車/自転車の必要性
	・ 免許 () 又は ()	<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	・ 性別 () 理由: ()	現職教員特別参加制度
	・ 学歴 () () 理由: ()	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(温暖) 気温(3~34 °C位)	電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)	水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記事項	
------	--

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 16 日

要請番号(SL 475 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B332)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
チュニジア	造園			○ 2 年	1	JOCV/SV	年 月 から
				● 1 年	2	/	
○ ヶ月	3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 2) 配属先名 (日本語) チュニス市役所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チュニス県チュニス JICA事務所の所在地(チュニス)から 北 方向 0 Km 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるチュニス市役所は、人口約70万人のチュニス市民に対し、一般的な行政サービスを行っている。中でもボランティアが配属される公園・緑地管理課は同市の緑地・公園の造成や維持管理及び鑑賞用植物の栽培などを行っている。同課の年間予算は2000万円。外国からの支援実績はなし。2004年から2007年まで別機関である国立環境保全局(ANPE)に2名のSVが派遣され、同課が管理する日本庭園の設計・建設に協力した。						
要請概要	1) 要請理由・背景 チュニス市内の「地中海公園」の中に位置する「日本庭園」は、国立環境保全局(ANPE)に派遣されていたSV2名の協力の下に、2006年に「日本・チュニジア国交樹立50周年」を記念して、開園計画の第1フェーズ終了後に開園された。しかし現状は、日本庭園の維持・管理に係る正しい知見を持った職員や造園士はおらず、管理・手入は適切に行われていない。その様な背景の下、今回の要請は、同計画の第1フェーズ終了後の評価及び計画の見直し、また第2フェーズ計画策定に向けた支援を行うことを目的として上げられた。なお、同国においては、観光業が主要産業の一つであるため、同市中心に位置する「日本庭園」が適切に管理され広く市民から有効活用される様になれば、観光資源の一つとなることも期待できる。						
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同市役所の公園・緑地管理課において、C/Pと共に以下の業務を行う。 ①チュニス市内の「日本庭園」プロジェクトに係る第1フェーズの評価及び修正 ②上記を基にした第2フェーズ原案の作成とそれに係る概算予算の算出 ③日本庭園の適切な維持・管理に係る助言及び指導						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務室・パソコン・電話・造園に必要な道具一式						
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・緑地管理課の職員:12名(男性9名、女性3名) ・C/P:造園士1名、技術士2名(男性、40代)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由:実施計画の実行能力が必要 ・ 造園施工管理技士 理由:専門性を求められるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B341)			JOCV/SV	日系/短期	年 月 から
インドネシア	建築	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	
					2 25 / 4	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省 研究開発局	○ NGO
	2) 配属先名 (日本語) 人間居住研究所	
	3) 任地 西ジャワ州バンドン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 200 Km 主要都市(バンドン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 1953年に発足した当研究所では建築関係の様々な実験、材料単価調査、建築関連国家技術基準の策定、それらに関する研修を実施している。1986年から2007年までJICAは個別専門家(建材開発、住宅政策)、プロジェクト(集合住宅適性技術開発)、研修員受入等の協力を実施してきた。職員数は約200名(約35%が学士、約20%が修士、博士が約2%)である。	

要請概要	1) 要請理由・背景 人間居住研究所の建築構造分野では、民間で開発した新しいタイプの構造の安全性の確認実験の他、当国内で問題となっている小規模住宅の構造実験を実施しているが、その結果を用いての新たな解析手法、現場で適用可能な具体的安全検証手法の開発、更なる研究開発への足掛かりとするには職員の経験・能力不足が課題となっている。現在、初代SVが派遣中であり、建築構造研究・解析手法研究・開発の経験をスタッフに指導している。同研究所は引き続き、後任のSVによる指導が必須であるとの理由から要請に至った。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SVは以下の①～④の活動を行う。 ①構造実験についての助言 ②振動台の基本設計についての助言 ③研究者の育成 ④主な活動は当センター内で行われるが、必要に応じて、①～③を配属先以外の現場で行うことも期待されている。	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 反力壁、反力床を有した構造実験棟及び構造実験に必要な計測機器、アクチュエーター、500トン万能試験機等	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 構造実験棟の土木技術者10名の内の修士レベルの30代男性数名が活動対象者となる。	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	活動上の単車/自転車の必要性
	・免許 () 又は ()	○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
	・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (建築学) 理由: 配属先の同僚は修士が多い ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 初代SVと同等以上が必要 理由:	現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(20~30 °C位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B341)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
ベトナム	建築			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術省 2) 配属先名 (日本語) 第3品質評価・測定・認定機関 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ホーチミン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1700 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 科学技術省系列の品質標準機関(STAMEQ)傘下の機関。製品・原料の試験・検査、計測機器の校正、品質認証、企業へのコンサルティング、標準化に係る研究・開発、人材養成、バーコードの普及・管理など標準化、品質に係る業務を当国南部で幅広く独立採算制の元で行っている。2008年には顧客管理、建設検査1名ずつの短期SVが、2008年と2010年には長期SV1名(品質・生産管理)が継続派遣された。2012年には電気機器標準化のJICA専門家が派遣された。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2000年以降5%以上の成長を継続しているベトナムでは、2009年の金融危機以降少し建築ラッシュは収まったものの、未だ急速なペースでビル建設が進んでいる。南部の中心都市ホーチミンでも高層ビルの建設が盛んに行われているが、高層ビル建設に伴う検査、試験、監理を行える技術者が不足している。このため、高層ビル建設の安全性、保全状況チェック、改修の評価を行う技術要員を指導できるSVの派遣が要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚と協力して、事務所内及び建築現場で以下の活動を行い、OJTを通じて同僚の能力向上を図る。 *ビルの安全性、保全状況、改修状況の検証及び監理 *構造設計の検証及び監理 *欠陥の分析と診断 *ビル基礎の検証及び監理 *工事のリスクを含む監理 *高層ビルの検査・監理の手順確立 *日本の建設会社との関係構築 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、PC等のオフィス機器。WIFI環境。 4) 配属先同僚及び活動対象者 40歳代後半の第6検査部部长を含め15名余りのスタッフは在来建設での検査・監理に熟練しているが、高層ビルでの経験は未だ少ない。検査部部长以下英語でのコミュニケーションが可能である。対象は内外の建築業者が南部地域で行う高層ビル建築となる。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (一級建築士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (建築学) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 実践的な支援のため ・設計事務所又は建設会社での勤務経験 理由: 実践的な支援のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバナ) 気温(25~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	事務所のみでなく、現場での実践的指導も求められる。					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B341)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ブータン	建築			1年	1	25 / 3
				ヶ月	2	/
			3	/	日系/短期 年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 学校教育局 学校計画・建築部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ティンブー県ティンブー市 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 北 方向 1 Km 主要都市(ティンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、ブータン国内の公立小・中・高校及び大学等教育省管轄全施設の設計・建築・改修を行う機関であり、職員は17名(男10、女7)(25歳～47歳)(院卒2、大卒3、短大12)配置されている。インド政府、日本政府による援助実績がある。またJICAボランティアは過去10年以上の長期間の派遣実績がある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当国で最大の教育施設となる教員養成大学が東部のタンガン県に建設される計画(敷地面積74エーカー)の他、小学校から高校まで校舎の建設計画が多くあるものの、建築士は1名が配置されているのみで、絶対数が不足しているとともに、同建築士の実務経験が不足していることから、日本の豊富な知見を持つ建築士から助言等支援を得るため、今回の要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・教員養成大学の校舎建設計画(敷地面積74エーカー)に関し、校舎、キャンパス全般にわたる設計を行う。 ・その他学校の新築、改修計画への助言等 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Auto CAD 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・カウンターパート:女性(28歳 院卒(建築)) ・同僚:エンジニア17名(男10、女7)(25～47歳)(院卒1、大卒3、短大13) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (建築学) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 指導する上で必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5～30 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 11 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード B342)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ブータン	建築設備				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) 医療サービス局 保健施設開発部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ティンブー県ティンブー市 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ティンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、ブータン国内の首都/地域/地方病院(29施設)と、184の診療所の設計、積算、入札、施工管理ならびに施設整備を担当している。また、施設維持管理についてのノウハウを、地方行政機関へ指導している。現在、150ベッドの大規模病院の他、地域/地方病院(ベッド数20以上)の10か所について改築計画がある。現在、JV(建築)が活動中(平成24年10月まで)。スタッフ数は30名(男25、女5)であり、内18名がエンジニア(男16、女2)(短大卒9名、大学卒8名、院卒1名)である。						
要請概要	1) 要請理由・背景 病院建設に際し、現在、設計・管理・保守のほとんどを民間に発注しており、このため設計図が納品されても、特に空調部については評価する人材がないという現状である。近年、首都と地方に大病院が建設されたが、そもそも空調設備を重視していない設計のため、空調の不具合、高いコストが問題となっている。また今後多くの病院の建築を予定しており、空調設備の設計ができる人材を自前で育成することが求められている中、JICAボランティアの持つ知見を活用すべく今回の要請につながった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・新規病院の空調システムの審査 ・ボイラーを使用する空調システムの設計 ・施設の整備・保守、機材メンテナンス等の管理に関する助言 ・スプリンクラー等の防災設備に対する助言・支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター 4) 配属先同僚及び活動対象者 エンジニア(男、40代、大卒)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (建築設備士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 現地に即した指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 11 月 29 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ブータン	電気通信			2	25 / 3	日系/短期
				3		
1) 受入省庁名 (日本語) 情報通信省 2) 配属先名 (日本語) 民間航空局航空無線通信・航行課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 パロ県パロ市 JICA事務所の所在地(ティンプー市)から 南西 方向 55 Km 主要都市(パロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1981年にブータン国営航空が設立され、1983年から商用便の運行を開始した。配属先となる民間航空局は8つのセクションに分かれ、国内における安全で効果的、かつ経済的な航空サービスを利用者に提供するためにインフラ整備や空港運営、航空管制等を実施している。航空航法システム課はパロ国際空港の維持管理を担当する民間航空局内に2011年に新設された。また、ICAO(国際民間航空機関)の国際基準から乖離しないよう、各種政策の見直しも実施している。配属先では2007年4月まで空港での消防活動を指導するSVが1名、2008年10月まで航空管制通信機器のSVが1名、それぞれ活動を行った。						
1) 要請理由・背景 2011年12月から国内商用便の運航が開始され、2012年10月には南部のゲレフ市に国内3番目となる空港も開港した。今年に入ってからブータン国営航空による新機材の導入もあり、国内唯一の国際空港であるパロ空港における航空機の離発着頻度が増加している。このような状況の中、航空無線設備および航空支援機器の定期的かつ予防保全的な維持管理のため、十分な技術と知識を持った技術者の確保が重要となっている。しかし、急激に拡大する国内外の航空便に比して、安全で円滑な航空交通に必要な体制を維持するために十分な知見、能力を持っている人材に限られていることから、航空無線通信関連機器の維持管理に関する配属先スタッフへの技術指導、および能力向上のためにSVの要請に至った。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と共に以下の活動を行う。 1.無線通信システムの維持管理方法の指導 2.空港-遠隔地間の無線通信接続状態の改善 3.ネットワークシステム構成要素の設定および維持管理 4.国内におけるPBNおよびADS-B構築作業の支援						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 無線機2機(機器の詳細は4)に記載)、Voice Communication Control System(VCCS)						
4) 配属先同僚及び活動対象者 ・技術者4名(無線技術者2名、通信補助員2名) なお、技術者2名が電気工学分野で本邦研修中(2013年中旬帰国予定) ボランティアが利用する機材の多くは米国製、韓国製である。(無線機①VHF Park Air T6 Radios、②HF Sea235, Cordent Radios社製)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (航空無線通信士) 又は (航空特殊無線技士) ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 専門的知識が必要な為 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門的知識・経験が必要な為 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況 気候(温帯性) 気温(-5~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	派遣希望	日系/短期	
モロッコ	電気通信			1	JOCV/SV	年 月 から
				2	25 / 4	
3	/					
1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省						
2) 配属先名 (日本語) マラケシュ応用科学大学					<input type="radio"/> NGO	
3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 320 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 4 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国に15校ある総合大学の1校であるマラケシュのカディ・アヤド大学に属する教育機関として2000年に設立された5年制のエンジニアコースで約300名の学生が学んでいる。毎年1万名以上の受験者から約80名が選抜されるエリート校で、電子工学、情報工学、ネットワーク・通信工学および産業工学課程が設置されており、28名の研究者が指導にあっている。2006年から電子工学で2名のSVが派遣された他、現在、電気通信で1代目のSVが派遣されている。						
1) 要請理由・背景 マラケシュ応用科学大学はモロッコの産業活性化に貢献する人材育成を目指す教育機関であるが、指導にあたる教授陣の経験不足が問題となっている。ネットワーク・通信工学課程は研究者5名(ネットワーク専門2名、通信専門3名)が指導に当たっているが、研究主任は40歳代前半と若く、重要科目(LINUXネットワーク管理、コンピューターネットワーク、第3世代・第4世代の移動通信、無線通信)の指導を強化するために経験豊富で指導力のある人材が必要とされており、SVの派遣が要請された。現在派遣中のSVは1)次世代SDH伝送技術、2)Cdma2000 1x EV-DO移動体通信技術、3)ネットワーク計画技術、IPマルチメディア移動通信技術の指導にあっている。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SVは次のいずれか一つあるいは両方の指導(研究・論文指導含む)にあたる。 1.コンピューターネットワーク(IPv6、LINUXネットワーク管理など) 2.無線通信(第3・第4世代移動通信、ミリ波伝送技術など)						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ルーター、切り替えスイッチ、CISCOファイアーウォール、DSPカード、FPGAカード、電子通信カード、ネットワーク分析器、アンテナ(円錐形、パラボラ)等						
4) 配属先同僚及び活動対象者 大学長(50歳代男性) ネットワーク・通信課程研究者(20～30歳代男性5名) 学生(21～24歳男女35名程度)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由: 大学で指導する為 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 研究、論文の指導を要する 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況 気候(半乾燥) 気温(5～35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B421)			JOCV/SV	日系/短期	
ブータン	放送技術・設備	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 /	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ブータン国営放送局
	2) 配属先名 (日本語) ブータン国営放送局 技術局 ○ NGO
	3) 任地 ティンパー県ティンパー市 JICA事務所の所在地(ティンパー市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ティンパー市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 国営放送局であるブータン国営放送局(BBS)は、ラジオ放送開始(1986年)、テレビ放送開始(1999年)を経て、現在では全国向けにテレビ(2CH)、ラジオ(1CH、ただし2CH目をH24年9月開局予定)を放送している放送局である(H24年中に民間テレビ放送局2局が開局予定)。日本からの協力は開局当初から現在に至るまで複数のスキーム(JV及びSV、専門家派遣、一般無償、草の根無償、文化無償、プロジェクト実施、本邦研修)でされている。日本以外ではインド政府の他、UNDP、DANIDA等の協力が実施されている。局内スタッフ数約310人。

要請概要	1) 要請理由・背景 当放送局は今迄の日本などによる設備や人的支援によって放送局としての基本的な体制は出来ている。また従来のニュースを主体とした番組だけでなくエンターテイメント番組や局外中継番組の制作なども大幅に増え24時間放送を開始させた。また今後はテレビもラジオもスタジオや送信設備の数を大幅に増加させる計画である。しかし技術レベルや放送に対する取組意識などが低く、制作技術面での支援やスタジオ機材や送信設備の保守や修理などのサポート、運用などの面で今後も継続して支援することが放送局として機能強化を高めるために必要である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) (1)スタジオ機材、中継設備、送信設備(テレビ、ラジオ(FM、短波))の修理、保守サポート (2)機器の操作、調整方法などの指導(映像・音声の品質の向上) (3)番組制作上のアドバイス(技術、制作、報道) (4)使用する機材としては、スタジオ機材(カメラ;SONY,GV VTR;DVCAM;、編集送出;Final Cut Pro,映像スイッチャー;GV、音声ミキサー;Sound Craft, MCR;SONY,モニター;TV;SONY)が挙げられる。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ・中継設備(OB-VAN(カメラ),SNG,E1(リンク), D-FPU ・送信設備(TV,FM(DB,Thomson),SW(50KW,100KW(Thomson)
	4) 配属先同僚及び活動対象者 Chief Engineer(放送技術部長 40代 修士)の他、 テレビスタジオ担当(16人)、ラジオスタジオ担当(7人)、送信担当(11人)、ネットワーク担当(8人)、保守担当(5人)(職業訓練校卒、短大卒/経験年数 0年~15年)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由:指導する上で最低限の経験 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 5 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ベトナム	花き栽培			1年	1	25 / 4
				ヶ月	2	/
			3	/	日系/短期	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 2) 配属先名 (日本語) ハノイ農業大学生物工学部植物遺伝子工学科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ハノイ市ザラム区(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 東 方向 20 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1956年に設立されたベトナムで最初の国立大学の一つであるハノイ農林大学を前身とし、2008年に現在のハノイ農業大学となる。作物学部、獣医学部、食品科学工学部等の農学系学部のほか、文系の学部も含む12学部と大学院からなる。学生数約21,000人、教員数約720名。生物工学部は2008年に設立され、植物遺伝子工学科、動物発生工学科、微生物工学科の3学科を持つ。欧米や日本を含むアジア各国の大学との共同研究や学生・教職員の交流を活発に実施。1998年～2004年にJICAの技術協力プロジェクト「ハノイ農業大学強化プロジェクト」を実施、2010年から「作物品種開発プロジェクト」が実施中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 植物遺伝子工学研究室は2008年に設立された研究室で、同国政府の支援により2007年～2011年にかけて分子生物学、遺伝子工学、ゲノム解析、組織培養等に関する多くの近代的機材の導入が行われた。現在は細胞工学、遺伝子工学の手法を用いた花き園芸植物の育種を目的とした以下の①～④の研究を実施している。①植物有用遺伝子の分類、保存、増殖に関する細胞工学、分子生物工学的手法の開発 ②植物育種のための有用遺伝子の発見 ③細胞工学、遺伝子工学の手法を用いた高生産性、高品質、高耐病性を持つ植物育種 ④商用植物の商業的増殖手法の開発。 同学科担当教員は7名、博士の学位を持つ教員は2名のみで他は修士または学士で年齢も若く教育研究経験も少ないことから、研究経験豊富なSVIによる支援、助言が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学部生および大学院生に対し、花き園芸植物を対象とした植物遺伝育種学に関する講義、実験、研究指導を行う。伝統的育種法から遺伝子工学、分子生物学、生化学的内容まで幅広い分野を含むため、講義、指導分野の詳細はSVの専門性に応じて配属先と協議調整する。 2. 可能であれば分子遺伝学、特にジーマッピングにかかる助言を行う。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PCRサーマルサイクラー、ゲル撮影装置、UVトランスイルミネーター、ミキサーミル、冷却遠心機、クリーンベンチ、組織培養室等基本的な機材、試薬、設備類はそろっている。 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(博士、女性、30代) 同僚教師6名(博士1名、修士または修士5、20代～30代前半) 博士課程学生1～2名 修士課程学生4～6名 研究室配属学部学生10～15名					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (博士) (理系) 理由: 院生も指導するため ・ 経験 () () 理由: ・ 大学または研究機関の実務経験10年以上 理由: 応用力が必要なため			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(温帯夏雨) 気温(10～35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
特記事項	ザラム区はハノイ市中心部からバスで1時間程度離れた地域にあるため、学内の宿泊施設または大学周辺の安価なホテルが住居候補となる。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 12 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ベトナム	野菜栽培			2年	1 25 / 4	年 月 から
				1年	2 /	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 2) 配属先名 (日本語) ハノイ農業大学稲作研究所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ハノイ市ザラム区(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 東 方向 20 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1956年に設立されたベトナムで最初の国立大学の一つであるハノイ農林大学を前身とし、2008年に現在のハノイ農業大学となる。作物学部、獣医学部等の農学系学部のほか、文系の学部も含む12学部、大学院、5研究所からなる。学生数約21,000人、教員数約720名。稲作研究所は2005年に設立され、ハイブリッド米の開発を中心に、イネ以外の多様な作物の育種も研究している。欧米や日本を含むアジア各国の大学との共同研究や学生・教職員の交流を活発に実施。1998年～2004年にJICAの技術協力プロジェクト「ハノイ農業大学強化プロジェクト」を実施、2010年からは「作物品種開発プロジェクト」を実施中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 稲作研究所は、現在JICAが実施中の「ベトナム北部中山間地域に適応した作物品種開発プロジェクト」において、イネのマーカ―選抜育種の基盤構築、イネの短期生育・高収量・病虫害抵抗性の有望系統の開発に関わっているが、それ以外にも香りの良い米、耐病性・耐暑性のトマト、耐寒性のインゲンマメ等の育種にも取り組んでいる。プロジェクト以外では伝統的育種法による研究が現在の研究手法であるが、分子育種の知識・技術の向上に伴い、より効率的な育種法の導入が必要となってきたことから、分子育種に関する経験豊富なボランティアからの協力が求められている。なお、ボランティアの活動はJICAプロジェクトとの直接的連携はなく、学生、大学院生、教員に対する分子育種に関する講義と基礎的実験指導が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生および大学院生に対し、遺伝子育種に関する講義を実施する。(多くの教員は英会話が可能のため、講義の必要に応じ教員がボランティアと学生間の英語-越語通訳を実施する。) 2. 大学院生および教員に対し、分子育種に必要な基礎的遺伝子工学実験を実施する。(稲作研究所には遺伝子工学実験に必要な機材は無いため、実験は主に植物遺伝子工学科の実験施設を利用して実施する。) 3. 大学院生および教員の育種研究に対し、伝統的育種手法も含めて協力する。イネ、トマト、インゲンマメの少なくともいずれかの育種研究に協力する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験圃場、(以下は植物遺伝子工学科実験室の機材)PCRサーマルサイクラー、ゲル撮影装置、UVトランスイルミネーター、ミキサ―ミル、冷却遠心機、クリーンベンチ等 4) 配属先同僚及び活動対象者 研究所長: 男性、40代、博士、イネの育種 職員総数: 37名、うち博士6名、修士18名、学士13名 主な同僚教員1: 女性、30代、修士、基礎植物遺伝科目担当 主な同僚教員2: 男性、20代、修士、基礎植物遺伝科目担当 院生 : 8~12名、研究生: 3~4名、学部生: 約30名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門知識が必要な為 ・ 経験 () () 理由: ・ 大学または研究機関の実務経験10年以上 理由: 経験に基づく能力が必要な為			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯夏雨) 気温(10~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	ザラム区はハノイ市中心部からバスで1時間程度離れた地域にあるため、学内の宿泊施設または大学周辺の安価なゲストハウス が住居候補となる。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
ネパール	野菜栽培			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 2) 配属先名 (日本語) 中央野菜種子生産センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラリトプール郡クマルタール JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南東 方向 4 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 政府の中央野菜種子センターが持つ農場で種子生産、野菜栽培を行いながら地方農業開発事務所を通じて種子を農家へ提供している。また、トレーニングセンターを併設しており、JT(Junior Technician)と呼ばれる地方農業開発事務所の技術者への研修、農家への栽培技術、病虫害対策に関するコンサルテーションを行っている。 年間予算は650万円であり、ネパール固有の野菜種子の調査や保護にも取り組むなど、農業の発展と保護に重要な役割を果たしている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 首都カトマンズ近郊で急速に都市化が進む中、市場の変化に合わせ、同センターでは近郊農家でのビニール栽培の普及を進めている。また近年、気候の変化も影響し、農家は病虫害の被害が増加しており、その対応が求められている。同センターではビニールハウスでF1ハイブリッド種のトマトの栽培が行われているが、ビニールハウス栽培経験者が少なく、農家の要請に応えるべくSVの継続要請が行われた。前任SVは上記要請内容をもとに活動を進めているが、対象が農作物であることから、技術の移転に時間を要するため、配属先は後任を強く要望している。また、ネパールに、十数年前に持ち込まれた大根などは交雑が進み品質の劣化が著しい為、現在活動中のSVは同センターの事業内容である原種の生産及び採取を同センターの保有する圃場にて行っているが、現地の技術者は種子生産についても十分な知識がないため技術移転が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の担当者と協力し、以下の活動が期待されている 1. 農民、農業開発事務所の技術者へのビニールハウス栽培、病虫害対策におけるアドバイス及び研修の実施 2. 配属先圃場でのビニールハウス栽培、デモンストレーション 3. 同圃場での原種の栽培及び採取 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター、実験農場、種子採取用ビニールハウス圃場、ヤンマー小型耕運機QT15、農作業・農業指導を行う基本的な農具、研修室 4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所長 1名 40代 野菜担当主任 2名 30代 技術者 6名 30~50代 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 学歴社会であるため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 技術者への指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C104)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ネパール	果樹栽培				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 2) 配属先名 (日本語) 中央園芸センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡キルティプール JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南西 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は日本の協力により設立され、1988年から12年間温帯果樹栽培技術の開発普及プロジェクトが実施された。その後2002年から5年間ボランティアプロジェクト園芸普及計画が実施され、主に日本種の甘柿の栽培普及に取り組んだ。事業内容としては主に温帯果樹の栽培技術研修、品種の保存、一般配布用の種苗の生産を行っている。年間予算約1200万円。						
要請概要	1) 要請理由・背景 1985年から行われたプロジェクトの期間中、柑橘を代表とした様々な温帯果樹の品種が導入された。柑橘は同国の主要な果樹生産品目であり特に丘陵地の農民の収入向上に貢献している。しかし、栽培品種は限られており、収穫後の保存技術も乏しいため、果樹栽培農家の収入を向上させるには、新たな品種の導入によって収穫期間を伸ばす必要がある。しかし、配属先には最近の柑橘品種に関するノウハウがなく、またグリーンング病対策も必要とされ、今回の要請に至った。前任者のSVは日本種甘柿の栽培普及を主眼に活動しているが、柑橘栽培の専門性を活かし同要請の先駆け的活動を行っている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.園芸センター職員を対象とした柑橘の栽培・試験栽培の技術指導 2.グリーンング病対策指導 3.柑橘栽培組合や農家への栽培指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本事務機器、栽培指導に必要な道具はそろっている 4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長 50代 男性 技官果樹開発、土壌、植物病理、農業普及(各1~2名) 技官補及びアシスタント 各1名 いずれも15~25年の経験あり 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 職員と同程度の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 柑橘栽培経験が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C106)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ネパール	きのこ栽培				1	25 / 3	日系/短期 年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 2) 配属先名 (日本語) ネパール農業研究評議会 植物病理部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業分野の研究開発を行う、政府から独立した研究機関である。植物病理部ではきのこ栽培の研究開発のほか、植物の病害診断や予防、減農薬栽培に関する研究を行っている。過去に数代きのこ栽培JVの支援を受けており、当時作られた研究施設の改修工事が、2011年4月より派遣されたきのこ栽培SV指導のもと取り組まれている。また同SVは九州大学との共同研究として野生菌株の収集と栽培化及び母菌の長期保存に取り組んでいる。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ネパールでは、近年国内のきのこ市場が開拓されたことに伴い種菌生産者、きのこ生産者ともに増加傾向にある。前任者SVは、配属先のきのこ培養棟の改築工事の支援、野生菌株の収集と栽培化及び母菌の長期保存、きのこ生産者、種菌生産者の巡回指導などに取り組んだ。また、JVと協力フィールドでのシイタケ原木栽培普及などにも取り組んだ。今後、前任者の支援で改修された研究施設を活用し、新品種の導入による生産の多様化や、同国に適した母菌保存技術の確立による品種改良などが必要となる。配属先では若手研究者の配置を検討中であり、研究活動の支援とともに技術者を育成指導する必要があり、SVの派遣要請が出された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の研究者とともに以下の活動にとりくむ。 1.きのこ栽培に適した培地の改良 2.改良したきのこ栽培技術の普及試験 3.きのこ育種技術の導入及び種菌生産者に対する良質種菌の提供 4.配属先技術者への技術指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、クリーンベンチ、オートクレイブ、水分計、ホットオープン、インキュベータ、電子天秤等 4) 配属先同僚及び活動対象者 部長 50代男性 シニアサイエンティスト 50代男性 修士 1名 シニアテクニカルオフィサー 40代男性 大卒 1名 技術アシスタント 50代男性 1名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:きのこ栽培の専門知識が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:技術指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C107)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
モロッコ	病虫害対策				1	25 / 4	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・漁業省 2) 配属先名 (日本語) 農学研究地域センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケニトラ県ケニトラ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 40 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国に10カ所ある農業研究機関の一つで、農業の生産性向上、農作物の品質改良ならびに食の安全に関する研究を行っている。この研究所は5つの研究室に分かれており、研究員19名と助手29名が勤務しており、ケニトラ大学の大学院生も研究活動を行っている。これまで4代のJICAボランティアが派遣されており、農薬の人体への影響や農薬に代わる病虫害防除方法の研究を行ってきた。						
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコ政府は農業政策「緑のモロッコ計画」を策定し、高付加価値農産物の生産振興および小規模農業者支援による貧困対策を進めている。配属先となるINRAがあるガルブ地方は同政策の重点地域であり、野菜、かんきつ類、穀物、甜菜などの作物の病虫害対策、とりわけ効率的、かつ人体および環境に安全な病虫害対策の研究が進められている。これまで4代のSVが派遣され、農薬に代わる自然農薬(木酢液やにんにく)を使った研究や農薬を使用せずに柑橘幼木をエスカルゴから守る研究(塩とペットボトルを使用)を行い、高い評価を得ている。引き続き、効率よく安全な病虫害対策研究が重要課題となっており、同分野の研究者派遣が要請された。						
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 農薬に代わる病虫害除方法の研究 2. 微生物や植物抽出物に由来する生物農薬の研究 3. 高付加価値農産物を生産する技術の研究						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 植物病理および農薬に関する研究用汎用機器						
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:研究員(男性、40歳代、博士。植物病理学専門。研究所に20年勤務(JICA研修経験有) 植物病理学研究室:研究員1名(留学中)、技術者1名、博士・修士課程学生数名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (博士) (理系) 理由: 研究機関勤務のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 検査機器の取り扱いと助言 ・植物保護、高付加価値農産物生産研究 理由: 同分野の研究が活動となる為			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(半乾燥) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 315 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
コロンビア	土壌肥料			● 2 年	1	25 / 3	年 月 から
				○ 1 年	2	25 / 4	
		○ ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 地方開発財団 2) 配属先名 (日本語) 地方開発財団 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 クンディナマルカ県ボゴタ市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 北西 方向 30 Km 主要都市(ボゴタ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1997年に設立された農業分野のNGO。クンディナマルカ県を中心として農業生産向上のための調査・土壌改良剤や有機肥料の生産を含む技術普及の活動を、主に中小農家や農学部学生を対象に展開(講習会開催)している。農家対象には1週間コースの講習会を年間5回程度実施している。また学生に対しては農学部大学生、農業学校学生、職業訓練校学生などを対象に、週2回の実習を通じて年間約400人に対し指導している。職員数は約30名、年間予算は約160万米ドル(2012年)。						
要請概要	1) 要請理由・背景 同配属先には平成20年度の在コロンビア国日本大使館による「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて、「マドリッド市の貧困農家のための職業訓練所建設計画」が実施された。任地ボゴタ市に隣接する同市には配属先の実験圃場があり、農産物の栽培・加工・保存や衛星管理等の技術普及を目指した職業訓練施設の建設および資機材(計量台、作業台、洗浄タンク、冷蔵室)の整備が同協力により実施された。同施設においては、近隣の農業学校および大学農学部からも実習生の受け入れを行っている。本要請によるSVは、主にボゴタ市内の配属先微生物研究室や化学研究室における実験・研究に従事することとなるが、実験圃場や職業訓練施設での中小農家や学生に対する指導も期待される。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.日本の有機肥料や土壌改良剤の紹介、また利用方法等の指導 2.配属先で生産している有機肥料等の改良についての助言 3.上記の成果等の実験圃場や職業訓練施設での講習会における普及 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 微生物研究室、化学研究室には一通りの実験機材が整っている。 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・研究部門チーフ(細菌学修士、経験10年以上、40代女性) ・研究員(微生物学修士、経験5年以上、30代女性) ・生産部門チーフ(化学技師、経験10年以上、40代男性) 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地) 気温(5~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C109)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ネパール	農業協同組合				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省 2) 配属先名 (日本語) ジュナル中央協同組合連合会 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はジュナル(ネーブルオレンジに似た柑橘類)栽培農家の全国連合会である。同連合会にはシンズリ郡を中心に活動する28のジュナル生産組合が加盟している。生産組合のひとつは関連施設としてジュナル加工センターや冷蔵センターを持ち、生産指導と販売支援を通じ農家の収入向上を支援している。年間予算は約110万円。現在はカトマンズに組合店舗を開設する予定で、ジュナルの生産、流通及び販売を担う農業協同組合連合会として事業を行っている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ジュナルに関しては約20年前にJICAのHDP(Horticulture Development Project)農業支援により、日本の枳殻(カラタチ)を台木とする接木技術がネパールに導入された。その結果品質が安定し、生産量が伸び、ジュナル生産が飛躍的に発展し始めた。生産地域であるシンズリには治安の悪化によりボランティア派遣が一時中断されたが、農民達が協同組合を立ち上げ、ジュナル栽培技術の共有化を行い独自の努力を行ってきた。シンズリ地域では1995年より交通アクセスを改善し、沿線地域の社会・経済活動の活性化と地域住民の生活向上をめざす無償資金協力「シンズリ道路建設計画」が実施されており、相乗効果が期待されている。現在活動中のSVは協同組合のマネジメント指導、市場開拓、販売活動への助言等を行っている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは以下の活動が期待されている。 1.農業組合マネジメント指導 2.ジュナル市場の開拓、販売活動の指導 3.民間セクターとの連携促進 4.組合店舗開設後の運営指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター 4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長 1名(30代) 理事 9名 常勤職員 3名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:協同組合事業の指導を行う為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C109)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
ネパール	農業協同組合			年 月 から	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省				
概要	2) 配属先名 (日本語) 協同組合局		<input type="radio"/> NGO		
概要	3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ市 JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、協同組合の育成政策の立案や設立指導、法人登記を行う郡組合事務所を統括している政府機関である。ネパール政府は住民の自主的な事業体である協同組合が地域開発に果たす役割を重視しており、人々が協同することで生み出される力を持続した事業体として発展させ、収入向上や生活改善等をめざしている。2012年5月に農業協同組合省を農業開発省と協同組合貧困緩和省の2つの省に分割、協同組合の機能を活用した住民の自主的な起業を支援し貧困緩和をめざしている。				
概要	1) 要請理由・背景 ネパールの協同組合の多くは、セービング&クレジットを事業の柱とする小規模組合である。近年設立された組合の中には、農業協同組合や消費生活協同組合を指向する組合も生まれており、同国の協同組合運動は新たな発展段階に入りつつあるといえる。現在、約23,000の組合が登記されているが、協同組合局では協同の理念の普及や組合の民主的な運営改善に向けた指導を行いつつ、協同組合の仕組みを利用したさまざまな事業展開の支援を検討している。SVIには協同組合政策形成の参加や地方協同組合事務所職員の研修、協同組合リーダーの研修、新規事業展開支援等での役割発揮が期待される。				
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 協同組合局が検討する協同組合政策へのアドバイス 2. 地方協同組合事務所の訪問指導、協同組合設立や運営に関する指導 3. 協同組合近代化に向けたリーダーの研修 4. 協同組合の新規事業展開へのアドバイス				
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC				
概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 局長 50代男性 次長 50代男性 課長 6名 職員30~40代(男性22名、女性4名) 職員数28名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 職員と同程度の学歴が必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 協同組合指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 11)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C109)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
ネパール	農業協同組合			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
				年	月	
				から		

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省
	2) 配属先名 (日本語) ネパール農業協同組合中央連合会 <input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業協同組合の全国連合会として農業開発銀行、小規模農家開発銀行や財務省との連携のもとに2008年に設立された新組織である。現在315組合が加盟している。この間、ドイツやカナダの援助機関の支援を受け、マイクロファイナンス事業を柱に、会員組合に対する運営指導や農産物のマーケティング、収入向上につながる換金作物やオーガニック栽培などの指導を行っている。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の会員組織は小規模ながらも貯蓄信用事業を柱に、農民への資金貸付とともに種子や肥料等の販売も行っている。近年、組合からのローンを活用し農家の生産活動が活発化する中、配属先に対し会員組合より農産物の流通販売支援の要請が出されてきた。配属先では会員協同組合の事業発展を促す意味でも、連合会としての協同事業を模索しており、SV派遣の要請が出されている。前任者は会員組合のマイクロファイナンス事業調査や新規卸売市場開設のための提言などに取んでいる。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.組合リーダーに対する協同組合運営に関する研修 2.個別組合の訪問指導 3.連合会と会員組合の協同事業の指導 4.配属先の新規事業計画作成の支援
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長 男性 40代 専務理事 男性 40代 スタッフ 男性 3名 女性 5名 20~30代
	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 職員と同程度の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 組合指導を行うため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C141)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
インドネシア	農業機械			2年	1	25 / 3	年 月 から
				1年	2	25 / 4	
		ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 2) 配属先名 (日本語) 南スラウェシ州農業局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 南スラウェシ州マカッサル市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 州農業局は、穀物生産部・園芸生産部・設備部・総務部の4つの部とプラント作物支所・穀物園芸作物種子供給支所などから構成されている。州には23の県と市があり、これらの農政に対して行政指導・監督も実施している。職員数約600名。2013年度予算約20億円。2013年3月までSVが設備部に協力中である。						
要請概要	1) 要請理由・背景 インドネシアでは国家食料安全のために米の備蓄確保することを計画している。国内でも有数の米生産地である南スラウェシ州に対し、2018年までに州に300万トンの米の備蓄を目標設定した。この目標達成のために、州では年3回の米の収穫を達成する必要がある。そのための3本柱の政策とし、①高収量新種の導入 ②灌漑施設の増設および整備 ③農業機械化の促進が上げられた。2010年からタカラール県において、SVにより農業機械の導入促進および保守管理技術の指導が実施されてきたが、州ではSVの活動を高く評価しており、タカラール県のみならず、州下23県全県への指導拡大を希望してきた。そのため今回のSVの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 設備部農業機械設備課に所属し、州農業局や県農業局のスタッフと以下について協働する。 1.米作機械化標準一貫化体系を作る。 2.体系に基づき農業機械の現地への適合を図る。 3.農業機械の保守管理やメンテナンス標準化に関するマニュアルを作成する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 旋盤、ボール盤、アーク溶接機、切断機、発電機 4) 配属先同僚及び活動対象者 課長(女性、大卒、50代) 課のスタッフ10名 メカニックスタッフ4名(女性3名、男性1名、30~40代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 配属先からの要請 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 配属先からの要請 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 066 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C141)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
スリランカ	農業機械			1年	1	25 / 3
				ヶ月	2	/
			3	/	日系/短期	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 2) 配属先名 (日本語) 農業機械化研究所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アヌラーダプラ県マハイルツパラマ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 206 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業機械の規制整備、適合試験の策定・実施、研究開発、メンテナンス訓練等を行う任国で唯一の農業機械化研究所である。輸入した農業機械を任国の気候・農耕条件・農作物に合わせてモディフィケーション、あるいは新規研究開発を行う研究開発部門と、規制整備や適合試験の策定・実施等を行う試験部門などがある。年間予算は530万ルピー(約340万円)。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は農業機械の研究開発を行う唯一の研究機関で、全国各地にある州農業局、農業省出先機関経由で農民や農業行政関係者から、農業機械の新規開発、モディフィケーションについて様々な要望が寄せられている。たとえば、米の収穫作業で使われる刈り取り機は、スリランカの米品種が日本品種のものに比べて稲穂から米粒が落ちやすいため、日本製の刈り取り機はそのままでは使えず、モディフィケーションが必要となる。簡単な構造の草刈り機におけるモディフィケーション程度であれば既存スタッフで対応できるが、複雑な機械のモディフィケーションおよび新規開発は十分に対応できない状況である。配属先スタッフの、農業機械の研究開発・モディフィケーション能力向上ならびに現場のニーズに合った農業機械の供給を目的に、ボランティアが要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚とともに以下の活動を行う。 ・現地農家ならびに農業関係者からのニーズ聞き取りと分析 ・農業機械の研究開発 ・(輸入品等)既存農業機械の、現地農作物・気候風土にあわせたモディフィケーション ※優先順位の高い順に、①種蒔き機、②草刈り機、③刈り取り機についての研究開発・モディフィケーションが主に求められている。当地で対象となる農作物は米、トウモロコシ、ダイズ、豆類、他穀物、ジャガイモ等。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 旋盤、フライス盤、削孔及び溶接装置、板金及び管曲げ及び圧延機、製図機器(手書き及びコンピュータ支援)等 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・副所長(40代男性、大卒、13年の関連業務経験) ・他配属先スタッフ(10名、20-40代、大卒-専門学校卒、経験2-31年) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高等専門学校卒) () 理由: 多くの同僚が専門卒以上の為 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 活動を遂行する上で不可欠 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯) 気温(24~33 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C151)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ネパール	農産物加工				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 2) 配属先名 (日本語) ネパール農業研究評議会 食品加工研究課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業分野の研究開発を行う、政府から独立した機関である。ネパールは中山間地に多くの農家を抱えており、農産物が市場に届く前に多くのロスが発生している。食品加工研究課は、収穫後の果物や野菜のロスを減少し農家の収入向上に向けた、生産技術と農産物の加工技術支援を行っている。また農産物の品質評価や農薬指導など、農産物の安全にかかわる指導や調査も行っている。配属先には、研究部門とパイロットプラントの2部門があり、年間予算は約780万円。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ネパールではJICAを始めとするさまざまな農業技術支援により、農業生産が向上し農家も市場指向の高価値農産物の生産をめざすようになってきている。しかし、収穫後の果物や野菜の取扱い技術の知識が普及しておらず、市場に届くまでに多くのロスを生み出している。一方、生産現場では農薬の使用基準を理解しないまま、多量の農薬が使用されている実態もある。配属先では、そのような農家の実態から、この間、大豆製品の開発、食用油の開発、紅茶やコーヒーの品質管理指導、乳製品の開発指導等、農薬使用実態調査などに取り組んでいる。配属先では農産物加工の技術支援とともに、保存や輸送を含めた技術の向上も必要と考え、今回の要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 食物調査課のスタッフとともに以下の活動に取り組む。 1.果物や野菜の加工処理の研究と技術指導。 2.果物と野菜の収穫後のロスの減少をめざす効率のよい保存技術の指導。 3.配属先職員や農家への農産物加工技術トレーニングの実施と指導。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 分光器、蒸留セット、デジタル・バランス、遠心分離機、果物ジューサー、タンパク消化セット、赤外線水分計、マルチ穀物水分計、製麺機、顕微鏡、インキュベーター、オートクレーブ等 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 50代 技術者 4名 30代(大学院卒3名) スタッフ 5名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 職員と同程度の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 食品加工を指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C151)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
メキシコ	農産物加工			2年	1	25 / 3	年 月 から
				1年	2	25 / 4	
		ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国立農牧林業研究所 2) 配属先名 (日本語) 国立農牧林業研究所コタストラ試験場 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ベラクルス州ベラクルス市 JICA事務所の所在地(メキシコシティ)から 南西 方向 1000 Km 主要都市(ベラクルス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 国立農牧林業研究所はメキシコ全土を8地域に区分し、それぞれの地域に適した農牧林業技術の開発普及を実施する機関であり、全国に38の試験場と4つの分場を有している。JICAは2007年より2012年までの5年間、ベラクルス州にある同研究所コタストラ試験場を対象に「小規模農民熱帯果樹開発・普及計画」プロジェクトを実施した。コタストラ試験場の年間事業予算は3,500万円。						
要請概要	1) 要請理由・背景 2012年まで実施されたプロジェクトは熱帯果樹14種の遺伝資源保存、および6品種に関する栽培技術の開発を中心に実施され、また試験場で生産された苗木を用いての地域農家への技術移転も実施された。これらのプロジェクトの成果を受けて、同試験場は生産される果樹の消費及び市場拡大を生産農家とともに進めようとしており、まず生産者の自家消費に供される熱帯果樹の加工保存技術の開発、普及を実現し、ひいては付加価値のある生産物の地域市場への販売を通じて農家の収入向上に資することを目的に、本案件を要請した。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①カウンターパートと協力の上、任地の農産物加工品の流通状況等を調査し、配属先が求めている対象商品品目につき再確認を行い、活動計画を策定する。 ②コタストラ試験場職員を対象に、熱帯果樹の家内工業レベルにおける加工、保存に必要な器具、道具類の開発、製作に関する研修を行う。 ③熱帯果樹生産者を対象に、ドラゴンフルーツ、トゲバンレイシ、タマリンド、ランブータン等の熱帯果樹の加工、保存に関する研修を実施する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし 4) 配属先同僚及び活動対象者 農業技師(大卒)40代 女性 農業技師(大卒)30代 女性 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: A) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 技術指導を行うため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(温帯性気候) 気温(20~38 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C151)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
エジプト	農産物加工			● 2 年	1	25 / 3	年 月 から
				○ 1 年	2	25 / 4	
		○ ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 2) 配属先名 (日本語) 精米技術訓練センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アレキサンドリア JICA事務所の所在地(カイロ大都市圏)から 北西 方向 200 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 2.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、農業省農業研究センターの傘下の機関として1981年に設立され、精米加工技術の研究開発、研修提供、精米技術分析、強化米(Parboiled Rice)の研究調査などを行っている。全職員数は約60名。1984年に日本の無償資金協力により精米施設、実験室、研修施設(講堂、セミナー室)、図書室、研修生用宿泊施設などが建設された。また研究員スタッフの多くが日本で行われたJICA研修に参加した経験がある。2007年には、アフリカや中東地域からの研修生を対象としたJICA第三国研修「精米処理技術」の実施機関として研修提供を行っている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、これまでJICAの資金協力や研修を通じて精米や米加工にかかる研究や技術改善に取り組んできた。エジプト人の米の消費は、年間あたり一人45kgとの統計が出ているが、米の有効活用をめざし、くず米や米穀、糠などを使った加工品の技術向上に取り組むたいと配属先は希望している。 米を大量に消費し、米加工品の技術研究開発に盛んな日本の最新技術を取り入れた米加工に関するアイデアを紹介できる人材が求められ、今回のSVの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①同僚研究員に対するくず米、米穀、糠を使った加工技術の提案、指導 ②その他、米を使った加工品創出に関する助言及び製品化への支援 ③精米及び加工業者への加工技術指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各種精米機器、実験室、その他食品加工に必要な機材はボランティアからの申請に基づき準備される予定 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、50代、施設長、博士号取得 研究員:9名、男性女性、30~50代、大卒、修士、博士 技術者:15名、30~50代、経験年数15年程度 アシスタント作業員:6名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚への指導が求められる為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 11 月 29 日

要請番号(SL 106 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
フィジー	家畜飼育			1年	1 25 / 3	日系/短期
				ヶ月	2 /	
				3 /		
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 第一次産業省 2) 配属先名 (日本語) 農業局 コロニビア農業試験場 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ナウソリ町コロニビア JICA事務所の所在地(スバ市)から 北 方向 16 Km 主要都市(スバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。コロニビア農業試験場は、農業局研究部門を統括する機関であり、フィジー国内の農業振興プログラムの立案と実施のほか、穀物、家畜の調査研究、農産物の分析実験、植物検疫も担っている。家畜部門においては、乳牛、豚を中心としており、飼料配合のための大型施設も2011年に建設された。過去に家畜飼育JVが派遣され、人工授精の導入に協力したことがある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 フィジー政府はビチレブ島北東部地域に対して、農畜産物を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、農畜産物の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っている。畜産分野においては、特に、豚、乳牛の品質・生産量の改善のために、飼料作物の改善と人工授精を試みている。過去のJVの支援により、豚の人工授精は軌道に乗りつつあり、パイロット畜産農家向けの繁殖支援を行っている。しかし、輸入飼料はコストが高く、現地で入手できる飼料では栄養価が低いため生育が遅く、肉質・ミルクの生産量も改善が見込めない。このような背景から、現地で入手できる農産物の副産物を利用した配合飼料や、牧草の研究を目的としてJICAボランティアの要請に至った。同農場は、繁殖用豚は46頭(オス5頭、メス41頭)、繁殖用牛は39頭(オス3頭、メス36頭)を有する規模。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 牛肉、豚肉の質、牛乳の生産量の改善を目的として、以下の活動に取り組む。 ①現地で入手できる農産物の副産物(そうこう類、サトウキビの搾り滓)を利用した配合飼料の研究。他の農業試験場にも配合飼料を配布しているため、共同研究となる。②海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から、フィジーの畜産に適した牧草を導入、肉質・ミルク生産量改善への影響、フィジー国内の異なる気候への順応性に関しての調査を、他農業試験場と協力しつつ行う(同配属先には人工授精の支援を目的としたJV派遣、他農業試験場には牧草研究、人工授精の支援を目的としたJV派遣を計画)。③上記の活動を通じて、配属先スタッフの配合飼料、牧草に関する知見を高める。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 大型配合飼料ミル(1.5トン/時)、化学・食品実験室、研究用家畜(牛、豚) 4) 配属先同僚及び活動対象者 シニアリサーチオフィサー男性2名(牧草・飼料分野1名、家畜分野1名:経験年数20年以上:40代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 指導に必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 実戦的な指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性気候) 気温(15 ~ 35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	スバ市内からバス通勤も可能であるが、ドアtoドアで1時間を要する。通勤の利便性のためには、「農業試験場近くの現地人向け住居に住む」もしくは、「自家用車を購入しスバ市内から通う」こととなる。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 7 日

要請番号(SL 251 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
パナマ	家畜飼育			年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧開発省 2) 配属先名 (日本語) 農牧研究所グアラカ試験場 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チリキ県グアラカ JICA事務所の所在地(パナマ市)から 西 方向 400 Km 主要都市(ダビ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農牧研究所(IDIAP)はパ国における農牧試験研究活動を実施する国家機関であり、国内6か所の試験研究センターを有し、生産性向上の研究、技術の指導を通じて農牧畜生産者、特に小規模・中規模生産者の所得水準の向上を主要な目的とした業務、各種プロジェクトを実施している。牛肉質改良のSVが2011年6月まで活動。同試験場の2013年度予算は160,000USD。				
要請概要	1) 要請理由・背景 同配属先では、前任SVにより、2011年9月まで牛の飼育管理改善、畜産農家への人工授精技術の普及指導を通じ、牛肉質改良への支援が行われた。また同配属先では2008年に受精卵移植の試験が開始され、既に受精卵移植による産子が生産されており、前任SVはこれらの受精卵移植技術に係る協力にも携わった。同配属先研究所内には新バイオテクノロジーラボ棟がほぼ完成し、この運用開始によりバイオテクノロジー分野の調査・試験研究事業をさらに強化する計画である。かかる状況において若手技術者・研究者のさらなるレベルアップが必要であり、専門知識・技術を持つSV派遣による継続支援の要請がされた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先研究所における受精卵移植、発情の同期化、試験管培養、卵分割、遺伝子分析など動物バイオテクノロジー関連の研究・試験活動実施に対する助言・支援。 ②受精卵移植に係る一連の手順、技術、管理、評価に係る助言・支援。 ③同研究における情報収集、結果分析にかかる助言・支援。 ④セミナー、講習会等の実施による技術者・研究者への技術の普及支援。また、近隣の生産者、畜産農家組合に対する普及支援活動の実施支援。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ラボ機材:分析用天秤、ウォーターバス、クリーンベンチ、遠心分離機、CO2インキュベータ、胚凍結用機器、自動精子カウンター、ノイバウエル血球計算板、顕微鏡ほか。 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:男性、30代、畜産科学修士 ほか研究者4名、獣医1名、研究アシスタント2名、周辺畜産農家約100名、学生インターン2名。 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 研究機関での指導支援のため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 研究機関での指導支援のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35 °C位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 14 日

要請番号(SL 106 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C203)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
フィジー	養蜂			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) 国立青年職業訓練所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 シンガトカ町郊外 JICA事務所の所在地(スバ市)から 西 方向 130 Km 主要都市(シンガトカ町)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 シンガトカ町郊外の丘陵部に位置し、敷地面積は約100km ² 。地方の農村部から募集した失業中の青年を対象に、農業(畜産含む)と木工の職業訓練コースを有している。授業料を低く設定し、自営や就職に必要な実践的な技術を学ぶ「第2の機会」を提供する役割を担っている。農業コースは6か月(生徒数20名×年2回)、木工コースは1年(生徒数30名)の規模。農業コースは、日本のNGOであるOISCAが協力して運営されており、日本人スタッフ1名が駐在してる。過去にはJV2名が家政コースへ派遣の実績がある。総スタッフ数は青年・スポーツ省職員が14名、OISCA職員数が10名。年間予算は約1000万円(人件費除く)。					
要請概要	1) 要請理由・背景 農業コースでは、地方の農村部で自活できるようなスキルを中心として、有機野菜栽培、家畜飼育、コンポスト作りなど、多岐にわたる内容を生徒が学んでいる。過去には養蜂の指導も行っていたが、担当者が退職してしまったこともあり、現在は行われていない。フィジーで消費される多くのハチミツはオーストラリア・ニュージーランドから輸入されており、国内には複数の養蜂会社があるものの、需要に追いついていないのが現状である。農業の副業として養蜂は十分な収益を生む可能性を秘めているものの、養蜂の指導を行える人材は非常に限られていることから、ボランティアの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①フィジー各地の気候・風土に合った養蜂技術の確立と訓練生への指導。 ②養蜂に必要な資材(巣箱等)を現地生産し、安価に養蜂が開始できるよう体制を整える。巣箱作りには、木工コースからの協力を得ることが可能。 ③上記の活動を通じて、配属先スタッフが農業コースにおいて養蜂のノウハウを教えることができるよう協力する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 巣箱(実際に営巣しているのは1箱のみ、放置状態)、巣礎、燻煙器、安全養蜂着、分離機 4) 配属先同僚及び活動対象者 アシスタント指導官(農業分野)男性2名(20代:日本で基礎的な養蜂を学んだことあり/50代:農業経験は15年以上) 農業コース生徒(高校卒業若しくは中卒)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:実践的な指導に必要 理由:			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(熱帯海洋性気候) 気温(15~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
特記事項	配属先敷地内のスタッフ住居に住むことも可能であるが、近隣には商店もなく、交通の便も悪い。「敷地内の現地人向け住居に住む」もしくは、「自家用車を購入もしくはタクシーでシンガトカ町内から通う」とこととなる。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 303 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C211)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV		日系/短期 年 月 から	
アルゼンチン	家畜衛生			○ 2 年	1		25 / 4
				● 1 年	2		/
			○ ヶ月	3	/		
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧水産食糧省 2) 配属先名 (日本語) 国立農牧技術院(コンセプション・デル・ウルグアイ農業試験場) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 エントレリオス州コンセプション・デル・ウルグアイ市 JICA事務所の所在地(ブエノスアイレス市)から 北東 方向 300 Km 主要都市(パラナ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国立農牧技術院(INTA)が有す農業試験場の中の一つである。国立農牧技術院(INTA)とは、1956年設立の農牧水産食糧省傘下の農牧分野の研究で、天然資源と環境保全、農牧業の研究開発、人材育成、生産者への普及業務などを実施している。国内各地に16ヶ所の地域センター、50ヶ所の農業試験場、5ヶ所の研究センター、300ヶ所の農業普及所を有し、各種研究開発や農産物の競争力強化、農民の生活向上等の各種プロジェクトを実施している。同配属先では、エントレリオス州内における家畜、鶏類生産及び米栽培に関する研究活動を行なっている。 http://www.inta.gov.ar						
要請概要	1) 要請理由・背景 亜国の鶏の年間生産量は、1779000トン(2011年)で、エントレリオス州は、47.43%を占めている。消費量は、一人当たり約39kgである。配属先の家畜衛生研究所では、栄養及び鶏病のウイルス・細菌病、特に卵におけるサルモネラ病の研究を行っている。近年、当国における鶏の生産量は急激に成長すると共に、国立農畜産物・食品衛生品質管理局が実施したサンプル調査結果によると、エントレリオス州内で生産されている食品向けの卵にて、約40%がサルモネラ病に感染されていることが確認されたが、同配属先には、サルモネラ病に関し、ノウハウ・経験を有する人材が不足しているところ、若手研究者の育成を目的として本要請に至った。なお、指導対象グループの中の1名は、現在、博士論文を執筆中の研究員である。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①試験場の職員に対してサルモネラ病の診断法に関する指導・助言を行う。 ②試験場の職員に対して養鶏場におけるサンプリング法の指導を行う。 ③試験場の職員に対して野生鶏(自給用)のサンプリング法に係る指導を行う。 ④サルモネラ病の予防に関し、生産者関係者への研修・指導の支援を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 サーマルサイクラ、ホモジナイザー、蛍光顕微鏡、クリンベンチ、遠心分離機、電気泳動装置等 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:男性(獣医師(phD)・30代) 他同僚:男性1名(生化学士、30代)、女性1名(生物学士、30代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (農業) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 同僚等と同レベルを希望 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 活動上必要不可欠 ・理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(温帯) 気温(10~ 35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 26 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C211)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
エクアドル	家畜衛生			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁 2) 配属先名 (日本語) ボリバル国立大学農業畜産天然資源環境学部獣医畜産学科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ボリバル県グアランダ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 205 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ボリバル国立大学は教育学部、保健学部など多数の学部を擁する総合大学で、農業畜産天然資源環境学部は、その傘下に獣医畜産学科、農学科、アグリビジネス学科、林学科の4つの学科を持つ。大学の教員数70名、学生数約7000名。獣医畜産学科は教員18名、学生数125名。年間予算は、1400万米ドル。外国の支援では、スペイン国際開発協力庁(AECID)からの土壌プロジェクト支援、スペインのバレアレス大学およびバレアレス市からの支援による畜産プロジェクトがある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ボリバル国立大学獣医畜産学科のラボラトリーでは臨床検査機器を使用して血液成分検査、血液生化学検査、寄生虫検査、尿検査などを行い、臨床診断を行っているが、これまでほとんどが学生の研究のための利用に留まってきた。大規模な大学動物病院の建設が決定している上、今般、一般農家からの症例診断機関としての認可を受けることとなり、公共検査機関としての機能向上が至急の課題となっている。しかしながら、臨床診断分野における指導者が不足し、技術者の育成が進んでいない状況であることから、SVには臨床検査結果と診察による症例診断方法について、教員および学生に指導・助言すること、およびラボラトリーでの検査機器取扱方法の指導が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.血液成分検査、血液生化学検査、寄生虫検査、尿検査等を行い、その検査結果と診察により患畜の症例診断を行い、教員および学生に対し、その検査手技および診断方法を教授する。 2.ラボラトリーの検査機器取扱方法についても同様に、助言・指導を行う。 3.獣医学科で行われている授業や実習において、教員とともに助言・指導を行う。 対象動物は ウシ(主に乳牛:ホルスタイン、ブラウンスイス、またはその雑種)、ブタ、ヒツジ、ヤギ、イヌ、ネコ 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡、ヘマトクリット遠心機、遠心機、オートクレーヴ、生化学血液検査機器、血液成分検査機器、pHメーター、恒温器、湯煎器、基礎実験用具 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科:40代男性 全教員数 18名 男性 15名、女性 3名 獣医師10名ほか、農学、生物化学など C/P:獣医師(20代女性、50代男性) 獣医畜産学科学生: 125名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (獣医学) 理由: 獣医学科で指導するため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 大学で教員に指導するため 獣医師免許 理由: 患畜を診察するため		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地半湿潤温帯) 気温(平均12~20℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C301)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
エクアドル	林業・森林保全			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
				年 月	から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) インバブーラ県庁
	2) 配属先名 (日本語) インバブーラ県庁経済開発・環境部 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 インバブーラ県イバラ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 北 方向 95 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 41万人超の人口を有するインバブーラ県は、県内のインフラ整備、農業・経済振興、環境保全、観光開発などに取り組んでいる。配属先である経済開発・環境部は経済開発課と環境課に分かれており、経済開発課は農業技術支援、販売促進、観光開発、灌漑、生物多様性と森林資源の持続的保全のための植林計画策定・実施・評価を実施している。環境課は固形廃棄物管理、自然資源の状態調査、市町村との連携による環境教育などを担当している。同部長はJICA本邦研修修了者。同県にはクルミ、ユーカリ、マツ、ポプラなどが多く、標高によりヤナギ、ゲッケイジュ、サボテンなどの植生も見られる。

要請概要	1) 要請理由・背景 同県の主要な森林は不適切な土地利用などにより多くが消失しており、天然林や水源その他の生態系も自然植生の減少により影響を受けている。人口増加による農牧畜の拡大は、居住地と森林との境界線を徐々に圧迫し、また土壌侵食にも大きな影響を与えている。この現状に対して県は農業・林業の管理、植林、消滅危機にある生態系の保護、生活の改善等よりバランスのとれた生態系保全が可能と考えている。特に森林破壊とその影響の低減、気候変動の緩和に資する植林活動を重視しているが、現在同県は植林計画を有しておらず、2004年策定のエクアドル国家植林計画が存在するのみである。そこでボランティアには森林調査・分析、ゾーニング、植林プログラム作成を通じた同県植林計画策定の支援が求められている。また、県庁所有の苗畑管理場や県内各地の苗畑管理場の指導も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.同僚とともに県植林計画策定に向けた森林調査、分析を行う。 2.県植林計画策定および実施にかかるアドバイスを行う。 3.県所有の苗畑管理場や県内各地の苗畑管理場の管理に関するアドバイス、技術支援を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし
	4) 配属先同僚及び活動対象者 部長:50代男性、2012年JICA本邦研修修了者 カウンターパート:経済開発課 植林技術者 経験5年 男性 同僚:30代~50代男性6名

資格条件等	5) 活動使用言語 (スペイン語)
	6) 生活使用言語 (スペイン語)
	7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)
	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要

地域概況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:技術者への指導 理由:
	現職教員特別参加制度
	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可
	電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記事項	気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 124 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C401)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
パプア ニューギ ニア	水産開発			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) ウェスタン州政府 2) 配属先名 (日本語) ウェスタン州水産資源局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キウंगा JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北西 方向 400 Km 主要都市(キウंगा)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 水産資源局が設立するフライ河州水産開発センターは、研究・行政支援・研修部門からなる。研究部門は、水産開発に必要な適正技術の研究・検証を行い、行政支援部門は、検証された技術を用いた水産開発の実施のため地方自治体を支援する。研修部門は、地方自治体水産農業普及員に対して水産技術研修を実施し能力向上を促す。計画では約2千万円の年運営経費が州政府から支出される。さらに、センターの活動とセンターが支援する水産開発事業は、国際機関や国内機関等の技術・人材・財政支援を受けながら実施される枠組みが出来ており、これらの機関と連携を取りながら活動を行う。					
要請概要	1) 要請理由・背景 フライ河(水量世界第5位)の水産資源は、林業資源と共に、ウェスタン州(フライ河州政府)のオクテディ鉱山閉鎖後の最も重要な再生可能資源と期待されている。しかしながら、豊富な水産資源が地域住民の生計向上に結びつく経済開発に有効に利用されているとは言えず、SV(養殖)の派遣されるセンターはその実現を可能にするための州政府の水産研究開発機関である。州政府にとっては、同センターの運営は新たな試みであり、その設立に貢献したSVの後任による継続的支援に大きな期待を寄せており、本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①フライ河州水産開発センターの設立・運営指導 ②フライ河流域の水産資源を利用した、住民裨益のプロジェクトの立案・調整・実施 ③職員への養殖技術向上のための助言(在来魚の養殖化・種苗生産・飼料開発) ④内水面漁業やポストハーベスト技術など、広い技術対応と職員への指導 ※養殖対象魚種にはフライ河在来魚の他に、ティラピア・コイ及びニジマスが含まれる。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 素掘り池(200㎡)、孵化棟(150㎡)2トンファイバーグラスタンクx8面、10トン屋外コンクリートタンクx2面、2トン屋外セメントタンク、20リットル室内水槽x10個。観察分析機器一式。 4) 配属先同僚及び活動対象者 センターの3部門に一人ずつの学士レベルの職員が配置される予定(要請段階では、養殖10年以上の経験がある大学生物学部出身者1名以外は未決定)。 その下に水産・農業専門学校卒業レベルの技術者が各セクションに2~3名配置される。 既存職員以外は新規採用となるため、水産経験年数は浅い事が予想される。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚は全て大卒のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 水産系の実務経験 ・普通自動車運転免許 理由: 治安上の理由			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 115 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ミクロネシア	養殖				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ミクロネシア短期大学 ランドグラント計画 <input type="radio"/> NGO						
概要	3) 任地 ポンペイ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 南西 方向 1 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)						
要請	4) 配属先の規模・事業内容 配属先のミクロネシア短期大学におけるランドグラント計画は、米国のランドグラント計画システムの74機関のひとつとして、ミクロネシアの産業開発・育成における社会・経済・技術の発展を目指して設置されている。年間予算は、同計画を初めとする様々な機関から確保され、136万米ドル程度。本SVが配置されるのは、同計画本部の水産養殖研究・普及部になる。						
概要	1) 要請理由・背景 本SVの配置される水産養殖研究・普及部は、ミクロネシアの社会・経済・技術の発展を目標とし、一般市民を対象に真珠貝産業の開発・普及・育成(輸出)を目指して2001年に設置され、真珠貝の養殖に成果を上げている。米国による財政援助に依存的な当国において、水産資源の有効活用は、経済的自立を果たす上で重要であり、島嶼国における国民への現金収入確保の手段をもたらすものとしても期待されている。同部では、真珠貝に続きナマコの養殖にも取り組んでいる。しかし、大量人口種苗生産についての知識や技術をもつ人材が当国には存在せず、本SVを要請するに至った。						
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.水産養殖研究・普及部の試験場で、ナマコの大量人工種苗生産について、実践を交えて助言する。 2.同試験場でのナマコの種苗から育成までの一連の調査・研究活動を支援し、結果を交えてポンペイ州の水産養殖業者への助言を行う。						
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 水産養殖試験場に、温度/採光管理室、人工孵化室、養殖場の運営に必要な一般的な機材を備えている。同試験場内及び、ポンペイ本島環礁内の小島での海面養殖場施設。						
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:男性、50歳代、大卒/水産分野経験はフィールドのみに限られる。 研修生、漁民(20代~40代歳)/養殖経験または専門知識は有しない。 同部並びに同試験場を兼務する責任者は、同計画直接雇用の研究者である。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 26 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
エクアドル	養殖			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧漁業省 2) 配属先名 (日本語) 農牧漁業省ゾーン3養殖部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チンボラソ県リオバンバ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 200 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農牧漁業省ゾーン3はチンボラソ県を中心とした4つの県(他にトゥングラウア県、コトパクス県、パスタサ県)を管轄する事務所で、養殖部は地域の養殖産業の振興・活性化を担う部門として、養殖振興プロジェクトの策定、各地区に配属の現地技術者たちへの指導などを行っている。年間予算は農業畜産部と養殖部を合わせて7万米ドル。養殖部配属の獣医師が2012年JICA本邦研修(青年リーダー育成:農村開発)を修了している。					
要請概要	1) 要請理由・背景 本配属先が養殖業振興のために策定した「村落地域養殖業振興プロジェクト」が2013年4月より本格始動する。プロジェクトは村落部の水資源が豊富な地域を対象とし、特に農業に不向きな高地の産業振興と食生活改善を目的としている。また、十分利用されていない既設の3養殖施設を修復し、稚魚生産センターとして再利用する予定である。村落地域では優良で安価な稚魚の入手が困難であるため、プロジェクトでは稚魚生産センターを中心とした生産・分配システムを作り上げ、安定した稚魚の分配を行うことにより地域全体の養殖産業の発展を目指している。管轄する4県には160の区があり、それぞれに技師が2名、合計320名が配属され一般農家への技術指導を行っているが、養殖分野の知識・技術に不足しており、彼らのレベル向上が課題となっている。SVには稚魚生産センターの管理運営への助言・指導、および技師たちへの養殖技術の指導が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 稚魚生産センターにおける稚魚生産に関する幅広い知識や生産技術についてのアドバイス、指導を行う。 2. 中間育成時および肥育時の飼養管理方法の指導を行う。 3. 部職員とともに、現地指導員(技師)への技術指導を行う。 ゾーン3の活動地区の標高は200m~3500m、魚種は高地ではニジマス(Oncorhynchus mykiss)、低地ではティラピア、パイチェ(Arapaima gigas)、カチャマ(Colossoma Macropomum)である。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 稚魚生産施設、事務用機器一式 4) 配属先同僚及び活動対象者 養殖部長:30代女性、修士レベル 養殖部技師:30代男性獣医師 指導対象:現地技師 最大320名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: CPの技術レベルが高いため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 幅広い知識が要求されるため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高地半湿潤温帯) 気温(平均12~20℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	巡回による活動地域はアマゾン地域からアンデス地域にまたがり、高度も数百m~3,500mと幅広いため、相応の体力が求められる。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 15)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
モロッコ	養殖				1	25 / 4	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・海洋漁業省 2) 配属先名 (日本語) 国立海洋漁業研究所水産物開発技術センター(CSVTPM) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アガディール県アガディール市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 590 Km 主要都市(マラケシュ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 国立海洋漁業研究所の特別技術センターとして日本の援助で建設され2004年2月に開所したセンターである。 水産物加工技術の開発、水産物の付加価値向上、衛生品質管理向上、水産物検査システム、商業活動への最適化、技術革新の方向性など水産業界への技術支援を行うセンターである。 2005-2008年、技術協カプロジェクト「水産物付加価値向上促進計画」が実施された。 2008年11月、同センターと協力しFAOがアフリカにおける漁業技術、品質保証のワークショップを開催した。なお、国立海洋漁業研究所(INRH)アガディール支所に小型浮魚資源調査能力強化プロジェクトの専門家が1名派遣されている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコで水揚げされる漁獲量は年々減少しており、漁業従事者、水産加工業者など水産業界は大きな打撃を受け、特に零細漁民や中小企業への影響は大きい。水産物加工による付加価値付け、品質管理を通じた収益の向上、養殖の振興に力をいれており、モロッコのリソースを活用した技術支援が求められている。 現在センターには水産物加工機器のある実習室、物理化学、細菌、バイオなどの研究室があり、屋外に養殖施設の設置のため拡張工事が行われており、特に魚、貝など養殖用の餌の開発技術が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・海洋養殖用の国内原料を用いた餌の開発のための情報収集とマニュアル策定 ・エンジニアに対して餌製造技術方式、方法の指導 ・エンジニアが実施する魚類への餌の配合(量)の実験のサポート ・実験中の養殖魚の状態確認(配合餌、成長率など)を通じた最適化指導 可能であれば水産物加工品の製造機器の活用や研究室の精密検査機器の活用も併せて行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 冷凍庫、燻製装置、真空パック機、定温培養器、電子天秤、原子吸光器など 4) 配属先同僚及び活動対象者 博士、学士レベル、20~45歳 スタッフ 20名 間接的には水産業者(魚・牡蠣養殖、魚粉製造業者など)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (農学) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導が求められるため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(5~ 45 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	アガディール市郊外のためバスあるいは乗合タクシーの利用となる						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 115 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード C411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ミクロネシア	水産物加工				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) ヤップ州資源開発局 2) 配属先名 (日本語) ヤップ州漁業公社 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ヤップ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 北西 方向 2500 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ヤップ州によって設立された漁業公社である。現在は保有船のリース料、水産物の売り上げなどで運営を行っており、年間予算は1600万円程度。2005年から2009年に、(財)海外漁業協力財団による漁業振興・流通活動促進のプロジェクトが実施され、漁船の供与と修理工場・製氷室、鮮魚処理場・販売店などの設置がなされている。2011年7月から、SVが派遣されている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、(財)海外漁業協力財団の支援により、漁船や施設の整備・管理・運営の基礎が出来、鮮魚の買取システムの構築や簡易な水産物加工品の開発がなされた。漁獲量に対して市場がまだ小さいため、州内市場の更なる開発と拡充をはかり、加えて販路をヤップ州内から海外のグアム、パラオなどへ拡大したいとの期待がある。配属先には、市場調査、流通方法や輸出に関する諸手続きについての知識や経験を持つスタッフがおらず、この分野での協力を得るために前任のSVが派遣された。前任者は、離島を含むヤップ州の魚場などを調査し、コスト管理を意識した漁業のあり方の提言や練り製品等の水産物加工品の試作紹介と市場化のための活動を行っている。前任者が初代であり、活動実績を定着させていくために後任を要請している。前任者の活動は、JICA のサイト(http://worldreporter.jica.go.jp/)で確認可能。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.国内水産市場の活性化のための市場調査の実施を支援する。 2.海外(グアム、パラオなど)での水産物に関する市場調査を支援する。 3.市場調査に基づき、流通方法や法整備についての助言を行う。 4.鮮魚を市場に流通させるに当たり、加工・保存・運搬方法などについて助言を行う。 5.前任者の蓄積された水産物の流通、市場の動き、消費状況などの各種情報を元に、コスト管理を意識した水産開発を支援する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC(Dell/Windows XP、Microsoft Office 2003)、スキャナー、FAX、プリンター、コピー機、インターネットの使用 4) 配属先同僚及び活動対象者 同公社代表・男性・40歳代(2008年7月に就任) 同公社の修理工場・製氷室、鮮魚処理場・販売店などには、10名程度の職員が配置されている。						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:商品化への指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 14)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
モロッコ	水産物加工			2	25 / 4	日系/短期
				3	/	
					年 月 から	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・海洋漁業省 2) 配属先名 (日本語) サフィー海洋漁業技術学院(ITPM de Safi) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サフィー県サフィー市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 353 Km 主要都市(マラケシュ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農業・海洋漁業省が管轄する中堅技術学院で、アガディール海洋漁業高等学院(ISPM)を上位校とし、海洋技術学院(ITPM)がアルホセイマとサフィーにそれぞれあり、JICAは1994-2001年に技術協力プロジェクトを実施。また沿岸漁業用訓練船の供与など行った。サフィー校は1953年に水産専門技術訓練センターとして開校し、その後海洋技術学院(ITPM)となった。学生数は約200名で航海士、機関士、水産加工業技術者の技師養成、漁業従事者への水産加工技術、船舶技術、法律、経済、安全等の教育を行っている。 近郊のスィラケディマ漁業支局にはJV2名が活動中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 技術協力プロジェクト終了後、水産物加工の技術はアガディール海洋漁業高等学院でSVが引き続き活動し、第三国研修を通じて加工品技術の指導がアフリカ向けに行われたが、サフィーの学院への協力は専門家派遣終了後はSVが一度派遣されたのみで特になく10年が過ぎようとしている。 当時はタコ、イワシ、その他一般的な魚を使った燻製、酢漬け、かまぼこ、さつまあげ、つみれ、冷凍食品などへの加工の技術指導を行ったが、年月が経ち教官が変わり機材が十分に活用されなくなっていることから水産加工製品の技術指導を行うSVの派遣要請があった。 同地域で活動するJVが漁業支局に配属され漁業組合員と活動しているため連携も期待される。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学院内で主に水産物の加工技術と付加価値向上の指導を行う。 ・指導に必要な専門技術の内容の取りまとめ、情報収集とその提供 ・教官に対して水産物の加工技術および付加価値向上の指導の実施 ・指導教科のプログラムの改善 近郊のスィラケディマ漁業支局派遣の隊員と協力して漁民等への啓発活動も期待されている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 缶詰製造一式(手動巻き締め機、小型高圧殺菌釜(ガス)、蒸煮機)、フードプロセッサー、シーラー(電気)、二重釜(ガス)、真空包装機、油チョウ機、その他簡単な実験器具・機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 水産物加工の学生、社会人研修生、教官を対象とする 担当教官は2名					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:教官への実践指導を含む為 理由:			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(5~45 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
特記事項	配属先のウェブサイトは、(http://www.mpm.gov.ma/marin/etablissement/safi.htm です。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 11 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
ベトナム	化学・応用化学			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) ベトナム科学技術アカデミー 2) 配属先名 (日本語) 環境技術研究所ホーチミン支部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ホーチミン市(中央直轄都市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1700 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ベトナム科学技術アカデミーは、ベトナムの自然科学の研究・技術開発と普及・利用に関する業務を担い、20を超える研究所からなる国家研究機関。環境技術研究所はその付属研究所の1つで、環境技術にかかる調査、研究、コンサルテーション等を実施している。配属先は、ベトナム南部地域の拠点として2008年に設立された。JICAは科学技術アカデミー/環境技術研究所の排水処理技術や環境モニタリング能力の向上を図り、2003年より「水環境技術能力向上プロジェクト」を実施(2011年終了)。配属先には短期SV派遣の実績がある。なお、配属先ではITと環境管理分野での協力調査のため韓国ボランティア(KOV)が活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 上記JICA技術協力プロジェクトでは、環境技術研究所ハノイ本部(ベトナム北部)とホーチミン支部(ベトナム南部)、ダナン支部(ベトナム中部)の水質モニタリング・分析を含む水環境技術の能力向上を図っており、過去、ホーチミン支部に対して以下3.に示す機材を供与している。技術協力プロジェクト実施中は、プロジェクト専門家が年に数回、数日から数週間支部に出張し、ラボ整備や水質分析の指導を行ってきた。環境分析についてのニーズが高まりつつあるものの、スタッフの経験が浅く分析経験が不足していることから技術強化が喫緊の課題となっており、ラボに常駐し、日常的に指導を行える人材の支援が必要として本要請が提出された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、所長、同僚と協力しながら以下の活動を行う。 ・水質モニタリングにおけるサンプリング技術、データ解析の支援 ・水質分析における精度管理の支援 ・ラボ整備や装置の維持管理の支援 ・ラボの運営管理への支援 *扱う機器は以下に示す通り。すべての機器に精通している必要はないが、特にガスクロマトグラフ質量分析計(GC-MC)を利用した指導は最も重要である。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 高速液体クロマトグラフ(Hitachi, Lanchrom Elite L2000)、ガスクロマトグラフ質量分析計(Agilent 7890A/5975C)、可視紫外分光光度計、原子吸光光度計等 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・所長(男性/30代/博士) ・職員11名(男性5名/20代/学士・修士、女性6名/20代/学士・修士) 分析経験は1年~4年程度 *現時点では所長および職員のうち1名のみが正職員。その他の職員は3年間の業務後に正規職員への登用制度があり、今後順次正規雇用になる予定。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門的指導が必要なため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(サバナ) 気温(25~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 3 日

要請番号(SL 021 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D222)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
カンボジア	溶接				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 労働職業訓練省 2) 配属先名 (日本語) カンボジア国立技能専門学校(NPIC) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 プノンペン市郊外 JICA事務所の所在地(プノンペン市中心部)から 西 方向 20 Km 主要都市(プノンペン市中心部)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 当該配属先は、2005年に韓国からの支援を受けて、国内外で活躍できる人材を育成するために新設された学校である。自動車、電気、電子、土木工学、コンピュータ、観光の6学科で構成されており、3～6か月の短期コース、2年間(短大課程)、4年間(大学課程)が設けられている。また、海外の大学や教育機関との連携も積極的に行っており、韓国やインドネシア、ベトナムなど17校とつながりがある。2012年からは、在カンボジアの日経企業との連携にも力を入れており、既に企業数社とは学生の就職推薦や教員を企業に派遣しての出張授業も実施している。						
要請概要	1) 要請理由・背景 NPICの教授陣は国内でも有数の大学を卒業したエリートであるが、現場経験がないために実践で溶接をしたことがない。そのため、教員を対象に溶接の実技指導や助言ができるSVが求められている。学生の大多数は入学後初めて英語を学ぶことになるため、英語の理解度が低い。学生への授業はクメール語が基本であるため、派遣されるSVは、担当教員と授業の中で実技の実演等を一部受け持つことがあっても、単独で科目を担当することはない。当該配属先は、これまでも積極的に各国からボランティアの講師を受け入れており、現在は韓国からのボランティアが韓国語の講師やとして派遣されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 機械工学科主任の助言のもと、以下の業務を実施する。 ① カリキュラムの概要、学内にある機材や教員のニーズを確認する。 ② 教員に対して溶接の実技の指導をする。 ③ 教員からの質問に対して個別に指導をする。 ④ 教員に対して溶接機器の保守・整備の指導をする。 ⑤ 実習室の整備、並びに安全及び安全表示に係る指導や助言をする。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 アーク溶接機(10台)、マグ溶接機(3台)、ミグ溶接機(6台)、ティグ溶接機(2台)、ガス溶接機(2台) 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科主任(40歳代、男性)、機械工学科の教員3名						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:実技指導が中心となるため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22～38℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 6 月 27 日

要請番号(SL 166 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D226)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
パラオ	動力発電技術			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) パラオ電力公社 2) 配属先名 (日本語) 発電部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コロール JICA事務所の所在地(コロール)から 南西 方向 3 Km 主要都市(コロール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 パラオ電力公社はパラオ国内唯一の電力供給公社として全国に電力を供給しており、年間予算は24百万ドル、総発電能力28MW(2011年)。これまで日本の支援として、これまで発電機の導入や送電線の敷設にかかる協力を行ったほか、2011年には太陽光発電施設の導入にかかる協力やアドバイザー型専門家派遣による電力事業の効率化支援を行ってきた。2012年に首都圏電力供給能力向上計画(無償)のE/Nが調印され、2014年には5MWのディーゼル発電機2基が導入され稼働する予定。					
要請概要	1) 要請理由・背景 パラオ電力公社には2010年3月から2年間「電力供給改善」JICA専門家が派遣され、ディーゼル発電機の運転管理者への技術指導ならびにメンテナンス計画策定などの発電機の維持管理にかかる経営指導を行ってきた。しかし、今後も発電機のオーバーホールを控えていることや、新たに自己資金で購入した日本製ディーゼル発電機の運転を始めたもののその維持管理計画が十分でないことから引き続きJICAボランティアによる支援を要請してきた。一方、2011年11月に発電所で火災事故が発生し、発電所内の安全対策や現場における職場環境整備も緊急の課題となっている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・数メガワットのディーゼル発電機のオーバーホール(カムシャフト交換を含む)にかかる技術指導 ・ディーゼル発電機の運転維持管理にかかる指導(マニュアル整備、メンテナンス計画の作成等)。日本製発電機の英訳されたマニュアル類が一部不十分であるためボランティアによる補足指導を期待している。 ・発電所における安全対策、5S等の職場環境整備 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 三菱重工製、新潟原動機製ディーゼル発電機(28HLX型エンジン 16気筒) 4) 配属先同僚及び活動対象者 電力部部長 男性 アイメリーク発電所22名、マラカル発電所20名、ペリリュウ発電所13名、アンガウル発電所6名、カヤンゲル発電所5名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚への指導のため ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由: 技術者に指導を行うため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(海洋性熱帯気候) 気温(25~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	住居の場所によっては通勤に自家用車あるいは自転車が必要。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 018 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
タイ	工作機械			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) トンブリラチャパット大学理工学部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 バンコクトンブリ区 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 0 Km 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1948年設立の総合大学。理工学部、教育学部、人文学部、経営学部、工学部の5学部及びインターナショナルカレッジから成る。職員数約60名、学生数5200名。同大学の前身は教育短大であったことから、卒業生の多くは中学校、高等学校の教師となるか企業等に就職する。年間予算は約2,500,000円。理工学部の教師数7名、学生数約80名。					
要請概要	1) 要請理由・背景 タイでは、製造業の発展に伴い労働者の需要が急増し慢性的な労働者不足状態となっている。特に工業系の知識と技術をもった人材が不足している。工学系大学では、電子工学、工作機械、自動車工学等の製造業関連の人材育成に努めているが、理論中心となっているため、実習を強化し、就職後実践でより役に立つ技術の強化が求められている。理工学部では特にCNCに関する実習の強化が求められているが、教官は基礎的な知識、技術はあるものの、CNCの実習指導を行うための技術が十分でないためボランティアの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 CNC実習機器を活用した実習カリキュラムの確立及びタイ人教官との協働による学生に対する実習指導をする。 2 タイ人教官によるCNC理論に関する講義の改善アドバイスを。 3 CNCクラブ活動に対する助言をする。 4 可能な範囲で、企業のインターン受け入れ、求人に関する情報の収集をする。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、CNC実習機(シーメンス、Edu-Mill) 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師7名、スタッフ1名(男6名、女2名、20~50歳代、博士2名、修士6名)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (機械工学) 理由: 同僚教師が全て修士以上 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 専門的な知識と技術が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 3 日

要請番号(SL 021 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
カンボジア	工作機械				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 労働職業訓練省 2) 配属先名 (日本語) カンボジア国立技能専門学校(NPIC) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 プノンペン市郊外 JICA事務所の所在地(プノンペン市中心部)から 西 方向 20 Km 主要都市(プノンペン市中心部)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 当該配属先は、2005年に韓国からの支援を受けて、国内外で活躍できる人材を育成するために新設された学校である。自動車、電気、電子、土工学、コンピュータ、観光の6学科で構成されており、3～6か月の短期コース、2年間(短大課程)、4年間(大学課程)が設けられている。また、海外の大学や教育機関との連携も積極的に行っており、韓国やインドネシア、ベトナムなど17校とつながりがある。2012年からは、在カンボジアの日経企業との連携にも力を入れており、既に企業数社とは学生の就職推薦や教員を企業に派遣しての出張授業も実施している。						
要請概要	1) 要請理由・背景 NPICの教授陣は国内でも有数の大学を卒業したエリートであるが、現場経験がないため、コンピュータ数値制御装置(CNC)を実践で使用したことのある教員がいない。現在、本配属先でCNCを担当している教員たちは、さらに知識や経験を深めたいと希望している。そのため、教員を対象にCNCの実技指導や助言ができるSVが求められている。学生の大多数は入学後初めて英語を学ぶことになるため、英語の理解度が低い。学生への授業はクメール語が基本であるため、担当教員と授業の中で実技の実演等の一部を受け持つことがあっても、派遣されるSVが単独で科目を担当することはない。当該配属先は、これまでも積極的に各国からボランティアの講師を受け入れており、現在は韓国からのボランティアが韓国語の講師として派遣されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 機械工学科主任の助言のもと、以下の業務を実施する。 ① 配属先にある機材や教員のニーズを確認する。 ② 教員に対してCNCの実技の指導をする。 ③ 教員からの質問に対して個別に指導をする。 ④ 教員に対してCNCの保守・整備の指導をする。 ⑤ 実習室の整備、並びに安全及び安全表示に係る指導や助言をする。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 TNV-40A (TONGIL)1台、TSL-6(TONGIL)1台、JW-35B(JINYONG)1台 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科主任(40歳台、男性)、機械工学科の教員3名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:実技指導が中心となるため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22～38℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
メキシコ	工作機械			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
			3	/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) メキシコ教育省 2) 配属先名 (日本語) ケタロ工科大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケタロ州ケタロ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北 方向 150 Km 主要都市(ケタロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1967年創立の国立工科大学。建築、エレクトロニクス、メカトロニクスを中心に11の学部を有している。敷地面積は7ha。在学生は約5,000人。職員数は約400名。2009年10月より第1代目のJICAボランティア派遣(金型、生産管理)を開始し、現在は第2代目となる2名のSV(渉外促進、品質管理)が活動中。						
要請概要	1) 要請理由・背景 メキシコは世界有数のプラスチック消費国であるが、プラスチック加工分野での人材が不足し、裾野産業における設計や成形技術のレベルが低いことから生産が大きく立ち遅れている。また産業分野の国際競争力強化が喫緊の課題になっており、特に当国の主要産業である自動車加工及び電子機器加工に必要なプラスチック部品の加工技術については、日墨経済連携協定の下、わが国のメキシコへの投資拡大を進めるにあたって重要な要素のひとつとなっている。第1代目派遣においては、大学の指導教官に対する日本式生産管理についての支援を行うべく、地元中小企業を技術指導する為のマニュアルを作成した。第2代目の派遣では本マニュアルを利用しつつ、更なる指導教官育成のために、大学が選定したモデル企業4社に対し大学の教員と共に巡回指導を実施しており、当該分野のさらなるボランティア派遣が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 製品デザイン・金型デザインの技術指導及び助言 2. 金型部品の機械加工に関する助言及び加工指導 3. 金型組み立てに関する助言 4. 試作の立会い時のデータのまとめ、フィードバック、不具合の修正等についての助言・指導 5. 製造工程表の助言と構築 6. 金型メンテナンスの指導・助言 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 130t射出成型機、放電加工機、CNC-マシニング、CNC-ターニング、研削盤、旋盤、ラジアルボール盤 4) 配属先同僚及び活動対象者 男性 40代 経験15年						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導者育成に必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地性・温帯) 気温(5~30 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D227)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
メキシコ	工作機械			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
			3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) メキシコ教育省 2) 配属先名 (日本語) ケタロ工科大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケタロ州ケタロ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北 方向 150 Km 主要都市(ケタロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1967年創立の国立工科大学。建築、エレクトロニクス、メカトロニクスを中心に11の学部を有している。敷地面積は7ha。在学生は約5,000人。職員数は約400名。2009年10月より第1代目のJICAボランティア派遣(金型、生産管理)を開始し、現在は第2代目となる2名のSV(渉外促進、品質管理)が活動中。						
要請概要	1) 要請理由・背景 メキシコは世界有数のプラスチック消費国であるが、プラスチック加工分野の人材が不足し、裾野産業における設計や成形技術のレベルが低いことから生産が立ち遅れている。また産業分野の国際競争力強化が喫緊の課題になっており、特に当国の主要産業である自動車加工及び電子機器加工に必要なプラスチック部品の加工技術については、日墨経済連携協定の下、わが国のメキシコへの投資拡大を進めるにあたって重要な要素のひとつとなっている。2009年より派遣された初代の工作機械のSV(離任済)は、金型分野が専門であり、大学指導教官に対する日本式生産管理についての支援を行うべく、地元中小企業を技術指導する為のマニュアルを作成した。2代目は、プラスチック成型に関するSVの派遣も要請されたため、2人体制で、更なる指導教官育成のために、大学が選定したモデル企業4社に対し、大学の教員と共に巡回指導の実施が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.射出成型機での製造技術指導(材料による条件設定の助言) 2.段変技術指導(安全・効率・時間短縮への助言) 3.不良要因(機械・材料・環境・人)の対策助言 4.射出成型機の保守管理についての助言 5.環境改善やその他品質及び工程管理に関する助言 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 130t射出成型機、プラスチック粉碎機、コンピューター(CAD/Cam/CAE) 4) 配属先同僚及び活動対象者 男性 40代 経験15年3名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導者育成に必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地性・温帯) 気温(5~30 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 306 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ボリビア	工作機械				1	25 / 3	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校サンタクルス校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンタクルス県サンタクルス市 JICA事務所の所在地(ラパス)から 南東 方向 550 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同校は、1996年に人間開発省と民間企業連合会により設立された非営利団体である。全国9県の県庁所在地に校舎があり、事業運営は生徒の学費と企業からの寄付で賄われている。サンタクルス校は中堅技術者養成を目的に、在職者用の短期コースと2年間の技術者養成コース(7学科)を開講している。現在、JV1名(自動車整備)とSV2名(電気・電子制御機器管理・品質管理)が活動中である。予算は約230万米ドル。

要請概要	1) 要請理由・背景 同国では近年急速にコンピューター数値制御(CNC)の工作機械の導入が進んでおり、技術者を育成する同校においても現場のニーズに合わせてCNC旋盤及びCNCフライス盤を取り入れた。しかしながら、教員の知識が乏しく十分に活用できておらず、同分野へのニーズを反映させた授業作りが喫緊の課題となっている。ボランティアには、同校が所有するCNC工作機械の有効活用への支援が求められている。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 教員・学生を対象に、CNC旋盤及びCNCフライス盤のプログラミング、操作に関する講習会を行う。 2. 工作機械分野の知識・技術向上のため、現在行われている授業内容の改善に協力する。 3. 日本で普及している工作機械(特にフライス盤・旋盤)、及び工作機械の最新技術の動向について紹介する。	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 フライス盤(BIESSE社・ROVER B 4.35)、旋盤(ROMI社・CENTUR 20RV)、パソコン、プリンター	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教員5名(男性、20~50代、専門学校卒~大卒)	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務上必要なため ・ PLCに関する知識 理由: 指導を求められているため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(10~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	教室型
------	-----

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 475 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
チュニジア	工作機械			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
				年	月	
				から		
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・雇用省					
概要	2) 配属先名 (日本語) スース溶接プラスチック成形技術訓練センター(CSFSOP) <input type="radio"/> NGO					
概要	3) 任地 スース県スース市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 南 方向 140 Km 主要都市(スース市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、職業訓練庁(ATFP)傘下で1995年に設立された、溶接・プラスチック成形加工に特化した職業訓練センター。プラスチック技術専門のセンターは、チュニジアには本校のみ。卒業時に取得出来る技術士の資格(BTS、BTP、CAP)によってコースは分かれており、履修期間は2年半もしくは2年間。金型製作・保守、溶接・組み立てなど6つの学科を抱える。学生は校内での授業と実習、そして提携企業での実習とを2ヶ月ごとに繰り返す形で技術を習得する。学生総数約1000名で大多数がプラスチック関連学科に在籍中。職員は約50名、年間運営予算は2500万円。ドイツからの機材供与などの支援を受けている。					
概要	1) 要請理由・背景 本職業訓練センターはチュニジアにおいて、プラスチック関連分野の唯一のセンターで、他の教育機関も研修生を送っている。しかし、創立の95年以来、指導技術や使用機材などは変わっておらず、近年のプラスチック産業の近代化に見合っていない。同産業界で現在必要とされている、更なる新しい知識やテクニックの導入が課題である。特に、同校においては精密金型を作製したことがなく、学生は企業実習の際に学習する。そのため、経験豊富なSVによる担当教員への技術協力を目的として本要請が上げられた。今回が初のJICAボランティア派遣となる。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、以下に関して担当教員への技術協力と補佐を行う。 ①精密金型の製作に関する補助、技術指導を行う。 ②同金型のメンテナンス・調整に関するアドバイスや指導を行う。					
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 工作機械(NCフライス盤:MONAC(伊)/WEBCO(独)/EMNO(オーストリア)、ボール盤、旋盤、グラインダー、研削盤、放電加工機、その他)、実習室					
概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:男性1名、50代 ・職員:約50名中、男性:女性=4:1 ・同職種担当教員:男性3名、40~50代 ・学生総数:約1000名、男性が75%			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 同僚・生徒の性別に合わせて ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務内容上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 7 日

要請番号(SL 306 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ボリビア	電気・電子機器			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校サンタクルス校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンタクルス県サンタクルス市 JICA事務所の所在地(ラパス)から 南東 方向 550 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同校は、1996年に人間開発省と民間企業連合会により設立された非営利団体である。全国9県の県庁所在地に校舎があり、事業運営は生徒の学費と企業からの寄付で賄われている。サンタクルス校は中堅技術者養成を目的に、在職者用の短期コースと2年間の技術者養成コース(7学科)を開講している。現在、JV1名(自動車整備)とSV1名(電気・電子制御機器管理)が活動中である。予算は約230万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 近年電気・電子機器分野への関心が高まり、ボリビア国内の大企業の多くが電子制御による生産ラインとなってきている中、これに見合う知識・技術力を有する人材が必要となっている。そこで、配属先では、このニーズに対応できる授業・実習を行うために前任者が要請され、カウンターパートを含めた教師に対し、マイクロコントローラ(MCU)の授業を開始出来るよう、MCUの指導とMCUを使ったロボット製作の指導が行われた。前任者の指導したロボットは、サンタクルス市の大規模な展示会で展示され、多くの注目を浴びた。それに伴い、前任者はC言語の導入指導・演習と改良型ロボットの作成、第一回ロボットコンテストの実施を目指して活動している。配属先は、前任者の活動を評価しており、授業の更なる充実を期待し、本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 電気・電子科で、カリキュラムの見直し、教材の改善、新しい機材の購入支援を含めた以下の支援を行う。 1. PLCを利用した計装制御分野(実習用の計測・制御・監視装置等の製作及びプログラミング等)の指導に関するアドバイス。 2. デジタル家電機器の講義(理論及び修理実習)に関するアドバイス。 3. 基本計測器(デジタルマルチメータ、デジタルオシロスコープ、信号発生器)を用いた講義(使用法、電子機器修理法)に関するアドバイス。 4. C言語プログラミングを利用したロボット製作とロボットコンテストの開催に関するアドバイス。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLC(Allen-Bradley)1台、PLC(シーメンス)11台、PLC(モジュール)5台、デジタルオシロスコープ1台、信号発生器1台、プロジェクター1台、パソコン1台 4) 配属先同僚及び活動対象者 電気・電子科の教員:男性5名					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:講師への指導も必要なため ・ PLCに関する知識 理由:活動上必要なため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(10~35 °C位)		電気 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし 水道 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし			
特記事項	教室型					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 3 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
パラグアイ	電気・電子機器			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 司法労働省 2) 配属先名 (日本語) 職業能力開発局中部センター 3) 任地 カアグアス県コロネル・オビエド市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 南東 方向 140 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 司法労働省管轄下の職業能力開発局(SNPP)は、産業界の人材の能力開発を目的に設立された技術教育機関であり、日本側はこれまでに、1988年、無償資金協力にはじまり、1994年からは職業能力促進センタープロジェクトを実施し、コロネル・オビエドでは、2005年から「中堅技術者訓練拡充」プロジェクトが実施されている。配属先は電気科、電子科、コンピューター学科の3科にて構成されている。同配属先にはこれまでにSVとして電気2名及び職業訓練管理1名が派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2007年2月から司法労働省・中部地方局訓練センターが新規開設され、地域の中核的存在になりうる情報分野の中堅技術者・指導員の育成が行われている。「中堅技術者コース」は2年課程で、能力開発短期大学のレベルに匹敵する。この短期大学コース電気科において、SVは2代にわたりパワーエレクトロニクスや電子制御の基礎知識をPLCを用いたトレーニングを通じて指導教官を対象に技術支援を実施してきた。今回は3代目として現在までのまとめとしての活動を期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 下記項目について、同僚教師及び生徒に支援を行う。 1.中圧から低圧への受電設備、屋内配線の実習機材整備支援及び実践指導 2.PLC技術に関する機材整備への支援や実践指導 3.電気科カリキュラムの評価及び改善アドバイス 4.実習用テキスト作成への協力 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、複写機、オシロスコープ、マルチメーター、テスター、ロジカル・アナライザー、ファンクション、ジェネレーター、PICマイコン実習装置、一般工具他(学校内他学科施設含む) 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校コーディネーター 30代後半(日系人) 電気科コーディネーター 20代後半 教師 20代前半 短大コース(2年制) 各学年15名定員 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由:経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 7 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
パラグアイ	電気・電子機器			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 司法労働省 2) 配属先名 (日本語) 職業能力開発局 日本パラグアイ職業能力促進センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 セントラル県サンロレンソ市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 東 方向 10 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同センターはパラグアイの産業近代化を図るため、電子技術分野を中心とする技能労働者育成を目的として設立された。首都アスンシオン近郊のサンロレンソ市に立地した施設であり、一般対象の職業訓練短期コースと2年制の短大コースを併設している。受講生は一般コースが年間1000人以上であり、短大コースは各科(5科)各定員15名である。5科とは電子科、電気科、制御科、情報科、冷凍空調科である。2002年から2004年まで職業訓練の提供及び同技術者を養成するための技術協力プロジェクトがJICAにより実施された。本要請の配属先は電子科となる。現在1名のSVが制御科で活動中である(2014年3月まで)。					
要請概要	1) 要請理由・背景 上記技術協力プロジェクト終了後5年が経過した2009年から当該分野における中堅技術者育成のための2年制の短大コースが新設されている。パラグアイでも徐々にではあるが工業化が進んできており、日進月歩の産業界のニーズに合致した教育・実習内容の改善が課題となっている。特に電子技術分野では優秀な技術者は企業などに就職するケースが多く、教師の育成及び指導内容のレベルアップのためにSVが要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 電子科に所属し以下の活動を実施する 1.教師陣に対しシミュレーションソフトを使ってデジタル回路設計(PLD、DSP、PIC、マイコン)及びアナログ回路設計の指導をする 2.実習機材整備にアドバイスする 3.関連分野の生徒に対して講義を実施する 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パワーサプライ、レギュレータ、信号発生機、オシロスコープ、マルチメータ、シミュレーションソフト(Proteus、Multisim、MPLAB等)、コンピュータ等 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師、男性 20代後半 教師、男性 20代後半 教師、男性 20代前半 生徒 2年制短大コース(1学年15名程度)、短期コース一般生徒 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 同僚が同等以上のレベルの為 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 327 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ペルー	電気・電子設備			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 全国工業労働訓練機関 (SENATI) 2) 配属先名 (日本語) 全国工業労働訓練機関 イカ・アヤクチョ地方局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ピスコ JICA事務所の所在地(リマ)から 南 方向 242 Km 主要都市(イカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 受入先である全国工業労働訓練機関は、全国に14の地域事務所(独立採算性)をもち、各地域事務所が複数のセンターを統括している。配属先のイカ・アヤクチョ地方局は、ボランティアの活動拠点となるピスコセンターをはじめ4つのセンターを統括。本地方局の年間予算は約474万ドル(2013年)。うちピスコセンターは約118万ドル(同)。センター全体の講師数は38名。電気グループ全体の学生数は、昼夜合わせて257名。通常3年間で卒業。1年目は昼間コースで毎日、2~3年目は協力企業に勤務しながら週1回本センターで授業を受ける。資金源は地域内の企業からの協力金、および授業料。日本以外の他国からの援助はない。					
要請	1) 要請理由・背景 配属先の所管地域では製鉄業や農産業などが盛んであり、近年では天然ガス関連産業も盛んになっている。このような背景から、地域ではオートメーションシステム(自動制御)分野における人材のニーズが高まっている。この需要に応えるべく、配属先では講師の技術のブラッシュアップや授業モジュールの改善が早急に必要となっているが、そのための知識や経験を有する人材がいなかったことから、本要請がなされた。配属先のイカ・アヤクチョ地方局は、管轄する4つのセンターのうち規模(講師数、学生数、対象企業)が最も大きなピスコセンターと同じ敷地にある。配属先の地方局は4センターの技術レベル向上の役割を担っており、そのために、ピスコセンターを地方局の中心校として、他の3センターに勤務する講師への技術指導も行っている。これらのことから、ボランティアは配属先を本地方局とし、主な活動先をピスコセンターとする形での要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 電気グループの講師(同僚)に対し、生産ラインの自動化に関する技術を伝える。 2 電気グループの講師(同僚)に対し、空気圧系統・油圧系統にかかる電子工学技術を指導する。 3 電気グループの講師(同僚)に対し、電子工学の授業モジュール作成の際のアドバイスを行う。 4 必要に応じ、同僚講師とともに、他の同僚講師に対して電子工学の講義やワークショップを実施し、技術の紹介を行う。 5 同僚講師とともに協力企業を訪問し、配属先が実施するフォローアップ授業に反映するためのアドバイスを行う。 (補足:ボランティアが主に活動を共にする電気グループの講師は全9名。工業電子、工業電気、生産ラインの自動化の3つのコースを受け持っている。) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 カリブレーター(Fluke社製725、及びMicrocal社製P20)、ハンドフリーコミュニケーター(Emlson社製375)、8チャンネルレコーダー(Eurotherm社製5100)その他 4) 配属先同僚及び活動対象者 電気グループの講師(=インストラクター)9名。全員男性。30~55歳。平均40歳。 ピスコセンターでの勤務年数は平均8年。中にはSENATI(全国工業労働訓練機関)勤務25年の同僚あり。 同僚で英語を解する者はいない。					
概要	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:講師育成のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(砂漠) 気温(10~28 °C位)		電気 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし 水道 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし			
特記事項	職業訓練機関での勤務経験があることが好ましい。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 475 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
チュニジア	電気・電子設備			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			〇 2 年 〇 1 年 〇 ヶ月	1	25 / 3	
				2	25 / 4	
				3	/	
年 月 から						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・雇用省 2) 配属先名 (日本語) クラム職業訓練センター(CFPTI) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チュニス県クラム市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 北東 方向 10 Km 主要都市(チュニス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は職業訓練庁(ATFP)の傘下の機関で、1993年に設立された、チュニジアで唯一エレベーター保守の学科を持つ職業訓練センターである。訓練期間は2年間で、3種の異なる技術士の資格(BTP/CAPなど)を取得出来るコースに分かれており、冷凍・空調、電子自動制御、工業機器保守など10の学科がある。訓練生数は約600名、教員数は約50名で年間運営予算は約2千万円である。イタリアの協力で開設したが、現在、外国からの技術援助は特にない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 現在、エレベーター保守の2名の教員が指導をしているが、専門的な経験は浅い。また、新たに3基の訓練用エレベーターが既存の2期の老朽機器の代わりに設置されたのに伴い、エレベーターの設置・保守に関して経験のある技術者から知識・技術に関して協力を得ることを目的に要請がなされた。クラスは、2クラスに学生が20名ずつ在籍しており、学生は、訓練センター内の授業の受講と外部企業における実習とを交互に行っている。なお、チュニジアにおいてエレベーター保守技術者の需要は多く、卒業生自身が会社を設立し後輩を雇用している例もある。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先のエレベーター保守科において、以下の業務を行う。 ①担当指導教員へ授業に関わる技術的なアドバイスを行う。 ②同科目の指導内容改良に関して指導教員を補佐する。 ③技術的な知識・情報などを必要に応じて担当教員や学生に伝達する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 訓練用Hyundai製エレベーター3基(3階まで移動可能)、イタリア製エレベーター2基(取り外してある) 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長を含むセンター教員数約50名、内女性10名。 ・指導対象者:担当科目教員2名(一人は機械、他は電気が専門) ・学生:約600名 平均年齢23歳、女性は数名。 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務内容上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46 °C位)		電気 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし 水道 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 31 日

要請番号(SL 551 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
ザンビア	電気・電子設備			年 月 から	日系/短期
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 2) 配属先名 (日本語) チョマ職業訓練校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チョマ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南 方向 280 Km 主要都市(チョマ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1970年設立の国立職業訓練校。電気、自動車整備、機械工学、土木、木工、ビジネスの各コースが開講されている。学生数は約300名、担当する電気科は1年生50名、2年生25名程度。年間予算は約2000万円。				
要請概要	1) 要請理由・背景 地方都市も電化が進み、技術者の需要が増加している。他方で、ザンビアの職業訓練教育は座学による講義が主流であったことから実務経験のある講師が不足している。また、省庁の教員再教育のプログラムが停滞しており、教員が新しい技術や知識を学習する機会が少ないのが現状である。このような状況の中、現場経験豊富なSVIに大きな期待が寄せられており、今回の要請に至った。ボランティアには、最先端の技術の知識よりも、現場の経験に基づいた知識が求められており、ザンビアの現状に即した指導が期待されている。また、前任者が、Programmable Logic Controller(PLC)の機材とソフト(三菱製)を導入しており、自動機器の制御装置に関する指導も期待されている。				
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 講師として次の活動を行う。 ・電気設備に関する講義および実習 ・同僚講師への助言 ・数学などの基本科目の補習授業				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 配電盤、実験用モーター、PLCコントローラー(三菱製)				
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・常勤講師1名(30代男性) ・非常勤講師1名 活動対象者 ・20~30代の高校卒業者		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) () 理由: 配属先学歴レベルに合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(サバンナ) 気温(5~35 °C位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 515 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D232)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ケニア	AV機器				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 森林・野生生物省 2) 配属先名 (日本語) ケニア野生生物公社(KWS) 本部マルチメディア室 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ナイロビ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 KWSは国立公園等保護区内外の野生生物保護活動、保護区運営・経営管理に当たる政府機関で、密猟者取締り等の保護区警備、野生生物と住民間のトラブル対処、住民に対する環境保全教育等を行う。ボランティアが配属するマルチメディア室は、環境教育を通して野生生物保全に関する住民啓発に取り組むKWS本部教育部門が統括し、KWSによる野生生物管理及び公園管理上の各種取り組みの映像記録や、環境教育関連のビデオ教材、印刷物の製作、並びにマスコミ用報道番組、観光宣伝等の素材の作成、並びにそれら資料データの管理を行う。2011年度の同室の予算は約31万円、機材維持管理費33万円。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ケニアでは2013年のデジタル放送本格導入を前に、既に部分的に放送のデジタル化が開始されている。それに伴い、KWSマルチメディア室ではデジタル化に対応する必要に迫られ、今後、デジタルシステムに対応した撮影機材、編集機材、録画機材の導入を進める。派遣されるSVは、既存のビデオ素材のデジタルシステムへの変換についての技術指導、並びに機材導入、及びその使用に関する指導が期待されている。 また、KWSに対しては長年にわたりJVによる環境教育支援を実施しているが、それら隊員が作成した各種環境教育啓発資料等が適切に管理されているとはいえない状況にあるため、派遣されるSVは、中央における資料管理拠点として、マルチメディア室における環境教育資料の管理体制の整備に対する支援も期待される。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・既存映像素材のデジタルシステムへの変換についての技術指導 ・配属先のデジタルシステム化に対する助言(従来機器の継続活用とデジタルAV機器導入についての助言) ・今後導入される、デジタルシステムに対応した各種AV機器の使用に関する指導 ・各種機材管理に関する指導 ・環境教育啓発資料等のデータ管理システム整備とその運用についての指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ノンリニア編集機材一式、録音室、HDCAMビデオカメラ 4) 配属先同僚及び活動対象者 マルチメディアリソースマネジャー(50才代男性、業務経験20年以上) マルチメディアオフィサー(30才代男性、業務経験16年) マルチメディアアシスタントオフィサー(30才代男性、業務経験5年) マルチメディアアシスタントオフィサー(30才代女性、業務経験1年) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:実際の映像製作に関わる為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高原) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D233)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ブータン	建設機械			1	25 / 3	年 月 から
		2	/			
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 2) 配属先名 (日本語) 中央機械ユニット <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ブムタン県ブムタン市 JICA事務所の所在地(ティンプー市)から 東 方向 257 Km 主要都市(ブムタン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農林省管轄の下、ブータン国内の全ての県(20県)を対象にした農道整備や土地開発、灌漑設備建設に必要な建設機械の配備、点検・整備を行っている。2008年から始まった第10次5か年計画において幹線道路の整備が喫緊の課題として挙げられており、同配属先に期待されることは大きい。2006年には5億円、2011年3月には6億円の道路建機が無償資金協力により供与されている。2011年10月まで道路建機維持管理のSVが活動していた。外国等からの援助は入っていない。年間予算は約101百万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2011年10月まで同配属先で活動していたSVにより基本的なメンテナンス作業や修理は配属先スタッフでも対応可能となっている。しかし、簡易なメンテナンスだけでは効率的に運用できないほか、建設機械の稼働量の増加に伴い、高度な修理技術を要する故障のトラブルシューティングが必要となってきている。配属先では整備工場を建設し、本格的な修理を行える環境を整備しているが、より複雑なトラブルに対応できる技術が不足しているためJVの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは主に点検・整備を担当し以下の活動を行う。 1.配属先にある建設機械の油圧系回路および電気系回路の保守点検 2.上記機械の一般的な修理 3.地方で稼働中の建設機械の保守点検作業(地方巡回) 4.同僚への指導ならびにアドバイス、および簡易マニュアルの作成 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CATERPILLAR エキスカベーター (320C, 311, 304)、CATERPILLAR ブルドーザー (D6R)、KAWASAKI ホイールローダー、SAKAI 振動ローラー等が稼働中 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(男性) ・カウンターパート(40代:男性)(実務経験22年) ・修理担当者10名、建設機械オペレーター50名(20代~40代)(実務経験5年~15年) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の男性比率が高いため ・学歴 (専門学校卒) (機械工学) 理由: 専門的な知識が必要のため ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚への実践指導を含むため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~25 °C位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	特になし					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D233)			JOCV/SV	日系/短期	
エジプト	建設機械	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
					3 /	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 住宅公益事業新都市開発省
	2) 配属先名 (日本語) 建設機械訓練センター ○ NGO
	3) 任地 ラマダン十日市 JICA事務所の所在地(カイロ大都市圏)から 北東 方向 50 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1989年に日本の無償資金協力により、各種建設機械の運転技能向上、整備修理分野における人材育成を目的として設立された施設である。全スタッフ数は約85名。年間予算は約6,500万円。建設機械運転技能訓練、保守管理、マネージメントの3つの訓練コース(3~5週間)を提供している。これまで長期専門家8名、短期専門家5名、SV5名(生産性向上、工作機械、建設機械運転技能、建設機械保守管理)が派遣され、配属先からも約20名が日本での研修に参加した実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 これまで同センターでは、日本の援助により技術協力プロジェクト、フォローアップ協力、第三国研修等が実施されてきた。また運転技能訓練部門には、2009年3月から2年間、前任SVが派遣され、コースのカリキュラム見直し、アラビア語版運転指導マニュアル作成、危機予知訓練の実施などを行った。しかし、現場の技術者不足などにより、アシスタントトレーナーの育成が十分にできておらず、スタッフの技術レベルは低いままである。時代のニーズに応じたスタッフの技術レベル向上と質の高い訓練の提供を目指し、引き続き支援が求められ今回の要請となった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.アシスタントトレーナーに対して建設機械の適切な運転及び取扱い技術を指導する。 2.適切な日常点検や維持管理の定着を図るための支援を行う。 3.安全規則に対する意識を高め危険予知訓練の定着化を図る。 4.運転技能コースの指導内容についての改善提案を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 建設機械一般(ブルドーザー、ホイールローダー、パワーシャベル、タワークレーン等/コマツ、タダノ、キャタピラー他ドイツ製など)
	4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長:(男性、50代) 同僚技術者: 1名(男性、40代)、大卒、経験15年程 アシスタントトレーナー: 約20名(男性、30~50代)、工業高校卒、経験15年程度

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(砂漠) 気温(5~50 °C位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D233)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
エジプト	建設機械				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 住宅公益事業新都市開発省 2) 配属先名 (日本語) 建設機械訓練センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラマダン十日市 JICA事務所の所在地(カイロ大都市圏)から 北東 方向 50 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1989年に日本の無償資金協力により、各種建設機械の運転技能向上、整備修理分野における人材育成を目的として設立された施設である。全スタッフ数は約85名。年間予算は約6,500万円。建設機械運転技能訓練、保守管理、マネージメントの3つの訓練コース(3~5週間)を提供している。これまで長期専門家8名、短期専門家5名、SV5名(生産性向上、工作機械、建設機械運転技能、建設機械保守管理)が派遣され、配属先からも約20名が日本での研修に参加した実績がある。						
要請概要	1) 要請理由・背景 これまで同センターでは、日本の援助により技術協力プロジェクト、フォローアップ協力、第三国研修等が実施されてきた。しかし、保守管理部門で行われる訓練内容は、既存の古いテキストや建設機械メーカーのワークショップマニュアルを基に、講師個人の能力に依存した形の講義がなされており、体系化されているとは言い難い。このような状況の下、前任のSVは日本の建設機械の構造・整備法テキストの翻訳、電子データ化に取り組み、英語版テキストを完成させた。本テキストを使用し、技術支援を行う人材が不足しているため、今回の要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.保守管理部門のスタッフが行う建設機械の整備、修理に関して技術指導、支援を行う。 2.保守管理訓練コースの指導内容向上改善に関する提案を行う。						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 シリンダーボーリング機・研磨機、噴射ポンプテスト、油圧機器テストスタンド、各種コンポーネントのカットモデル(内燃機関、トランスミッション、トルクコンバータ、油圧ポンプ、アクチュエータ、バルブ等) 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長:(男性、50代) ・同僚技術者:2名(男性、40代、)工業専門学校卒、経験15年程 ・保守管理部門機械工:約6名(男性、30~40代)、工業高校卒、経験15年程度 ・訓練生:約20名/1コース (男性、18~50代)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要 理由:			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~50 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 26 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D234)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
モロッコ	船舶機関			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業漁業省 2) 配属先名 (日本語) ララシュ水産技術学院(ITPM) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ララシュ県ララシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 150 Km 主要都市(タンジェ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ララシュ水産技術学院は、我が国の無償資金協力により建設された。2001年から5年間、技術協力プロジェクト「零細漁業改善普及システム整備計画」が実施され、学院内に全国水産普及センターが開設された。現在3名の水産普及員が配置されており、全国の普及センター支部との連絡調整、及びララシュ県内の零細漁業者に対する改善普及活動を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 農業漁業省は零細漁業分野の近代化をはかるべく、零細漁村のインフラ整備と漁民の生活レベル向上を漁業振興政策の優先課題として取り組んでいる。その優先課題の中で海難事故防止にかかる安全対策が求められているものの、依然として海難事故が多発していることから、具体的な対応として船外機の保守整備体制の見直しが検討され、技術的なアドバイザーとして経験のあるSVが要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ララシュ水産技術学院で以下の指導を行う 1.船外機保守点検管理の研修実施 2.同学院内の全国水産普及センターと連携し、零細漁民を対象とした保守点検指導のあり方に対する助言 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 船外機カットモデル、船外機(YAMAHA製)、機関科実習室、普及啓発活動用車両(トラック)、製本機、印刷機、PC、プリンター 4) 配属先同僚及び活動対象者 水産技術学院長(男性・50代) 全国普及センター長(男性・40代) ララシュ地区普及責任者(男性・50代) 水産普及員(男性・40代)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (<input type="checkbox"/> 2級整備士 (G・D)) 又は (<input type="checkbox"/> 船用機関整備士) ・性別 (<input type="checkbox"/> 男性) 理由: 同僚の漁民が男性のため ・学歴 () () 理由: ・経験 (<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験) (<input type="checkbox"/> 10年以上) 理由: 指導者への助言を含むため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(半乾燥気候) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 3 日

要請番号(SL 009 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
マレーシア	自動車整備			1年	1 25 / 3	日系/短期 年 月 から
				ヶ月	2 /	
			3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 人的資源省 2) 配属先名 (日本語) 上級技術訓練センター(ADTEC)シャーアラム校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 セランゴール州 シャーアラム JICA事務所の所在地(クアラルンプール)から 南西 方向 40 Km 主要都市(シャーアラム)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 産業界の熟練技能者の養成を目的とし、また地域の職業能力開発の中核的役割を担うために全国に8校配置されているセンターのひとつ。シャーアラム校には自動車製造コース、航空機メンテナンスコース、溶接コース等9コースがあり、これまでに電子、電気、メカトロニクス分野と職業訓練就職課の運営指導分野にSVが派遣されてきた。年間予算は2.8億円。マレーシアでは国産車の品質向上のための技術者養成に取り組み、その一環として配属先ではJETROが実施した貿易円滑化投資事業で海外人材育成協会が日産自動車の協力を得て自動車技能者の人材育成を実施した(MAJAICOプロジェクト2006年～2011年)。					
要請概要	1) 要請理由・背景 職業訓練校としての能力強化の為、各コースの指導力強化と就職支援の両分野にてJICAボランティアを派遣してきている。配属先ではMAJAICOプロジェクト実施前は、自動車関連分野ではメンテナンスコースしかなかったが、MAJAICOプロジェクトにより施設の整備と教師向けの155の講座が実施され、2012年から自動車製造ディプロマコースが新設されることとなった。このディプロマコースでは自動車の製造ラインにある一連の作業である溶接や組み立てライン、配線、ロボット技術等について授業が行われているが、現地人講師のみの授業運営では経験の浅い教師が多く、講義内容や実習の内容に関し知識が不足しているため、講義や実習の質の向上のためSVの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 日産の自動車製造工程を基本に作られた同校自動車製造ディプロマコースにおいて、ボランティアは以下の業務を実施する。 1.自動車製造ライン(溶接、組立、配線等)のカリキュラム、授業内容に対して必要な助言をおこなう。 2.実習の実施内容に係る改善のための助言を、自動車製造についての授業運営の経験が浅い講師に対しておこなう。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室 パーソナルコンピューター、固定電話、インターネット 4) 配属先同僚及び活動対象者 メカニカル訓練科講師 7名、30代、短大卒、経験5年程度 産業訓練科講師 3名、30代、短大卒、経験5年程度 学生は18歳以上 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (機械工学) 理由: 教員指導が含まれている為 ・経験 () () 理由: ・ 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ブータン	自動車整備				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 労働人材省				<input type="radio"/> NGO		
先	2) 配属先名 (日本語) サムタン自動車整備職業訓練校						
概要	3) 任地 ウォンディ県サムタン村 JICA事務所の所在地(ティンパー市)から 東 方向 75 Km 主要都市(バジヨ町)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)						
要請	4) 配属先の規模・事業内容 同省管轄の9校ある職業訓練校のひとつで2003年に設立された。自動車整備を内容とする訓練校は同校とティンパーにある。14名のインストラクターがおり、約130名の生徒が学んでおり、約半数の生徒は寮で生活している。自動車整備コースと大型車・重機運転者コースがある。2名のSVの派遣実績がある。						
概要	1) 要請理由・背景 ブータンは近年の人口増加に加え都市への人口流入により、若年層の雇用問題は深刻化している。現在、労働人口を吸収するだけの産業がブータンには存在していないことに加え、若年層の求める職業・職種と産業界の求める人材とのギャップが生じている。ブータン全体の現在の失業率は3%強とされているが、これを都市部の若年層に限ると10%を超える状況にある。こうした状況を受け、ブータン政府は民間セクター振興策に加え、職業訓練校の質的・量的な改善、民間セクターの雇用環境改善のための法整備等への着手を開始している。 同時に、急激な自動車の普及が進んでいるが、適正な技術を有するブータン人の整備工は不足している現状である。同配属先においても、インストラクターは実務経験が浅く、実習を伴う指導を行える人材は少ないため、生徒およびインストラクターへの指導が求められ要請に至った。						
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・生徒を対象とする自動車整備全般にわたる実習指導 ・インストラクターへの技術指導及びアドバイス ・指導内容へのアドバイス						
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習車輛(TATA、Mahindra、TOYOTA、MarutiSUZUKI)、カーリフト、溶接機器(アーク、ガス)、タイヤ交換設備、充電器(HRMaxx50、HRupx50) 4)に続く						
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(50代 男性) 主任教官(40代 男性) インストラクター エアコンプレッサー、グリースポンプ、マルチテスター、圧力測定器具、修理工具、PC、プロジェクター等。			5) 活動使用言語 (英語)			
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:活動遂行上、必要な為 理由:			6) 生活使用言語 (英語)			
地域概況	気候(温帯性) 気温(0~30 °C 位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要			
特記事項	現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可						



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 28 日

要請番号(SL 227 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
エルサルバドル	自動車整備			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 高等技術学院サンタテクラ校 3) 任地 ラリベルタ県サンタテクラ市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北東 方向 15 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 高等技術学院は高等技術教育による技術エキスパート養成を目的として開設され、日本の短期大学に相当する。教育省管轄下にあり「高等技術学習における斬新的教育モデルMEGATEC」などを実施しているが、運営は独自に行われている。配属先は国内5校の本部で、自動車工学科など10学科17コース、学生数は約4千名である。過去、英国政府、米州開発銀行の援助があり、2013年1月現在、JICAボランティア派遣は4名(配属先に自動車整備SV・料理JV、東部2校に青少年JV、電子工学SV)、KOICA(韓国ニカ国間援助機関)専門家1名、台湾ボランティア1名が活動中である。2013年の年間予算は約120万米ドル。					
配属先概要					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の自動車工学科は2年制の昼間部と3年制の夜間部があり、卒業時には技術者資格が与えられる。2012年の学生数は昼間、夜間合わせ約780名、学科長はじめ30名弱の教職員により運営されている。指導内容は自動車整備実習場や外部民間企業での実習と理論授業から構成され、カリキュラムに基づいて総授業時間数約2200時間の授業を行っている。配属先では就職率の向上を目指し、民間企業や自動車ユーザーのニーズに応える人材育成のため、カリキュラムの見直しや実習場の整備(新機材の導入、5S手法や労働安全の視点を取り入れた環境改善など)を進めたいとしている。現在派遣中のボランティアもこの要望に沿って活動をしているが、カリキュラムも膨大であり、かつ実習場の規模も大きい(配属先経営整備工場併設)ことから、本要請により、前任者の活動を完了させることが望まれており、後任の要請があげられた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の自動車工学科に所属し、民間企業や自動車ユーザーのニーズに応える人材育成を目指し、同僚と共に活動を行う。 1.自動車工学科指導カリキュラムの見直しに協力する。配属先では日本の自動車整備士育成カリキュラムを参考にしたいとしている。 2.自動車整備実習場の環境改善に関する助言を行う。 3.同僚教員及び学生を対象として、自動車に関する講義を定期的実施する。				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 四柱リフト、コンプレッサー、実習用乗用車(1990～2003年式のトヨタ・ホンダ・現代・起亜車計7台)、電気溶接機、油圧プレス、工具などの自動車整備実習機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車工学科長:男性、40歳代、同学科卒業生 同僚教員:男性24名、20～50歳代 学生:男性約780名、16～20歳代				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 教員への助言が必要である 理由:			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
地域概況	気候(熱帯) 気温(15～35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 475 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
チュニジア	繊維			2年	1 25 / 3	年 月 から
				1年	2 25 / 4	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 産業省 2) 配属先名 (日本語) 繊維工業技術センター(CETTEX) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ベンアールス県ベンアールス JICA事務所の所在地(チュニス)から 南 方向 15 Km 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ベンアールス市のビル・エル・カサア産業地帯に位置する公的機関で、繊維業及び衣服業に係る技術的な支援を行っている。設立は1992年。主な事業内容としては、同業界の企業に対して評価や商品開発の支援、新技術や先端技術の指導などの技術支援、繊維に関する研究、企業内・外研修の実施、また同業界における統計などを含めた情報の普及や伝播などを行っている。年間運営予算は、約2億2千万円。これまでに、服飾、スタイリストを中心とした7名のJICAボランティアが派遣されたが今回の要請は、異なる分野。これまでに欧州を中心とした諸外国から支援を多く受けている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 チュニジアにおいて繊維・衣服業は、製造業では第2位を占める主要産業である。国内には2000以上の大・中小企業があり、20万人以上の従事者がいる。とりわけ輸出向けの既製服製造が盛んで生産量の90%以上を占め、特にEU諸国にとっては、中国・トルコなどに次ぎ第5位の輸入国である。その様な背景下、同配属先は上記の様な事業を展開しているが、今回新たに、織物の晒し、染色などの仕上げ技術に係るプロジェクトが立ち上げられた。同プロジェクトは、首都から140km離れた繊維業の都市モナスティールの技術資源センターにて今後展開されていく予定。繊維、生地の仕上げの開発を目指した同プロジェクトは、染色、仕上げ、デジタルプリント等に係る新技術を各企業、会社に指導していくことを目指す。すでに、事前調査は終了され、今後機材の調達から順にプロジェクトを進めていく予定。本要請は、同プロジェクト展開の支援のためになされたもの。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において同僚職員と共に以下の業務を行う。 ① 上述のプロジェクトに係る必要な機材の調達(染色・デジタルプリント・ラボの染色分析機械など)に関するアドバイスを行う。納入業者の選定の支援。 ② 同プロジェクトの計画策定や見直しに関する支援を行う。 ③ 同プロジェクトに必要な設備を整えるためのアドバイスを行う。 ④ プロジェクトの監視や評価を行う。 ⑤ 商品の原価と売値計算等に係るアドバイスを行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務室・事務用品一式(電話・PC・インターネット・プリンター・共有のFAX)、出張時は、車両及び運転手提供可 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・施設長:50代、男性1名、大卒の繊維分野エンジニア(民間企業での経験も有り) ・モナスティール施設のセンター長:大卒の繊維分野エンジニア ・その他、大卒の繊維・化学分野エンジニア等 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚職員のレベルに合わせて ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 業務内容上必要 ・ 繊維仕上げに関する経験 理由: 業務内容上必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 7 月 30 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D252)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ジャマイカ	木工				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 産業投資商務省 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカビジネス開発公社 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同社は2001年に設立され、零細～中規模の企業へ起業促進や経営支援をしている。支援分野は経営、技術、情報提供、市場開拓、融資にわたり、これまで2000名以上の人々を支援した。起業促進の技術面では食品加工、アクセサリ、縫製の施設を研修に提供している。また、米州開発銀行や欧州連合の資金協力により、青少年職業訓練、零細企業連携促進、貧困層への起業促進などの特別プロジェクトも実施している。予算は約18千万円。テキスタイルデザインのボランティアがH25年1月に派遣され活動中である。						
要請概要	1) 要請理由・背景 家具は多くの場合小規模工場で作成されており、経済的な価格の家具供給に貢献しているが、デザインや最終仕上げにおける品質管理にまだまだ改善の余地が見られる。そのため同国製家具は輸入製品に勝る潜在力がありながら競争力が伸び悩んでいる。ボランティアが同社の技術スタッフを教育して、現代的なデザインのコンセプトと仕上げ技術を広めることができれば、公社としてクライアントへの創造的なビジネス支援を可能とし、目的である産業振興へ貢献できると期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.家具のデザインコンセプトを配属先デザイナーに指導する。 2.家具の品質管理と仕上げ技術を指導する。 2.プロトタイプとなる製品の製作。 3.公社職員及びクライアントへのトレーニング実施。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PCとAdobe suite, TurboCAD などのデザインソフト、及びプリンターなどの周辺機器 4) 配属先同僚及び活動対象者 デザイナー数名(内、家具デザイナーは20代男性2名、女性1名、設計士は20代男性3名)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) (業務関連分野) 理由: 理論的な知識が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場での経験実績必要 ・ 家具製作技能士 理由: 指導のため必要不可欠			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 11 月 30 日

要請番号(SL 066 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D271)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
スリランカ	陶磁器				1	25 / 3	日系/短期 年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 2) 配属先名 (日本語) 視覚・舞台芸術大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コロンボ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 0 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 視覚・舞台芸術大学は2005年設立の芸術系大学。要請は同大学視覚芸術学部陶磁器学科から出された。同学科は主に産業界へ陶磁器技術者を輩出している。陶磁器専攻の学生は20名程度。同学科は主に産業界へ陶磁器技術者を輩出すると同時に、教員や陶磁器作家の育成にも力を注いでいる。なお、陶磁器学科は専攻学生だけでなく、副専攻学生への陶磁器授業も行っている。予算は公表していない。						
要請概要	1) 要請理由・背景 スリランカは陶磁器生産が盛んな国であるが、個人が高温で焼く陶磁器を作ることは難しく、比較的低温度で焼くことができる楽焼の普及が期待されている。前任者は生徒に対して指導を行うとともに、電気窯の修理、セラミックファイバー導入の支援を行い、楽焼の授業環境を整えてきた。セラミックファイバーを導入したことで中・大型の作品づくりが可能になり、道具としての楽焼だけでなく、芸術作品としての楽焼づくりが可能になった。本陶磁器学科の楽焼技術を高め、地方の産業振興に貢献するとともに、新しい陶磁器文化の創造を目的としてボランティアの要請があがった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・陶磁器学部に楽焼の技術を紹介する。 ・陶磁器学部生に対して、楽焼技術の授業をおこなう。 ・陶磁器学部生に対して、焼成技術の指導を行う。 ・陶磁器学部生に対して、現代美術の知識を伝える。 ・紹介・授業の内容は、窯の利用法、粘土の加工技術、釉薬調合技術、ベーシック楽焼・還元楽焼等楽焼成技術全般。 なお、欧米の楽焼のイメージは日本の茶碗を中心とした伝統的楽焼とは異なっている。あまり日本の楽焼にこだわらず柔軟な思考で活動できる人材が求められている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小型電気窯1台。中型ガス窯1台。粘土等の材料。セラミックファイバー等陶磁器を作る最低限の設備。 4) 配属先同僚及び活動対象者 陶磁器部長はじめ部には4名のスタッフがいる。年齢20代～50代。博士・修士保持者や20年の講師経験を持つものなどレベルは高い。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行に必要であるため 楽焼経験3年以上 理由:業務遂行に必要であるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯) 気温(24~34 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 315 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D272)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
コロンビア	皮革工芸				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会保障省 2) 配属先名 (日本語) 国立職業訓練庁 ボゴタ首都圏地域局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 クンディナマルカ県ボゴタ市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ボゴタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 様々な分野の技術者育成を目的に設立された独立性を持つ公的機関。1957年にILO(国際労働機関)、コロンビア労働組合、カトリック教会が主体となり設立された。全国32県とボゴタ首都圏に地域局を持ち、116のセンターにおいて長期・短期の職業訓練コースを運営している。2010年には年間約50万人の技術資格者を育成し、短期のコース受講者は約600万人に及ぶ。2011年の予算は配属先全体で約10億米ドルの大組織である。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先となる国立職業訓練庁では、国内産業の国際競争力強化のための技術革新を推進している。ボゴタ首都圏地域局においては、2011年12月まで「服飾(生産性向上)」のSVが活動した。その評価は高く、新たに皮革工芸分野(特に革靴)へのSV派遣要請となった。革靴の製作においては、デザイン・足型づくり・製造工程といった全般的な改善が求められているが、特に旧態依然の手描きパターン作成にAuto CAD等の技術を導入するといった改善が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.Auto CAD を活用した革靴パターン作成コースの開設、指導 2.革靴製作指導全般への技術改善指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 革靴製造工程に関する一般的な機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・皮革コース全体の教官は約20名(経験5年~30年の20代~50代、主に男性) ・訓練生は皮革コース全体で約450名(年齢は15歳から50代と幅広い) 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地) 気温(5~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード D273)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
エジプト	貴金属装身具製作			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
			3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 貿易産業省 2) 配属先名 (日本語) 宝飾技術センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カイロ JICA事務所の所在地(カイロ)から 北 方向 0 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、貴金属装飾業界の人材育成及び振興を目的に2006年に設立された。業界で働くことを目指す訓練生やすでに業界で働く人材への職業訓練、研修を提供するとともに企業への技術支援などコンサルティング業務も行っている。訓練生数は約80名、職員数は8名。配属先年間予算は約2,000万円。2012年5月までタイ人講師が2年間の契約で雇用され指導を行っていた。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、宝飾デザイン、貴金属加工、ワックス加工、石留めなど宝飾製作技術に関わる一連の職業訓練を行っているが、質の高い技術を持った講師が不足している。2010年から2年間タイ人の契約講師を招へいし、指導を行ってもらっていたが、石留め技術の中でも難しいとされているインヴィジブル・セッティングに関する現地人講師への技術移転はまだ不十分である。センター長は隣接するファッションデザインセンター(要請SL463-12-D-02)の長を兼ねており、同センターに過去に派遣されていたSVの活動から、日本人の技術に高い評価と期待を寄せている。また技術に加え日本人ならではの発想に基づいたデザイン指導も期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の宝飾デザイン部門で以下の業務を行う。 ①同僚講師に対するインヴィジブル・セッティングの技術指導及びアドバイスを行う。 ②訓練生に対して石留めの技術指導を行う。 ③配属先が技術支援を行っている宝飾産業会社を訪ね、技術的な助言を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 貴金属・宝飾製作トレーニング機材一式 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:女性、大卒、50代、センター長 カウンターパート:女性、30代、石留め技術指導講師 その他講師:3名 訓練生:20~40代 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経歴) (10年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~50 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 166 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード E102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
パラオ	再生可能・省エネルギー			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			2年	1	年 月 から	
			1年	2		
			ヶ月	3	/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) パラオ電力公社 2) 配属先名 (日本語) 再生エネルギー部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コロール JICA事務所の所在地(コロール)から 西 方向 0 Km 主要都市(コロール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 パラオ電力公社は、1994年に設立された国内唯一の電力供給公社として全国に電力を供給しており、2013年度の年間予算は約28百万米ドルで、総職員数は123名である。配属先である再生エネルギー部は2010年に新設された部署で、4名の職員から成り、国内に設置されている太陽光発電システムの内、2008年に連邦政府庁舎の駐車場に設置された設備と、2011年に日本の無償資金協力により国際空港に設置されたシステムの管理を行っている。将来的には、ペラウ国立病院と教育省に設置されているシステムの保守管理も同部に移管される計画である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 パラオでは現在電力供給のほぼ全てをディーゼル発電に依存しているが、気候変動対策として2020年を目標に電力供給の20%を再生可能エネルギーにより賄う計画である。現在、太陽光発電の中でもバッテリーを必要としない系統連系型太陽光発電システム(連系PVシステム)の普及拡大を図っており、2008年から2011年にかけて、EU、台湾、日本の資金援助により連邦政府庁舎や国立病院、国際空港等に太陽光発電システムが導入されている。2010年には4名の職員により再生エネルギー部が新設され、現在、連邦政府庁舎と国際空港に設置されたシステムの維持管理を担当しているが、将来的には国立病院と教育省に設置されているシステムの維持管理も移管される計画である。今後更に再生可能エネルギーの利用拡大を図るためにも同部の強化は急務である。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に国内の太陽光発電システムの保守・管理に協力する。 1、2008年に連邦政府庁舎の駐車場に設置された100kWの連系PVシステムの保守管理。 2、2011年に国際空港に設置された180kWの連系PVシステムの保守管理。 3、1、2、のメンテナンスをカウンターパートと共に行いながら指導する。					
要請内容	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 100kW連系PVシステム、180kW連系PVシステム 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、勤続9年、マネージャー カウンターパート:男性2名、30代、勤務経験は4年程度、コンピュータ専攻で電気関係の知識や技術は限られている。太陽光発電システムに関するワークショップ参加経験有。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (エネルギー管理士) 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先職員4名とも男性 ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 同僚への指導に不可欠 ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(海洋性熱帯) 気温(25~30℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 7 日

要請番号(SL 212 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード E102)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	○ 2 年	1 25 / 4	
ベリーズ	再生可能・省エネルギー			○ 1 年	2 /	年 月 から
				○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) エネルギー・科学・技術・公益事業省 2) 配属先名 (日本語) エネルギー局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カヨ郡ベルモパン JICA事務所の所在地(ベリーズシティ)から 南西 方向 80 Km 主要都市(ベリーズシティ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は2012年3月の省庁改編で天然資源・環境省エネルギー局から、新設の現行省庁下に再編された部局で、気候変動対策の観点から、省エネルギー、再生可能エネルギー推進を含むエネルギー政策全般を担当している。職員数は3名、新設省庁のため予算は今後確定する。2010年にIDBと共催でJICAが行った省エネルギー分野の本邦研修に職員が参加している。また、GEF、EUから案件別に財政的な支援を受けている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 国民生活が向上しエネルギー使用量の増加が顕著であるが、石油以外にエネルギー資源を持たないベリーズでは省エネ対策や代替エネルギー利用の検討を始めている。歳出削減のためにもエネルギー効率の向上は必須で、建物のエネルギー効率向上や環境配慮建築に関心が高まっている。さらに自動車の排ガス規制を含む交通網の検討を行い、適切な公共交通システムの導入にも取り組む予定にある。エネルギー局では政府庁舎と公用車の環境負荷調査を実施し、使用している電気、ガソリン量を把握、監査できるシステムを構築し、改善点をアドバイスできる人材が必要となり、ボランティアの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 財務省資産管理部と協力し、以下の業務を担当する。 (1) 庁舎建物の構造や建築材料、窓や照明数の確認など建物のエネルギー効率の診断を行う。 (2) エアコンなどの空調設備、電子・電気製品の使用電気料を査定する。 (3) 庁舎管理のためのシステム構築(特に個々の部署の電気使用量を把握する管理方法の紹介) (4) 調査結果を踏まえ、エネルギー効率の良い庁舎改修のためのアドバイス。(窓やエアコン設置場所の改善、環境配慮建築の紹介など) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンター、コピー機、必要に応じ公用車 4) 配属先同僚及び活動対象者 実質的な同僚は計3名 局長 40代(男性) NGO担当 30代(男性) バイオマス専門のアドバイザー(男性) 他に天然資源環境省政策局職員が対応に当たる 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 専門知識が必要なため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 職員指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯・亜熱帯) 気温(20~35 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 7 日

要請番号(SL 212 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード E102)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input type="radio"/> 2 年 <input checked="" type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ベリーズ	再生可能・省エネルギー			1	25 / 3	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) エネルギー・科学・技術・公益事業省 2) 配属先名 (日本語) エネルギー局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カヨ郡ベルモパン JICA事務所の所在地(ベリーズシティ)から 南西 方向 80 Km 主要都市(ベリーズシティ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は2012年3月の省庁改編で天然資源・環境省エネルギー局から、新設の現行省庁下に再編された部局で、気候変動対策の観点から、省エネルギー、再生可能エネルギー推進を含むエネルギー政策全般を担当している。職員数は3名、新設省庁のため予算は今後確定する。2010年にIDBと共催でJICAが行った省エネルギー分野の本邦研修に職員が参加している。また、GEF、EUから案件別に財政的な支援を受けている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 国民生活が向上しエネルギー使用量の増加が顕著であるが、石油以外にエネルギー資源を持たないベリーズでは省エネや代替エネルギー利用の検討を始めている。主要産業は農林水産業(サトウキビ、柑橘類、バナナ、パパイヤ、水産品)で、輸出歳入の約50%を占めている。砂糖、柑橘類については大規模な施設で加工を行っているが、動力源として電力に大きく依存している。また、サトウキビ絞りカスを利用しバイオマス発電を行っているほか、柑橘類の絞りカスの家畜飼料利用にも取り組んでいるが、主要産業の施設、設備を検証し、最大限エネルギー効率の良い設備への脱却が求められているところから、ボランティアの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 各プラントとも民間企業ではあるが同国の主要産業であるため、業界団体と政府の関係は強い。ボランティアは、業界団体や経済開発省主管部門と協力して以下の業務を担当する。 (1)工場の施設、設備のエネルギー効率診断と改善のための助言。 (2)バイオマス発電施設への技術的なアドバイス。 (3)プラントのエネルギー効率向上について、電力使用の多い、ジャムやソースなどの食品加工や水産加工など、他産業に応用するための報告書作成と職員指導。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンター、コピー機、必要に応じ公用車 4) 配属先同僚及び活動対象者 実質的な同僚は計3名 局長 40代(男性) NGO担当 30代(男性) バイオマス専門のアドバイザー(男性) 他に天然資源環境省政策局職員が対応に当たる 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 専門知識が必要なため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 職員指導を行うため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯・亜熱帯) 気温(20~35 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 10 日

要請番号(SL 303 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード E102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
アルゼンチン	再生可能・省エネルギー			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) メンドサ州政府インフラ・エネルギー省 2) 配属先名 (日本語) 鉱山・エネルギー庁・エネルギー局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 メンドサ州キャピタル郡メンド-サ市 JICA事務所の所在地(ブエノスアイレス市)から 西 方向 1200 Km 主要都市(メンド-サ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、インフラ・エネルギー省エネルギー・鉱山庁傘下であり、主な役割は①州内のエネルギー供給量の定期的な診断の実施及びエネルギー需要の推定、②エネルギー関連プロジェクト作成、分析及び促進、③州内におけるエネルギー案件の実施に向けた投資促進事業、④代替エネルギーの利用・開発の促進、⑤エネルギーの合理的及び効果的な利用促進等である。現在、12名(技術者及び管理職含む)の職員が勤務しており、2012年度の予算は約280万ドル。約30年前、JICAが「電気通信放送網整備計画」の開発調査を実施した際の先方実施機関であったが、これまでボランティア派遣実績はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 メンドサ州におけるエネルギー供給は、石油・ガスが90%を占め、発電形態としては、大部分を火力(33%)・水力(55%)に頼っている。このため、現在、①石油・ガスへの依存度が高い、②エネルギー供給問題を有する、③再生エネルギーが有効的に利用されていない、④省エネルギーが十分実施されていない等の課題を抱えている。このため、こうした課題に取り組むべく同庁では「2011年～2040年のエネルギープラン」を策定し、①組織体制強化、②本プラン実施に必要な人材育成計画の開発、③エネルギー部門の情報システムの開発、④再生エネルギーに関する中・大規模プロジェクトの実施、⑤輸送部門にてクリーンエネルギーの導入、⑥省エネルギーの促進等に取り組んでいる。しかしながら、これらの課題に取り組むには、再生可能なエネルギーや省エネルギー関連に高い専門性や知見を有する人材による指導、助言が不可欠であるため本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現状把握をしつつ、専門性に応じた活動内容を下記項目から選択し、実施する。 ①分野別(工業、商業、サービス、公共施設等)のエネルギー省エネルギープログラムの策定支援をする。 ②配属先関係者等に対し、省エネルギーに関する具体的な提案や技術支援を行なう。 ③政府及び民間機関における省エネルギー関係者(エネルギー診断士、省エネ担当者等)に対する研修の支援を行う。 ④省エネルギー関連のワークショップ・セミナー等に参加し、可能であれば講演等を通して省エネルギー対策を推進する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター他事務機器。 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先代表者:男性 30代 配属先同僚(事務所にて業務を行う関係者) 女性3名:全員20代、男性2名:50代(学士は修士) 主なカウンターパート 経験年数:5年～10年 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上不可欠 ・ エネルギー管理士 理由:業務遂行上不可欠		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(乾燥) 気温(0~ 35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	
ベトナム	経営管理			1	25 / 4	日系/短期 年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術省 2) 配属先名 (日本語) 第3品質評価・測定・認定機関 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ホーチミン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1700 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 科学技術省系列の品質標準機関(STAMEQ)傘下の機関。製品・原料の試験・検査、計測機器の校正、品質認証、企業へのコンサルティング、標準化に係る研究・開発、人材養成、バーコードの普及・管理など標準化、品質に係る業務を当国南部で幅広く独立採算制の元で行っている。2008年には顧客管理、建設検査1名ずつの短期SVが、2008年と2010年には長期SV1名(品質・生産管理)が継続派遣された。2012年には電気機器標準化のJICA専門家が派遣された。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2015年のAFTA内関税撤廃が目前に控えると共に、2020年までの工業国化を目標とするベトナムにとり、競争力の強化、生産性の向上は待ったなしの課題である。配属先では生産性向上セミナー、コンサルティングなどを企業に対し実施しているが、効果的に進めるための高度かつ実践的な知識、経験、ノウハウを有するスタッフが未だ不足している現状にある。このため、初代短期SVを含めると4代目となる長期SVを派遣し、これまでの支援成果を発展させ、より高度な技法を用いてベトナム企業の競争力・生産性向上を支援できる体制作りを支援することとなった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と協働し下記を行う。 *生産性向上・品質向上コンサルティング・プログラムを整備・発展させる。 *SIX SIGMA、Lean Production等の生産性向上手法の産業界での普及・発展を支援する。 *SIX SIGMA、Lean Production等手法を用い個別モデル企業の生産性・品質向上を支援する。 *スタッフの生産性向上・品質向上コンサルティング能力を向上させる。 *スタッフに対して実施する「経営コンサルティング人材養成プログラム」を整備・発展させる。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、PCを含むオフィス機器。WIFI環境。 4) 配属先同僚及び活動対象者 コンサルティング部門を統括する50歳代の副所長以下スタッフは全員大学卒以上。海外留学、研修等の経験を有するものも多く、所内では英語での実務が広く行われている。人員数は生産性支援に22名、品質向上支援が14名。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 実践的な支援のため ・食品、繊維等工場実務またはコンサル経験 理由: 実践的な支援のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバナ) 気温(25~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	座学のみでなく、事務所、工場などでの実践的指導も求められる。					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 / /
ネパール	経営管理			年 月 から	
1) 受入省庁名 (日本語) 産業省 2) 配属先名 (日本語) ネパール小規模家内工業連合会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 南 方向 1 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1999年に設立された、家内・小中規模工業の業界団体である。国内75郡のうち72郡に支部を持つ。ネパールには約12.5万の小規模企業が存在するが、現在の登録会員は約1万社。配属先は会員支援のために、1)コンサルティング業務2)技術訓練の供与3)政策提言活動を展開している。配属先年間予算は約1.5万USD。EUの支援を受け、国内3郡において若年層向けのプログラムを展開中。2011年よりJICAボランティア(SV・経営管理)が、組織力向上支援を行っている。また配属先にはJICAの青年研修に参加した経験のある者が数名いる。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ネパール経済は、農業比率が高く、人口の大多数は大企業の存在しない農村に居住していることから、家内・中小規模工業の育成は重要な課題である。しかし、同分野は民主化後約20年間、低迷したままであり、1)生産技術や管理技術2)資本へのアクセス3)市場へのアクセス等の問題を抱えている。配属先は、業界団体として小規模家内工業の発展のために組織をさらに強化し、会員を支援する方針を打ち出しているものの、そのためのプログラムを立案し、実施に向けて、配属先職員を指導できる人材が不足している。現在同配属先で活動するボランティアの後任として、配属先と共に組織機能強化への取り組みを実践できる人材が必要との要請があった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の活動を配属先の職員とともに行う。 1.前任者の提案に基づき、配属先及び支部における組織強化プログラム計画策定。 2.配属先及び支部における上記プログラムの実施展開支援。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ 4) 配属先同僚及び活動対象者 理事会役員 会長1名 スタッフ6名(うち女性1名) 庶務スタッフ2名(うち女性1名) 20~50代 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 学歴社会のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経営指導が求められるため ・経営分析や中小企業の経営改善指導経験 理由: 経験に基づいた提言が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ジャマイカ	経営管理			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保障省 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、政府に先がけ1956年から知的障害者教育を始めたが、教育省は同協会と連携する形で1974年から特別支援教育を開始した。現在、全国28校にて教育省と協働で約1400名(5-20才)を無償で教育をしている。同協会へは教育省から助成があり、教師以外のサポート人員を学校に派遣している。近年、卒業生の職業能力向上のため、キングストン校に職業訓練所が開設された。過去に20名以上のJICAボランティアが派遣され、現在も2か所で3名(障害児教育、体育、手工芸)が活動している。年予算約6千万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 全国に28校ある同協会管理下の学校では、卒業後に少しでも自立の助けになることを期待して、手工芸、木工、園芸などの職業訓練を提供している。しかし、卒業後に学校で習った技術を使って就職することは困難で、卒業後就職できずに家に引きこもる障害者も多い。障害者が卒業した後、社会的生活を送る機会が減少する現実を少しでも改善して障害者の人生を意味のある物にしたいという願いからキングストン校で作業所を開設し、現在は細々とであるがコーヒー豆を使ったアクセサリーを製作販売している。同配属先に派遣されているJVを支援しつつ、この作業所を発展させ、地方の中心校4校にも同様な作業所を開設する計画を推進するために、日本での起業支援に経験のあるボランティアが要請された。					
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学生の卒業後の就業・社会参加について可能性を調査しながら以下の業務を実施する。 1. 作業所など卒業生が就業できるプログラムの改善を図る。 2. 配属先内に就業プログラムを調整するビジネスユニットの設立を支援する。 3. 配属先職員、プログラム担当者に対し起業・経営についての研修を実施する。 4. 全島の関係学校から選ばれたスタッフにプロジェクト開発・管理について研修する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な事務機器					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 協会本部啓発担当 女性 40代 各学校の校長 50代 各学校の教師 20から40代 コミュニティグループ 障害者		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) () 理由: 会計、経営の知識が必要 ・ 経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場経験が期待されている ・ 知的障害者支援についての知識が必要 理由: 知的障害者が活動対象である			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 312 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
チリ	経営管理				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁 2) 配属先名 (日本語) 冶金・金属機械産業協会(ASIMET) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(サンティアゴ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同産業協会は1938年に創設された非営利の企業共同体で、鑄物・金属関連を中心に加盟企業計約300社からなり、加盟企業の約60%が中小企業である。業界及び各企業の国際競争力が求められる中、企業と従業員に対する業務向上サービスを実施しており、技術的な支援(国際貿易・環境整備・部門ごとの研修など)を通じて企業の国際化を図ろうとしている。年間予算は約95万米ドル。						
要請概要	1) 要請理由・背景 SVの派遣を通して、加盟企業の競争力強化を図るべく代々支援を受け、日本式経営管理、生産管理の導入による企業と従業員の資質向上を目指してきた。また、日本企業の生産現場の実状を肌で知り工場運営・生産性向上等に生かすために日本への研修旅行も何度か実施している。 現在同職種でSV1名が活動中であり、同SVの持つ技術・知識を生かして各企業を巡回し5S、7W、TQM、JIT、カイゼン、カンバン方式等の日本的生産管理手法をチリ国内企業に直接指導することによりこれら手法の定着に努めており、引き続きの支援を必要としているため本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 生産工程、運営と管理改善を目指し、企業主・経営者・現場管理者・従業員を対象にアドバイス、研修、講演を行う。 1. 中小企業(25社~30社)を訪問し、TQM/JIT等に関する指導を実地でを行う。 2. 産業協会を通して必要な企業への設備投資、訓練等に関するアドバイスを行う。 3. 各関係企業に必要な知識・技術を普及させるための講演やセミナーを実施し、日本的生産管理手法の普及拡大に努める。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC等一般的な事務機器 4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ:男性40歳代~50歳代 2名、女性 40歳代1名。 会員企業:事業主、経営者(主として男性)30歳代~60歳代 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 関係者を配慮した要望 ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 活動遂行上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 3 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
パラグアイ	経営管理			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
				年 月	から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) パラグアイ工業連盟(UIP)
	2) 配属先名 (日本語) パラグアイ品質生産性センター(CEPPROCAL) <input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 西 方向 5 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同センターは、商工省傘下の機関として2007年1月、JICAプロジェクト開始とともに新設された独立採算性の民間組織である。当国の中小企業の品質・生産性の向上、マーケティング販売等に関するコンサルタントの育成を目的とするとともに、コンサルティングサービスの提供を行い、更に企業内研修、公開講座、セミナー等の研修を行うセンターである。これまでJICA専門家及びSV2名の派遣実績あり、2013年3月にはSV(マーケティング)が着任予定である。年間予算 290,000US\$。

要請概要	1) 要請理由・背景 2009年6月から日本人専門家から指導を受けたカウンターパートが講師となり、コンサルタント養成講座が始まった。この受講者の中から選抜を行い、2010年からはOJTによるコンサルタント育成を行っている。2010年9月から経営管理の指導科目でSV1名、2011年9月から品質管理SV1名が派遣されており、組織の運営強化やコンサルタントの育成に貢献した。前任者は、2012年9月まで活動しており、配属先自身についての経営管理分析・アドバイスやコンサルタント対象の講習会などを実施した。今回、さらなる配属先の経験と知識を向上させること、またCSRの普及を目的に要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.配属先同僚コンサルタント達へ中小企業をはじめとする顧客企業等への、コンサルタント業務としての経営管理(予算、コスト管理等)についてアドバイスを行う。企業へのコンサルタント業務に同行し状況分析・改善のための支援を実施する。 2.顧客企業に対して、経営管理についての手法や事例紹介を実施する。 3.コンサルタント講習会に使用している教材の作成・改訂に協力する。 4.コンサルタントを対象とした講習会を実施する。 5.CSR(企業の社会的責任)のパラグアイ国内での普及のために事例紹介等を実施する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン機器(インターネット可)、プロジェクター、コピー機、電話、FAX、椅子、机 等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長、女性 30代後半、修士 コンサルタント部門長、男性 40代前半 研修部門長、男性 40代前半 他 常勤コンサルタント2名(経験5年以上 全員日本での研修経験あり) 及び外部契約コンサルタント5名

資格条件等	5) 活動使用言語 (スペイン語)
	6) 生活使用言語 (スペイン語)
	7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)
	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
現職教員特別参加制度	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が同等以上の学歴を持つ ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:
	気候(亜熱帯) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記事項



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 730 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
セルビア	経営管理			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) セルビア投資・輸出促進庁(SIEPA) 2) 配属先名 (日本語) SIEPA 輸出促進部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ベオグラード JICA事務所の所在地(ベオグラード)から 南東 方向 1 Km 主要都市(ベオグラード)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 セルビアへの直接投資を検討している外国企業へ、進出に関する情報、市場分析・統計、許可取得、提携先地元企業の紹介、事業用地情報、各種サービスの提供。国外への輸出を検討しているセルビア国内企業への、国際フェアへの出展支援、ビジネス研修、中小企業の経営・生産性向上支援、外国市場分析、情報提供サービスなどを行っている。SIEPAは2001年に設立、投資サービス部門と、輸出促進部門の大きく二つに分かれ、年間予算は約5億1千万円(450万EUR)、従業員は約50名。参考までに同機関のウェブHPは「 http://siepa.gov.rs/en/ 」。					
要請概要	1) 要請理由・背景 セルビアの主な輸出産業の一つである製造業(自動車部品関連、金属加工、機械、産業機器)は、外国企業との取引なども活発化しつつあるが、競争力は未だ低く、生産性などを向上する必要がある、改善が求められている。「トヨタ生産方式」や5Sに代表される「カイゼン」手法を用いた日本の生産管理は、費用が掛からず企業の競争力が向上するとして、現地で注目されている。SIEPAでは、同様の活動で短期SVを受入れた経験があり、この活動の成果が良好であったため、改めて長期SVとして要請を行うものである。過去の対象企業は規模に関わらず、生産管理のレベルが低いものからかなり高いものまで、さまざまである。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ 支援対象企業の選定をC/Pと共に行う(製造業、10社程度)。 ・ 支援対象企業をSIEPAのC/Pと共に訪問し、現状分析を行う。 ・ 個々の支援対象企業に応じた改善行動計画をC/Pと共に行う。 ・ 必要に応じて生産性向上、無駄の削減などの「カイゼン」のワークショップを行う。 ・ 定期的に支援対象企業を訪問し、改善状況の確認と、改善指導、必要に応じて企業の行動計画を修正する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC並びに事務スペース 4) 配属先同僚及び活動対象者 <配属先同僚> ・ SIEPA副長官、男性、30代 ・ 外国投資アドバイザー、男性、20代 <活動対象者> ・ 製造業、10社程度、工員ならびに経営者 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同じレベルが必要 ・ 経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導に豊かな経験が必要 ・ トヨタ生産方式による業務経験 理由: 要請に基づく			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(大陸性気候) 気温(-5~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 2 月 4 日

要請番号(SL 051 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
バングラ デシュ	品質管理			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
				年	月	
				から		
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 工業省 2) 配属先名 (日本語) バングラデシュ工業技術振興センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ダッカ JICA事務所の所在地(ダッカ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダッカ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1962年、工業省管轄機関として設立された。主な事業は工業に関わる技術相談・指導、職業訓練、技術研究などを実施している。また、センター内には製造部門を併設しており、外部からの依頼に応じて小型部品の切削から大型ジェネレーターやプラント用設備などの機械に利用される大型の補修部品を製造し収益を上げている。 同様のセンターは規模の違いはあるが、ダッカ以外にもチッタゴン、クルナ、チャンドプール、ボグラに設置されており、上記のサービスを提供している。現在、ダッカのセンターにて品質管理(生産性向上/カイゼン)のSVが活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、産業分野の生産能力・技術力の向上を目的に、企業で働いている技術者や工業分野で働くことを希望している人材に対して技術トレーニングを実施している。他方で、バングラデシュ国内の生産能力や品質管理技術は十分とはいえない状況であることを配属先は認識しており、生産性向上(カイゼン、生産管理、品質管理)のために指導者の要請に至った。前任者(SV/品質管理/生産性向上・カイゼン)のカイゼン手法の指導により、5S及びその管理技術の成果が見え始めているが、配属先自身で継続的に実施出来る状況には至っていないため、引き続き、カイゼン活動の導入を通じた生産性向上と職場の安全教育への支援が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.ダッカセンター内の作業環境、品質管理、安全管理などの状況を確認し、5S活動を含むカイゼン活動を継続的に実施・推進しながら生産性の向上と生産管理、品質管理の更なる定着化を図るとともに、その向上を図る。 2.センター内で実施されている職業訓練にて、カイゼン活動の講義を実師する。 3.地方の訓練センターや地元企業を巡回し、カイゼン活動の普及を実施する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし。 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚: センター長:男性、50歳代 訓練部門スタッフ:エンジニア20名(大卒、20~40歳代、実務経験2~8年) 活動対象者: 技術訓練性:男女 20~30歳代					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験を活かした活動が必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
メキシコ	品質管理			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
			3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) メキシコ教育省 2) 配属先名 (日本語) サン・ファン・デル・リオ工科大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケタロ州サン・ファン・デル・リオ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北 方向 100 Km 主要都市(ケタロ州ケタロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、地元企業の競争力強化に資する人材育成を目的に1998年に創立された公立大学であり、年間の予算規模は約6億2000万円。メカトロニクス&情報コミュニケーション、オートメーション、工業化学等7つの学部を有し、敷地面積は約20ヘクタール、在学生約2,400人。職員数は140名。学生の年齢層は18才から24才。卒業前の課題として地元の様々な企業での4か月間の実習が義務付けられている。卒業生の約70%は卒業後6か月以内に就職しており約30%が修士課程へ進学する。これまでに本配属先に対する外国からの援助実績はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 自動車及び家電産業を中心とする産業集積地の一つであるケタロ州サン・ファン・デル・リオ市において、専門的能力を持った学生を産業界(特に日系企業関連)に供給できるようなカリキュラム開発に関する能力強化を行うと同時に、当該学科が実施する各種カリキュラムに対する改善策の提案が求められている。上記カリキュラムの再検討に際し、多くの企業において採用されている日本式生産方式(5S、KAIZEN)の要素を組み込み、産業界の要請により的確に応えるため、当該分野に関する知識は教員と学生の双方共に不可欠であるとの判断から本件要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.同大学での日本式生産性方式(5S、KAIZEN等)導入に関する評価と継続のための支援。 2.同大学の教員と生徒を対象に、日本式生産性方式(5S、KAIZEN等)に関する、セミナー、勉強会を実施する。 3.学生の実習先(地元民間企業)で行われる実習授業の巡回をモニタリングし、指導する教員へのアドバイスをを行う。 4.必要に応じカウンターパートと共同での教材・マニュアル作成に参加する。 5.JICAが既に作成した関連分野のマニュアル等を活用し、学内の当該分野に係る活動を促進する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン等 4) 配属先同僚及び活動対象者 当該学部責任者(修士、経験25年、男性、50代)1名 専門分野担当教官(修士、経験20年、男性、40代)1名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員を指導するため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高地性・温帯) 気温(5~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 04)

国名	職種 (コード F112)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期
メキシコ	品質管理	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	25 / 3
				2	25 / 4
				3	/
年 月 から					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 全国製造業会議所
	2) 配属先名 (日本語) 全国製造業会議所 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 メキシコ・シティ JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北 方向 0 Km 主要都市(メキシコ・シティ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国に80の支所を持ち、約2万社の会員企業を抱えている。会員企業のニーズに合わせ、社員研修の実施、コンサルタント派遣等を行っている。また、連邦政府の中小企業支援基金(Fondo Pymes)を受け、全支所で100以上の中小企業支援プロジェクトを実施し、本部においては14のプロジェクト(合計約700万円)が実施されている

要請概要	1) 要請理由・背景 2003年よりSVグループ派遣が開始され、これまでに14名のSVが派遣されている。第1グループは会員企業の実態調査及び5Sの普及に努め、第2グループは5Sの浸透及びセミナーを実施した。第3グループ以降はJETROとの官民連携という趣旨から、日系企業との取引を目指した優良企業を選定し、十数社が契約を取り交わす段階まで指導することに成功した。この成功事例を他の中小企業に活かす目的で新たなプロジェクトを検討しており、本件の要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 会員企業に対して、特に自動車部品製造、金属加工、プラスチック加工等の中小企業を、グループの他のSVと共に訪問し、統計的品質管理手法を用いて企業の競争力強化に協力する。 2. JETROとの連携にて行うメキシコ自動車部品裾野産業形成支援事業において、日系企業を含む車両組み立てメーカーまたはTire1企業(第一次サプライヤー)等への部品供給が可能となるよう、製造現場の巡回指導を通して協力する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車分野担当コーディネータ 大卒 男性 40代 経験10年 自動車分野担当職員 女性 40代

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	活動上の単車/自転車の必要性
	・免許 () 又は ()	<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 生産現場での指導に必要な為 理由:	現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(高地性・温帯) 気温(5~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
メキシコ	品質管理			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	1	25 / 4	年 月 から
					2	/	
			3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) メキシコ教育省 2) 配属先名 (日本語) ケタロ工科大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケタロ州ケタロ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北 方向 150 Km 主要都市(ケタロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1967年創立の国立工科大学。建築、エレクトロニクス、メカトロニクスを中心に11の学部を有している。敷地面積は7ヘクタール。在学生は約5,000人。職員数は約400名。2009年10月より第1代目のJICAボランティア派遣(金型、生産管理)を開始し、現在は第2代目となる2名のSV(渉外促進、品質管理)が活動中。						
要請概要	1) 要請理由・背景 メキシコは世界有数のプラスチック消費国であるが、プラスチック加工分野での人材が不足し、裾野産業における設計や成形技術のレベルが低いことから生産が大きく立ち遅れている。また産業分野の国際競争力強化が喫緊の課題になっており、特に当国の主要産業である自動車加工及び電子機器加工に必要なプラスチック部品の加工技術については、日墨経済連携協定の下、わが国のメキシコへの投資拡大を進めるにあたって重要な要素のひとつとなっている。第1代目の派遣においては、大学の指導教官に対する日本式生産管理についての支援を行うべく、地元中小企業を技術指導するためのマニュアルを作成した。第2代目では本マニュアルを利用しつつ、更なる指導教官育成のために、大学が選定したモデル企業4社に対し大学の教員と共に巡回指導を実施しており、当該分野のさらなるJICAボランティア派遣が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) プラスチック成形技術コースの生産管理分野に関して同大学の教官を指導する。具体的活動は以下の通り。 1.当該教官の知識や経験について分析し、カウンターパートと共に、教員対象の勉強会及びセミナーを企画・実施する。 2.メキシコ企業には古い装置が多いことから設備保全は大切な課題であるので、予防保全の考え方を根付かせるべく計画性と自己保全能力の向上を実践的に指導する。 3.上記大学内での活動が本件案件の軸となるが、必要に応じて地元企業の巡回訪問(品質管理、5S、在庫及び流通管理、工程管理等についての改善指導)も求められている。(本活動は大学側の調整次第であるが、あくまでも大学内での活動が優先される) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン等 4) 配属先同僚及び活動対象者 男性 40代 経験15年 男性 30代 経験8年 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 生産現場での指導に必要な為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地性・温帯) 気温(5~30 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 315 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
コロンビア	品質管理				1	25 / 3	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) アンティオキア科学技術センター 2) 配属先名 (日本語) アンティオキア科学技術センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アンティオキア県メデジン市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 北西 方向 400 Km 主要都市(メデジン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1989年に公共セクターにより設立され、企業等組織の生産性向上、フォーマル教育強化、セクター別技術振興が事業の3本柱となっている。公共セクターからの委託事業が90%を占め、当該事業の収益金により運営される。常勤職員50名に加え、請負業務により専門技術者等を別途契約している。同僚は本邦でのJICA研修修了者。2011年9月にはアジア各国を歴訪し生産性向上活動の先進的状況を学ぶ等の活動を始めた。APO(アジア生産性機構)への賛助会員としての参加や、JPC(日本生産性本部)からの指導など、今後の具体的な関係構築にも強い関心を寄せている。年間予算は約1000万米ドル。						
要請概要	1) 要請理由・背景 2010年10月より「品質管理」SVが赴任し、5S推進活動、生産性向上活動の企業訪問指導、またこうした指導に活用する教材の評価・改定が進められた。現状の課題は同配属先スタッフの改善指導経験の浅さであり、IE(Industrial engineering)手法やQC手法を活用した実地訓練が必要な状況である。同配属先による教育プログラムの実施運営体制の確立、活用中の教材の体系化といった、現在までに得られたボランティアによる成果の更なる定着、また市と連携し進められている中小企業の生産性向上プロジェクトへのサポートも期待され本要請に至った。同配属先は、更なる事業発展を目指したアジア(特に日本やマレーシア)の先進機関(JPC、APO等)との連携促進による知識や技術の吸収を図りたいとも考えており、こうした連携へのサポートも期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 市と連携し進められている中小企業の生産性向上プロジェクトへのサポートを中心に以下の活動を行う 1. 配属先同僚に対するコンサルタント活動の指導 2. 企業訪問を通じた5S推進活動および工程改善等の製造現場改善活動の指導 3. 5S推進活動、IE手法、QC手法、等の現場改善研修にて活用される教材の評価・改良 4. その他、配属先が必要とする支援への対応 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的事務設備 4) 配属先同僚及び活動対象者 活動をともに進める同僚は3名 ・ 主なカウンターパートは生産性向上業務担当の30代女性 2名 ・ 副センター長(50代男性) 3名ともに本邦でのJICA研修修了者 ※他に数名が活動に応じ随時加わる 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・ 経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(高原) 気温(15~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 14 日

要請番号(SL 239 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 / /
ホンジュラス	観光			年 月 から	
1) 受入省庁名 (日本語) 国家計画・国際協力省					
2) 配属先名 (日本語) マドリッドホテル業専門学校				<input type="radio"/> NGO	
3) 任地 フランシスコ・モラサン県テグシガルパ市 JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 2000年に開校した中米初の2年制のホテル業専門学校。生徒数約60名、教職員数23名。校舎はスペイン政府の援助で建設され、各種実習設備を備える。また、一部宿泊可能な施設もあり、生徒の実習用にホテルとして一般利用されている。中米で飲食に関する準学士を授与できる唯一の機関である。自主運営をしており、年間予算は50万米ドル。現在、ホテルサービス向上のために観光業のSV(2012年1月～2014年1月)を派遣中である。					
1) 要請理由・背景 ホンジュラスは観光業に力を入れており、ホテル業界からは、顧客満足度を高めるために、日本の品質管理・生産管理手法を取り入れてホテルサービスを向上させたいという声がある。こうした中、同専門学校に対するホテル及び観光業界からの期待は大きい。このため、各コースで5S等の品質管理の手法を紹介しながら人材育成を進めるため、SVが指導にあっているところであるが、この技術移転を継続的に行うため、後任の要請が出された。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.5S活動に関する他の教員(フロント教育担当、レストラン教育担当など)への指導の継続。 2.レストランでのサービスに関する生徒への指導。 3.ホテルサービスに関する他の教員への指導。 4.5Sに関するマニュアルの作成。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、インターネット、電話、FAX					
4) 配属先同僚及び活動対象者 ・23名の教職員でホテルに関する運営、メンテナンス業務や、ホテルサービスの授業を分担している。 ・上司は、60代後半女性、大卒、経験30年 ・カウンターパートは、コーディネーター、30代後半女性、大卒、経験5年		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 理論に基づく指導が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づく指導が必要 ・ 5Sに関する知識 理由: 活動上必須	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(18~33 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 19 日

要請番号(SL 445 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
トルコ	観光			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) クルシェヒル県 2) 配属先名 (日本語) クルシェヒル県庁文化観光局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 クルシェヒル県クルシェヒル市 JICA事務所の所在地(アンカラ市)から 南西 方向 184 Km 主要都市(アンカラ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 クルシェヒル県は首都アンカラと世界遺産カッパドキアの中間に位置し、歴史的遺産は紀元前にさかのぼりギリシャ、ローマ、ビザンティン、セルチュク、オスマントルコ時代の遺跡が連続と受け継がれてきている。しかしながらこれまで観光開発からは取り残されてきた。この状況を打破するために県は、同県が有する遺跡等の観光資源や温泉等の天然資源、それらの特性を最大限に活かした「歴史街道」観光開発に取り組んでいる。他国からの援助はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 クルシェヒル県は、人口22万人の農業を中心とした低所得地域で、就業人口の6割が農業従事者である。産業構造の多様化と所得向上を目指すべく県は、自然、遺跡、温泉を活用した観光開発に取り組んでいる。また、同県カマン郡には、中東文化センター付属アナトリア考古学研究所が1986年から発掘調査を継続している。2010年には発掘調査の成果を展示する博物館が文化無償で建設された。今般、この博物館を含む観光資源を活用した県の観光開発に支援のニーズがあり、SVの支援要請が出された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 観光振興・観光開発に関する以下のような活動が期待される。 1) 地元観光資源を宣伝するウェブサイト、パンフレットの作成支援を行う。 2) 新たな観光イベントの創出に係る助言を行う。 3) 地元と海外との交流を推進し、集客力の促進に係る助言を行う。 4) 地元公立観光学校と観光客への顧客サービス向上に向けた協力支援を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、パソコン 4) 配属先同僚及び活動対象者 県文化観光局では、局長、副局長(男性50歳代)のもとに102名が配属。県の観光振興、観光開発に携わっている。現在、男性職員76名、女性職員26名が勤務。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (トルコ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上である為 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導を行う為 ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(-23~+40 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 6 月 27 日

要請番号(SL 166 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G101)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期		
パラオ	青少年活動			2年	1	25 / 3	年 月 から
				1年	2	25 / 4	
		ヶ月	3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ミンゼンティ高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コロール JICA事務所の所在地(コロール)から 東 方向 2 Km 主要都市(コロール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ミンゼンティ高校は生徒数185名(9年生～12年生)のカソリック系私立高校で年間予算426千ドル(2011年)。						
要請概要	1) 要請理由・背景 現在同校では選択授業の一つとして日本語クラスを開講しているが、臨時教員一名による初級クラスしかないため中級クラスの開講に向けたボランティア要請をしてきたものである。また、パラオでは高校生の数学の学力の低さが問題となっており、ボランティアには数学の補修クラスにおける個別指導に取り組むことが期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・中級日本語クラス開講に向けて高校側と実施協議を行う。 ・臨時教員と共同して初級クラスおよび中級クラスの日本語授業を行う。 ・数学の補修クラスにおいて学習進度の遅れている生徒に数学の個人指導を行う。 ・可能であればパラオコミュニティカレッジの生涯学習コースにおける一般向け日本語コースを開催するなど、パラオ国内における日本語教育の発展に向けた活動を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピューター 4) 配属先同僚及び活動対象者 非常勤日本語教師(在留邦人が1名在籍) 数学教員 3名(外国人教諭、学卒)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 数学補修クラスを受け持つ為 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 日本語の単位認定を受け持つ ・ 高校数学の個人指導経験(数IA,IIA程度) 理由: 数学補修クラスを受け持つ為			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(海洋性熱帯気候) 気温(25～30 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	住居の場所によっては通勤に自家用車あるいは自転車が必要。						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
モロッコ	体操競技			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) フェズ青年スポーツ支局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フェズ県フェズ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 東 方向 200 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 フェズ県内のスポーツ施設の管理、運営を行っている。市内に複合スポーツ施設が幾つかあり、同支局も1997年に完成したスポーツ競技場の中にあり、設備は整っている。今後隣接した場所に宿泊施設、研修施設、プールなどの建設が予定されている。2011年9月から空手とサッカーの短期SVが活躍した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同施設では施設長(兼支局長)によりスポーツ学校(ECOLE)と称して青少年向けのスポーツ教室を開催しており、サッカー、器械体操、空手、合気道、テコンドウが実施されている。器械体操としては床運動、段違い並行棒、平均台、跳馬等の指導を行っている。県内の人口30%を占める若者に体操競技を通じた青年育成をボランティアと共に行いたいという意向で要請があった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) スポーツ競技場内の施設にて青少年を対象にした体操教室にて指導を行う。 1.地域の青少年を対象に体操の楽しさ、事故のないような指導 2.年齢層、経験の有無に応じた指導 3.指導技術の改善への貢献 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 床運動、段違い並行棒、平均台、跳馬、フィットネス機器など 4) 配属先同僚及び活動対象者 支局長(男性) 支局スタッフ 指導者 フェズ市内の青少年(未経験者、初心者) 7~9才、10~12才、13~14才 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由:教室で青少年を指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(内陸性) 気温(0~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 6 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G119)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
パラグアイ	卓球			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	25 / 3	
				2	25 / 4	
				3	/	
年 月 から						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ庁 2) 配属先名 (日本語) 卓球連盟 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 西 方向 5 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 卓球連盟はパラグアイ国内の卓球の普及、強化を目的として設立された団体である。当連盟へは1985年から1993年までJV3名が派遣されていたが、それ以降JICAボランティアの派遣はない。スポーツ庁及びオリンピック委員会に所属しており、連携した活動を実施している。国際大会参加時などにはスポーツ庁からの一部活動資金援助あり。オリンピック、世界選手権をはじめ国際大会に積極的に参加している。国際卓球連盟に加盟しており、男子はWC 2nd Divisonに属している。年間予算約200,000US\$。					
要請概要	1) 要請理由・背景 スポーツ庁、オリンピック委員会より国際レベルでの競技力向上を目指したい競技として、卓球が候補として挙げられ、卓球連盟からの要請に至った。パラグアイにおいて卓球はまだ一般的なスポーツではないが、徐々に競技人口が増加しており、首都アスンシオン内に複数のクラブがあり、約300名程度の生徒(選手)がおり、地方都市(エンカルナシオン市50名、エステ市70名程度)にも徐々に普及している。また、国際大会にも積極的に参加しており、北京、ロンドンオリンピックに男子個人で連続出場している選手(現在19歳)も在籍している。ナショナルチームへの指導による競技レベルの向上及び国内への卓球のさらなる普及のためにボランティアの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.ナショナルチームへの技術指導 2.パラグアイ国内のコーチの育成 3.国内での普及拡大のための活動プログラムの作成及び普及への協力 4.各クラブでの一般競技者への指導 5.地方出張に同行し卓球の普及への協力 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 卓球トレーニングセンター(国際卓球連盟認定規格卓球台15台)、その他卓球クラブ施設 4) 配属先同僚及び活動対象者 コーチ(連盟コーディネーター) 男性 30代後半 ITTFレベル2コーチ コーチ 男性 50代後半 ITTFレベル2コーチ コーチ 男性 30代後半 ITTFレベル2コーチ コーチ 男性 30代後半 ITTFレベル2コーチ 指導対象選手(生徒) 10~18歳程度中心 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (10年以上) 理由: ナショナルチームへの指導 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 021 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G126)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 4 2 / 3 /
カンボジア	サッカー			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省				2) 配属先名 (日本語) カンボジアサッカー連盟	
3) 任地 プノンペン JICA事務所の所在地(プノンペン)から 北西 方向 0 Km 主要都市(プノンペン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)		4) 配属先の規模・事業内容 1993年創立。スタッフ45名(コーチ23名)、連盟公認審判員約80名。年齢制限なしのナショナルチームと、16歳以下及び19歳以下のユースナショナルチームの選手育成、及び公認審判員の育成を行っている。FIFAやAFC(アジアサッカー連盟)からの資金援助あり。			
1) 要請理由・背景 配属先は、アセアントップ5をめざすナショナルチームの実力を向上させるため、現在若年層から効果的な指導を行い有能な人材の育成を目指している。これに並行して審判員の育成にも力を注ぎ、プレーヤーの強化だけでは改善できないサッカー界全体の底上げを図っている。前任者(短期SV・長期SV)の活動により、カンボジア初のAFCエリート審判員候補の誕生、上級審判員・若手審判員の資質向上や審判指導者の育成には一定の成果が見られた。一方予算の関係などで首都圏以外の地域での普及・育成が不十分であり、女性審判員育成などの課題もある。これらの課題への対応と、これまでの成果のさらなる発展のために後任ボランティア派遣の要請がなされた。		2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 公認審判員の技術向上のための年間計画立案 2. 審判指導者による研修会、ワークショップの円滑実施に係る支援 3. 地方部の審判員の育成・向上を図るためのプログラム立案と実施に係る支援 4. 女性審判員育成に係る支援 5. 国際審判員のさらなる資質向上に係る支援			
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 配属先所有のグラウンド(プノンペン市内および郊外に各1か所)、サッカーボール、コーン、ゴールポスト、ネット、座学用教室など		4) 配属先同僚及び活動対象者 元国際主審・副審(男性40代 審判委員会メンバー) 審判員(10代後半～30代後半、男女):上級レベルから初心者まで計150名(うち女性30名)			
5) 活動使用言語 (英語)		6) 生活使用言語 (クメール語)			
7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要			
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ JFAインストラクター経験5年以上 理由:審判員への実践的指導が必要		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		特記事項			



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 024 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ラオス	柔道				1	25 / 3	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) ラオス柔道連盟 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ビエンチャン市 JICA事務所の所在地(ビエンチャン市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はラオス柔道の発展・普及のため、柔道選手の強化、指導者の育成、各種国際大会への選手派遣等を行なうと共に、地方部への柔道普及活動も行なっている。これまで、SV4名及びJV2名が派遣されている。現在派遣中の4代目SVの任期は、2013年9月まで。日本の文化無償で、2009年秋に武道センターが完工し、活動の拠点となっている。配属先の年間予算は約250万円である。なお、ラオス国柔道ナショナルチームは、2007年のSEA Games(東南アジアスポーツ大会、於タイ)及び2009年の同大会(於ラオス)において好成績を残した(前者にて金2・銀1・銅3、後者にて金2・銀5・銅4を獲得)。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ナショナルチームは、上述2009年大会以降の国際試合において良い成績を上げられておらず、本年12月のASEANユニバーシアード大会(於ビエンチャン)及び来秋のSEA Games(於ミャンマー)でのメダル獲得に向け、強化が求められている。また、ラオス全体での競技人口が約250人と近隣国に比べて著しく少ないことから、競技レベルの向上には競技人口の裾野拡大が必要。派遣中SVが行う、ナショナルチーム指導と一般市民向け講習とを受け、Sea Gamesまでのナショナルチームの継続指導と、普及・振興活動の継続を期待されて、今回の後任要請となった。なお、ビエンチャン市内に別途柔道場を建設中であり、本件SVは武道センターを中心しつつ、必要に応じて当該柔道場でも活動を行う予定。また、南部地域における柔道普及に向けてサバナケット県へのJV派遣計画があり、当該JVと連携した活動も期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 ナショナルチーム及び有段者を対象とし、国際試合で好成績をあげられるレベルに到達するよう指導する。 2 柔道競技人口の拡大のため、子どもや若年層を対象とする練習会を開催する。また、南部サバナケットに派遣予定のJVと連携し、地方における柔道の普及、振興を図る。 3 各種競技大会の運営等について助言する。						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 武道センター(2009年秋、完工)、柔道関連ビデオテープ、テレビ・ビデオデッキ 4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟会長(60代、男性) 連盟スタッフ5名 コーチ3名(指導歴10~15年、23歳・女性・3段、26歳・女性・2段、32歳・男性・3段、全員がナショナルチームのコーチ兼選手) ナショナルチーム選手15名(男性9名、女性6名、上記コーチ3名を含む、16~26歳、初段~3段)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (10年以上) 理由: 国際試合に出場する選手育成 ・ 柔道4段以上 理由: ナショナルチームへの指導			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(15~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 227 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
エルサルバドル	柔道			年 月 から	日系/短期
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ庁 2) 配属先名 (日本語) エルサルバドル柔道連盟 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンサルバドル県サンサルバドル市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟は1981年に設立され、首都をはじめ、東部サンミゲル・西部サンタアナにも支部を擁し、柔道競技のレベル向上及び普及活動を行う中核機関である。同国の柔道競技レベルは、中米では常に上位にあり、これまでに多くの中米チャンピオンを輩出し、ロンドンオリンピックにも出場するなど着実に実力をつけているが、スポーツ人口は約1,000名と限られている。2012年の年間予算は15万USD。同配属先では本要請の前任者となるSV(2014年1月まで)とJV(2013年6月まで)が活動中である。				
要請概要	1) 要請理由・背景 近年、同国柔道界ではスポーツ人口数が伸び悩んでいる。柔道は道場・畳など多くの器具を擁するため特に地方で普及を困難にしていること、不安定な治安情勢がその主要因と同連盟では考えており、数年前より「運動会」と称し柔道の動きを取り入れた総合レクリエーションを各地で行うことで打開を図ろうとしている。 上記背景に加え、活動中のSVは同国の柔道が勝敗を追求しすぎる嫌いがあり、投げや受け身といった基本技術を学ぶことが疎かにされていることに着目し、柔道の本質を失わないよう根気よく指導者と対話を行い、助言・指導を行っている。また、配属先の強い要望から講道館柔道の「形」や「護身術」の指導を行うなど幅広く活動を展開しており、生徒数も増え、指導者にしても着実に技術を習得している状況である。このため、同SVの活動を軌道に乗せ、同国の柔道の総合的發展に寄与する人物が望まれているために本申請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.乱取り ①指導者に対し、指導力向上のための助言・練習法の改善指導を行う ②児童・成年・シニアの部の柔道教室への支援を行う 2.指導者に対し、講道館柔道の「形」(投げ・固め・柔・五・極・古式の形、計6種)の技術指導を行う 3.連盟で行われている護身術教室への助言と指導補佐を行う 4.「運動会」への参画、他、柔道人口普及活動に係る側面支援を行う 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道連盟道場2カ所(100畳、150畳)、その他バーベル、ダンベル等トレーニング器具 4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟技術指導責任者:6段男性 乱取り:指導者5段男性1名他4名、各クラス:児童約30名、成年約10名、マスター約20名 形:指導者初段男性6名、生徒30名 護身術:指導者初段男性2名、生徒約10名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由:指導上必要 ・ 柔道4段以上 理由:指導上必要		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯) 気温(15~35℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 3 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
パラグアイ	柔道				1	25 / 3	日系/短期
					2	25 / 4	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) スポ-ツ庁 2) 配属先名 (日本語) 柔道連盟 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 南東 方向 10 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟はパラグアイ国内の柔道の普及、強化を目的として設立された40年以上の歴史を持つ団体である。柔道を中心に柔術、空手の指導も実施している。スポ-ツ庁及びオリンピック委員会に所属しており、連携した活動を実施している。国際大会参加時のスポ-ツ庁からの一部活動資金援助あり。柔道連盟には1986年から2003年までJV3名とSV1名が派遣されているが、2003年10月以降はJICAボランティアの派遣はない。年間予算約10,000US\$。						
要請概要	1) 要請理由・背景 スポ-ツ庁、オリンピック委員会より国際レベルでの競技力向上を目指したい競技として、柔道が候補として挙げられた。近年ロンドンオリンピック等の国際大会に代表が出場する等、柔道のレベルも徐々に上がってきており、さらなるレベルアップ及び国内での普及拡大のためにスポ-ツ庁及び柔道協会よりSVの要請に至った。 また、国のスポ-ツ普及プロジェクトにより柔道は現在5つの小学校で導入されており2013年には10校、2014年には20校と今後拡大予定であり、指導及び普及への支援が求められている。						
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.強化選手(ナショナルチーム)に対する競技レベルの向上を目的とした指導 2.子供など初心者への柔道基礎の指導 3.指導者達への指導方法の伝授 4.柔道を導入している小学校での指導 ※火、木:柔道協会道場での指導 月、水、金:日本パラグアイ人造りセンター-内道場での指導 (道場での指導は夜間が中心となる)(小学校での指導は昼間であり曜日などは未定)						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道場2か所:柔道協会内道場(5×8m)、日本パラグアイ人造りセンター-内道場(6×10m)						
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 協会会長 男性 8段 70代、 コーチ 男性 5段 60代、コーチ 男性 2段 50代、コーチ 女性 4段 40代 選手(生徒) 柔道協会内道場 25名程度(子供7~12歳15名、大人10名) 日パ人造りセンター-内道場 23名程度(子供7~12歳 20名、大人3名) 他 対象小学校生徒		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (10年以上) 理由: ナショナルチームへの指導 理由: ナショナルチームへの指導 3段以上			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 333 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ウルグアイ	柔道			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属	1) 受入省庁名 (日本語) 観光・スポーツ省					
先属	2) 配属先名 (日本語) ウルグアイ柔道連盟				<input type="radio"/> NGO	
概要	3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
要請	4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟は1955年に同国における柔道の普及を目的に設立され、現在会員数は約650名。柔道教室の開催、国内大会の企画・運営、国際大会参加のための代表選手の選考・育成などが主要な連盟業務である。また、モンテビデオ県庁と協力しながら、貧しい青少年を対象に、無料の食事提供と「学校へ行くこと」「柔道教室に参加すること」を関連付けたプログラムを実施するなど、青少年の健全な育成にも協力を行っている。2011年に日本政府の一般文化無償で、畳175枚、練習用柔道着490着などが同連盟に贈与されている。					
概要	1) 要請理由・背景 同連盟の練習生は現在、大人約300名、子供約350名(そのうち有段者は約90名)。約12名の有段者(2段から6段まで)が指導者として、連盟管轄の14クラブで週3回の練習を行い、技術力の向上に努めている。しかし、指導者のレベルは未だ発展途上で、初心者から有段者までの指導が適切に行われていないところ、指導者に対して経験豊富な日本人有段者による技術と型の指導方法に関する助言や、技術レベルに応じた練習メニュー作成への協力が望まれている。連盟は、こうした指導法の改善・強化、質の高い練習メニューの実践を通し、今後、同国から国際大会で活躍できる人材を育成・輩出したいとしている。					
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本案件の先行案件として、H24年度第4回短期募集で短期案件(6ヶ月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。 1.指導者への技術と型の指導方法の助言 2.各クラス(初心者、中級者、上級者)の練習メニュー作成への助言 3.全国の指導者に対し、技・型の基本指導(月1回/指導技術のブラッシュアップ)					
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 道場、柔道着(練習用、試合用)、スコアボード、電子体重計、柔道着測定器					
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟幹事 男性 3段 連盟職員 男性 5段(1名)、2段(2名)、初段(1名)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 柔道6段以上 理由:最高6段の指導者がいるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温暖) 気温(3~34 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
エジプト	柔道				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 2) 配属先名 (日本語) アレキサンドリア大学 体育学部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アレキサンドリア JICA事務所の所在地(カイロ大都市圏)から 北西 方向 200 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 2.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1952年に設立された30の学部、研究所を持つ総合大学である。体育学部は、男子と女子それぞれ別のキャンパスに独立している。ボランティアが配属される男子生徒向け体育学部には9つの学科があり、その一つであるCombats and Individual Sports Training学科の中で柔道指導が行われている。同学科の生徒数は約600名。現在活動中のSVを含めこれまでにSV2名とJV1名が柔道指導を行っている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 同学部ではエジプト国内初の試みとして、2007年9月より心身の鍛錬、人間教育を目的として柔道が正規授業として取り入れられた。現在までに派遣されたボランティアは、学生を対象とした授業の他に、孤児院の子供たちや周辺地域の子供たち、また他学科の学生を対象とした課外活動を行ってきた。大学側は、選手や将来の柔道指導者育成、地域社会への柔道の普及及び定着を目指している。また同僚指導教官の指導技術の向上も期待されている。これらの目標達成にはまだまだ十分とはいえないため、引き続き後任SVの要請となった。 ボランティアには、生徒に対する心身の鍛錬および挨拶やマナーを守るなど人間教育を目的とした指導も期待されている。						
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.体育学部の学生を対象に柔道授業を実施する。(1クラス50~60人、1回1時間半、週6回程度) 2.希望する生徒に対して柔道の課外授業を行う。 3.学期休みを利用して周辺地域の子供たちを対象とした柔道クラスを運営、指導を行う。						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道場						
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先責任者:男性、50代、学部長 ・学科長:男性、50代 ・カウンターパート:男性、30代、指導教官、柔道2段 ・学生:男性、18歳~ ・課外コース参加者:男女、子供から大人まで			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 教官、学生が男性の為 ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (15年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 ・ 柔道4段以上 理由: 有段者への指導が必要なため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 4	
モロッコ	柔道			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) フェズ青年スポーツ支局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フェズ県フェズ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 東 方向 200 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 フェズ県内のスポーツ施設の管理、運営を行っている。市内に複合スポーツ施設が幾つかあるが、同施設は1997年に完成したスポーツ競技場で設備は整っている。今後隣接した場所に宿泊施設、研修施設、プールなどの建設が予定されている。2011年9月から空手とサッカーの短期SVが活躍した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 柔道は、同国において身体面、精神面ともに鍛錬することのできる武道として、またオリンピックに選手を送り込んでいるスポーツとして人気がある。同施設では施設長(兼支局長)によりスポーツ学校(ECOLE)と称して青少年向けのスポーツ教室を開催しており、サッカー、器械体操、空手、合気道、テコンドウが実施されている。柔道を加えたいという強い希望があるものの指導者不足で柔道教室の運営ができていない。県内の人口30%を占める若者に柔道を通じた青年育成をボランティアと共に行いたいという意向で要請があった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) スポーツ競技場内の施設にて青少年を対象にした柔道教室を開設し生徒に対して指導を行う。 1.地域の青少年を対象に柔道の楽しさ、礼儀、事故のないような指導 2.年齢層、経験の有無に応じた指導 3.柔道連盟、柔道アソシエーションとの連携 4.県内での柔道普及活動への支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道場、畳、フィットネス機器など 4) 配属先同僚及び活動対象者 支局長(男性) 支局スタッフ フェズ市内の青少年(未経験者、初心者) 7~9才、10~12才、13~14才					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由:教室で青少年を指導するため ・ 柔道3段以上 理由:教室で青少年を指導するため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(内陸性) 気温(0~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 8 月 2 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 16)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G131)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
モロッコ	空手道			1	25 / 4	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) フェズ支局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フェズ県フェズ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 東 方向 196 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 フェズ県内のスポーツ施設の管理、運営を行っている。市内に複合スポーツ施設が幾つかあるが、ボランティアが活動する施設は1997年に完成したスポーツ競技場で設備は整っており、陸上、サッカーをメインに室内においては、器械体操、空手、合気道、卓球、フィットネスなどの教室が行われている。今後隣接した場所に宿泊施設、研修施設、プールなどの建設が予定されている。過去に県内にバレーボールの隊員が派遣されていた。					
要請概要	1) 要請理由・背景 空手は、同国において身体面、精神面ともに鍛錬することのできる武道として知られている。同施設では青少年向けの各種スポーツ教室を開催しており、県内の人口30%を占める若者に空手を通じた青年育成を隊員と共にやりたいという意向で最初の要請があり、SVが派遣された。同SVの任期終了に伴い、後任による継続的指導が求められ今回の要請となった。現在、空手道教室には、大人約20名、子供、青少年を含め約100名がおり週6日活動している。モロッコの空スタイルは、競技性、合理性を重視したスポーツ空手であるが、初代SVは、心技体の融合を根源とした日本の空手道、武道を伝えるべく指導を行なった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 青少年を対象にした同施設内の空手教室で、モロッコ人指導者と協力しながら、年齢層、経験の有無に応じた指導を行う。 1. 地域の青少年を対象に、空手の基本技を中心に型、組み手の指導 2. 空手道を通じた礼儀の指導、武道精神の教示 3. 空手連盟、空手アソシエーションとの連携 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 空手道場、フィットネス機器など 4) 配属先同僚及び活動対象者 指導者:男性2名(40代)、女性2名(20代) 指導対象者:フェズ市内の成人、青少年(未経験者、初心者)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 教室で青少年を指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(内陸性) 気温(3~42 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 30 日

要請番号(SL 424 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G132)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ヨルダン	合気道			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ヨルダンオリンピック委員会 2) 配属先名 (日本語) ヨルダン柔道連盟(ヨルダン合気道委員会) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 0 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 合気道委員会は柔道連盟の傘下にある。会員は約100名、13歳から50代までの男性(女性会員1名)で、ほとんどが30代以下の年齢である。組織としては柔道連盟の傘下であるが、会員は1名を除き柔道の稽古には参加せず、合気道を専門にしている。稽古場所は柔道連盟の所有する道場であるが、運営する予算は主に会費による。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ヨルダンの合気道は会員数も限られている。10数年前にJVが派遣されたが、段審査ができなかったことから有段者を育てることができず、隊員帰任後はヨルダン人だけで稽古を続けてきた。外国からの指導者を短期的に招待して段審査を行ってきたが予算が十分でないことから滞りがちであった。前任のSVが派遣されたことにより、会員が徐々に増えて技術も高まってきた。今後、段審査ができるヨルダン人が育ち、世界合気道本部の公認を受けるためには、あと2代のSVの継続した派遣が必要となる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・柔道連盟の道場にて、週5回の合気道指導を行う。 ・指導対象は、初心者から有段者までとなる。 ・指導内容は、体術、剣、杖、短刀である。 ・その他に、要請に応じて警察での指導を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 道場は柔道連盟の道場を共用 剣・杖・短刀 4) 配属先同僚及び活動対象者 合気道3段 1名(40代) 2段 4名(40代1名 30代3名)、初段 1名(20代)(すべて男性)が指導的立場にいる。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (合気道(合気会) 5段以上) 又は () ・性別 (男性) 理由: 会員がほとんど男性のため ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 630 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G133)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV 25 / 3	日系/短期 年 月 から
モザンビーク	剣道			2	25 / 4	
				3	/	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 青年スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) モザンビーク剣道・居合道協会 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マプト市 JICA事務所の所在地(マプト市)から 北 方向 1 Km 主要都市(マプト市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 2003年に当時の在モザンビーク日本国大使によって指導が始まり、2006年にモザンビーク剣道・居合道協会が設立された。同協会は国内に剣道・居合道を普及させ、地域大会や国際大会への参加を目指すとともに、剣道・居合道の指導を通じて心身共に健全な青少年の育成を目指している。協会の役員はモザンビーク人及びモザンビーク在住の外国人であり、組織の運営費は寄付に依る。2011年5月から2013年3月まで初代のSVが活動した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同協会役員の尽力により会員数も伸び(2012年7月現在35名)、ヨーロッパ剣道連盟の会員として認可され、ヨーロッパ選手権への参加が認められている。2011年10月には南アフリカ剣道連盟主催によるセミナーに参加し、会員の昇級・昇段を達成する等、同協会の組織力が向上している。しかし、昇級・昇段試験が判定できる指導者、稽古指導の知識や指導者や上級者に対する指導技術が不足しており、さらには居合道を指導できる人材がいなかったことから、本要請が行われた。また、継続した長期ボランティアの派遣により、稽古内容の質の向上、指導技術の向上及び剣道・居合道のさらなる普及が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 生徒及び指導者への剣道・居合道の稽古指導 2 指導者や上級者に対する剣道の指導法の伝授 3 国際大会参加に向けたナショナルチームの剣道の指導 4 剣道昇級試験、試合審判及び審判指導 5 剣道・居合道の普及および青少年の健全な心身の育成を図るための道場開拓への支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 防具(20セット。但し、大半が寄付によるものでサイズ、数は異なる)、竹刀20本 4) 配属先同僚及び活動対象者 会長(男性・指導者・剣道3段、居合道2段)、副会長(男性・剣道3段、50代)、経理・秘書(男性・剣道1級、30代)、生徒(20名、男性/女性、7級～初段、級外、10～40代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由:指導者への指導が含まれる為 ・ 剣道6段 理由:有段者の育成が含まれる為			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温(15~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 018 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G153)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
タイ	音楽			年 月 から	日系/短期
要請概要				1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ラヨンパンヤヌクーン学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラヨン県ムアンラヨン郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 南東 方向 187 Km 主要都市(ムアンラヨン郡)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1993年に設立された入所型特別支援学校。教育省管轄の知的障害児対象公立校19校のうちの一つでタイ東部4県(ラヨン、チョンブリー、チャンタブリー、トラート)を管轄。幼稚園部から高等部まで414名(入所365名、通所49名)の生徒が在籍している。知的障害、自閉症、聴覚障害が大半を占める。ークラス平均6~8人。教職員49名。作業療法士1名在籍。SV(20年度、養護)派遣実績あり。	
要請概要		1) 要請理由・背景 配属先では前述養護SVの活動により学習環境や教員の指導姿勢などに改善が見られ、現在も成果が継続されている。今後はさらに教育の質を向上させるべく、生徒の身体機能の回復・維持と発話・構音機能の向上を促す目的で、音楽やリトミックの授業の充実を課題としているが、音楽療法の専門教員は在籍せず、当国での人材確保も難しい。よって現有の養護教員に対し音楽療法に関する知識・技術のレベルアップを図るため、障害児(特に自閉症児)へのリトミックもしくは音楽療法の指導経験のあるボランティアの支援を希望し要請にいたった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学内生徒に対してリトミックを用いた音楽の授業もしくは音楽療法を行い、機能向上に協力する。 2. 学内養護教員に対し、音楽授業に関する指導及び助言を行う。 3. 学内で行われるスポーツ大会や年中行事等へ参加し、生徒対応について協力する。			
要請概要		3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ピアノ、小太鼓、タイ伝統打楽器(アンカルン)			
要請概要		4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、大卒、50代、学校長 カウンターパート:女性、大卒、20代、養護教員		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
資格条件等		条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師への助言が必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 児童、教員への指導を行うため ・知的障害児・自閉症児への音楽の指導経験 理由: 授業の計画~評価を行うため		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況		気候(熱帯モンスーン) 気温(22~28 °C位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
通信		(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 224 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G153)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 / 3 /
ドミニカ共和国	音楽			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 教育芸術局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サント・ドミンゴ JICA事務所の所在地(サント・ドミンゴ)から 南東 方向 3 Km 主要都市(サント・ドミンゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 教育芸術局は、教育省の中で芸術教育を管轄する部局であり、教師の育成、監督、フォローアップ、評価及び教材の開発を行っている。これまでに音楽や美術部門で合計8名のJICAボランティアが派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当国の芸術教育システムでは、視覚美術(図画)、工芸美術(工作)、音楽、舞台芸術の4分野を一人の教師が担当することを求められているが実際には一つのみしか教授されていないことが多い。配属先は教員達に各分野の知識・技能向上のための講習会を各地で開いている。現在まで数人のボランティアが派遣され、低コスト、リサイクル素材を利用した工芸作品の製作指導、教材開発を行ってきた。平成24年まで活動していた美術職種のボランティアは、配属先が過密な教師の年間予定の中で、年に数回行う講習会やワークショップにおいて累計800人以上の中学・高校の教師や教員養成校の生徒に操り人形の作製方法を教授した。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・教育省の芸術局の事務所内では以下の活動についての教材準備と打合せを行う。 ・講習会やワークショップで教師や教員養成校の生徒に対して、ソプラノ笛を利用した授業実施への指導を行う。 ・各学校の校内行事で発表するための準備・練習方法へのアドバイスを行う。				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、複合プリンター(コピー、スキャナー) 4) 配属先同僚及び活動対象者 音楽部長 40代 男性 全国の小中学校、高校の教師 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (音楽) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由: 指導対象者も経験者である為 ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~34 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G156)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目			
インドネシア	教育行政・学校運営			派遣希望	JOCV/SV	日系/短期
				2 年	1 25 / 3	年 月 から
		1 年	2 25 / 4			
		ヶ月	3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) 国立バンカ・ベリトゥン工業高専 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 バンカ・ベリトゥン州バンカ島スンガイリアット市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 北西 方向 550 Km 主要都市(パンカルピナン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 当校は1994年に開校した工業高専であり、3年制の電子科、機械保守修理科、機械設計科に約70名の講師、及び約370名の学生が在籍している。当校の特徴は実習を重視したカリキュラム構成(実習2/3、理論1/3)となっており、付設の大規模実習棟での実習が必修となっている。講師陣の一部はオーストラリア等で留学経験があり英語が堪能である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当校では日本企業の品質管理の手法を積極的に教育に取り入れており、当校卒業生の産業界での評価は極めて高く、国内主要産業の他、国際企業、多国籍企業等へ人材が輩出されている。現在、初代SVが派遣中であり、技術協力を実施しているが、より一層良質の教育実施に向けカリキュラムの再検討が必要であると認識しており、日本企業・教育機関での経験、ノウハウを持つ日本人からの支援を引き続き受けるべく、後任のSVが要請されるに至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 3学科運営に関し、主に以下の活動を行う。 ・カリキュラム内容の再検討 ・品質管理教育への助言・実施 ・新規導入機材の選定に係る助言 また、現在派遣中のSVが行っている当校と日本の高専との学術交流協定の締結に向けた活動、及び、毎年1回インドネシアで実施されている全国レベルのロボットコンテストへの参加に向けた教師陣及び学生への助言も期待される。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各種工作機械(溶接機、ドリル、研磨機等)、計測機械、オシロスコープ、PLC等、各種CAD用ソフト(ProEngineering, ArtCAM, AutoCAD) 4) 配属先同僚及び活動対象者 副校長:4名(男性30代 修士) その他講師陣:男性56名及び女性5名(20代～30代、修士15名とその他は学士) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 配属先同僚とのバランス ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務上必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	人口約30万人の地方都市であり、生活環境は厳しい。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
インドネシア	日本語教育				1	25 / 3	日系/短期
					2	25 / 4	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) 国立ガジャマダ大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジョグジャカルタ特別州・ジョグジャカルタ市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 420 Km 主要都市(ジョグジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1949年設立。18の学部を持つ総合大学。1989年に日本語学科が開設され、1998年には4年制となった。2009年には日本語学科から職業訓練学科の日本語プログラム(3年制)が分離した。4年制の日本語学科では日本語研究や学問としての日本語学習を継続する一方、3年制の日本語プログラムではより実務的・実践的な職業日本語の習得を目指す。現在、職業訓練日本語プログラムの学生数は115名。同プログラムの年間予算は約600万円。同大学の日本語学科には、数年前まで国際交流基金の専門家が派遣されていたが、現在は派遣されていない。						
要請概要	1) 要請理由・背景 4年制の日本語学科ではすでに体制が確立しており、教員のレベルも高い。一方、そこから分離して間もない職業訓練学科の日本語プログラムについては、現在まだ教材を揃えたり図書室の整備を行ったりしている段階である。現地日本語講師は全員同大学の日本語学科の卒業生で、比較的若く、やる気があり、日本語レベルも比較的高い。卒業生の進路は観光ガイド、通訳・翻訳者、日本語教師、日系企業勤務などであるため、職場で使われる実践的な日本語の習得を目標としており、SVによる日本語ネイティブならではの支援を期待している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同プログラムにおける日本語教育の質を向上させるため、以下の活動を行う。 1.職業訓練日本語に適したカリキュラム開発や教材選定の支援 2.現地講師への日本語指導、授業に関する助言 3.学生の論文、翻訳文、作文等の指導 4.日本文化祭などを通しての日本文化の紹介 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 みんなの日本語初級～中級、その他教員が探してきた教材。パソコン、視聴覚機材。 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(男性、50代) 日本語教師4名(20～30代の女性) 日本語検定旧1級1名、旧2級2名、未受験1名。 参考情報:1コマ100分、1クラスの人数は30～40名。会話・文法などの各クラスは週に1～2回程度実施。その他文科省試験に向けた対策授業なども実施。						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (<input type="checkbox"/> 日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (<input checked="" type="checkbox"/> 大卒) () 理由: 大学講師に必要な資格 ・経歴 (<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験) (<input checked="" type="checkbox"/> 3年以上) 理由: 学生・講師への指導のため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25～35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
インドネシア	日本語教育				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) ジェンデラルスディルマン大学 <input type="radio"/> NGO						
概要	3) 任地 中部ジャワ州プルオケルト市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 300 Km 主要都市(ジョグジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 2 時間)						
要請	4) 配属先の規模・事業内容 1963年設立の農・工・経済・法・医学部等からなる、総学生数2万2千人、講師数千人の総合大学。以前は選択外国語としての日本語教育のみを行っていたが、2010年9月に4年制の日本語学科が認可され、2011年9月から日本語教育が本格的にスタートした。2012年2月より初代SVが派遣されている。大学の年間予算は、約40億円。						
概要	1) 要請理由・背景 当大学ではこれまで選択外国語としての日本語教育を行ってきたが、指導役となるネイティブスピーカーがいなかった。2010年9月に4年制の学科として認可されたため、カリキュラム編成、日本文化、論文指導等ができる指導者の育成が急務となり、初代SVが派遣された。現在、当大学に日本語や日本文化の発信拠点となりうる「日本文化センター」を立ち上げる準備をしている。また、日本の大学との姉妹校提携の可能性についても協議中であり、引き続きSVによる支援が要請されている。						
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・日本語講師への教授法の指導 ・カリキュラム編成にかかる助言 ・授業運営にかかる助言、教材選定支援 ・卒業論文指導 ・日本文化祭等のイベントを通じての日本文化の発信 ・域内日本語講師へのセミナー実施						
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、インターネット、図書室、視聴覚教室、教科書「みんなの日本語」						
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師:性別(男2、女5)、学歴(修士5、博士2) 年齢(30~40代) 日本語能力試験(旧2級2名、旧3級5名) 学生数:90名 授業は月曜日~金曜日。土曜日にイベント等が開催されることあり		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学講師として必要な資格 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 学生・講師への指導のため ・ 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	活動上は必要ありませんが、通勤には自転車が必要な場合もある。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 7 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
インドネシア	日本語教育				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) ハサヌディン大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 南スラウェシ州マカッサル市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 国立の総合大学で、講師100人以上が日本の大学に留学経験を持つなど、日本とのつながりが強い。日本語学科は1995年に3年制としてスタートしたが、2005年から4年制となった。毎年日本語学科への入学数は増加している。現在の学生数は200名以上。講師7名。日本語学科へのSV派遣以外としては工学部でプロジェクトが実施された。						
要請概要	1) 要請理由・背景 大学への協力は6代目が現在活動中であるが、講師の日本語能力、教授法、日本文化についての知識などがまだまだ不足している。また、卒業論文指導も望まれており、引き続きSVの協力が望まれている。日本に留学中の講師の帰国が予定されているが、講師として復職するか未定のところ、もう少しSVの協力が望まれ、今回の要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・講師に対する日本語教授法の指導・授業巡回・勉強会の実施 ・新人講師を対象としたモデル授業の実施 ・日本文化紹介プログラムの開催への助言 ・卒業論文指導への助言 ・学科運営にかかるサポート 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、CD付ラジカセ、教科書、辞書、国際交流基金寄贈教材等 4) 配属先同僚及び活動対象者 講師7名(修士4名、学士3名、ただし4名留学中のため実質3名の状態) 日本語学科出身 20~30代 日本語能力試験 N2~N4レベル						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 配属先の希望 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 講師への指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 28 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
インドネシア	日本語教育			年 月 から	日系/短期
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 文化教育省 2) 配属先名 (日本語) 国立ジャカルタ大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジャカルタ市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 東 方向 15 Km 主要都市(ジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
概要	4) 配属先の規模・事業内容 ジャカルタ東部にある7学部(教育、言語・芸術、社会、数学・科学、工学、体育、経済)を持つ学生数約16,000名の国立総合大学。言語・芸術学部には、インドネシア語、英語、フランス語、ドイツ語、アラビア語、日本語、美術、舞踏、音楽の9学科がある。日本語学科(学生数260名、講師11名)は教育色が強く、多くの学生は中等教育機関の教師になることを目標としている。日本語学科の年間予算は約570万円。				
要請	1) 要請理由・背景 日本語学科は2006年に4年制に移行し、2009年9月からは4学年全てが揃い、学生数は260名となった。多くの学生は中等教育機関の教師になることを目標としていることから、それら学生を指導する講師陣の更なる日本語能力向上を目指し、初代SVに引き続きJICAからのボランティア派遣を強く希望している。				
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生への授業実施(週2クラス)及び論文作成のアドバイス(論文は要旨のみ日本語で作成する) ・講師に対する日本語教授法のワークショップ実施 ・授業や文化祭を通じた、日本文化の紹介				
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 共用PC3台、CDラジカセ、LCDプロジェクター、OHP、視聴覚室、図書室、各種日本語テキスト(みんなの日本語、ニューアプローチなど)				
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(女性40代)、副学科長(女性30代) 常勤講師11名(うち5名が進学中で不在)、非常勤講師2名 日本語検定資格:N1は1名のみ、その他講師はN2レベル		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 当国での高等教育機関で必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 論文指導や教授法指導のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(20~30 °C位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)			JOCV/SV	日系/短期	
ベトナム	日本語教育	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 4	年 月 から
					2 /	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ハノイ国家大学	
	2) 配属先名 (日本語) ハノイ国家大学外国語大学 ○ NGO	
	3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 東洋言語文化学部、日本語日本文化学科の教員数は約40名、学部生は約400名、年間予算は約100万円。日本語日本文化コースと日本語教育コースに分かれ、2009年からは大学院を開講、附属の高校でも日本語教育が行われている。日本の大学との共同プログラムや、日系企業の支援を受けたビジネス日本語講座等、積極的に外部の支援を受け入れている。1998年にJVの派遣を開始。2007年まで7名のJVが派遣され、一旦派遣を終了。その後、新設コースや大学院開講等の新たなニーズを支援するため派遣を再開し、現在は派遣再開後の2代目SV(23年度派遣)が活動中。	

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先には1996年よりJVが派遣され日本語教育の基盤整備を行い、2005年派遣のJVで一旦支援を終了した。しかし、2008年に日本語教育コースが開講されたことにより、学生への直接指導と教師への指導、教師養成を支援するため、2009年からJVとSVの派遣を再開。これまでにJV1名とSV2名が派遣された。この間、大学院が開講されるなど、学科として着実に発展をしてきているが、引き続きベトナム人教師の教授能力向上、専門的な科目の授業担当、コース運営の改善に関する支援が求められている。現在活動中のSV(23年度派遣)は1・2年生の会話クラスを担当しながらコースの運営改善に同僚とともに取り組んでいる。その他にも論文指導の担当や指導法の改善への助言などの支援を実施している。なお、平成24年度秋募集で2代目のJVを募集中。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、学部長、同僚教師と協力して以下の活動を行う。 ・授業を担当し学生への直接指導を行う(目安として活動中SVは現在週12コマを担当している。1コマは50分) ・学部生の卒業論文、大学院生の修士論文の添削 ・大学で使用されている教材の編集や作成の支援 ・若手教師の指導力向上の支援(一例として日々の授業見学や長期休暇期間を利用した可能な範囲での勉強会の実施) ・その他、必要に応じた学科運営への支援	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 主な教材は「初級日本語」「中級日本語」(東京外国語大学出版)、「ニューアプローチ中上級」、「日本語で学ぶ日本経済入門」、「国境を越えて」等、その他各技能・クラスに応じた教材を使用	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・学部長(女性/40代) ・副学部長2名(女性/30代・40代) ・ベトナム人教師38名(女性34名/20代~30代、男性4名/30代~60代) 教授経験は0年から20年程度(0年~10年程度が多い) ・日本留学中教師8名 ・日本人非常勤講師2名(男性/60代/教授経験は5年~15年程度)	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	活動上の單車/自転車の必要性
	・免許 (日本語教授法) 又は ()	<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由: 修士論文の指導を行うため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 初級から上級までの指導理由:	現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(温帯夏雨) 気温(10~35 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 平成24年度秋募集でJVを募集中のため、任期中にJVとともに活動することが見込まれる。



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 5 日

要請番号(SL 027 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	JOCV/SV		日系/短期 年 月 から	
ベトナム	日本語教育			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1		25 / 4
					2		/
				3	/		
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 2) 配属先名 (日本語) ダナン大学外国語大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ダナン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 800 Km 主要都市(ダナン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ダナン大学外国語大学は英語科、ロシア語科、中国語科、フランス語科等、7科で構成され全体の学生数は約4000名。年間予算は約6,000万円。日本語教育は、日本語・韓国語・タイ語科の中で行われている。同科の日本語コースは2003年開講、学生数は約220名。JICAボランティアは、2005年よりJV、2007年にはSV(当時短期)の派遣が開始され、現在JV(3代目)およびSV(2代目)が協力して活動を行っている。他国からの支援としては、韓国およびタイからボランティアを受け入れている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 現在活動中を含むこれまで派遣されたボランティアは、主に「カリキュラムの改善」「若手教師の養成・能力向上」「教科書の作成」を支援してきた。カリキュラムの改善については、「全教科の内容を教師全体で検討する体制作り」「学習効果を考慮した授業の配置変更」などの成果が上がっている。若手教師への支援では、「若手教師とボランティアがペアで授業を担当し、授業後のフィードバックや勉強会を実施する」など現地教師が主体となって授業を担当できるよう取組みを続けている。教科書については、文法論Ⅰ・Ⅱ、音声論、文学史の教科書がボランティアの支援により作成された。現在活動中のSVは、これら独自教材を使用し、ベトナム人教師とともに主に3、4年生を担当している。配属先としても課題解決に取り組んでいるが、さらなる若手教師の能力向上やこれまでの成果の定着のため、引き続きボランティアによる支援が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、学科長、学科の同僚およびJVと協力をしながら以下の活動を行う。 ・同僚とともに授業を担当し、学生への直接指導を行う(単独で授業を担当することもある)。 ・ベトナム人教師にとって使いやすい教材の作成・改定および使い方の指導。 ・若手教師の教授能力向上と日本語能力向上への支援。 ・スピーチコンテスト等配属先が関わる各種イベントへの支援。 ・現在設置が検討されている日本語教授法コースとビジネス日本語クラスのカリキュラム作り等への支援。 ・その他必要に応じた学科運営への支援。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 主な使用教材:1年生「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」、2年生「テーマ別中級から学ぶ日本語」、3年生「テーマ別上級で学ぶ日本語」、4年生「日本文学史」「通訳」「文法論」「語彙論」等大学独自教材を使用 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・学科長(女性、40代) ・日本語主任(女性、20代) ・常勤講師11名(男性3名・女性8名、20～30代) (日本留学中2名:男性1名、女性1名) ・日本人非常勤講師2名(男性、60～70代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学で教えるため ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: カリキュラム支援実施のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(15～40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	大学は市の中心部から離れており、通勤にはタクシーか自転車を利用(いずれの場合も生活費から自己負担)。前任者は通常自転車を、悪天候の際にタクシーを利用している。道はほぼ平坦で自転車で片道20分程度。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 6 日

要請番号(SL 130 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)			JOCV/SV	日系/短期	
トンガ	日本語教育	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
					3 /	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省
	2) 配属先名 (日本語) 教育課程開発部 ○ NGO
	3) 任地 ヌクアロファ市内 JICA事務所の所在地(ヌクアロファ市内)から 南西 方向 1 Km 主要都市(ヌクアロファ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 教育課程開発部(CDU)は、中等、初等教育課程のカリキュラムに関わる全般(各教科シラバスの整備、教科書等の作成)を担っている。教育訓練省が実施中の教育セクター改革事業(TESP)では、カリキュラムの作成、評価を実施しながら、新カリキュラム運用のための現職教員研修に取り組んでいる。CDUの職員は46人。日本語教育SVが派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同国では、中等教育機関5校および教員養成学校で正規選択科目および専門コースとして日本語コースを設けており、隊員4名とトンガ人教師6名、在トンガ日本人1名が日本語を担当している。同部ではシラバス改訂やカリキュラム管理、教科書改訂、副教材作成等の日本語教育のサポート、及び中等教育修了認定試験(TSC、TFSC、現職教師は資格がないため)の作成担当としてSVが引続き必要として後任要請になった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①中等教育修了認定試験(TSC、TFSC)の作成・評価を担当する。(具体的には、比較文化レポートガイドライン・リスニングテスト・オーラルテスト・試験問題作成、総括レポート等の作成を行う。) ②教科書改訂および副教材作成を行う。 ③カウンターパートとともにトンガ人教師と日本人教師で構成する日本語教師会の運営(ワークショップ開催等)に関わる。 ④シラバスの管理を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC (Windows7, Office)、プリンター、スキャナー、ペンタブレット、ボイスレコーダ、コピー機
4) 配属先同僚及び活動対象者 部長:女性、40代、大卒 カウンターパート:女性、30代、日本の大学卒業 トンガ人日本語教師(6人):女性、教諭、20~30代、大卒	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 教科書改訂を行うため ・ 中等教育の教授経験 理由: 日本語教師の指導を行うため	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(17~30 °C位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)
------	--

特記事項	現在SV全員が自家用車を所有し生活や通勤に利用しているが、バスなどの利用も可能。
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 312 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
チリ	日本語教育				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁 2) 配属先名 (日本語) チリ中央日本人会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 サンティアゴ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1949年に発足し1954年にチリ政府の認可を受けた、首都サンティアゴ及び近郊在住者を中心とする日本人・日系人約300家族1,200人の親睦・相互扶助を目的とする非営利団体である。年間総予算約4,300万ペソ(約700万円)。会の中には世代・性別・移住形態等に応じていくつかの会(グループ)があり、各グループ代表から理事が選出され1年毎に交代する。上記目的の他、日本文化のチリへの普及にも取り組んでおり、日本祭り、着物ショー等の行事を開催している。会員及び一般向けに日本語クラスのほか、折り紙、和綴じ、墨絵等の日本文化関連のクラスを行っている。						
要請	1) 要請理由・背景 日本人会には過去3名のJICAボランティアが派遣され日本語教育の指導を行ってきた。現在ではサンティアゴ大学の日本語専攻の教授を外部講師として招へいし日本語クラスを開講しているが、同会の日系人を中心に「日本人会独自の講師育成による持続的な日本語教育」「真に日系人子弟のためになる実用的な日本語教育」「日本文化の発信力の強化」を要望する機運が高まり、再度日本人ボランティアを要請するに至った。						
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1)カウンターパートへの実践的な日本語教授法の指導 2)同会が主催する日本語クラス(中～上級レベルの一部)の直接指導 3)同会所属日系人の日本語関連資格取得及び研修・奨学制度応募等の支援 4)日本語教育用教材作成や使用法の指導 5)日本文化紹介イベント等へのアドバイス 等を通して、同会の日本語普及活動及び日本・日本文化紹介活動に寄与する。						
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 設備・機材:日本語教師用事務室、教室6室、ホール1室、パソコン、プロジェクター等事務機器一式 教材:「みんなの日本語」セット(旧版)、参考書約50冊						
	4) 配属先同僚及び活動対象者 C/P:女性、50代、日本語教育資格あり、日本語指導歴20年 活動対象者:サンティアゴ及び近郊在住の日系人、男女各世代数十名程度、大半は2～3世の初級者レベルであるため、実質的には継承日本語ではなく外国語教育としての日本語教育である。			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海気候) 気温(0～30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
エジプト	日本語教育				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 2) 配属先名 (日本語) アスワン大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスワン JICA事務所の所在地(カイロ大都市圏)から 南 方向 700 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、2012年6月にサウスバレー大学のアスワンキャンパスが独立して設立された総合大学である。現在、言語学部を含む10の学部が設立されているが、来年には観光ホテル学部など新たに5つの学部が新設される予定である。ボランティアが所属することになる言語学部は2012年9月に新設された学部で、現在英語、スペイン語の2つのコースが設けられている。今後、フランス語、イタリア語、ドイツ語、日本語、中国語コースを新設予定。大学の全生徒数は約10,000名(学部生7,000名、大学院生3,000名)、職員数は約500名。						
要請概要	1) 要請理由・背景 2012年9月から開設された言語学部には、現在上述の2学科が設けられている。配属先は今後他の言語の学科を順次新設予定で、日本語学科についても2014年9月からの開設をめざして準備を始めている。コース開設にあたり、十分な経験や資格をもつ現地人講師の確保が難しいことから、配属先は、カイロにある日本語学科をもつ大学へのカリキュラム策定支援や出張ベースでの講師招へいなどの支援の依頼を行なっている。しかし、日本語学科の開設のためには現地に常駐して準備にあたる人物が必要となるため今回のSV要請に至った。また大学側は、現在言語学部の生徒が選択履修する第2外国語が限られているため2013年度から日本語を第2外国語の選択肢の一つとして取り入れたいと希望している。これに対応するため、配属先側からは2013年7月から活動を開始できる短期ボランティアの要請もあげられている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 言語学部日本語学科講師として以下の活動を行う。 1.日本語学科の立ち上げ、カリキュラム・教材作成支援を行う。 2.日本語学科の学生に対して日本語の授業を行う。 3.日本語を第2外国語として選択した他言語学科の学生に対して日本語の授業を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室 4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長:男性、50代 指導対象:大学生 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学講師として指導を行う為 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務遂行上必要である ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~55 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
エジプト	日本語教育			2年	1 25 / 3	年 月 から
				1年	2 25 / 4	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 2) 配属先名 (日本語) ファイユーム大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ファイユーム JICA事務所の所在地(カイロ大都市圏)から 南 方向 100 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、2005年に設立された総合大学で13の学部が設けられている。学生数は、約25,000名。教員数は約550名。ホテル観光学部には、ホテル、観光、ガイドの3つのコースが設けられている。ホテル観光学部の全学生数は約460名。ホテル観光学部の学生は、第1外国語として全員英語を履修し、第2外国語としてフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、日本語、中国語の何れかを選択することになっている。					
要請	1) 要請理由・背景 配属先の日本語コースは、2005年9月に設立されホテル観光学部の学生で日本語を第2外国語として選択した学生を対象にエジプト人講師が指導にあっている。しかし、同講師1名では授業運営や教材開発を十分に行うことができず、現在は履修選択をする学生数も減少気味にある。大学側は、日本語のできる人材の育成促進をめざし、日本語コースの活性化に取り組みたいと希望しており、また教材やカリキュラムの見直し、エジプト人講師の指導能力向上支援も必要とされていることから今回のボランティア要請に至った。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同僚講師とともに日本語を第2外国語として選択したホテル観光学部の学生を対象に授業を行う。 (1クラス1週間2回、1回2時間授業) 2. 教材やカリキュラムの作成、改善に対する支援を行う。 3. 同僚教員の日本語運用能力の向上に協力する。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、執務スペース、日本語教科書「みんなの日本語1」、オリジナル教材					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先責任者:男性、50代、学部長 ・カウンターパート:女性、20代、日本語講師、指導経験8年 ・学生:18才~			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学講師として指導を行う為 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 業務遂行上必要であるため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~50 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 7 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
モロッコ	日本語教育				1	25 / 4	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省 2) 配属先名 (日本語) シディ・モハメッド・ベン・アブドゥッラ大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フェズ県フェズ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 東 方向 200 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 全国に15校ある総合大学の中の一校。7学部と5大学院等で構成され、学生数約61,000人、13か所の施設、180の履修コース、6か所の博士課程研究所から成る。講義はフランス語とアラビア語で行なわれている。2005年からSVが日本語の公開講座を行っている。日本語講座の開講されるFES-Dhar El Mehraszキャンパスには文学・人間科学部を含む3学部がある。シディ・モハメッド・ベン・アブドゥッラ大学のホームページは以下の通り。 http://www.usmba.ac.ma/						
要請概要	1) 要請理由・背景 2005年11月よりSVによる週5コマ(90分/1コマ)の日本語コース授業が開始された。これまで長期・短期派遣含めSV・JVが6代にわたって講座を開いている。2011年10月にSVが赴任し、公開講座として週11コマ(90分/1コマ)の授業を実施している。初級学習者が大半であるが、中上級学習者も育ちつつあることから引続き継続要請がなされた。2012年12月現在の講座登録者数は82名。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.公開講座「日本語」運営(受講者の募集、クラス編成、会計、試験事務等含む) 2.公開講座「日本語」教授 3.日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト等) 4.日本関連のイベントの企画・運営 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 専用教室、執務事務所、コンピューター、ラジカセ、DVD 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先スタッフ:副学長、事務長 指導対象者:学生(18~25歳)、一般 レベル:日本語入門者~初級者、中級者 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での講座を担当するため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 業務遂行上必要である ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(内陸性) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
モロッコ	日本語教育			1	25 / 4	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省 2) 配属先名 (日本語) カディ・アヤド大学文学・人間科学部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 290 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 全国に15校ある総合大学の中の一校。7学部と7高等学校で構成され、学生数約62,000人。講義はフランス語とアラビア語で行なわれている。同大学の国立応用科学大学院にて2011年からネットワーク・通信工学SVが活動している。文学部は学生数約17000人が8履修コース(歴史、地理、哲学、社会学、言語・文学(アラビア語、フランス語、英語)で学ぶ他、イスラム学)、9マスターコース(観光、環境、歴史等)、複数の博士課程がある。カディ・アヤド大学文学・人間科学部のホームページは以下の通り。 http://www.flm.ucam.ac.ma/fr					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属される文学・人間科学部の学生は日本に高い関心を持っており、同学部としても、日本語教育を通じて日本の歴史や文化を学ぶことを期待し、今回の要請が出された。2011年、2012年と、同大学配属のSVが学生や他のJICAボランティアと協力して日本文化イベントを開催している。なお、モロッコ国内では他に3大学にて日本語教師SVが日本語公開講座を運営しており、日本語スピーチコンテストや日本語能力試験等のイベントを共同で実施している。国際交流基金が運営する日本語能力試験は2010年から実施されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生対象の日本語講座の立ち上げ 2. 文学・人間科学部の学生(1年生～3年生)への日本語(歴史、文化、遺産の入門知識を含)の講座を担当する。(1クラス10～15人) 3. 日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト等) 4. 日本関連のイベントの企画・運営 5. 長期講座の他、大学の長期休暇を利用した短期講座の開催 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プリンター、コピー機等 4) 配属先同僚及び活動対象者 文学・人間科学学部長(女性) 文学・人間科学部渉外担当(女性) 学生(1年生～3年生)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (<input type="checkbox"/> 日本語教授法) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (<input checked="" type="checkbox"/> 大卒) () 理由: 大学での講座を担当するため ・ 経歴 (<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験) (<input type="checkbox"/> 2年以上) 理由: 業務遂行上必要である 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性) 気温(5～35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
モロッコ	日本語教育				1	25 / 4	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省 2) 配属先名 (日本語) ハッサン二世大学モハメディア校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 モハメディア県モハメディア市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 70 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 全国に15ある総合大学の一つで1984年設立。学生数は約22,000名、教員・研究者750名。キャンパスはモハメディア校(人文学部、理工学部、法社会学部)、カサブランカ校(人文学部、理工学部)の二つ。ハッサン二世大学モハメディア校のホームページは以下の通り。 http://www.univh2m.ac.ma/ モハメディア校のENSET校舎では学生と一般を対象とした公開講座をSVが運営。 モハメディア校理工学部は学部、修士、博士等約1500人の学生が在籍。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ENSET校舎の日本語コース公開講座は、初心者から中級者を中心としたクラスで学生向けの平日コースと社会人向けコースを開設している。2012年12月には120名の登録者が在籍する。 一方、大学としては、理工学部学生に対して、日本企業や日本製品への関わりを考慮し、日本語や日本文化の学習を通じて日本理解を深めることを目的とし、学部生対象の日本講座を実施する要望が出された。 なお、モロッコ国内にはハッサン二世大学モハメディアENSET校舎を含む3大学にて日本語教師SVが日本語公開講座を運営しており、日本語スピーチコンテストや日本語能力試験等のイベントを共同で実施している。国際交流基金が運営する日本語能力試験は2010年から実施されている。 ハッサン二世大学モハメディアENSET校舎では、2012年9月から4代目日本語教育SVが活動している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生対象の日本語講座の立ち上げ 2. 理工学部の学生への日本語の講座を担当 3. 日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト等) 4. 日本関連のイベントの企画・運営 5. 長期講座の他、大学の長期休暇を利用した短期講座の開催 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プリンター、コピー機等 4) 配属先同僚及び活動対象者 大学副学部長(男性、50歳代) 国際協力担当者 理工学部学生 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (日本語教授法) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) () 理由: 大学での講座を担当するため ・ 経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 業務遂行上必要である 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 1 日

要請番号(SL 009 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G158)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
マレーシア	理科教育				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 東南アジア教育大臣機構 2) 配属先名 (日本語) 理数科教育(地域)センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ペナン州グレゴール JICA事務所の所在地(クアラルンプール)から 北 方向 337 Km 主要都市(ペナン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.4 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 SEAMEO(東南アジア教育大臣機構)により、機構に属する国々の初等・中等理数科教育の質的向上を目指して、1967年に設立された。東南アジアの国々を中心に年間で数百名の教員を受け入れており、指導員もマレーシア人のほか、フィリピン人、タイ人などからなる。2006年にはアフリカからの理数科教員を受け入れ、今後も継続の予定である。年間予算は約2億円。JICAの第3国研修受け入れ機関。2012年1月からSV1名(本案件前任者)が活動中。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、近隣諸国だけでなく、アフリカ諸国を含む加盟国以外からの教員に対する研修プログラムも実践しており、それぞれの国の地域性に沿った研修プログラムの改善の必要性を感じている。また、本来の加盟国向けの研修プログラムも、より良いものにしたいという意向が強く、現在のプログラムを観察、評価できる人材が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・カリキュラムの作成、教材の工夫と改善、試験に関わる業務などを通じて、日本で称される指導主事としての活動を行う。 ・トレーニングプログラムの策定等、外部からの依頼に対応する。 ・現況の研修に関して調査、分析を行い、センター内の専門誌などへの掲載を通して現状の改善に寄与する。 ・教員に対するワークショップやトレーニングを実施する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室 基本的なオフィス用品、机、いす、コンピューター、プリンター、インターネット 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(副センター長 女性40代) その他スペシャリスト8名(科学、ICT、数学、物理、生物等、男性40代~60代) プログラムオフィサー2名(男性40代、女性60代) テクニカルアシスタント2名(女性40代、男性40代) アドミニアシスタント1名(女性 40代)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由: 同僚に指導が必要なため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導者への指導が含まれる為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	配属先内の職員宿舎を利用する場合は自己車両不要。それ以外は通勤のための自己車輛が必要となる。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 124 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G158)			JOCV/SV	日系/短期
パプア ニューギ ニア	理科教育	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 25 / 3 2 25 / 4 3 /	年 月 から

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省
	2) 配属先名 (日本語) ディバインワード大学 ラバウルキャンパス <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ココポ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北東 方向 800 Km 主要都市(ココポ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 全国にある初等教育課程の教員養成機関のひとつ。新規教員の養成(2年3学期制初等教育ディプロマコース)及び現職教員の再教育(16週2学期制教員再教育ディプロマコース)を行っている。職員数32名、学生数約700名、現職教員は年間約100名の受け入れ。年間予算約2百50万キナ(約9,250万円)。EUの支援実績あり。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 資格・実力ともに十分な理数科教員が不足している。前任者は、講義を担当しながら、初等理数科教育分野における教員の育成にあたった。全ての教員は実験を全く経験したことがなく、また、生徒は実践的な科学実験を強く希望しているため、実験を取り入れた授業を多く行っている。実験器具・薬品などはほとんどないが、実験器具になり得る自然に恵まれている。前任者は自らが日本より実験器具を持ち込み、これら自然の素材や廃材などを活用した実験・観察方法の紹介、指導を行ってきた。徐々に実践的な指導方法が浸透してきており、継続した指導が求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①理数科分野講義を週5~8コマ担当(日本の中学1~2年生レベルを予定) ②同僚理数科講師の教科知識および教授スキル向上のための支援 ③近隣の小学校教員に対して教員研修を実施する(巡回型指導) ④教員実習先小学校で活動する理数科教師JVなどとの連携や助言
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、発電機等(最低限の科学実験機材は前任者が用意したが、試薬・分析器の類はなし)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は (高・理) ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員教育に携わるため ・普通自動車運転免許 理由: 治安上の理由	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。
------	-----------------------------



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 9 日

要請番号(SL 315 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G158)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
コロンビア	理科教育			1	25 / 3	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) メデジン市役所教育局 2) 配属先名 (日本語) 教員研修所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アンティオキア県メデジン市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 北西 方向 400 Km 主要都市(メデジン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はメデジン市内の幼児教育から初等教育、中高校教育までの教育行政全般の業務を行っている地方行政機関の管轄下にある。学校教員の指導技術の向上、ひいては児童生徒の学習能力の向上を目的とした研修を実施する施設である。2007年から9名のJICAボランティアが派遣され、2013年1月現在、JVとSV合わせて4名が同配属先および同市内教員養成学校などでグループ型派遣による活動を展開中である。配属先の年間予算は約110万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 JICAとコロンビア国教育省は、2003年から2008年までの5年間に渡り、技術協力プロジェクト「数学・自然科学教員養成システム強化プロジェクト」を展開し、その成果として60名以上の現職教員等が日本での研修を修了している。こうした研修成果の更なる定着、普及を目的とし、ボランティア派遣による継続支援活動が開始された。現在、グループ型派遣のメリットがより発現することを目的に、算数・理科の各教科に2名ずつのボランティアが配置され、それぞれの教科において「教員への研修」、「教員養成学校等での公開実験授業研究」といった担当分担による活動が進められている。担当、また教科を超えた協働・情報交換による、より効果的な協力活動の展開が期待される。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 理科担当部署において、以下の活動を行う。 1. 教員の指導力向上を目指した研修の継続実施(前任者活動引継ぎ) 2. 教員養成学校等の視察を通じた指導方法改善点の抽出(上記研修のための準備) 3. 他のJICAボランティアとの協働(各自の活動サポート、情報共有、等) 4. その他、配属先が必要とする活動のサポート 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的事務用品 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科担当者がカウンターパートとなる(30代女性)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (小学校教諭) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (短大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高原) 気温(15~30 °C位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G158)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
モロッコ	理科教育			1	25 / 4	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国家教育省 2) 配属先名 (日本語) 教育・人材育成マラケシュ・テンシフト・アルハウズ地域アカデミー <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 320 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 4 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は教育人材育成および教育の質の改善を目的にモロッコ全土に16カ所設置されている公的機関の一つ。地域の教員養成施設(教育・研修地方センター)を運営し、小・中・高等学校教員研修を行っている他、学習指導案の改善、教材開発を行っている。マラケシュ市内に設置されている教育・研修地方センターでは6教科(アラビア語、フランス語、英語、イスラム教育、物理・化学、自然科学)の教員養成研修が実施されており、50名の指導員が年間約400名の教員研修生を受け入れている。また、同市に設置されている分校では18名の指導員が年間約100名の研修生を受け入れ、小学校教諭を養成している。					
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコでは児童を対象に「エコ・エコール—環境にやさしい学校」プロジェクトが実施されている。同プロジェクトは理科実験や自然体験学習等で自然科学・環境に触れる学習活動に努めているが、教員の知識・経験不足そして理科室の未整備が原因でそれらの普及が進んでいない。このようなことから実験や体験学習における人材育成及び環境教育の普及を期待しボランティアが要請された。「エコ・エコール—環境にやさしい学校」プロジェクトのウェブサイトは以下の通り。 http://www.ecoecoles.ma/fr/ 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に小学校教員養成機関において以下の活動を行う。 1.教員養成研修実施において、理科および環境教育に関する支援及び助言 2.環境教育カリキュラムの策定支援 3.配属先指導員やプロジェクト関係者を対象にした理科・環境分野におけるセミナーや講習会の企画・運営・実施等 4.教員、大学関係者等、またプロジェクト関係者間のネットワークの構築 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者(男性40歳代) 環境教育担当コーディネーター(女性50歳代) 教員施設指導員(男性40歳代 生物学担当) 教員施設指導員(男性40歳代 小学校教育担当)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (小学校教諭) 又は (中高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由: 同僚が修士課程以上を持つ為 ・経歴 (実務経歴) (15年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 ・ 理科分野における教員養成経験 理由: 教員の養成にあたるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(半乾燥) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 24 日

要請番号(SL 515 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G158)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
ケニア	理科教育			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 教育の質・基準監督局・ナイロビカウンティ教育部門 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ナイロビ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ナイロビカウンティ9県で運営されている小学校における教育水準の向上を目的とし、部門長を始めとする教育行政官から組織されている。主な業務内容は、教育の質の確認と監督、シラバスの見直し、教育教材の開発となり、実務レベルでは各県に配置されている視学官が中心となりこれらの活動を実施し、配属先では定期的に各県に出向き監督、指導業務を行っている。また4名の教育行政官がJICAプロジェクト、SMASE(理数科教育強化計画プロジェクト2009～2013)の支援を受け2010年と2011年に本邦研修に参加し、AESI/PDSI(身近な材料を用いた生徒中心となる授業形態)の普及にも取り組んでいる。						
要請	1) 要請理由・背景 以前よりケニアでは授業を視察される事を忌避する傾向が強く、教員同士がお互いに授業内容について議論する事が少なかった。この様な中、JICAプロジェクトの支援の下で実施された本邦研修の参加者が、日本の授業研究を体験したことから帰国後自らの主導の下で授業研究を実施するようになり、現在所轄する9県中5県において授業研究が行われている。しかし、現状では配属先スタッフの経験不足から、授業研究の質の確保が課題となっており、研究準備と議論に対する適切なアドバイス及び効率的な普及活動の実施が求められている。そのためボランティアは同僚と共に所轄の小学校を巡回し各学校において実施されている授業研究に対してアドバイスをを行うと共にAESI/PDSIの普及活動を行う事が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは公共交通機関を使用し所轄の教育機関を巡回し以下の活動を行う。 1.各教育機関において実施される授業研究に参加し、教育水準の向上に貢献する。 2.現在までの成果を取り纏め、授業研究の普及活動を実施する。 3.各教育機関においてAESI/PDSI手法の普及を行う。 4.同職種ボランティアと連携し情報交換、ワークショップなどに参加する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オフィススペース 4) 配属先同僚及び活動対象者 部門長:女性40代 教育行政官:4名男女30代 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 配属先の職員レベル ・経験 (教員経験) (10年以上) 理由: 配属先レベル合致要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高原) 気温(10~ 30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	配属先が所轄する地域は広く、公共交通機関を利用して各教育機関を巡回する必要がある。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 239 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G159)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ホンジュラス	数学教育				1	25 / 3	日系/短期 年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国家計画・国際協力省 2) 配属先名 (日本語) 国立教育大学付属校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フランシスコ・モラサン県テグシガルパ市 JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 教員養成と教育研究を担う国立高等教育機関の付属校。本国では上記大学は教育省から独立しており、国家予算の一部として独自の予算を有している。初等教育においてはJICAのプロジェクト「算数指導力向上プロジェクト(PROMETAM)」のカウンターパートとして、2003年から2011年までの8年間、教科書および指導書の作成、教員養成課程対象の研修実施を協働して実施した。大学および付属校あわせた年間予算は約20億円。同分野で小学校教諭SVが派遣され、現在JVが派遣中(2013年3月帰国)						
要請概要	1) 要請理由・背景 本国政府は中学校(7-9年生)を基礎教育最終段階として、その充実を図っている。さらに、2012年2月には教育基本法が改訂され、高校までが義務教育となった。現在、中学校レベルの純就学率は約40パーセントと低い一方、留年率は高い。したがって、留年率の低減は重要な課題の一つとなっており、そのために教員の指導技術の向上が求められている。このような背景の下、PROMETAMのカウンターパートと日本人プロジェクト専門家が支援して作成された中学校の数学教科書と指導書が、2012年に全国約1,500校に配布された。よって、これら指導書を適切に活用し授業の改善ができる教員の育成が急務となっており、前任ボランティア(2012年6月~2014年3月)は現在教員の指導に当たっている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先の現職教員を対象とした数学教授法と研修の実施(授業計画、実施、評価、教材作成に関する指導・助言)。 2. 配属先と共に数学教育のレベル向上を目指す他校・他機関での指導。 3. 配属先で教育実習する学生に対する数学教授法の指導。 4. PROMETAMで作成された数学教科書と指導書の活用に関する指導及び助言。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机・椅子 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性・40代) 数学課主任(女性) 数学課教員 男性2名 女性2名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・数) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 専門性が求められる ・経験 (教員経験) (10年以上) 理由: 教員への指導があるため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(18~33 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G161)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ブータン	体育			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) カリキュラム開発局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 パロ県パロ市 JICA事務所の所在地(ティンプー市)から 南西 方向 55 Km 主要都市(パロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 教育省カリキュラム開発局は、小中学校および高等学校のカリキュラム策定や教科書・教材の作成を行っている。職員数は約40名。各教科に担当官がおり、学校における教科実施のモニタリング・調査、現職教員の能力向上に資するワークショップやセミナーの企画・実施もしている。所在地はパロ郊外。同局美術科で美術隊員(平成22年9月～)が活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ブータンにおける体育教科は2000年に正規教科になり、現在はPP(幼稚園年長相当)からC6(小学校6年生相当)で教科として実施されている。しかしながら、教科の普及は進んでいないのが現状で、体育教科が行われていない学校も数多い。原因として教員数や教材・用具の不足、授業実施状況のモニタリングが行われていないこと等が挙げられている。また、今年度、担当官が不在であった体育科に専属担当の者が着任し、カリキュラム改訂や、モニタリング実施に向けた調査を始めており、これら業務の実施をはじめ教科普及に対する支援が求められ要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・現行カリキュラム改訂へのアドバイス。 ・学校巡回を通じ、体育教科実施状況のモニタリングおよび教科実施計画の策定。 ・現職および新規教員への研修実施。 ・教員養成校における体育教科指導内容のモニタリングおよび評価。 ※学校を配属先とする体育指導隊員との情報共有、連携が求められている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室(机、PC) 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長(40代 女性 修士) チーフプログラムオフィサー(40代 男性 修士) 担当官(30代 男性 修士)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (保体) 又は (小学校教諭) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (体育) 理由: 同僚職員は大卒以上のため ・経歴 (教員経験) (5年以上) 理由: 業務に必要なため ・ 小学校教員経験 理由: 指導内容の対象となるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 17 日

要請番号(SL 060 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G161)			JOCV/SV	日系/短期	
ネパール	体育	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
					3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 国立教育開発センター ○ NGO
	3) 任地 バクタプール郡サノティミ JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国の小中学校教員及び学校職員の教育指導の資質向上に取り組む研修機関で、全国34ヶ所ある教育研修センターを統括している。事業内容は、初等中等教育の教師トレーニングカリキュラム作成、トレーニング実施及び教材開発等。SVは教員研修セクションの所属となる。当配属先は保健体育SVが3代にわたり活動していた。

要請概要	1) 要請理由・背景 同国では体育のカリキュラムは存在するものの保健体育に対する認識は低い。教員は体育の指導法、授業展開等について十分な指導を受けていないため、子どものレベルに応じた体育の指導がなされていない。過去のSVは体育指導書の作成、ネパール向けラジオ体操のDVD作成に取り組み、全国の教育研修センターでのトレーニングを実施、また、小中学校を巡回し、児童・生徒や教員に対して指導を行った。いまだ体育の授業普及への理解がなされていない部分もあることから、前任者は児童生徒から運動能力基礎データを収集している。 今後は基礎データの収集を充実化し、過去に作成された指導書などを活用して、教育研修センターでのトレーニング及び各学校での体育の授業での定着に取り組むことが期待されていることから後任の要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SVは職場同僚と協力しつつ、研修センターや各学校で以下の活動を行う。 1 同国の保健体育分野の指導教材の普及 2 地方を含む教育研修センターでの教員研修及びトレーナー育成支援 3 学校等教育現場における実地指導及び調査
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プロジェクター等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 教員研修セクションスタッフ11名 30~50代 同僚は体育セクションスタッフ(50代、男性)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (小学校教諭) 又は (保体) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 専門的な助言や指導が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ● 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○安定 ●不安定 ○なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 569 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G182)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
カメルーン	小学校教育			1	25 / 3	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 初等教育省 2) 配属先名 (日本語) ンフンディ県事務所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 中央州ンフンディ県ヤウンデ市 JICA事務所の所在地(ヤウンデ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ヤウンデ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 県内の公立幼稚園、小学校(無償資金協力により建設した25校舎を含む)を管轄している同省の県事務所であり、①教育カリキュラムと方法の適用のモニタリング②初等教育公立学校の建屋・設備の維持管理活動のモニタリング③教職員研修計画の策定④所管する初等教育教職員の教育的、行政的、財務的管理⑤県内の終了・入学試験の管理⑥初等修学証の発行を行っている。年間予算約600万円、職員数87名。現在小学校教諭SV1名が活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 初等教育省は、教育分野の優先課題として、①初等教育の普遍化 ②教育機会へのアクセスと公平性の改善 ③教育の質の改善 ④教育制度の管理運営の改善 ⑤教育関連機関とのパートナーシップの推進を掲げている。①に関し、同省は情操教育もカリキュラムに必須科目として組み込んでいるが、現場での認識不足や教師の技術欠如、教材不足などの理由でほとんど実施されていない。このような問題に対する改善を目的に2006年より小学校教諭ボランティアが国内各地で活動を行っている。同県事務所関係者との信頼及び協力関係の構築も重視しながら、前任に引続き下記の業務を実施することが期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先及び活動先の学校関係者と協力して以下の業務を行う。 ①教育関係者に対し、初等教育における情操教育の効用や重要性の理解促進を図る。 ②情操教育(体育・図工・音楽・生活実習活動)の授業を教員と協働で実践しながら、教員の指導技術改善に協力する。 ③情操教育に関する授業研究、ワークショップ、セミナーなど、教員の研修の機会を創出する。 ④工夫努力の助長やアイデア提供により授業の充実化や教材不足の解消を図る。 ⑤他の初等教育分野ボランティアと連携し、全体としての活動の効果向上や成果の普及を図る。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(黒板、机、いす) 4) 配属先同僚及び活動対象者 県事務所長:男性・40代 視学官:男・女性7名・40~50代 教員養成校校長:男性・50代 校長、教員 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (小学校教諭) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 教員への指導・助言が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯性) 気温(20~35 °C位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 22 日

要請番号(SL 245 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G201)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
メキシコ	機械工学			1	25 / 3	年 月 から
				2	25 / 4	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) メキシコ教育省 2) 配属先名 (日本語) サン・ファン・デル・リオ工科大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケタロ州サン・ファン・デル・リオ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北 方向 100 Km 主要都市(ケタロ州ケタロ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、地元企業の競争力強化に資する人材育成を目的に1998年に創立された公立大学であり、年間の予算規模は約6億2000万円。メカトロニクス&情報コミュニケーション、オートメーション、工業化学等7つの学部を有し、敷地面積は約20ヘクタール、在学生約2,400人。職員数は140名。学生の年齢層は18才から24才。卒業前の課題として地元の様々な企業での4か月間の実習が義務付けられている。卒業生の約70%は卒業後6か月以内に就職しており約30%が修士課程へ進学する。これまでに本配属先に対する外国からの援助実績はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 自動車及び家電産業を中心とする産業集積地の一つであるケタロ州サン・ファン・デル・リオ市において、専門的能力を持った学生を産業界に供給できるようなカリキュラム開発に関する能力強化を行うと同時に、メカトロニクス分野における教育戦略の策定、CNC、AutoCAD等を用いた実習授業の開発を行うことは喫緊の課題である。本配属先においては、ハード面の設備(資金力)に問題はないが、現在の状況はそれら資機材を十二分に活用しているとは言い難い。かかる状況下、各分野スタッフの知識の最新化や、卒業前に学生に義務付けられる地元企業での実習において、巡回指導を行う教員(カウンターパート)に同行しアドバイスをを行うこと及び、当該学科が実施する各種カリキュラムに対する改善策の提案が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.メカトロニクス&情報コミュニケーション学科のカウンターパートと活動する。 2.当該分野の教員の知識の最新化。 3.CNC、AutoCAD等と用いた実習授業のカリキュラム策定援助。 4.当該学科の教員が推進する各種プロジェクトの改善策の策定。 5.実習授業の巡回をモニタリングし、指導する教員へのアドバイスをを行う。(実習は卒業年次に実施され、大学近隣にて選定された民間企業30社に対し、60~100人の学生を派遣する。各学生は1日8時間の実習を4か月間行うことが義務付けられている。それらの活動を担当教員が、30社×月2回×4か月、計240回訪問する。) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン等 4) 配属先同僚及び活動対象者 当該学部責任者(修士、経験25年、男性、40代)1名 専門分野担当教官(修士、経験20年、男性、50代)3名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員を指導するため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高地性・温帯) 気温(5~30 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 306 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ボリビア	機械工学				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校コチャバンバ校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 380 Km 主要都市(コチャバンバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国内市場のニーズに合った労働人材を育成することを目的として、1988年に公立職業訓練校として設立され、1996年に労働省から独立した非営利財団で、民間企業などからの出資金と授業料などの収入で運営されている。全国9県の県庁所在地にキャンパスがあるが、それぞれが独立した運営を行っている。コチャバンバ校では2キャンパスで電子工学科、電気科、機械科、自動車整備科、情報処理科などの9コースを設置しており、3年間の履修で上級技術者の資格習得ができる。コチャバンバ校全体での教員数は163名、学生数は約3000名、機械科では学生約200名が履修している。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ボランティアが活動する機械科では、昨今の市場のニーズに合わせ、機械の保守ができる人材の育成を目指し、3年次の学生が履修する「機械メンテナンス」講座を開設する予定で、授業に必要な実習用機械なども一部設置した。しかし、同校には現在工作機械の保守を指導できる専門の人材がおらず、また国内全体を見ても機械保守を教える職業訓練校が数少ないことから、同校では日本人ボランティアからの技術支援を受け、機械のメンテナンスを指導できる人材を育成すること、ひいてはメンテナンス技術を身に着けた同校の学生の、卒業後の雇用機会が増えることを期待している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚と協力しながら以下の活動を行う。 1. 機械メンテナンス講座開設に向け、授業計画(座学、実習)、教材の整備を行う。 2. 同僚が学生に授業を行うことができるよう、機械のメンテナンスについての技術指導を行う。 3. 同僚に対し、実際にモデル授業を行って見せるなどし、わかりやすい教授の仕方を指導する。 4. 今後授業を展開するために導入が必要な実習用機械や教材などについてのアドバイスを行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ベルトコンベア用アライメント調整機(レーザー式)、張力計(レーザー式及び機械式)、トランスミッションシステム、部品組立実習用旋盤、機械部分組立用変速装置、シャフトアライメント調整機など 4) 配属先同僚及び活動対象者 機械科長(30代、男性、大卒) 同僚3名(20~40代、男性、専門学校卒、溶接、製造工程、製造機器制御などが専門) 機械科学生約200名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚への指導を行うため ・ 製造機械などの一般的な保守の経験 理由: 同僚への指導を行うため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地温暖) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 327 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ペルー	機械工学			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
1) 受入省庁名 (日本語) 全国工業労働訓練機関(SENATI)						
2) 配属先名 (日本語) 全国工業労働訓練機関 アレキパセンター					<input type="radio"/> NGO	
3) 任地 アレキパ州アレキパ市 JICA事務所の所在地(リマ)から 南西 方向 970 Km 主要都市(アレキパ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 受入先上部組織である全国工業労働訓練機関は、全国に14の地域事務所(独立採算性)をもち、各地域事務所が複数のセンターを統括している。配属先のアレキパセンターは、受入先であるアレキパ・プーノ地域事務所と同じ場所にあり、同事務所が管轄する4つのセンターのうち中心的役割を担っている。受入先予算は約US\$8百万ドル、うち、アレキパセンター予算は約US\$4.6百万(2012年)。資金源は、地域内の企業からの協力金、および授業料。配属先では、機械保守管理・金属機械分野の他、電気電子、自動車整備、溶接、食品加工、縫製業などの分野がある。日本以外の他国からの援助はない。						
1) 要請理由・背景 ペルー南部では、マヘス農業開発、アンデス地域産品輸出機構、鉱山開発といったメガプロジェクトが展開されており、雇用創出と地域経済活性化が要求されている。これを背景に、鉱業分野での人材需要に対応すべく既存の訓練内容改善が実施されることになり、2008年以降4名のSV(渉外促進・ディーゼル機関、縫製業・電子工学)が派遣された。今回要請の金属機械・加工課には、JICAフォローアップ事業でCNC(コンピュータ数値制御)が2002年に供与され、講師4名のうち2名が日本でのJICA研修に参加。新旧機材が多種あるが、保守管理知識・技術を有した人材に欠けているため新規SVが要請された。配属先の職員数(インストラクター含む)は約150名、うち機械保守管理・金属機械課に37名。金属機械・加工課の学生数は約400名。37名のうち4名ほどが中心となってボランティアと活動する。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 機械保守管理・金属機械課において、 1.インストラクター(講師)に、各機械の振動・超音波・サーモグラフィなどの分析を通じた故障時のトラブルシューティングについての知識・技術に関する指導を行う。 2.上記1.に関し、インストラクターとともにマニュアルを作成する。 3.必要に応じ、配属先インストラクターとともに同地域内にある他のセンターのインストラクターへの技術指導を行う。						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ROMI、GALAXY、15S・DISCOVERY 4022 ROMI(ブラジル製) LN-32AII、ENSHU SCAKE CONTROL、WASPAC 3C(日本製)						
4) 配属先同僚及び活動対象者 インストラクター:30~60代 生徒:17~25歳 男女比は9対1。 配属先長は60代。 受入先の全国工業労働訓練機関 アレキパ・プーノ地域事務所長は60歳。				5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:講師育成のため ・理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況 気候(砂漠) 気温(10~28 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 327 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G202)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ペルー	電子工学			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 全国工業労働訓練機関(SENATI) 2) 配属先名 (日本語) 全国工業労働訓練機関ピウラ地方局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ピウラ州ピウラ市 JICA事務所の所在地(リマ)から 北 方向 1089 Km 主要都市(ピウラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 受入先上部組織である全国工業労働訓練機関は、全国に14の地域事務所(独立採算性)をもち、各地域事務所が複数のセンターを統括している。北部地方都市ピウラ及びトウンベスを管轄する同局は2003年に設立、ピウラに2か所の訓練施設を保有。合計生徒数は約1800名、講師数は約35名である。今回要請が挙げた訓練施設は産業地域に所在し2011年改装を終了。電子工学、機械保守管理、自動車整備、建築機械整備、電化製品整備、経営の6コースを開講中。ピウラ局長は2011年のJICA研修員でJICA事業の理解も深い。これまで南部地方都市アレキバセンターへSVを複数派遣してきた。外国からの援助は受けていない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当国では、首都同様に各地方都市においても、産業発展による経済活性化が求められている。このため、特に工業分野における企業のニーズに対応すべく、配属先では訓練内容の改善を図っているところである。配属先では企業のニーズの中でも特に高い電子工学分野に力を入れたいと考えており、最新知識や技術の導入によって訓練内容をぜひとも向上させたい意向である。現在電子工学科には約116名の生徒に対し3名の常勤・1名の非常勤講師がいるが、常勤講師の経験が浅いことから指導能力の向上が求められている。このため、JICAボランティアによる支援を求めて要請が挙げられた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 講師の指導能力向上のために、以下について行う。 1.空圧利用の自動制御に係る知識・技術を指導する 2.現在使用している指導マニュアルについて助言を行う(必要な箇所を改訂する)。 3.(日本の)最新の知識・技術を紹介する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 空圧式制御装置(DANFOSS)、圧力送信機(YOKOGAWA)、電子管、PLCコンパクト(SIEMENS)、PLCモジュール(TELEMECANIQUE)、教室、実習室 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師(常勤):全員男性(20~30代、講師経験1~4年) (非常勤):30代男性(講師経験11年) 活動対象者(電子工学科生徒):合計約110名、16~23歳の男性					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:講師育成のため 理由:			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(砂漠) 気温(15~30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 31 日

要請番号(SL 424 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G202)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	期間	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	
ヨルダン	電子工学			1	25 / 3	年 月 から
				2	25 / 4	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省 2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社ヨルダン-韓国技術学院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ザルカ JICA事務所の所在地(アンマン)から 北東 方向 30 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内42訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。ヨルダン-韓国技術学院(JOKOTI)は2008年に設立された。コンピュータプログラム、自動制御、コミュニケーション、医療機器、自動車整備などのディプロマコースがあり訓練生は約200名。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ヨルダンは持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは、高い失業率(12%)が問題となっているが、特に若年層の失業率が30-40%と高いため、職業訓練所では学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。電子工学分野では電子工学に対する理解を促進するための知識の提供、および訓練内容向上のためにインストラクターの技術力を向上させる必要がある。現在活動中のSVは、マイコンの基礎知識に関するセミナー、LCDテレビに関するセミナーなどの準備を進めている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) JOKOTIの電子工学関連コースにおいて以下の点で協力を行う。 1. インストラクターの指導力向上のための支援 2. 周辺の複数の職業訓練校に対する巡回指導および合同ワークショップの実施 3. 当該分野の訓練コースカリキュラム内容および教材の見直し 4. 訓練生の学習支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各種工具、マイコン教育ツール (Chungpa EMT Co. Ltd. CPE-MP100) 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性、40代) ・担当インストラクター1名(男性、30代) ・訓練生 約20名(男性、10後半～20代前半) ・他コースの指導員、事務員、他スタッフ(男女約40名) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 男子向けコースのため ・学歴 (大卒) (電気・電子) 理由: 専門分野の経験が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門分野の経験が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 327 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G208)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ペルー	科学			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			2年	1	年 月 から	
			1年	2		
			ヶ月	3	/	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 環境省 2) 配属先名 (日本語) ペルー地球物理研究所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 イカ州イカ市 JICA事務所の所在地(リマ)から 南 方向 300 Km 主要都市(イカ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1992年カーネギー財団の支援で当初ワンカイヨに設立された研究所で、地震学、火山学、天文学、気象学、地質学、地磁気学、測地学、電離層の研究を行っている。世界的にも有名な電離層観測レーダーを有するヒカマルカ観測所は米国コーネル大学との研究協定で経済支援も受けている。実際の活動場所となる国立イカ大学理学部物理学科は1999年に設立され、その後同大学キャンパス内に太陽活動研究所が設置された。2013年2月現在、地球物理研究所内プラネタリウム(リマ)でSVが活動中。外国からの援助はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2010年、京都大学飛騨天文台観測所からペルー地球物理研究所へ、太陽フレア監視望遠鏡(FMT)等の機材が寄贈された。FMT等の機材はイカ大学太陽活動研究所に移設され、イカ大学とペルー地球物理研究所で共同運営されることとなった。同研究所で取得・集積されるデータは世界規模で利用されることもあり、太陽活動研究に関わる学生及び教授等関係者には観測技術の習得と共に適切な機材管理が求められているが、同大学には適切な人材が育成されていないことから、支援を求めてボランティアの要請が挙げられた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) イカ大学キャンパス内の太陽活動研究所において、研究員に対し以下を行う。 1.太陽・天体観測の基本指導及び太陽黒点観測の指導 2.フレア監視望遠鏡の観測データ管理及び太陽分光装置の操作指導 3.60cm反射望遠鏡の観測データ取得技術及び宇宙シミュレーションソフトを使用した3D投影技術の指導 4.観測機材の管理方法に係る指導 補足:FMTを利用した太陽観測は京都大学飛騨天文台との共同観測であることから、同関係者が日本からイカ研究所を度々来訪している。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 太陽黒点観測望遠鏡(タカハシ望遠鏡FCT-150)、太陽単色分光観測装置、フレア監視望遠鏡、60センチ反射望遠鏡(西村製作所)、宇宙シミュレーションソフト(Mitaka、日本国立天文台の開発) 4) 配属先同僚及び活動対象者 ペルー地球物理研究所所長:40代男性 イカ大学太陽活動研究所所長:50代男性(イカ大学理学部教授) イカ大学太陽活動研究所員:30~50代(イカ大学理学部卒業生)					
要請概要	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 専門知識を要する ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 指導のための知見を要する ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(砂漠) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 539 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G208)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
南アフリカ共和国	科学				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術省 2) 配属先名 (日本語) オシズエニ・教育開発センター <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 ムプマランガ州ハルツェバンデ郡ゴーバンムベキ町エンバレン JICA事務所の所在地(プレトリア)から 南東 方向 150 Km 主要都市(セクダ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先(www.osizweni.org.za) は合成燃料で有名な化学会社の地域振興事業として1991年に設立され、数学・科学・技術教育の支援を行なっている。主に郡内の学校(小学校355、中等学校(日本の中・高校に相当)122)を対象に教員研修、移動実験室による出張授業、キャリアガイダンス等を実施。2008年には100点以上の展示物、モデル実験室を備えたサイエンスセンターも開館した。全国科学週間では州内の就学前児童から成人を対象に数学・科学・技術のイベントの提供や、地域住民に対してはITリテラシー教育やエンバレンでの就学前教育支援等幅広く活動している。年間予算約1.3億円、総職員数35人。						
要請概要	1) 要請理由・背景 現在同国には20以上のサイエンス・センターがある。大都市のセンターは充実した展示物で来場者を魅了するだけでなく、日常的に各種の科学・技術ワークショップも提供している。一方、地方センターの多くは、展示物・ワークショップとも見劣りする。JICAは同国の複数のサイエンス・センターにボランティアを派遣し、科学技術省が主導するサイエンス・センターの振興を支援してきた。前任者(平成23年度3次隊)は、日用品を活用した科学・技術アクティビティを就学前教育指導者や幼児の保護者及び児童・生徒・教員にワークショップを実施して紹介し、科学・技術の啓発に努めた。後任には、引き続き重要な就学前教育プログラムへの支援のほか各種プログラムをより効果的なものにするため、日本の優れた科学・技術教育プログラムの導入、各種ワークショップの継続が望まれている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の教育部スタッフと共に主に次のような活動を行う。 1 全国科学週間におけるサイエンス・ショー実施と科学・技術アクティビティの紹介 2 就学前教育指導者及び幼児の保護者対象のおもちゃ作りワークショップの計画・実施 3 小学校教員への日用品を利用した理科実験ワークショップの計画・実施 4 中等学校教員対象の新カリキュラム(CAPS:Curriculum and Assessment Policy Statement)理科ワークショップ計画実施 5 同僚スタッフの技術研修、他のサイエンス・センターにおける職員研修の提供 また、同国派遣科学JV/SVとの協働による、サイエンス・センターのネットワーク作りを通じた技術交流も期待されている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 文房具類、コンピュータ(Windows)、プリンター、プロジェクター、コピー機等の一般事務機器、所内LAN(インターネットに接続) 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育部マネージャー(男性50代) 教育部スタッフ(男性2名 30代、女性2名、20代) その他、理工学系大卒のインターン数名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 (男性) 理由: 治安上 ・ 学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科教育の知識、技能が必要 ・ 経歴 () () 理由: ・ 教員または科学館勤務経験(10年以上) 理由: 十分な経験に基づく協力の為		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(温暖湿潤) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	住居は配属先敷地内となるが、公共交通機関へのアクセスは不便である。主要な町まで20km程度あるため、生活・治安の面で私有車を保有することが望ましい。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 239 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G210)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ホンジュラス	地質学				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国家計画・国際協力省 2) 配属先名 (日本語) 私立工科大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 フランシスコ・モラサン県テグシガルパ市 JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は技術者養成を目的として2007年に開校。約280名の学生が在籍。土木工学科、財務(経営)工学科、情報技術・通信学科、測量学科があり、地質学科については2013年からの開設に向けて準備中である。年間予算は学生からの入学金・授業料からなる約15万米ドルで主にスタッフの給与、施設の光熱費及び維持管理に充てられている。2012年2月から2年間、地すべり分野の能力強化及び人材育成を目的として「テグシガルパ市首都圏における地すべりに焦点をあてた災害地質学研究」(科学技術研究員派遣)を実施中。現在地質学のSVが派遣中(任期:2011年9月~2013年9月)で上記プロジェクトとも連携を図っている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ホンジュラスでは頻繁に自然災害(洪水・地すべり)が発生しており、これら災害の防災、減災のためには特に地すべりについでの人材育成は喫緊の課題となっている。しかしながら、ホンジュラスでは地質学に精通した人物が少なく、現在のところ地質学を専門に取り扱う専門機関は同工科大学のみであり、またその講義内容は基礎的な内容となっており人材の育成が思うように進んでいない。このような状況から実体鏡を使った地形の読み取りなど基礎的部分を強化する目的で2011年より地質学の専門知識を有するSVの派遣を行っているが、その活動が定着するまでには至っていないため後任要請がなされた。現在フィールド調査を中心に学生の指導に取り組んでいるが地質学の基礎を習得しながら野外調査法を身につけて地質図を描ける人材の育成が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.地質学科における講義(週2コマ程度)及び野外実習・演習支援する。 2.地質学科に係わる教科の履修プログラムを作成支援する。 3.科学技術協力「テグシガルパ市に焦点をあてた地すべり研究」事業を支援する。 4.必要に応じて、自然災害に関する他案件(無償資金協力「首都圏地すべり防止計画」との連携を行う。						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 距離計、クリノコンパス・クリノメーター、スキャナー付印刷機 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 男性・大卒・50代・(層位学・堆積学教官)実務経験22年 地質関連教員3名 学生約15名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (地学) 理由:地質図作成のため ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由:地質図作成のため ・理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(18~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 26 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G211)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
エクアドル	生態調査			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) クエンカ市役所 2) 配属先名 (日本語) クエンカ市電上下水道公社(ETAPA) エル・カハス公園保全部門 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスアイ県クエンカ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 375 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 クエンカ市電上下水道公社(以下、ETAPA)は上下水道、通信網整備、環境保全、国立公園管理などクエンカ市民の公益のために設立され、市民税に加え国の補助金等で運営されている公社である。クエンカ市(世界文化遺産)は環境に対する意識が高く、ETAPAを通じて市民に対する環境教育、水源池の汚染防止対策を行っているほか、市が国内で唯一保有する下水処理施設はETAPAが管理を行っている。また、ドイツの大学と連携し、降水量や災害対策、エコシステムなどの研究も行っている。エル・カハス国立公園保全部門の年間予算は約6百万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ETAPAが取り組んでいるエル・カハス国立公園保全計画は、基礎研究調査、市民への環境教育、公園周辺村落の開発、公園の監視・管理、一般への開放の5つの柱から成る。基礎研究調査部門では公園内に生息する動植物の調査や、約270の湖沼群の水質調査を行っているが、公園の面積が28,554haと広大で調査対象も多いのに対し、人材が不足している状況である。これらの湖沼群地帯はラムサール条約および「重要野鳥生息地(IBA)」に登録されているばかりでなくクエンカ市民の水源地であり、湖沼群の水質を保全管理することは市の重要な課題となっている。水質調査データは動植物叢、気象観測など他の調査研究のデータとしても利用され、公園だけでなく地域全体の環境保全計画に役立てられる。SVには生物学的方法による調査で湖沼群の水質調査を行いデータを集積・管理することにより、地域環境保全に寄与することが望まれている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.同僚とともに国立公園内の湖沼群および河川群の水量調査を行い、基礎調査データを集積・管理する。 2.調査で得られたデータを他の研究と共有し、専門の見地より環境保全に関する助言を行う。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 マルチ水質センサー、蛍光溶存酸素計、顕微鏡、グラブ採泥器、各種サンプラー、水深測定器、カメラ、ポート 4) 配属先同僚及び活動対象者 エル・カハス国立公園保全部門長:40代男性 博士 カウンターパート 水資源プログラム長:40代女性 生物学者 修士 同上 技師 :30代男性 生物学者 修士					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行に必須 ・ 生物学的水質検査の経験 理由:業務遂行に必須			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高地半湿潤温帯) 気温(平均12~20℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	活動地域の標高は約3,000m~4,500m、サンプル採取のための公園内の移動は徒歩によることが多いため、体力が必要である。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 312 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G213)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
チリ	動物学			年 月 から	
1) 受入省庁名 (日本語) 都市・住宅省					
2) 配属先名 (日本語) メトロポリタン動物園		<input type="radio"/> NGO			
3) 任地 サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(サンティアゴ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 首都サンティアゴに位置するチリ最大の国営動物園として来園者と動物の触れ合いを提供するほか、野生個体数が減少している動物の保護、動物生態系の調査・研究・管理等も行っている。国営としてはチリ最大の総面積722haの動物公園と市内13か所のその他公園の運営管理を含む年間予算は、施設運営費として115万米ドル、改築その他の投資資金として38万米ドルである。スタッフは約50名。					
1) 要請理由・背景 同動物園が現在直面している下記課題に対して技術指導を要するためボランティア要請がなされた。 1. 主にフンボルトペンギン、チリフラメンコ、イワインコ等絶滅の危機に瀕している鳥類の人工ふ化、人工飼育技術の向上 2. 上記鳥類の血統管理、飼育、ケージでの扱い 3. 環境保護の観点から園内教育・展示手法等の改善 現在2011年10月からSV1名が活動中で引き続きの支援を必要としているため本要請に至った。 また同動物園はJICAボランティア派遣前から日本の動物園(江戸川区自然動物園、埼玉県こども動物自然公園)・水族館(下関市立水族館「海響館」)、NPO(ペンギン会議)との技術交流・人材交流等を行っている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. フンボルトペンギンを中心としたチリに生息する希少鳥類の繁殖、人工ふ化、人工飼育の指導 2. 飼育下繁殖個体の血統管理指導 3. 保護活動のための現地調査同行、現場でのアドバイス、報告書等の作成指導 4. 環境保護の観点から園内教育、展示改善に関するアドバイス					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 人工飼育室。孵卵器(昭和フランキP-008A型)、発生器(GQF1554:アメリカ製)					
4) 配属先同僚及び活動対象者 飼育場の責任者(生物学専攻)1名、獣医師(30歳代)4名、その他飼育係(20~60歳代)20名		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:特殊分野のため不可欠 ・主体的なペンギン人工飼育経験3年以上 理由:特殊分野のため不可欠	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)	電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 11 月 20 日

要請番号(SL 009 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G215)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
マレーシア	学芸員			2年	1 25 / 3	年 月 から
				1年	2 /	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) サラワク州経済企画院 2) 配属先名 (日本語) サラワク州立図書館公文書館 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サラワク州クチン JICA事務所の所在地(クアラルンプール)から 東 方向 700 Km 主要都市(クチン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1999年にサラワク州条例下に設立された公立図書館および公文書館。サラワク州政府下で運営され、係る条例は2010年に改定された。サラワク州の情報及び知的財産の保管、並びにサラワク州の知的財産、リソース及び情報の提供をミッションに掲げている。州内で発行されている書籍、新聞、雑誌等の保管・保護のほか、図書の貸し出し、歴史的文献及び公文書の保存・管理を行っている。年間予算は約4億6千万円。職員の総数は図書館関係が37名、公文書館関係が18名。外国からの援助としては米国ボランティアが図書館活動としてのイベントを実施している。過去、2001年に養護のJOCVが派遣され図書館広報活動を実施した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先図書館の公記録保管サービスセクターには計18名のスタッフがおり、司書が公文書の保管を実施している。しかしアーキビストの資格、技術を持つものが不足し、特に歴史資料の古文書、古写真、行政資料などの保存管理にかかるノウハウを必要としており、JICAボランティア要請に至った。主に紙面保存、修復の技術を持ち合わせている人物が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 収集物(古書、マイクロフィルム、写真等)の査定、収集、整理、保存、管理、閲覧ができる環境を整える。 2. 収集物の記録を電子化すると共に、コンピューターでアクセス可能なデータベース作成を支援する。 3. 収集物の修復、保存管理にかかるワークショップを館内外で実施する。 *収集物の種類は多種あるが、まずは古書の保存についての支援が望まれている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 拡大鏡 製本機 超音波加湿器 顕微鏡 保存用筆 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先カウンターパート:女性、大卒、50代、部長 司書3名、司書助手1名、事務所クラーク1名、アシスタント1名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: スタッフへの指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	通勤は公共バスの利用が可能。但し選ぶ住居の場所によっては生活上は車社会の為、自己車輛が必要となる。					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 515 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G215)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV 25 / 3	
ケニア	学芸員			2年	1	日系/短期 年 月 から
				1年	2	
ヶ月	3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家遺産・文化省					
	2) 配属先名 (日本語) ケニア国立博物館				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ナイロビ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1930年開館のケニア最大の博物館で、国内各地に分館を持つ。展示部門、学術部門、教育・広報部門等があり、特に始祖人類に関する人類学研究に関しては、欧州・日本を中心に共同研究や研究者の受入、機材導入が盛んである。博物館全体での年間予算は約87億円。また国内の小中学校における自然・歴史等に関する教育を行う役割も担う。2011年JICA一般文化無償により古人類学遺物保存及び視聴覚機材の供与が実施された。2012年10月より2ヶ月間のSVが派遣され、博物館の展示方法や調査研究に対するアドバイスの提供を行うと共に、配属先が支援しているスラム地区小学校での環境教育プログラムにも参加した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 国立博物館および各地の分館では、国内の初等・中等教育における自然史・文化史をはじめとする博物館教育を行っているが、遠方のため博物館を訪れるのが非常に困難な地域も多い。博物館に向くことの出来ない学校の児童生徒のため、観たり触れたりすることのできるインタラクティブな教材を携えて出張教育を行うプログラムの整備を求める声が大きく、教育・広報部門にて少しずつ教材や指導内容、マニュアル等の整備を進めているものの、視聴覚機材や出張教育のアイデア等に関し、より効果的なプログラムや各種マニュアル・ツールの整備について指導することのできる人材が必要とのことから、本要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは、配属先広報・教育部門スタッフおよび他部門のスタッフ・研究者等と協力しながら博物館教育の推進に関連する下記業務を行う。 1.博物館教育を出張で行うためのプログラムツール・マニュアル等の作成。 2.よりわかりやすく創造的な出張博物館教育プログラムの作成。 3.プログラム作成のための学校等へのマーケティング戦略の策定支援。 4.プログラム作成・運営のための資金調達(スポンサー獲得等)に関する助言					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター各4台(共用)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 教育・広報部 部長 50代男性 1名 主任学芸員 40代女性 1名 学芸スタッフ 20~40代 7名 小中学生、学校教員等			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 業務上、専門知識が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 教員、学芸員が指導対象の為 ・学芸員資格 理由: 活動上、知識、経験が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高原) 気温(10~30℃位)		電気 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし 水道 <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 115 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 25 / 4 3 /
ミクロネシア	家政・生活改善			年 月 から	
1) 受入省庁名 (日本語) ポンペイ州政府					
2) 配属先名 (日本語) ポンペイ・アイランド・フード・コミュニティ		<input checked="" type="radio"/> NGO			
3) 任地 ポンペイ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 南西 方向 1 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、地元の食材を食することは、文化・健康・環境・経済・食料安全保障に裨益するとの観点で、キャッチフレーズを Go Local とし、地元の伝統的な食物(農産物)の調査や、有用性についての啓発活動等を実施している。年間予算は外部からの支援状況にもよるが、概ね45千ドル(約360万円)。2008年に、草の根・人間の安全保障無償資金協力によって施設が拡張・修理された。現在、村落開発普及員の隊員が活動している。					
1) 要請理由・背景 配属先では、当国の輸入食料への依存や生活の欧米化に伴う、生活習慣病蔓延の現状に対し、地元の伝統食の栄養や健康面での価値を、人々に広める活動を行っている。派遣中の初代の村落開発普及員の隊員は、同僚の啓発活動の記録(写真、レポート)、新聞等の広報記事の作成、小学校での食育のワークショップの開催等を行っている。また、コミュニティーの人々の食と健康の関係についての調査も行っている。当国では、食育はもとより、栄養や健康について学べる機関も少ない。そのため、後任には、前任隊員が広めてきた食育や健康調査の活動を基盤に、さらに多くの人々やコミュニティーに、地元産品が栄養や健康面で価値があることを広めていくことが期待されている。その際、栄養や健康に関する専門的な知識の裏づけがあることが求められるので、これらの知識や指導経験を持つSVでの後任要請となった。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の活動を、同僚と協力して行う。 1. 現地の人々の生活を、よく観察・調査する機会を設け、地元産品の栄養について再評価する。 2. 人々の生活習慣(生活習慣病蔓延)が改善されるように、地元産品の栄養価の評価結果等を用い、食育活動の教材作成などを行う。 3. コミュニティや学校で、効果的な方法で、食育活動を実施する。 4. 実施した食育活動について、記録し、新聞・ラジオなどのマスコミに広報する。 5. 上述の活動が円滑に行われるように、配属先と他の関係機関やコミュニティーの人々との調整を行う。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、FAX、コピー機、PC(Windows XP)、プリンタ等の一般的な事務機器。					
4) 配属先同僚及び活動対象者 事務局長(女性1名/食育担当、50代) 総務担当(女性1名、50代) 本団体の運営方針などは、理事会で決まるが、理事らは常勤ではない。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(30℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 048 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G237)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ブータン	手工芸			1	JOCV/SV	年 月 から
				2	25 / 3	
3	/	2	/			
			〇 2 年	3	/	
			〇 1 年			
			〇 〇 ヶ月			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 経済省					
先	2) 配属先名 (日本語) 工芸品振興事業団		〇 NGO			
概要	3) 任地 ティンブー県ティンブー市 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 東 方向 1 Km 主要都市(ティンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)					
要	4) 配属先の規模・事業内容 当事業団は経済省の外局として2011年に設立された、村落部における雇用創出および地域住民の収入増大を目的とした在来工芸品振興のための機関である。職員数は13名。国内各地で旧来より生産・使用されてきた藤・竹細工、金属細工、木工品、織物等を当事業団が首都等に開設したバザールで陳列・販売できる機会を設けることで、生産者の製作意欲を高めるとともに、より高品質の工芸品を生産させるため各種研修を実施している。UNDP,ADB等の国際機関からの援助実績があるほか、現在、タイ国ボランティアが1名活動している。配属先の予算は15百万ユルタム(2200万円)。					
要	1) 要請理由・背景 在来工芸品の職人は国内各地に拡散しているが、2012年にパイロット事業として藤・竹細工の職人(126人)の共同生産場所を設け、そこでの研修実施を通して、売れ筋製品のデザイン・素材等の各種情報を共有し、高品質の製品生産を目指しているが、旅行者に好まれるデザイン、素材、色、ケース、包装等の知識を持つスタッフがいないため、世界標準の嗜好を心得ている日本から知見を吸収すべく今回のボランティア要請となった。					
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 藤、竹、織物、木工細工、金属細工のいずれかについて、 ①工芸品及びその包装に関し、外国人購入層が好むデザインの助言をする。 ②共同生産センター、及び資材共同購入センター設置に関する助言をする。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、インターネット、生産指導に必要な機材(着任後、要請により購入される)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(デザイン):1名、女(大卒 29歳) カウンターパート(マーケティング):1名、女(大卒 29歳) 職人:多数、指導対象の職員数は現在126名(男女、17~65歳、多数が小学校卒業程度)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:指導する上で最低限の学歴 ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由:指導する上で最低限の経験 ・実務経験(5年以上、指導経験と重複可) 理由:指導する上で最低限の経験		活動上の単車/自転車の必要性 〇 単車 〇 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 〇 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 4 2 / 3 /
モロッコ	料理			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 観光省				<input type="radio"/> NGO	
2) 配属先名 (日本語) モハマディアホテル観光高等技術専門学校					
3) 任地 モハマディア県モハマディア市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 70 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は同省庁管轄のホテル・観光業の専門学校で、観光業の効率的な経営に携わる人材育成を担う。全国に16校ある観光専門学校うちの一つである。2011年度生徒数は約500名、年間予算は約4500万円である。1998年から5名の料理JVが派遣され、2011年からはSVが活動中。料理科の生徒は校内のレストランで実習(フランス料理コースの提供を含)も行っている。					
1) 要請理由・背景 モロッコ観光産業は外貨獲得、雇用機会の創出、地域経済の活性化の観点から重要産業となっている。左記背景を受け、モロッコは2010年11月、向こう10年で世界観光客数ランキングで20位以内を目指し、海外からの観光客数の倍増などを掲げた観光開発計画「ヴィジョン2020」を発表した。外国人観光客が増えている状況を踏まえ、ホテル等の宿泊施設の拡充、ホテル・レストラン業の人材育成が進んでいる。同分野人材育成のため2008～2012年民間セクターと協定を結ぶとともに、人材育成面で支援できるSV(料理)が要請された。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同専門学校の卒業時に日本を含むアジア料理を習得した証明を得ることで就職に有利になるため、日本の料理を中心に次の活動を行う。 1. 現地で調達可能な食材を使った調理法の実技指導(1クラス10人、1コマ3時間×2～3回/週) 2. 食にまつわる日本文化・料理の紹介等 3. 日本料理の基礎知識・技術の習得を段階を追って学ぶよう、家庭料理技能検定等をモデルとした授業計画を作成 また、同職種のボランティアと連携し、指導要領・評価方法の策定、指導教材作りの実施なども期待されている。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習室、調理器具、厨房設備、製菓用厨房、レストラン、調理実習室					
4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ(教育主任、西洋料理担当教員、製菓担当教員等):約35名 全生徒:約500名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (調理師/栄養士) 又は (家庭科教員免許) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:実技指導が必要なため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況 気候(地中海性) 気温(5～35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 11)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
モロッコ	料理			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 25 / 4	年 月 から
					2 /	
			3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 観光省 2) 配属先名 (日本語) マラケシュホテル観光高等技術専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 290 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は同省庁管轄のホテル・観光業の専門学校で、全国に16校ある観光専門学校のうちのひとつである。2年制でホテル学科、レストランサービス学科、料理学科からなり観光業の効率的な経営に携わる人材育成を担っている。過去に2名のJICAボランティアが派遣され観光業に関する講義を行うなど活動を行ってきた。現在2011年、新たに2つのアトリエ(厨房)の設置工事中。2011年8月からはSVが派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコ観光産業は外貨獲得、雇用機会の創出、地域経済の活性化の観点から重要産業となっている。左記背景を受け、モロッコは2010年11月、向こう10年で世界観光客数ランキングで20位以内を目指し、海外からの観光客数の倍増などを掲げた観光開発計画「ビジョン2020」を発表した。外国人観光客が増えている状況を踏まえ、ホテル等の宿泊施設の拡充、ホテル・レストラン業の人材育成が進んでいる。同分野人材育成のため2008～2012年民間セクターと協定を結ぶとともに、人材育成面で支援できるSV(料理)が要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同専門学校の卒業時に日本を含むアジア料理を習得した証明を得ることで就職に有利になるため、日本の料理を中心に次の活動を行う。 1. 現地で調達可能な食材を使った調理法の実技指導(1日4時間で週3回の授業) 2. 食にまつわる日本文化・料理の紹介等 3. 日本料理の基礎知識・技術の習得を段階を追って学ぶよう、家庭料理技能検定等をモデルとした授業計画を作成 また、同職種のボランティアと連携し、指導要領・評価方法の策定、指導教材作りの実施なども期待されている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理器具、厨房設備、製菓用厨房 4) 配属先同僚及び活動対象者 調理講師: 西洋料理担当、モロッコ料理担当等 生徒: 18～25歳 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (調理師/栄養士) 又は (家庭科教員免許) ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 実技指導が必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性) 気温(5～35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 475 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
チュニジア	料理			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 観光省 2) 配属先名 (日本語) スース観光高等学院(ISPT) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 スース県スース市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 南 方向 140 Km 主要都市(スース市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、2004年にフランスの協力の下に設立された、観光局傘下の観光に特化した高等教育機関で、国内有数の観光地に位置する。卒業時に取得出来る2種類の技術士資格(BTS:上級技術士、BTP:技術士)によって、コースが分かれ、ホテル・レストランサービス・旅行代理店・ガイド学科などがある。履修期間は、2年又は3年で、学院内の授業の受講と外部のホテルなどの実習先においての、実習とを交互に行っている。全学生数は約350名、教員数は約40名。年間運営予算は約2700万円。現在、PCインストラクターのJVが派遣されている他、韓国料理担当のKOICA(韓国)ボランティア1名も派遣中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 観光業はチュニジアのGDPの7%、外貨収入では1位の20%を占める重要な産業である。2011年1月の革命後には、観光客が激減したが、チュニジアは毎年600万人以上の観光客を受入れており、同産業は地域住民の所得向上や雇用創出に直結することから、現暫定政権としても、力を入れようとしている分野である。その様な背景の中、外国人観光客に人気のあるアジア料理、特に日本料理を提供できる人材育成を目指して、本要請が上がった。現在、チュニジアを訪問する日本人観光客は年間約1万人。アジアからの旅行者客増加も見据えた上での要請である。同センターは、元々ホテルであった場所を改装して作られた比較的規模の大きな施設で、10教室、PC2教室、3レストラン、1階段教室、図書館、学生寮、2調理室など設備は整っている。ボランティアは、上級技術士(履修3年)を対象に日本料理及びアジア料理を指導する。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、担当教員と共に、以下の業務を行う。 ①日本料理を含めた、アジア料理に関する学生への実習指導 ②日本・アジア料理などの新しいメニューの提案 ③野菜や果物などのデコレーションに関する指導 ④日本・アジア料理などに関する知識の伝達 ⑤料理を通じて、日本人観光客の特徴、好みやニーズを伝える フランス及びチュニジア料理は必須、韓国及び日本料理は選択科目となる。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 厨房設備は冷蔵庫、ガスコンロ、オーブン、冷凍庫など整っている。 料理器具など細かいものは、必要に応じて購入することも可。 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:男性1名 40~50代 ・教員:40名(平均年齢32歳) ・同職種の同僚教員:2名 ・学生数:約350名(年齢17~25歳、男女比 3:1) ・指導対象学生:1及び2学年それぞれ10名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (3年以上) 理由:業務内容上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 27 日

要請番号(SL 006 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	2 年	1 25 / 3	
インドネシア	服飾			1 年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) ジョグジャカルタ国立大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジョグジャカルタ特別州・ジョグジャカルタ市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 420 Km 主要都市(ジョグジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ジョグジャカルタ国立大学は教員要請大学としての機能が強く、4年制の学生は実業高校教員等の教育界へ、3年制の学生は産業界へと卒業後の進路をとっている。同大学工学部は被服科の他、調理科、電気科、電子工学科、機械科、自動車整備科の6学科から成る。被服科の教師数は18名、学生数は約450名であり、一つのクラスは約35名から成る。また、市民向け短期プログラムとして美容プログラム等も有する。被服科の年間予算は約10万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同大学の被服科では、紳士服、婦人服、子供服、民族衣装(バティック)の製作を学生に教育している。同国の急速な経済発展に伴い購買層の嗜好が、近年は機能性の他に、デザイン性も求められるようになりつつある中、教師側にその知識を持つ者が少ないことから、世界水準にある日本の服飾教育での知見を持つ人材からの技術移転が期待されている。すでに初代のSVが活動中であるが、配属先の同SVへの評価が高く、継続した技術協力が必要とされていることから後任が要請されるに至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1被服科の実習の授業を週に4コマ~5コマ、合計約16時間~20時間担当し(1コマは約4時間)、学生に対し、洋裁全般(デザイン、製図、採寸、パターン、裁断、縫製、アイロン、仕上げ)を同僚教師と共に指導する。 2.同僚教師への教授法助言・指導を行い、授業の質の向上を図る。 3.教育カリキュラムの評価・改善を行う。 4.教材を開発する。 5.同僚教師に対しファッションデザイン画及び洋裁全般について適宜、ワークショップ(モデル授業の実施)を開催する。 6.導入予定の東レ・アパレルCAD(英語版)を使用して生徒へ型紙製作を指導する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電動ミシン85台(JUKI・TYPYCAL)、足踏みミシン15台(シンガー)、裁縫用具一式。CCLite Academic(東レ・アパレルCAD) 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師18名 (学歴:博士3名、修士14名、学士1名) (年齢:30代~50代の女性14名、男性4名) なお、教師のほとんどは大学で服飾関連専攻、修士号は教育学関連専攻。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:同僚とのバランス ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由:大学での指導に最低限必要理由: ・			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	インドネシア語ができると活動に役立つ。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 13 日

要請番号(SL 106 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
フィジー	服飾			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化/芸術 2) 配属先名 (日本語) フィジー国立大学 国立訓練生産性センター ナンブア校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 スバ市ナンブア JICA事務所の所在地(スバ市)から 北 方向 7 Km 主要都市(スバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国内で唯一服飾に特化した訓練プログラムのあるセンターである。2010年よりフィジー国立大学の傘下となったが、同校はもともと1989年に服飾訓練センターとして開校し、その後1999年からフィジー訓練生産性協会として、既に産業界で働いている人たちのスキルアップや、産業界の幅広い発展と振興を目的に運営されていた。現在も運営形式は前身と変わらず、主に服飾業界で働いている人たちのスキルアップを対象に数日間の超短期コースから2か月、また半年間のコースが設定されている。同訓練プログラムの年間予算は、約1,400万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 フィジーの衣服産業は、1980年代から99年まで国内の主要輸出産業の一つとして繁栄しており、外資系の工場が多く点在していた。同配属先は当初衣服生産工場で働く多くの人材を育成する職業訓練校として同任地に設立され、設立当時は専任の講師も数名体制で、主に衣服生産に必要な基本スキルを習得するコースを中心に実施していた。しかしながら、1996年のFTA合意、また2000年のクーデター後全ての外資が撤退し、フィジーの衣服産業は急激に衰退、同プログラムの殆どの講師は移民するなどフィジーを後にし、現在は専任講師1名体制で全ての被服コースの実施・運営が行われている。同産業は現在も国内の消費産業としては生き残っているものの、最近のニーズであるファッション・デザインの導入がコースの課題となっており、今回の要請がなされた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、担当教員と共に以下の業務を行う。 ①ファッションデザインのコースを立ち上げ、デザインのスケッチングから実際の洋裁技術、またファッションのディスプレイに至るまでの指導を行う。②同僚講師に対しファッションデザインコースの運営指導を行う。③可能な範囲で、フィジーの国内市場における新しいファッションデザインの紹介、産業振興へのアドバイス、また新しいプログラムの立ち上げを行う。④村などを巡回しながらモバイル・トレーニング(巡回型訓練)も行っており、そのトレーニング(洋裁の基礎レベル)への協力を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ワークショップ用機材(ジューキ、ブラザー製ミシン、ペガサス製オーバーロックミシン、ボタン付け用ミシン等) 4) 配属先同僚及び活動対象者 ファッション・デザイン科同僚職員: 専任講師 1名(男性、30代後半、経験年数20年) 講師補佐 1名(女性、20代) 対象生徒の年齢層は16歳から55歳まで(1回のコースの平均生徒数:15人) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (家政) 理由: 国立大学傘下の配属先のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚講師の経験が20年以上 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 463 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G239)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
エジプト	服飾			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 貿易産業省 2) 配属先名 (日本語) ファッションデザインセンター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カイロ JICA事務所の所在地(カイロ)から 北 方向 0 Km 主要都市(カイロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、服飾業界の人材育成及び振興を目的として2001年に設立され、イタリア・ミラノの服飾学校Istitute di Moda Burgoと提携し、ファッションデザインやパターンメイキングに関する各種コースの職業訓練を行っている。その他、服飾産業からの依頼に応じパターン作成や、技術指導のコンサルティング業務も行っている。配属先年間予算は約2,500万円。訓練生の在籍総数は長短全コースを含め年間約500名、職員数は約20名。過去に工業縫製のSV1名が派遣されていた。					
要請	1) 要請理由・背景 配属先では、提携しているイタリアのIstitute di Moda Burgoのカリキュラム、教材を使い、現地人講師が訓練を行っているが、常に変化する世界や日本の最新ファッション事情や流行、技術を取り入れたいと希望している。またデザインの技術指導においては、最新のコンピュータソフトウェアを使ってデザイン指導が出来る人材が不足しているためAdobe Photoshop CS6でのデザイン指導を現地人講師に行うことのできる人材を求めている。 過去に活動していたSVは、リボンコサージュの製作指導や日本のファッション事情の紹介などを行っていたが、同SVの独創性や技術、実行力が高く評価され、引き続きSVの要請が出されることになった。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先のデザイン部門で以下の業務を行う。 ①同僚講師へのコンピュータソフトウェア(Adobe Photoshop CS5-6)を使ったデザインの指導 ②訓練生への技術指導、セミナーの実施 ③エジプト服飾繊維業界への助言・アドバイス					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ(Window7)6台、AdobePhotoshop CS3 (CS5/6はSVの派遣にあわせ導入予定)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:女性、大卒、50代、センター長 カウンターパート:女性、大卒、30代、デザインコース講師 その他講師:20~30代、11名 訓練生:20~40代			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (エジプト語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(砂漠) 気温(5~50 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 18 日

要請番号(SL 024 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H105)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 25 / 3 2 / 3 /
ラオス	看護師			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) 国立マホソット病院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ビエンチャン市 JICA事務所の所在地(ビエンチャン市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 中央病院の一つであり、1910年にフランスの援助で設立された。管理部門7科、診療部門30科、ベッド数450床、27病棟からなるラオス最大の総合病院である。救急医療、インターナショナルクリニックの機能も併設している。また、ラオス国内の各県郡の医療・看護スタッフの研修、医学生や看護学生及びメディカル学生の実習病院の役割も持つ。これまで6名の看護師JV、2名の看護師SVが派遣され、同病院の看護管理機能の強化を支援した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、モデル病院として地方病院への情報発信と看護スタッフ研修、看護学生の実習受入れを行うなど重要な役割を担っている。2011年から2代目SVが、①看護管理、②人材教育、③看護サービスの3つの分野で支援をし、看護管理手法の定着と改善、看護サービスの評価・指導体制の確立などの活動を行ってきた。しかし前任者の離任から7年が経過して看護管理や看護実践能力の低下がみられる中、現SV1代限りの活動でこれらを十分な状態に引き上げることは困難な状況。また臨床実習を指導する人材の不足も課題となっている。院内教育にかかわる人材育成と院内教育システムの構築、看護管理の改善、看護実践能力の向上にむけた引き続きの支援が期待され、本件要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 看護部、病棟における年間看護管理計画の立案・実践・評価の支援 2. 院内教育活動への支援 3. 看護実習指導方法の確立と指導者の人材育成 4. 看護実践能力の評価と看護過程を含めた実践方法改善の取組み 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピューター4台、プロジェクター1台、コピー機1台、 4) 配属先同僚及び活動対象者 副病院長(医療サービス担当 女性 40代 看護学修士) 看護部長(女性40代 看護学修士) 副看護部長2人(女性50代) スーパーバイザー(女性40代、看護学修士) 看護職員数400名(看護学修士21名)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許(看護師) 又は() ・性別() 理由: ・学歴(大卒) () 理由: 同僚看護師も修士以上のため ・経歴(実務経験) (10年以上) 理由: 院内教育で指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(15~35℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 1 日

要請番号(SL 115 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H105)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ミクロネシア	看護師			2	25 / 3	日系/短期
				3	25 / 4	
			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	25 / 3	
				2	25 / 4	
				3	/	
年 月 から						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ミクロネシア短期大学 ナショナル・キャンパス 保健衛生学科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ポンペイ州パルキール(首都) JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 南西 方向 12 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ミクロネシア短期大学は、4年制大学のない当国の最高学府で、各州にキャンパスがある。本配属先は、ポンペイ州の首都パルキールのナショナル・キャンパスにあり、各州から学生が集まる。2010年度の予算は、全学で約12百万USD(約10億円)。秋・春の2学期制に加え、夏季特別コースがある。本キャンパスではないが、JICA支所のあるコロニアのポンペイ・キャンパスにも、他分野のSVが派遣されている。教授陣の多くは、外国人である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ミクロネシア短期大学ナショナル・キャンパスでは、2009年に、保健衛生学科が設置され、公衆衛生プログラムが開始された。2011年に、同科の中に3年制の看護師養成プログラムが新たに設置され、今後、毎年学生が入学するので、学生数は増加予定である。現在、担当教員は2名であり、学生増に向けて、教員も増員が必要である。しかし、当国内に、保健衛生関連の技術者を育成する教育機関は本配属先のみで、教員の確保は困難を極めている。当国では、医療系人材は、恒常的に不足しており、人材育成は急務であることから、本要請がなされた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 保健衛生学科の看護師養成プログラムや、時に公衆衛生プログラムで以下の活動を行う。 1.カリキュラム内容等について、当国の実情に合わせて、同僚と検討しながら作成し、講義・実習に取り入れていく。 2.看護学や公衆衛生学の授業を担当する。 3.ポンペイ州立病院での学生の臨床実習について、運営を支援するとともに、実習の指導を担当する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習教室、実習用マネキンなど実習用機材、コンピューター、講義用プロジェクター 4) 配属先同僚及び活動対象者 保健衛生学科長(男性)、看護師養成プログラム教員2名(女性) 本大学の常勤講師はすべて修士で、かつ2年以上の教育現場での経験を有する。学生は、高校を卒業している。					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:臨床実習指導を行うため ・ 看護教育経験 理由:学生への講義のため			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(30 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 26 日

要請番号(SL 318 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード H105)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
エクアドル	看護師				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) 県立ラタクンガ病院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コトパクス州ラタクンガ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 89 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は保健省管轄の県立総合病院であり、1863年の創立以来一貫してラタクンガ市を中心としてコトパクス県内及び県外からの患者を受け入れている。エクアドルの中でも貧困率が高いとされるコトパクス県唯一の総合病院であり、産婦人科、内科、外科、小児科、救急など12の専門外来を持ち、365日24時間の医療サービスを提供している。ベッド数202床、外来患者数は約150人/日、常勤医師40名、看護師104名(内24名が正看護師)が働いている。年間予算は約380万米ドルである。同病院においては、約6年間にわたりSVが派遣されており、現在3代目SVが活動中である(~2013年3月)。						
要請概要	1) 要請理由・背景 本配属先には院内感染対策委員会が設置されており、感染予防に関するケーススタディ、医療廃棄物分別に関する四半期毎の評価、問題分析、環境整備、清掃手順の規準作成、滅菌及び消毒の評価等を行っている。また、院内の医療従事者に対して定期的に感染予防に関する講習会を行っている。近年においては、救急医療チーム及び災害医療チームとの連携も強化している。 現在活動中のSVは、同委員会のメンバーとして、主に各専門外来を巡回しながら問題点の抽出を行い、その結果は院内での講習会の内容に反映されている。同SVの活動に効果が現れてきたことを受け、今後、配属先は院内巡回調査を強化し、更に徹底した院内感染対策を図っていききたい考えであることから、後任要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先における院内感染予防のため、カウンターパートと共に以下の活動に取り組む。 1. 院内感染対策マニュアルの作成を行う。 2. マニュアルを基に医療従事者への教育の強化を図る。 3. 感染症関連資料の整備を行う。 4. 院内感染状況のサーベランスを行う。 その他、院内感染予防のための活動に広く携わることが期待される。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 院内設備全般 4) 配属先同僚及び活動対象者 (カウンターパート) 看護師長:50代女性、院内感染対策委員会責任者 (感染対策委員会) 医師、臨床検査技師、看護師3名(うち1名はカウンターパート) 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 医療従事者に指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 5 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H105)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
パラグアイ	看護師			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) アンドレス・バルベロ看護学校本校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 東 方向 0 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同校本校は、パラグアイ国における看護分野人材の育成機関として、1945年に厚生省に所属する機関として設立され、年間300名以上の看護師及び助産師を輩出している。就学期間は4年間で国立大学看護・助産学部該当する。国内4ヶ所に分校が設置されている。年間予算は約6,500千米ドル。生徒数は約1,000名、教員及びインストラクターは約300名。本校には、1985年～97年までにJICAボランティア8名(1名SV)が派遣された実績がある。また、2012年度は帰国研修員に対するフォローアップを通じて実習に必要な機材・教材等購入予定。					
要請概要	1) 要請理由・背景 パラグアイでは、2001年からJICAの協力により看護・助産継続教育プロジェクトを実施してきたが、一方で、看護・助産分野の基礎教育の質の向上が必要とされている。更なる人材育成のためには、大学卒業後専門コース修士課程などを通じて人材の質の向上をめざしている。特に2010年の調査によると全人口の約8%が60歳以上の高齢者であり、また50～59歳の予備軍もほぼ同じような割合を占めている。年々の高齢者増加により現在看護師に求められるものは変わりつつあるため、同大学としては、ニーズに応じて新規コース(老人看護)を形成していくことを望んでおり、SVの派遣が検討されるに至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 専門課程において、老人看護コースのカリキュラムを作成する。 2. 1.の分野における研修プログラムを提案し助言する。 3. 老人看護分野の指導において、必要とされる参考文献や教材等を提示する。 4. 老人看護分野の教員を対象とした指導を行う。 5. 同校分校に配属予定のJVと連携しながら活動すると共に、県内の他地域に配属されている同職種隊員と積極的に情報交換を行い、医療サービスの向上に尽力する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(インターネット接続可)、プリンター、コピー機 4) 配属先同僚及び活動対象者 同大学の教師陣 312名 大学生 1,000名 専門課程の学生 平均20～30名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (看護師) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師の学歴に同じ ・ 経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚教師への指導も含むため 理由: 専門課程での指導のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0～40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	大学で新規専門コースを立ち上げに係るため、教えることが好きで、バイタリティーのある人を求む。					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 12 日

要請番号(SL 551 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H106)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ザンビア	保健師			1	25 / 3	年 月 から
				2	25 / 4	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) カズングラ郡保健局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 南部州リビングストン JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南 方向 475 Km 主要都市(リビングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 カズングラ郡保健局は南部州の主要都市であるリビングストンにある。人口は約20万人。年間予算は郡保健局として約4100万円。現在同分野でのJICAによる技術協力プロジェクトは、質の高いケアサービス提供、治療マネジメント体制の強化を目的とした「HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト」や子供の成長チェック・地域の環境衛生改善・地域活動を続けるための資金創出を目的とした「都市コミュニティ小児保健システム強化プロジェクト」等が展開中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当国保健分野の支援として、2009年よりJICA技術協力プロジェクト「HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト」が行われてきた。同地域ヘルスセンターはプロジェクトの対象機関となっているため、地域におけるエイズ治療サービスに焦点を当てて治療薬の服薬指導や予防啓発活動を行いその充実を図ってきた。この度エイズ治療のみならず、プライマリーヘルスケア及び母子保健の強化を狙い、地域ヘルスセンターに地域保健の改善と向上を目指しJICAボランティアが複数派遣されているが、それを管轄している郡保健局に席を置き、郡下の地域ヘルスセンターの運営管理を支援する。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・郡保健局の保健行政を支援する。 ・定期的に郡下の15か所のヘルスセンターを訪問し、その業務を視察、必要に応じて助言等を行う。(ヘルスセンターの業務:外来患者対応、家族計画指導、妊産婦検診、ワクチン接種等の小児保健、ARTと呼ばれるエイズ治療サービス等) ・各ヘルスセンターから提出される医療情報(データ)を取りまとめ、上部組織への報告及び提出元であるヘルスセンターへのフィードバックを支援する。 ・郡保健局内の5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)改善活動に協力する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 保健、エイズ啓発のための資料等。 4) 配属先同僚及び活動対象者 保健局は局長(男性、50代)の下、情報管理課、人事課、地域保健課に分かれており、合計9名(男女、20～50代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (保健師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバンナ) 気温(5～35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	2012年12月現在、ザンビア国に派遣される医療系ボランティアは、派遣国における患者への直接の侵襲行為は行えない。(日本での医療知識や経験をもって、現地人スタッフのレベル向上への協力を行う)					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 306 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード H107)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
ボリビア	助産師				1	25 / 3	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・スポーツ省
	2) 配属先名 (日本語) コチャバンバ公衆衛生専門学校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 コチャバンバ JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 380 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同校は1982年に日本の無償資金協力により建設され、准看護師、レントゲン技師、臨床検査技師、栄養士等の医療従事者の養成を行っている保健スポーツ省管轄下の教育機関である。同校は、県保健局管轄の8つの准看護師養成学校に対し、専門分野での技術的な助言や指導をする役割も担っている。現在放射線技術分野のSVが活動中。年間予算は約31万米ドル。これまでスペイン、UNICEF等からの援助がある。

要請概要	1) 要請理由・背景 同校の「准看護師養成コース」の履修期間は18ヶ月である。しかし、現行のカリキュラムでは、安全で衛生的なお産や周産期に必要なケアに関する講義は全体のごく一部に限られており、前任者はこうした点を踏まえ、看護学のカリキュラム向上、授業内容の質改善に係る活動を展開した。同国の妊産婦・乳幼児死亡率は依然高い水準にあり、質の高い医療従事者の輩出がますます求められているところ、本要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.既存の准看護師養成コースのうち、主に産科分野のコースデザイン及びカリキュラムの質向上を支援する。 2.指導方法及び授業内容の質の改善に協力する。 3.同校管轄下の准看護師養成学校(一部学校で協力隊員が活動)と共同のワークショップやセミナーを開催する等、准看護師養成学校との連携強化を支援する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習教室、実習用マネキン等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・教師4人 ・同僚(看護師)は准看護師養成コースのコーディネーターを務める

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (助産師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 医療従事者への指導を含む為 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(高地温暖) 気温(5~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 4 日

要請番号(SL 139 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード H108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
サモア	臨床検査技師				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国民保険機構 2) 配属先名 (日本語) サモア国立病院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アピア JICA事務所の所在地(アピア(タウン))から 南東 方向 1 Km 主要都市(アピア(タウン))までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 当国で唯一高度な専門的医療を受けることができる国立の総合病院。中国政府支援による建替え工事が現在進んでおり、2013年4月頃には現病院のサービスが新病院へ移る見込みである(調査時)。新病院は230床の計画。同病院の臨床検査部門では、サモア全土の医療機関からの検査依頼を受けており、国内にて検査が困難な場合はニュージーランドなどへ検査を委託している。						
要請概要	1) 要請理由・背景 サモア全土の検査依頼が集中する臨床検査部門であることから、素早く正確なデータを医師へ提供することが求められるが、マネージメントの問題からスムーズな運営ができていないと見られる。検査業務は過去数代によるJICAボランティアの支援や留学等により技術的には問題ないが、臨床検査部門のマネージメントに問題があり2012年10月までSVが本部門トップであるマネージャーをカウンターパートとし、検査レベルや労務管理など部門全体の運営改善の活動を行っていたが、まだ十分といえないことからこれを更に高めるためにこの要請に至った。 また、2013年中頃には新病院への移転も予定されているため、移転後の検査機器の配置なども含めて適宜助言することになる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 臨床検査部門マネージャーと協働して、 1. 国立病院臨床検査部門の全体の業務改善に取り組む 2. 各自が行っている通常業務の見直し、効率化に向けた改善策の提案 3. 検査技師の技術能力向上に向けた助言(必要に応じトレーニングプログラム等の立案・実施) 4. 検査室及び機器の維持管理に向けた助言 あくまでも検査部門全体のマネージメント力を向上させることが目的となる。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 インキュベーター、遠心分離機、保存庫、試薬等の各種臨床検査業務に必要な機材及びコンピュータ 執務室には、机・椅子 4) 配属先同僚及び活動対象者 臨床検査部門マネージャー(男性、50代) 臨床検査技師(男女複数名)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (臨床検査技師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 技術、管理業務の助言を行う 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(25~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	臨床検査技師として病院の臨床検査業務ばかりでなく部門の管理業務経験のあることが望ましい。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 5 日

要請番号(SL 324 - 13 - C - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード H108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
パラグアイ	臨床検査技師				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 厚生省 2) 配属先名 (日本語) 中央研究所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 東 方向 4 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 厚生省中央研究所は、1983年日本の無償資金協力によって建設され、その後プロジェクト方式技術協力、フォローアップやアフターケア協力を経て、2004年3月から延べ3名のSVが活動を行ってきた。同研究所は、当国における唯一の国家レベルのレファラル研究所で、現在血液、臨床化学、免疫、尿検査・寄生虫、臨床細菌、ウイルスの各部門からなっている。職員数は189人、検査対象患者の大半は低所得者層である。年間予算は約5,300千ドルで、約7割が人件費に充てられている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 2004年から4年に亘って検査精度の管理を強化することを目的に2代のSVが派遣され、その貢献によって、所内の精度管理にも改善がみられるようになった。その後派遣された前任SVが汎用統計ソフトを投入したことにより、一気に活動が加速し、2011年には同配属先で検査の精度保証及び生物学的安全性確立のための3年間のプロジェクトが立ち上げられた。2013年には、精度保証の運営実現に向けて着実に準備が進められているものの、外部精度管理及び国内各施設のデータのばらつきをいかに標準化するかが今後の課題である。そのため、今後は外部評価計画と地方の検査技術者のレベルアップのための生涯教育が求められている。引き続き機能強化に向けた取り組みが必要となっているところ、SVの継続派遣が検討されるに至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同配属先検査技師の技術の定着やスキルアップのため、データ処理や精度管理の業務を支援する。 2. 同配属先の全部署で精度管理システムを適用し、厚生省管轄の地方の医療施設でも適用されるよう業務支援する。 3. 同僚と共に厚生省管轄の地方医療施設を巡回し、当該技術者に対し、研修等を通じて外部精度管理や検査体制強化に係る助言・指導をする。 4. 報告義務のある病理(疾患検査)に係る外部精度管理プログラムについて、迅速・的確な情報提供ができるよう助言。 5. 技師のレベルアップのための生涯教育プログラムへの助言も期待されている。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン2台(汎用統計ソフトJMPを含む)、プロジェクター、プリンター 4) 配属先同僚及び活動対象者 品質管理課長:女性、検査技師(博士号取得) 品質管理担当:女性、検査技師(博士号取得)、細菌学 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (臨床検査技師) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚検査技師への指導のため 臨床検査システムの構築経験 理由: 同僚検査技師への指導のため		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	前任SVが統計ソフト(JMP)を導入したことが同配属先のモチベーションアップにつながり、活動も加速している。そのため、統計解析の素養のある人で、技師の生涯教育の経験等があるとさらに頼もしい。						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 6 月 13 日

要請番号(SL 242 - 13 - C - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H112)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ジャマイカ	言語聴覚士			2年	1 25 / 3	年 月 から
				1年	2 25 / 4	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 特別支援教育ユニット <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 教育省の一部署として幼児から高校までの教育における反差別慣行の促進を目的とした政策主導の制度を開発することを担当している。「児童の権利に関する条約」や「障害者の権利に関する条約」などの普遍的な法規が遵守されることに責務を負っている。特別支援学校・学級あるいは障害者支援コミュニティ団体のプログラムへのサポートからカリキュラムの見直し、プログラムの企画と評価、トレーニングの提供など特別支援教育のすべての局面に必要な専門的な業務を実施している。当ユニットの年間予算は約8億円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 障害児の中で音声・言語の機能障害を持つ子供は多いが、言語聴覚士は全国で民間の医療機関に4名しかいないため、ほとんどの障害児がリハビリテーションを受けることができない状況である。言語障害を持つ児童は特別支援学校のみならず通常の学校にもいるが、言語障害を持っていることが診断されずにリハビリテーションを受けることなく卒業する児童もいる。教育省としては、必要な人材の育成を図りながら、障害を持つ児童の早期発見と早期療育を達成することを目指しており、そのために教師へトレーニングを施して、現状の改善を図る計画である。ボランティアは教師へのトレーナーとして要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. トレーニングカリキュラムを作成して養護教諭に言語障害早期発見の技術を指導する。 2. 言語障害を持つ児童に対する評価と療育方針作成を支援する。 3. 地方の学校を巡回して教員を指導する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な事務機器 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長補 女性 50代 プロジェクトリーダー 女性 教育学博士 40代 ユニットスタッフ 学士～博士 35～40代 活動対象: 教員 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (言語聴覚士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (保健医療) 理由: 教員への教育が求められる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 他人への指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22～32 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 018 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H113)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
タイ	作業療法士			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 25 / 3	年 月 から
					2 25 / 4	
			3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) チエンマイ大学医療技術学部作業療法学科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チエンマイ県チエンマイ市 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 706 Km 主要都市(チエンマイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1980年、タイで最初に作業療法士(OT)養成のために開設された教育機関である。2007年にはマヒドン大学に作業療法士学科が開設され昨年初めて卒業生を輩出したが、タイでのOT要請機関はこの2校のみであり、チエンマイ大学はタイのOT分野において非常に重要な役割を担っている。専任教員数(OT)23名、学生数一学年約60名(学士)、10名(修士)、2名(博士)。大学付属クリニックを有する。					
要請概要	1) 要請理由・背景 現在OTはタイ社会において広く認知されつつあり、高齢者施設や特別支援学校等で需要が高まっているが、人材の供給は十分ではない。OT有資格者の輩出が求められる中、同学科では特に近年急速に進む高齢化対策における社会ニーズに応えるべく、教育内容の充実が緊急の課題とされている。超高齢化社会を迎えた日本での臨床経験豊富なOTとの協働・協力を求め、この度の要請に至った。SVIには学部生に対する人材育成についての協力と共に、OT指導者層の教育の質向上にも貢献することが求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 学部生3・4年生の臨床実習に大学教員と共に同行し、高齢者への作業療法に関する技術習得について協力・助言する。 ② 学部生への実習同行・講義同席を通して、教職員へ最新OT技術の紹介、知識の交換、タイの高齢者に相応しい状況改善支援について助言する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 バランスボール、ポールプール、ADL室、電動リフター、電動車いす、自助具、スノーズレン室、プロジェクターなど 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長:女性 作業療法士 40代 副学科長:女性 作業療法士 30代(高齢者領域実習担当) 他、学内作業療法士教員23名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (作業療法士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 高齢者領域の臨床経験が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~28 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 20 日

要請番号(SL 248 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード H113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ニカラグ ア	作業療法士				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) メラニア・モラーレス公立特別支援学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マナグア県マナグア市 JICA事務所の所在地(マナグア)から 北 方向 0 Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1976年に設立された公立の特別支援学校である。現在は聴覚障害、視覚障害、自閉症や重度の運動機能障害など様々な障害をもつ0~23歳の障害児(者)710名が在籍している。学校では次の4つの支援プログラムを有し、障害児(者)に応じたを行い、また機能回復に向けリハビリテーションを行っている。①早期療育(0~4歳)プログラム:147名、②基礎教育プログラム(小学校6年生まで):430名、③就業支援など社会参画プログラム:88名、④インクルーシブ教育プログラム:45名。年間予算は約54万米ドル。職員の総数は113名。現在、外国からの援助はなし。						
要請	1) 要請理由・背景 配属先はマナグア市内において特別支援学校の拠点となっている学校の一つで、養護学生の実習校にもなっている。10年ほど前から機能回復訓練を目的とした作業療法を前述した4つの支援プログラムの横断的支援として取り入れ、現在では知的障害、運動機能障害、脳性麻痺、その他の障害を持つ7~15歳の子供達51名を対象として、個人指導やグループで、日常生活やリクレーションなどを取り入れた訓練を行っている。しかしながら、現在は当国における作業療法士の養成機関がなく専門的知識が乏しいのが現状であり、より効果的な訓練をめざして本要請となった。ボランティアは作業療法室責任者とともに、障害児とその家族や教師たちを対象に作業療法を通じた機能回復訓練への支援を行う。						
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学校内に設置されている作業療法室にて以下の活動を行う。 ・障害児を対象とした個別指導やグループでの機能訓練へ参加する。 ・月1度予定されている脳性麻痺や自閉症、運動機能障害などを持つ子供達の家族や特別支援学校の教師を対象とした、作業療法に関する研修会やワークショップへの支援を行う。 ・それぞれの障害に応じた機能回復訓練の計画策定および評価への支援を行う。 ・養護学生の作業療法室における実習への支援						
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業療法室:基本的な事務設備及びリハビリ用備品(マットレス、クッション他)、PC(LG、Windows2007)、インターネット						
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:女性、50代、学校長 C/P:作業療法室責任者 30代女性、作業療法士、経験10年(ただし障害児(者)との経験は1年半)なお、同校内における作業療法士はC/Pのみ 特別支援学校教師:13名(女性11名、男性2名) 障害児を持つ家族:約20名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (作業療法士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:現場での経験実績が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線)						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 21 日

要請番号(SL 333 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ウルグアイ	作業療法士			1年	2 25 / 4	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) ピニエイロ・デル・カンポ病院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同病院は、1860年に貧困者の収容施設として発足、病院機能を備えた後、2001年に高齢者専門病院(276床)として開業した。以降、国内唯一の高齢者専門病院として当国でモデル的役割を担っている。65歳以上の政府保健サービス局の保険加入者で、老年期障害のある人や身寄りもなく経済的に生活ができない人等の社会的弱者に対し、ロングステイやデイケア、家族に対する介護指導などの医療サービスを提供している。作業療法士2名のほか、老人病専門医14名、精神科医、整形外科医、理学療法士、ソーシャルワーカー、臨床心理士等、医療スタッフは約60名。これまで高齢者介護・福祉の指導科目でSVが3名派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同病院で作業療法士が対象とするのは、主に老年期障害である。脳血管障害や、骨関節障害、骨折、老年期認知症などの疾患や、これらに起因する心身機能の障害が主な対象疾患である。整形外科医のもと、作業療法士2名が環境調整や福祉用具の選定・自助具などの作成を行いながら、日常的・社会的な自立の獲得と習熟に努めている。高齢化が進む同国であるが、国内で作業療法士の専門課程が設立されたのは10年程前と歴史が浅く、作業療法士の資格を持つ者は国内で極少数である。その内2名が同病院で勤務しているが、両者とも経験年数が3年と短いため、適切な作業療法技術と幅広い知識の習得が課題として認識されている。同病院が提供する作業療法サービスの内容の充実、質の向上を図りたいとして、実務経験が豊富なボランティアが要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本案件の先行案件としてH24年度第4回短期募集で短期案件(6か月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。 1. 作業療法士を含む同病院の関係者に対し、作業療法の適切な技術・知識の習得に協力する。 2. 同病院の作業療法サービスの内容の充実、質の向上に向けた助言・協力を行う。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業台、椅子、工具、車椅子、パソコン等の作業療法機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 病院院長 50代 女性 整形外科医 女性 作業療法士 30代 男女各1名 経験3年 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (作業療法士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 幅広い知識・経験を要する ・ 老年期障害領域の経験 理由: 高齢者専門病院であるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温暖) 気温(3~34℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 31 日

要請番号(SL 106 - 13 - C - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H115)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
フィジー	医療機器			1 25 / 3	2 /
				日系/短期	
				年 月 から	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) ラウトカ病院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラウトカ JICA事務所の所在地(スバ)から 北西 方向 220 Km 主要都市(スバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先の病院はビチレブ本島西部地区(ラウトカ、ナンディ、バ、シンガトカ等)の中核病院として、一般的な診療全般を取り扱っている(内科・外科・整形外科・産婦人科・婦人科・小児科・歯科・理学療法科等)。ベッド数350床、医師約50名、看護師327名、職員数1162名、外来患者数は約250名/日。 病院内に医療機器保守管理室が設置されており、上記西部地区病院に納入されている医療機器の保守点検管理および修理をしている。外国援助機関からの人材派遣は行われていないが、韓国政府より多数の医療機器が無償供与されている。現在、SVが2代目で活動中であり、首都スバにあるCWM病院にも医療機器SVを派遣中である。				
要請	1) 要請理由・背景 JICAボランティアは前任者に引き続き、医療機器全般の修理及び保守に関する技術が求められており、現地技術者に対して故障中の機器の修理から日常保守技術のアドバイスが期待されている。また、同病院の医療機器保守管理室では、フィジー保健省が定める標準業務手順書(オーストラリア/ニュージーランド医療機器規則AS3551)を準用し、医療機器メンテナンスを遂行している。同規則に従い、納入先管理、事故来歴も管理カードに記録を残しているが、それを予防保全、作業品位向上に結び付ける方策が取られていない。現在活動中のSVは医療機器データベースを構築し、データを有機的に活用して、保守作業品位、品質の向上を図る計画を立案中である。データ整備を行うことにより、予防保全に役立つデータの抽出、部品手配の迅速化と適正在庫管理が実施される見込みである。データベース管理に関する知識も求められる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.医療機器全般であるが中・小型機器を主に保守管理、修理を行う。(ベットサイドモニター、麻酔器、電気メス、未熟児保育器、生化学検査機器、歯科器材など。X線装置・CT等の大型機器はメーカーとの保守契約で対象外。) 2.現地職員に対し、OJTを通して医療機器保守技術に関する全般的な指導及びアドバイスを行う。(ベテラン技術者が確実に修理を行っており、作業自体の指導より効率、精度向上策の立案、指導が求められている。) 3.保守技術データをデータベース管理に移管し、一連の保守作業の効率、精度向上を図る。 4.サービスマニュアルをPDF化し、データベース化する。 5.機材の休止期間短縮のために、補修部品の適正在庫を確保する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気安全試験機・オシロスコープ・デジタルマルチメーター・X線KVメーター・心電図シュミレーター・電子式圧力較正器・デジタル絶縁テスター等その他多数。データベースソフト:ファイルメーカー導入予定 4) 配属先同僚及び活動対象者 技術者(C/P):男性50代 経験年数30年 日本メーカーでX線装置3ヶ月研修経験あり				
概要	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 修理技術・指導が必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 8 日

要請番号(SL 306 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H115)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 25 / 3	
ボリビア	医療機器			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) コチャバンバ公衆衛生専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 JICA事務所の所在地(ラパス)から 南東 方向 384 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同校は1982年に日本の無償資金協力により建設され、同国のエクス線中級技師、看護中級技師、衛生検査中級技師等の医療従事者の養成を行っている国立の教育機関である。他の公立・私立の医療従事者養成に対する協力もしている。同校はエクス線や血液検査等の検査サービスも行っており、この診療報酬で管理運営経費等を賄っている。年間予算は約37万ドル。これまでスペイン、UNICEF等からの援助を受けている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 当国にはこれまで、医療機器保守技術者を養成する機関が存在せず、修理やメンテナンスを要する際には民間業者に高いコストを支払う必要があるため、簡易な作業であっても修理ができずに使われなくなる機材が少なくない。同校は2011年にボリビアで初めて「医療機器保守中級技術者養成コース」を設置し、中級技術者を育成することで地域の保健所・診療所等に設置されている医療機器の保守・修理を行うことができる人材の輩出をめざしている。しかしコースのカリキュラム形成や授業計画、学生への指導を行うことのできる人材が不足しているため、ボランティア派遣による支援を要請してきている。現在診療放射線技師SV1名が活動中。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同校の医療機器保守管理技師養成コース(履修期間2年で中級技術者を育成)において下記の業務を担当する。 ・コースデザイン及びカリキュラムの見直しを行い、質向上を支援する。 ・同僚教員とともに学生に対し授業を行い、教員に対し指導法などをアドバイスする。 ・校内の医療機器メンテナンス体制の整備を指導する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電動メステスト、除細動器テスト、パルスオキシメーターテスト、電気安全アナライザー、オシロスコープ、患者モニターシュミレーター、絶縁抵抗計、デジタルマルチメーターなど、実習実験室 4) 配属先同僚及び活動対象者 医師1名(公衆衛生、42歳、男性、実務経験15年、同コースのコーディネーション担当) 技術者1名(生物医学エンジニア、23歳、女性、同校での実務経験1年)他、非常勤講師(短期間)数名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由:業務上、必要不可欠 ・ 旧型医療機器の保守・修理経験 理由:業務上、必要不可欠			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯) 気温(10~30 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	アナログ計器の使用経験も求められる。					

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 12 日

要請番号(SL 551 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード H132)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
ザンビア	公衆衛生			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) チョングエ郡保健局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ルサカ州チョングエ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 東 方向 45 Km 主要都市(チョングエ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 チョングエ郡保健局はルサカ州の主要都市であるチョングエ内にある。人口は約22万人。年間予算は郡保健局として約4100万円。現在同分野でのJICAによる技術協力プロジェクトは、質の高いケアサービス提供、治療マネジメント体制の強化を目的とした「HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト」や子供の成長チェック・地域の環境衛生改善・地域活動を続けるための資金創出を目的とした「都市コミュニティ小児保健システム強化プロジェクト」等が展開中である。						
要請概要	1) 要請理由・背景 当国保健分野の支援として、2009年よりJICA技術協力プロジェクト「HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト」が行われてきた。同地域ヘルスセンターはプロジェクトの対象機関となっているため、地域におけるエイズ治療サービスに焦点を当てて治療薬の服薬指導や予防啓発活動を行いその充実を図ってきた。この度エイズ治療のみならず、プライマリーヘルスケア及び母子保健の強化を狙い、地域ヘルスセンターに地域保健の改善と向上を目指しJICAボランティアが複数派遣しているが、それを管轄している郡保健局に席を置き、郡下の地域ヘルスセンターの運営管理を支援する。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・郡保健局の保健行政を支援する。 ・定期的に郡下のヘルスセンターを訪問し、その業務を視察、必要に応じて助言等を行う。(ヘルスセンターの業務:外来患者対応、家族計画指導、妊産婦検診、ワクチン接種等の小児保健、ARTと呼ばれるエイズ治療サービス等) ・各ヘルスセンターから提出される医療情報(データ)を取りまとめ、上部組織への報告及び提出元であるヘルスセンターへのフィードバックを支援する。 ・郡保健局内の5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)改善活動に協力する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 保健、エイズ啓発のための資料等。PC(Microsoft Access) 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(男性、40代)、情報部1名(男性、40代)、人事部(男女、30~40代)、各プログラム課8名(男女、20~50代) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 海外における地域保健協力の経験 理由: 保健所で業務支援を行うため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 1 日

要請番号(SL 009 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード 1101)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
マレーシア	ソーシャルワーカー				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) スラヤン病院精神科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 スランゴール州 ケポン JICA事務所の所在地(クアラランプール)から 北 方向 16 Km 主要都市(ケポン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 公立総合病院で20の科があり、精神科はその一つ。精神科は小児部門、外来部門、病棟部門、訪問看護部門の4部門から成る。統合失調症、躁うつ病、知的障害、薬物中毒や頭部外傷患者を受け入れている。小児部門では自閉症児(外来のみ)を受け入れ、保護者へのグループケア等を実施している。入院患者ベッド数は18床。精神科では治療の一環として患者の自立を支援する職業訓練支援等も実施している。作業療法部門に2012年4月からJVが派遣されている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 入退院を繰り返す知的障害者や、身寄りのない中間層(施設に入るほど重度ではない知的障害者)の職業訓練や就労支援が急務となっており、派遣中JV(作業療法士)は訪問看護部門にて、ケアの改善や提言を行っている。病院スタッフは、重度精神障害を持つ患者や学習障害を持つ患者に対する知識や技術は十分ではなく、基礎的知識やノウハウをさらに学ぶ研修も必要である。現在では患者は薬に頼らざるを得ない状況であるが、リハビリテーションサービスを拡充させ福祉的支援を知的障害者に対して実施するパイロットプロジェクトを開始したいとし、すでに経験値のあるJICAボランティアの派遣要請に至った。将来的にはコミュニティーの中に精神科専用のワンストップセンターを開設し、ニーズに応じた支援の展開や、障害に対する偏見をなくす運動、並びに入院中の支援として病棟内での活動や、収入創出活動の展開を検討している。						
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 現地スタッフと協力して知的障害者の社会参加支援を探り実践する。 2. 外来患者に対する支援として、地域と結びつきをはかる活動を導入する。 3. 就労支援、収入創出活動等を取り入れ、知的障害者の社会復帰にかかる地域の働きかけに取り組む。 4. 院内でのリハビリテーション活動支援。(調理、ガーデニング、コンピューターなど。ただし現在コンピューターは無い)						
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気オープン、キッチン、ガーデニング用各種道具						
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 [スーパーバイザー] 精神科医師1名、50代、女性。 [同僚] 作業療法士2名、20代、女性。スタッフナース 3名、20代-30代、女性。アシスタントメディカルオフィサー1名、30代、男性。 [指導対象者] ヘルスアテンダント1名、50代、女性。患者(安定している方々)20歳以上の男女10人前後。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (保健医療) 理由: 同僚と同等の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 即戦力として指導力が必要 ・ 精神保健福祉士 理由: 知的障害者を担当するため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項	女性の場合は病院内の看護師寮の利用が可能。						

平成 25 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 009 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
マレーシア	障害児・者支援				1	25 / 3	年 月 から
					2	/	
		3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ペラ州教育局特別支援教育課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 イポー JICA事務所の所在地(クアラルンプール)から 北西 方向 200 Km 主要都市(イポー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 州内の特別支援教育にかかる業務全般を担当しており、具体的には、障害児(聴覚障害、視覚障害、教育可能な知的障害児)の受入や登録、コンサルテーション、リハビリテーションなどのサービスや、特別支援教育教員の質の向上にかかる研修の実施、モニタリングを行っている。年間予算は約750万円。管轄区内には、特別支援学校(小・中)2校と、一般学校の特別支援学級169クラスがある。						
要請概要	1) 要請理由・背景 ペラ州は特別支援教育において非常に活発な活動をしており、全国で初めて肢体不自由児、重度障害児のクラスを作るなどパイロット的な試みを実践している。しかし教員の多くは専門的教育経験が少なく、個々の児童にあったアプローチや教材についての知識・経験が不足している。過去2代のJICAボランティアが、学校での指導を主として様々な指導アプローチやチームティーチングの普及などの取り組みを実践してきており、特に障害児に対する対応や個人にあった指導計画等の支援を引き続き求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ペラ州南部の小・中学校(6校)の特別支援学級を巡回し、授業の質を高める指導を現地教員に対して実施する。 ・中堅の特別支援学級担当教員に対して、専門性の高い特別支援教育に関する講習会を開催する。 ・他のJICAボランティアと協力して、教材作成の工夫・改善を図るワークショップを企画する。 ・医療専門家など地元の専門家と学校、保護者などとのネットワークづくりを支援する。						
要請要件	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な教材、遊具、スポーツ器具 4) 配属先同僚及び活動対象者 ペラ州教育局特別支援教育課 課長 40代男性 ペラ州教育局特別支援教育課 課長補佐 30代女性 イポー地区特別支援学校及び特別支援学級 現地教員						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (特別支援学校教諭) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 実践的な指導と知識が必須 理由:			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~ 35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	生活上、自家用車を必要とする可能性がある。 上述「実務経験」とは、特別支援学校または特別支援学級での実務の経験を指す。						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 28 日

要請番号(SL 018 - 13 - C - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
タイ	障害児・者支援				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 北部盲学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チエンマイ県チェンマイ市 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 706 Km 主要都市(チエンマイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 北部盲学校はタイ全国で二校ある教育省管轄入寮型盲学校の一つ。1960年設立。幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育とあわせ、ADL向上や点字に関する学習が行われている。4歳から23歳までの生徒204名が在籍。うち34名の重複障害児童を受入れている。要介助の生徒は61名。教職員数66名。2009年度にSV(養護)の派遣実績あり。米国パーキンス盲学校より資金支援あり。年間予算約165,000ドル。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先はタイ全国で二校のみの国立盲学校の一つとして教育内容の質向上に積極的に取り組んでいる。前任者はこれまで同校に不足していた重複障害児に対する教育手法について実践指導を行い、現地職員のスキルアップを図った。また、これまで同校で未導入だったカレンダーシステムやマカトンサインを取り入れ、生徒のコミュニケーション能力向上にも貢献した。 配属先は前任SVの指導成果を受継ぎつつ、更なる教育現場の改善を目指しているが、新しい指導技術を導入できる専門性を有した人材が不足していることから、日本の盲学校勤務経験のあるSVとの協働を改めて希望してきたものである。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 個々の能力に適した教材・教授法を用いた生徒への指導 2. 新しい指導技術・教材の紹介、および指導法についての教師に対する助言 3. 日本語点字の紹介及び指導 4. スポーツ大会や音楽会等、各種学校行事への参加協力 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ブライユプリンター、スクリーンリーダー、ダックスベリー(Windows点字ソフト)、Slate Stylus、他教材各種 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者: 男性、50代、センター長 カウンターパート: 女性、30代、作業療法士 女性、30代、英語科教師 女性、30代、幼稚園部教師 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 盲学校での指導経験が必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~28 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 14 日

要請番号(SL 018 - 13 - C - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード 1102)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
タイ	障害児・者支援			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
3	/						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ナコンラチャシマー ラチャパット大学特別支援教育センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ナコンラチャシマー県ムアンナコンラチャシマー郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北東 方向 259 Km 主要都市(ムアンナコンラチャシマー郡)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 特別支援教育センターは同大学教育学部の付属機関。学外障害児のための通所型施設であると同時に、特別支援教育を専攻する同学部生の実習施設でもある。自閉症、知的障害、重複障害のある3～13歳までの児童、約30名が在籍。約3年間の教育期間後は普通教育機関への異動を目指す。また障害を持つ同大学学部生のためのサポートサービスセンター及び、15歳以上の学外生徒を対象としたデイサービスセンターを併設。						
要請概要	1) 要請理由・背景 同センターでは現在4名の教師が在籍しており、初代SV派遣(H17)により自閉症児に対する教育内容について指導成果を得、その継続に努めている。またセンターはタイ東北地区における特別支援教育の先駆的な存在となることを目指し、学内のみならず地域の障害者支援にも目を向け2代目SV(H21)の協力の下、デイサービスセンターを開設した。引続き日本の最新の障害児教育内容を学び、教育の質を向上させていくことを目標にこの度のSV要請に至った。特にEI(Early Intervention:早期介入)に特化した指導・協力を求めている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 通所児童を対象とした指導及び、担当職員に対する指導内容についての助言。 2. EI(Early Intervention:早期介入)プログラムについての助言・指導。 3. 知的障害者デイサービスセンターの運営サポート(家庭菜園、ベッドメイクなどの日常生活動作訓練及び作業訓練)。						
要請要件	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教材各種、スノーズレン室 4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長 男性 40代 アドバイザー(教授) 女性 50代 担当教員4名 女性 30代 経験5年以上 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:教師への助言が必要なため ・ 知的障害児・者への指導経験 理由:経験に基づいた指導が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~28 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 1 月 30 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
モロッコ	障害児・者支援				1	25 / 4	日系/短期
					2	/	
3	/	年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 連帯・女性・家族・社会開発省 2) 配属先名 (日本語) アルムスタクバル協会 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラバト県ラバト市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 2003年設立された知的障害者の教育と専門指導を行うNGO。2011-12学年度は60名の在籍児童生徒が通所しており、内48名は午前中協会が運営する普通学校内の統合クラスに通学、午後は協会施設に通所、その他の児童生徒は施設のみに通所している。統合クラスを5クラス運営しており、教育省州事務所および県支局と学校との間で協定を結び、教員と指導員が教育を行っている。協会施設では16歳以上の軽度障害者に対し、裁縫、美容理容、ダンス・音楽の専門指導をしている。施設には教室の他にマッサージ療法室、発音矯正室、心理学者室があり、専門医による個別指導も行われている。国際NGOカリタスの支援を受けている。						
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は連帯・女性・家族・社会開発省と障害者教育支援についての協定に基づき、資金援助を受けている。教育省は統合クラス運営にかかる協定を結び、小学校の統合クラスでは教育省の教員と協会の指導員が協働している。しかしながら、指導内容については省庁からの監督はなく、協会に任されている。指導員には特別な資格は求められていない。配属先では、毎年指導員に対する研修を行い、他機関が行う研修にも参加する等指導の質の向上を図る努力をしている。短期実習生や無償ボランティアも受け入れている。配属先としては、統合クラスの教育の質の向上、および協会施設での指導内容の質の向上のため、ボランティアの要請がされた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・指導員および教員を対象にして、指導内容・方法の改善を図るための支援を行う。 ・人材育成・指導者組織強化につながる研修会を開催する。 ・現在十分に行われていないダンス・音楽の指導について専門的なアドバイスを行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ミシン、木工機械、調理器具、PC、インターネット等 4) 配属先同僚及び活動対象者 施設長/協会代表(女性、50歳代)、校長(女性、30歳代)、指導員(女性5名、男性2名)、 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 指導に必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 25 日

要請番号(SL 730 - 13 - C - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
セルビア	障害児・者支援			2年	1 25 / 3	年 月 から
				1年	2 25 / 4	
		ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) セルビア市民社会参加事務所 2) 配属先名 (日本語) 発達障害者支援協会/Nasa Kuca(我が家) <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 ベオグラード JICA事務所の所在地(ベオグラード)から 南東 方向 1 Km 主要都市(ベオグラード)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 成人した知的障害者を支援するために、障害者の家族が集まって2007年に設立された。利用者は10人~15人/日程度。当初はデイケアを主な活動としていたが、利用者の雇用創出のために、①ピザやパンなどの持ち帰り用箱や紙袋の製造、②主にお年寄りを対象とした軽食のデリバリーサービス、などの施設内起業を行い軽作業労働を取り入れている。予算は568万円程度(約50,000EUR)、主にEUや外国の支援団体から資金援助を、活動の用地などについては地元役場の援助を得ている。①の売り上げは月約20万円程度。利用者家族である協会役員のほか5人の専属スタッフがおり、うち2名が①②の事業専任スタッフである。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同協会では紙容器作製の軽作業について、施設利用者の職業としての持続性を確保し、より多くの施設利用者が作業に関われるようになることを計画している。これを達成するために受注の増加を目指しており、そのためには競争力を高める必要があると同協会では考えている。しかしながら同協会は商業的な知識や経験が浅いため、福祉分野で進んでいる日本に対し、作業所などの経験をもつボランティアを要請し、利用者がより魅力的な商品を作ることが出来るようにしたいと考えている。 なお、紙容器の製造は、作業の危険性が少ないことや作業が複雑でないという理由で選ばれた。					
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・軽作業の事業と製品について現況を把握する。 ・同僚と共に事業性を高めるための製品展開や、生産性向上を検討する。 ・可能であれば市場調査も行う。 ・上記の活動に基づき、行動計画を立て同僚と実行する。 ・任期後半で事業の評価を行い、必要に応じて行動計画を変更する。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 厚紙打ち抜き機、紙袋製造機					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 <配属先同僚> プログラム・コーディネーター、30代女性 作業指導スタッフ、30代男性 <対象者> 18歳以上の知的障害者、10人程度、男性		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同じレベルが必要 ・経験 () () 理由: ・ 障害者作業所での経験 理由: 業務に必要		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(大陸性気候) 気温(-5~30 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 2 月 4 日

要請番号(SL 315 - 13 - C - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード 1103)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
コロンビア	福祉用具				1	25 / 3	年 月 から
					2	25 / 4	
		3	/				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会保障省 2) 配属先名 (日本語) 国立職業訓練庁 ボゴタ首都圏地域局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 クンディナマルカ県ボゴタ市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ボゴタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 様々な分野の技術者育成を目的に設立された独立性を持つ公的機関。1957年にILO(国際労働機関)、コロンビア労働組合、カトリック教会が主体となり設立された。全国32県とボゴタ首都圏に地域局を持ち、116のセンターにおいて長期・短期の職業訓練コースを運営している。2010年には年間約50万人の技術資格者を育成し、短期のコース受講者は約600万人に及ぶ。2011年の予算は配属先全体で約10億米ドルの大組織である。						
要請概要	1) 要請理由・背景 当国では40年以上に渡り内戦が続いており、埋設された地雷による被災から障害者となる民間人は年間200人にも上る。こうした背景もあり、職業訓練機関内に義肢装具コースが3年前に開設された。現在、ドイツ人専門家による協力が行われている。当国には義肢装具製作に関する教育機関は無く、義肢についてはエルサルバドル国の専門校において資格を取る方法が一般的となっている。JICAは2012年まで「平和の構築」分野での協力プログラムにおいて、技プロ「地雷被災者を中心とした障害者総合リハビリテーション体制強化(2008年～2012年)」を展開してきた。そのフォローアップとしての要請となる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.配属先教官による指導の観察を通じた助言 2.カリキュラムやテキストの改善を目指した助言 3.教官との協働による訓練生への指導 ※ 義肢装具コースは開設間もないこともあり、コース運営全般、将来的な計画策定への助言も期待される。						
要請要件	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 義肢装具製作に必要な機材・設備は一通り揃っている。 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・主任教官(機械技師、義肢装具経験2年、配属先勤務約30年、50代男性) ・他に教官3名(義肢装具経験5～20年、30～40代男性) ・学生は約20名(17歳～30代) ※ドイツ人専門家は2015年までの協力予定 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地) 気温(5～30℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							



長期(JV SV 日青 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 24 年 12 月 18 日

要請番号(SL 469 - 13 - C - 12)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード J101)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV		
モロッコ	渉外促進 (コード J101)				1	25 / 4	日系/短期 年 月 から
					2	/	
3	/						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省 2) 配属先名 (日本語) モハメッド五世大学 - アグダル校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラバト県ラバト市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 全国に15校ある総合大学の中の一校。モハメッド五世大学-アグダル校は文学・人間科学部はじめ3学部の他、5つの大学院等を有している。アグダル校では1982年から2005年まで国際交流基金が日本語教育を実施、その後ボランティアが日本語公開講座を行っており、2012年12月現在2名のSVがモハメッド五世大学-スイシー校の教室を使って活動している。 高等教育・科学研究・幹部養成省 http://www.enssup.gov.ma/ モハメッド五世大学-アグダル http://www.um5a.ac.ma/						
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコ国内で現在3か所(ラバト、フェズ、モハメディア)の総合大学にて日本語教育SVが活躍しているが、講座運営やカリキュラムといった講座間のレベルの統一は行われていない。しかしながら、大学側からは受講レベルについての基準が必要との声があるため、SV及び大学間の調整を支援する必要性が生じている。 また2012年9月、高等教育・科学研究・幹部養成省と筑波大学との間で学術交流に関する包括協定が締結され、省としては日本とモロッコの大学間連携を強化していく方針としており、首都ラバトの本大学を拠点とした渉外促進のボランティアの要請が出された。本大学は複数の日本の大学との学術交流協定に基づいた日本語教育の強化を構想中である。 なお、国際交流基金が運営する日本語能力試験は2010年から実施されており、日本語教育ボランティアも協力している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 日本語教育を行う大学(現在ラバト、モハメディア、フェズの3大学にてSVが活動中)の授業カリキュラム、授業時間数、試験、合否判定基準等の標準化に向けたSVおよび大学間の調整を行う 2. 日本語教師会(SV)が開催している日本語スピーチコンテストにかかる調整・支援、日本語能力試験、日本文化等の行事の支援を行う 3. モロッコの大学と日本の大学のパートナー関係の強化及び促進を必要に応じ支援する 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、パソコン等事務機器 4) 配属先同僚及び活動対象者 文学・人間科学部 副学長(男性) 日本語教育関連JICAボランティア(2012年12月現在5名)						
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 大学間調整業務のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~45 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項							